

専門業者様向け

# アイジーヴァンド 設計資料

2024年2月版

耐火ヴァンドRZ75  
耐火ヴァンドRZ75V  
耐火ヴァンドRZ50  
耐火ヴァンドRZ50V  
断熱ヴァンドNZ50  
断熱ヴァンドNZ50F  
断熱ヴァンドNZ35  
断熱ヴァンドNZ35F

# 事故防止のために

この商品は壁材です。壁以外の部位には使用しないでください。



## 警告

死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1. 強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。  
風にあおられる・雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性がります。
2. 高所作業は関係法規に従ってください。落下事故の可能性がります。



## 注意

取り扱いをあやまると傷害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

1. 取り扱いの際はゴム付き手袋や保護眼鏡などの適切な保護具を着用してください。けがをる可能性がります。
2. 現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは取り除いてください。けがをる可能性がります。
3. 施工の際は防水のため、働き幅による割り付けを守ってください。
4. 防火のため、加熱・排気などの箇所の取り合いには、めがね石など有効な耐火部材を使用してください。
5. 包装材・残材などは産業廃棄物として処分してください。
6. タッチアップペイントなどは製品安全データシート（SDS）に従って、正しく使用してください。
7. 電動工具など、工具を使用の際は、各工具の取扱説明書に従って正しく使用してください。

# 目 次

事故防止のために

<b>1</b>	<b>アイジーヴァンド</b>		<b>5</b>	<b>発注と納期</b>	
1-1	特長と用途	2	5-1	発注	140
			5-2	納期	140
			5-3	準標準色・特注色について(表面材のみ)...	140
<b>2</b>	<b>耐火ヴァンドRZ</b>		<b>6</b>	<b>シーリング</b>	
2-1	商品仕様		6-1	推奨シーリング	141
	[1] 本体形状とパネル割り付け...	3	<b>7</b>	<b>取り扱い時のお願い</b>	
	[2] 本体規格	5	7-1	取り扱い時の注意	142
	[3] 材料特性	6	7-2	外壁を美しく保つために	145
	[4] 製造工程	6			
	[5] 性能	7			
	[6] 認定	12			
	[7] 部材	33			
	[8] 納まり参考図	39			
<b>3</b>	<b>断熱ヴァンドNZ</b>				
3-1	商品仕様				
	[1] 本体形状とパネル割り付け...	57			
	[2] 本体規格	59			
	[3] 材料特性	60			
	[4] 製造工程	61			
	[5] 性能	62			
	[6] 認定	71			
	[7] 部材	98			
	[8] 納まり参考図	103			
<b>4</b>	<b>設計のポイント</b>				
4-1	割り付け				
	[1] パネルの割り付け	127			
	[2] 胴縁の割り付け	128			
	[3] 異種金属との取り合い	128			
	[4] 付帯物の取り付け	128			
4-2	シーリングと十字シール	129			
4-3	シーリングタイプ				
	たて目地幅の設定	132			
4-4	パネル取り付け用専用ビス	132			
4-5	穴あけ制限と補強胴縁	133			
4-6	現場発泡ウレタンについて	139			

1

2

3

4

5

6

7

1

# 1 アイジーヴァンド

## 1-1 特長と用途

### 特長

#### 表面鋼板にポリエステル樹脂塗装と防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装をご用意

パネル本体、部材ともポリエステル樹脂塗装品とフッ素樹脂塗装品をラインナップしています。ポリエステル樹脂塗装品の表面鋼板にはコストと耐食性に優れたガルバリウム鋼板を採用。フッ素樹脂塗装品の表面鋼板に採用したガルマックスは、加工性を高めためっきと六価クロムを含まないクロメートフリーに加えて遮熱性フッ素樹脂塗装を採用し、耐久性を飛躍的に向上させた鋼板です。めっき層は亜鉛とアルミニウムが最もバランスよく機能する組成となっており、抜群の耐食性を発揮します。さらに、表面鋼板は防汚機能を採用し汚れが付きにくく、長期にわたり建物の外観を美しく保ちます。また、クロメートフリーは裏面鋼板にも採用しています。

#### 独自のかん合形状で強度・防耐火性能を向上

かん合部を従来品よりも優れた強度を発揮する形状にすることで、耐風圧性能・防耐火性能の向上を実現しました。防耐火構造認定における胴縁間隔<sup>※1</sup>を広くとることができ、建築コストの抑制にも貢献します。

#### しん材のヌレートフォームに環境負荷の小さい材料を採用

断熱ヴァンドNZ35/NZ35F及び、NZ50/NZ50Fのしん材にはノンフロン発泡剤HFOを採用。HFOは代替フロン的一种であるHFCに比べて地球温暖化係数が極めて低く、環境に優しい材料です。

#### ◆断熱性

ALCや窯業系に比べて断熱性が高く空調にかかるエネルギー削減につながります。

#### ◆意匠性

金属素材を活かしたフラットなデザインとシャープなラインを表現した意匠性により設計の自由度を高めます。

#### ◆耐震性

鋼板としん材のサンドイッチ構造ゆえの軽量性とジョイント方式で層間変形角1/50でも追従できます。

#### ◆水密性

かん合部に太径防水パッキンを採用しており、高く安定した防水性能を発揮します。

#### ◆施工性

パネル本体の軽量性に加え、ご指定寸法<sup>※2</sup>で施工現場に納入しますので効率的なパネル割り付けができ、現場加工低減や廃材の削減に貢献します。

### 用途

・工場 ・大型物流施設 ・大型店舗 ・共同住宅 ・中低層オフィス ・公共施設 など

※1 胴縁間隔は防耐火構造認定で異なります。認定のページでご確認ください。

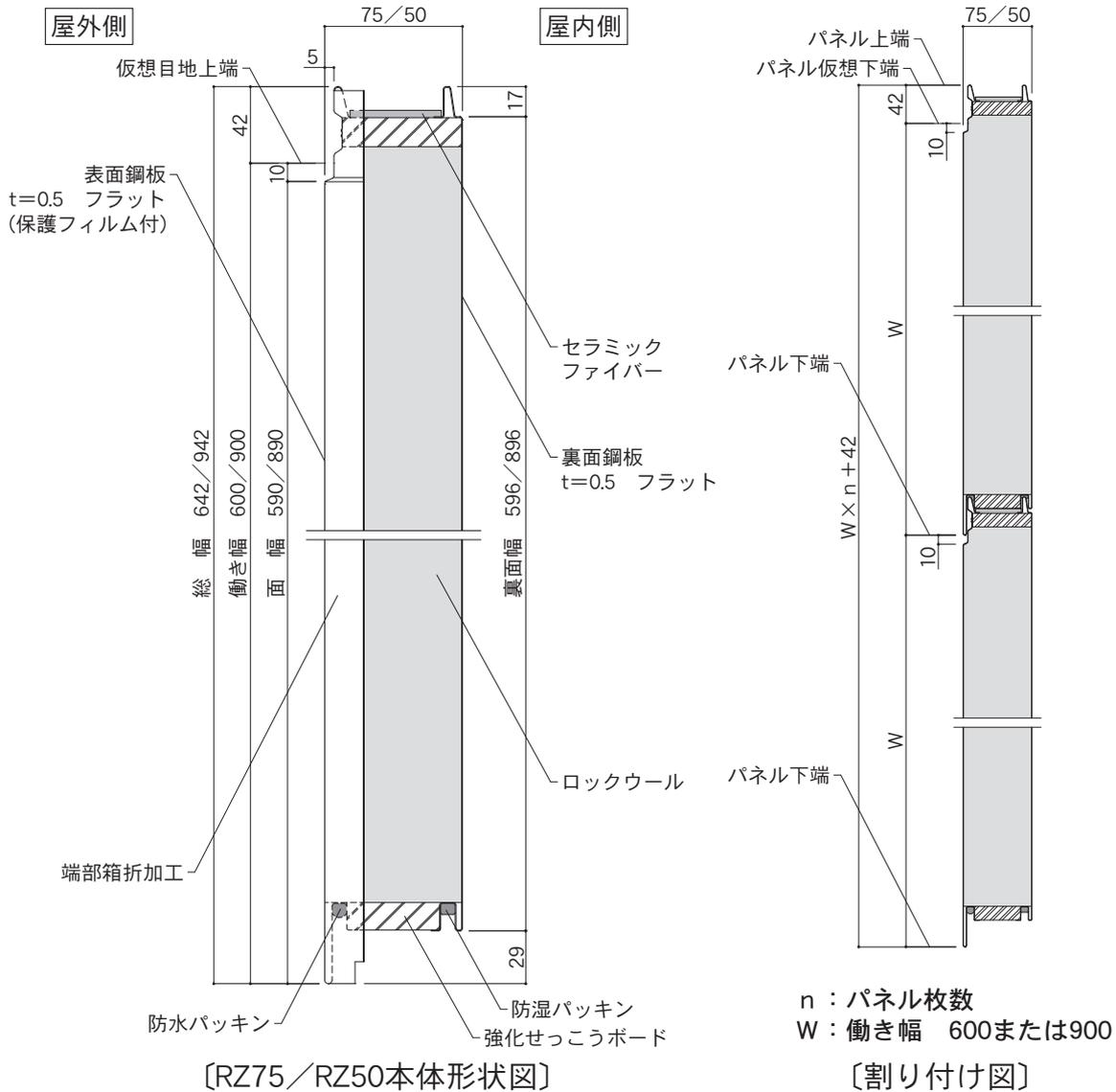
※2 パネル長さ1,800mm～9,300mmまで1mm単位でご指定頂けます。長さ9,300mmを超える長さについては弊社にお問い合わせください。オプションで300mm～1,799mmまで対応します（別途加工賃を申し受けます）。

## 2 耐火ヴァンドRZ

### 2-1 商品仕様

#### [1] 本体形状とパネル割り付け

##### ■耐火ヴァンドRZ75/RZ50



##### ■耐火ヴァンドRZ75V/RZ50V



注) 図は耐火ヴァンドRZ75、RZ75Vです。割り付け寸法は耐火ヴァンドRZ50、RZ50Vも共通です。

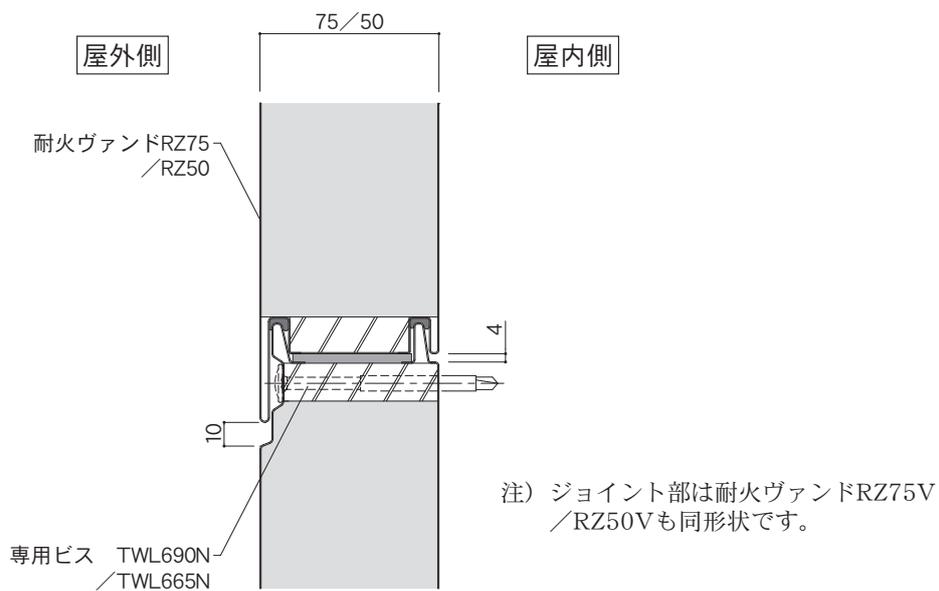
1

ヴァンドRZ

2

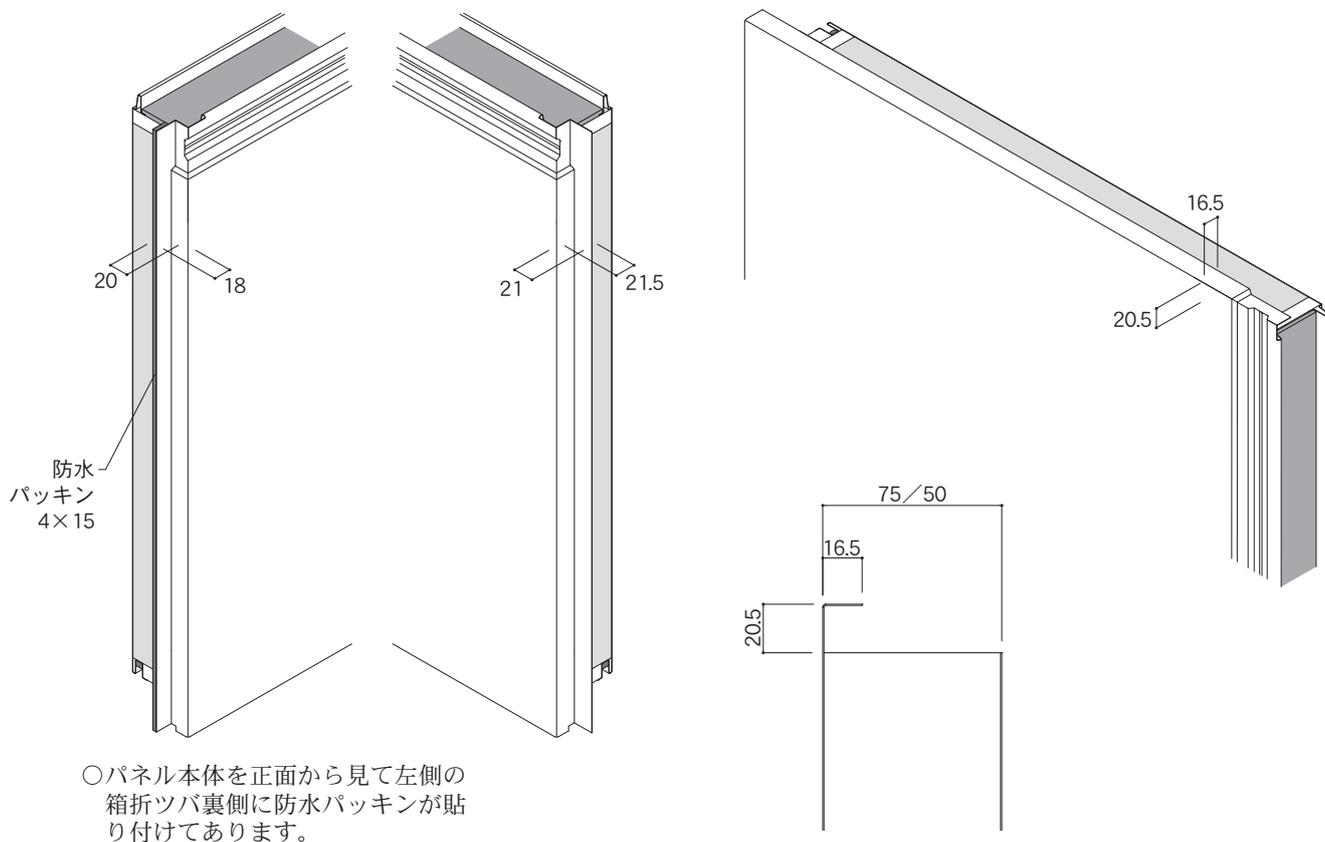
耐火ヴァンドRZ

## ジョイント部断面図



**【注意 !!】** パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。

## 端部箱折形状図



〔耐火ヴァンドRZ75/RZ50〕

〔耐火ヴァンドRZ75V/RZ50V〕

## [2] 本体規格

		耐火ヴァンドRZ75	耐火ヴァンドRZ75V	耐火ヴァンドRZ50	耐火ヴァンドRZ50V
規格	働き幅(mm)	600/900		600/900	
	総幅(mm)	642/942		642/942	
	長さ(mm)	1,800~9,300※1※2			
	厚さ(mm)	75		50	
	重量(kg/m <sup>2</sup> )	23/22		19/18	
	箱折	あり※3			
施工方法	張り方向	よこ張り	たて張り	よこ張り	たて張り
表面材	塗装種別 (材質)	ポリエステル樹脂塗装 (ガルバリウム鋼板) 防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装 (超高耐久GL鋼板ガルマックス)			
	板厚(mm)	0.5			
	表面意匠	フラット			
しん材	材質	ロックウール			
裏面材	塗装種別 (材質)	ポリエステル樹脂塗装 (ガルバリウム鋼板)			
	板厚(mm)	0.5			
	表面意匠	フラット			
	塗色	ライトグレー			

※1 300mm~1,799mmまで製造可能 (オプション)。長さ9,300mmを超える長さについては弊社にお問い合わせください。

※2 300mm~899mm、900mm~1,799mmは、それぞれ別途加工賃を申し受けます。

※3 よこ張り品とたて張り品では箱折の形状が異なります。詳しくはP4の端部箱折形状図を参照ください。

詳しくは弊社または、アイジーヴァンド取り扱い店へお問い合わせ下さい。

2

耐火ヴァンドRZ

## カラーラインナップ

表面材	ポリエステル樹脂塗装		防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装		日本塗料工業会 色票番号 (近似)※4 塗装色共通
	色名	マンセル値(測定値)	色名	マンセル値(測定値)	
標準色	PシルバーS	N 7.0※6	CFシルバーS	3.1B 7.9/0.1※6	※5
	Pホワイト	N 8.6	CFホワイト	9.0YR 8.5/0.1	LN-87
	Pシャンパンゴールド	8.7Y 6.4/0.6※6	CFシャンパンゴールド	8.8Y 7.0/0.4※6	※5
	Pメタリックグレー	4.8G 4.3/0.1※6	CFメタリックグレー	6.2BG 4.2/0.1※6	※5
準標準色	Pアイボリー	3.5Y 8.1/1.5	CFアイボリー	3.0Y 8.1/1.5	L25-85B
	Pグレー	8.5G 7.2/0.2	CFグレー	6.3BG 7.2/0.2	LN-75
	Pダークグレー	3.7PB 3.5/0.4	CFダークグレー	5.1PB 3.5/0.3	LN-40

裏面材	ポリエステル樹脂塗装		日本塗料工業会 色票番号 (近似)※4
	色名	マンセル値 (測定値)	
	ライトグレー	4.1Y 8.0/0.2	

※4 2021年L版の日本塗料工業会色票番号です。

※5 メタリック色は、日本塗料工業会色票番号の設定がありません。

※6 メタリック色は、光の強さや見る角度によって色が変わって見えるため、マンセル値での表現が困難です。上記値は、一定の角度での測定値を代表値としております。実際の色の見え方とは異なり、輝度感も反映されておりません。上記値で塗料などの調色 (色合わせ) を行っても色が合いませんので、調色を行う際は実物と色合わせをお願いします。

### [3] 材料特性

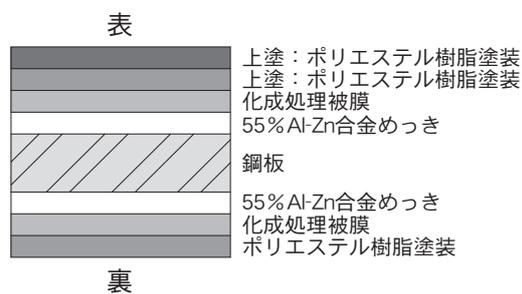
#### 面材特性

##### ■仕様

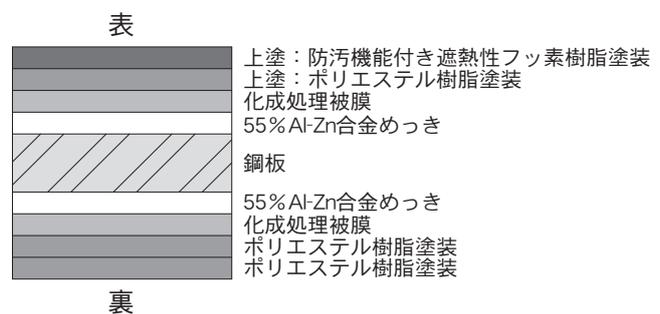
	商品タイプ	塗装	めっき付着量	板厚
表面 鋼板	耐火ヴァンドRZ75 耐火ヴァンドRZ50	ポリエステル樹脂塗装または 防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装	AZ150	0.5mm
裏面 鋼板	耐火ヴァンドRZ75V 耐火ヴァンドRZ50V			

##### ■表面鋼板塗膜構成

###### 〔ポリエステル樹脂塗装〕



###### 〔防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装〕



#### しん材

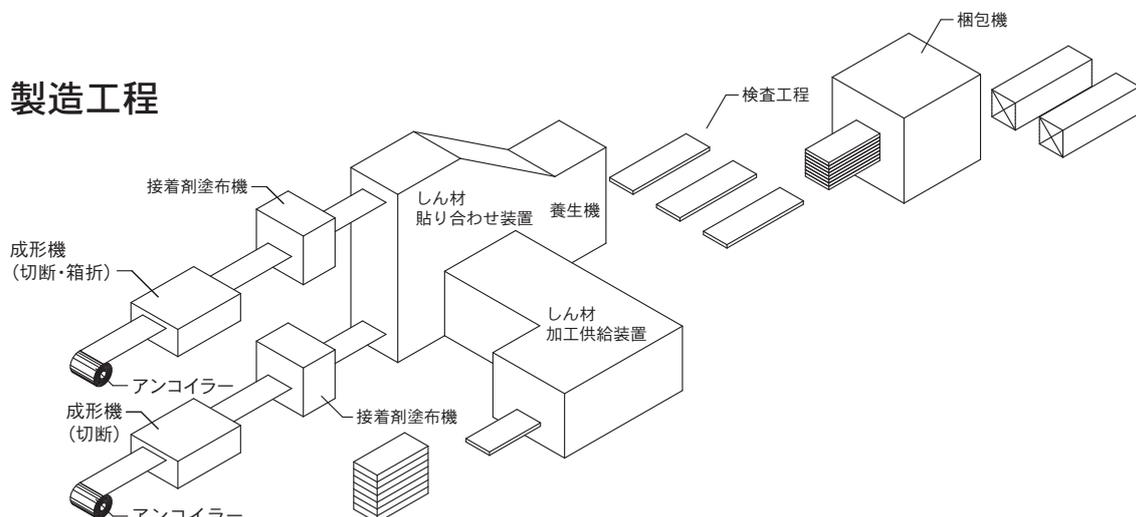
##### ■ロックウール

耐火ヴァンドRZのしん材に採用しているロックウールは、耐熱性に優れた高炉スラグや玄武岩などを主原料として、キュボラや電気炉などで1,500～1,600℃の高温で熔融し、遠心力などで吹き飛ばして繊維状にした「人造鉱物繊維」です。断熱性・吸音性・耐火性などに優れた性能を発揮します。

##### 〔ロックウールとアスベストの違い〕

ロックウール（岩綿）とアスベスト（石綿）は全く違う物です。ロックウールは人工的に製造された鉱物繊維で、繊維径が太く（アスベストの数十倍～数百倍）吸い込みにくいのに対して、アスベストは天然の鉱物繊維で繊維径がきわめて細く、吸い込みやすい特徴があります。ロックウールはIARC（国際がん研究機関）において「発がん性に分類できない“グループ3”」に分類されています。

### [4] 製造工程

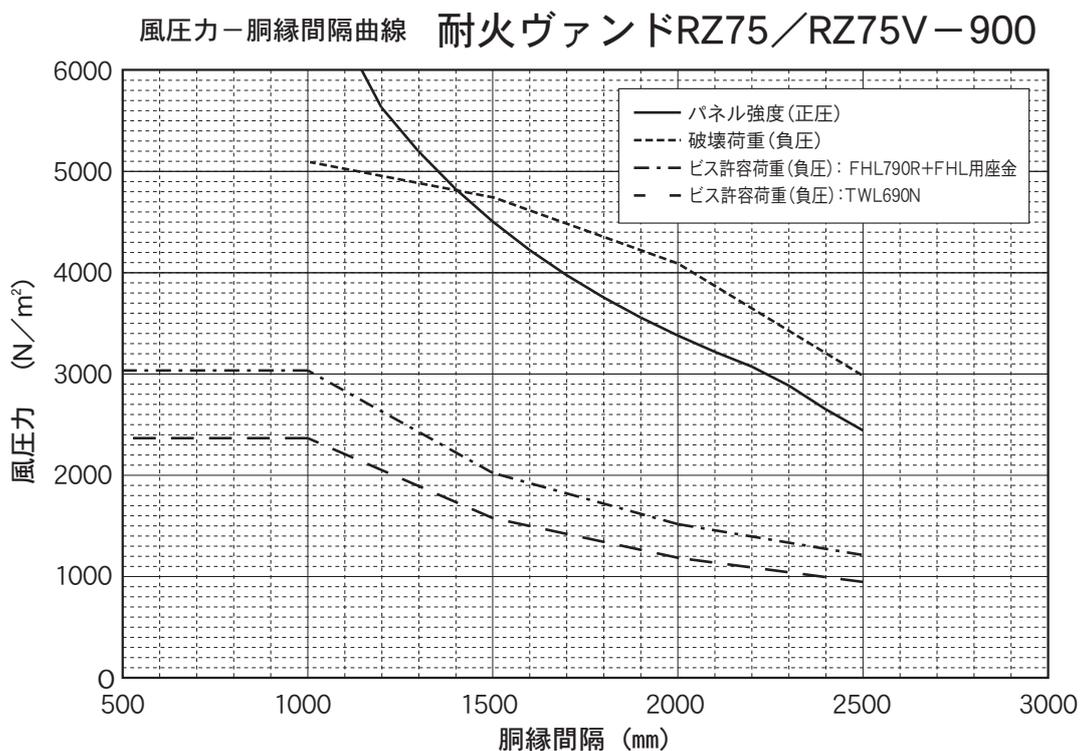
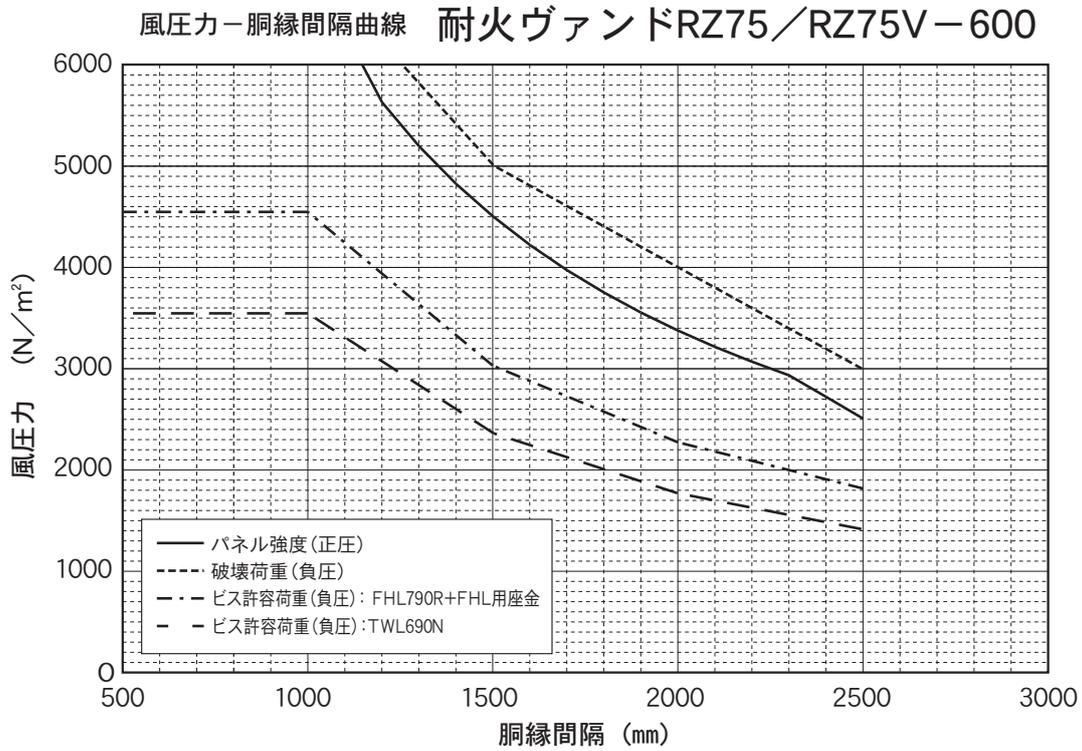




[5] 性能

**【注意 !!】** 耐風圧性能のビス許容荷重は専用ビスを使用した場合の値です。パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。  
 本体取り付けの専用ビスは全ての胴縁に留め付けてください。

耐風圧性能

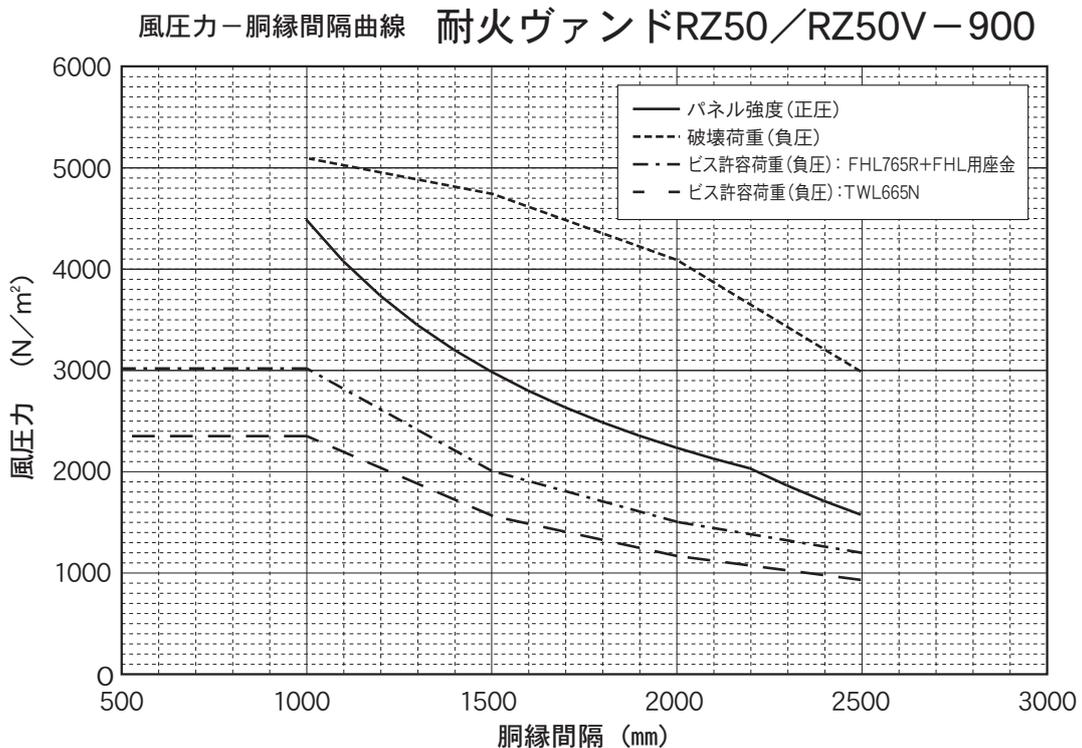
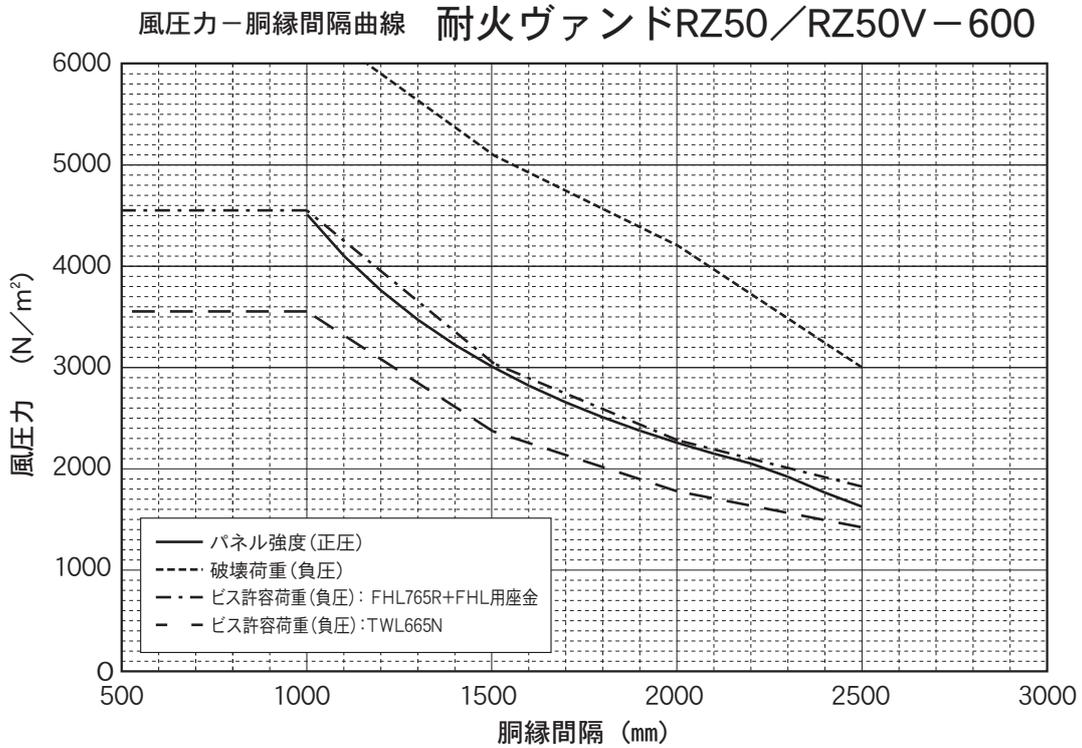


注) 破壊荷重は風圧力試験での測定値です。  
 注) パネル強度はパネル曲げ試験からの許容曲げ荷重と許容せん断荷重からの計算値です。

**【注意 !!】**

耐風圧性能のビス許容荷重は専用ビスを使用した場合の値です。パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。  
本体取り付けの専用ビスは全ての胴縁に留め付けてください。

耐風圧性能

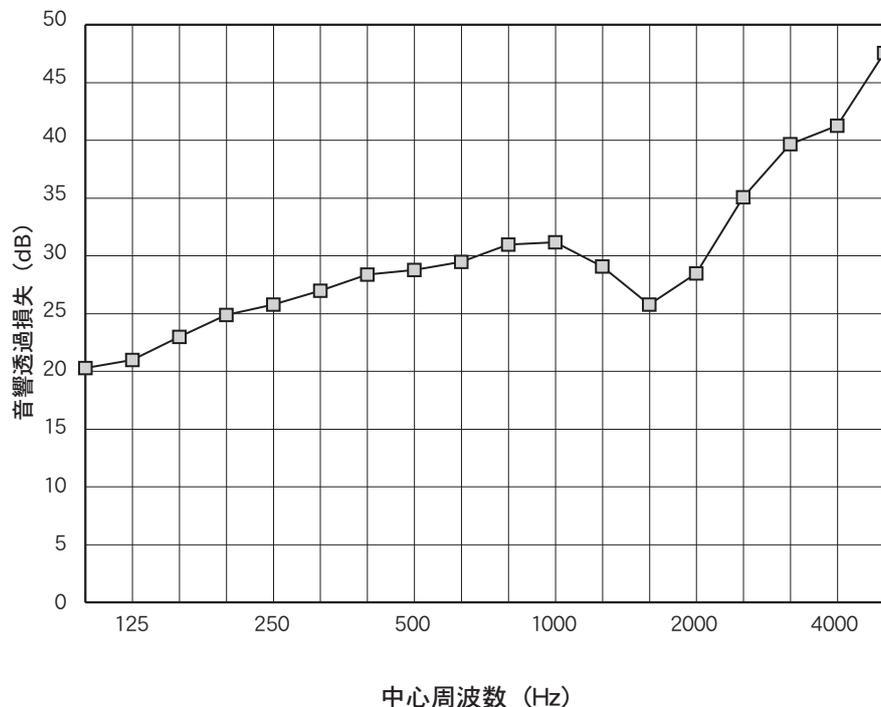


注) 破壊荷重は風圧力試験での測定値です。

注) パネル強度はパネル曲げ試験からの許容曲げ荷重と許容せん断荷重からの計算値です。

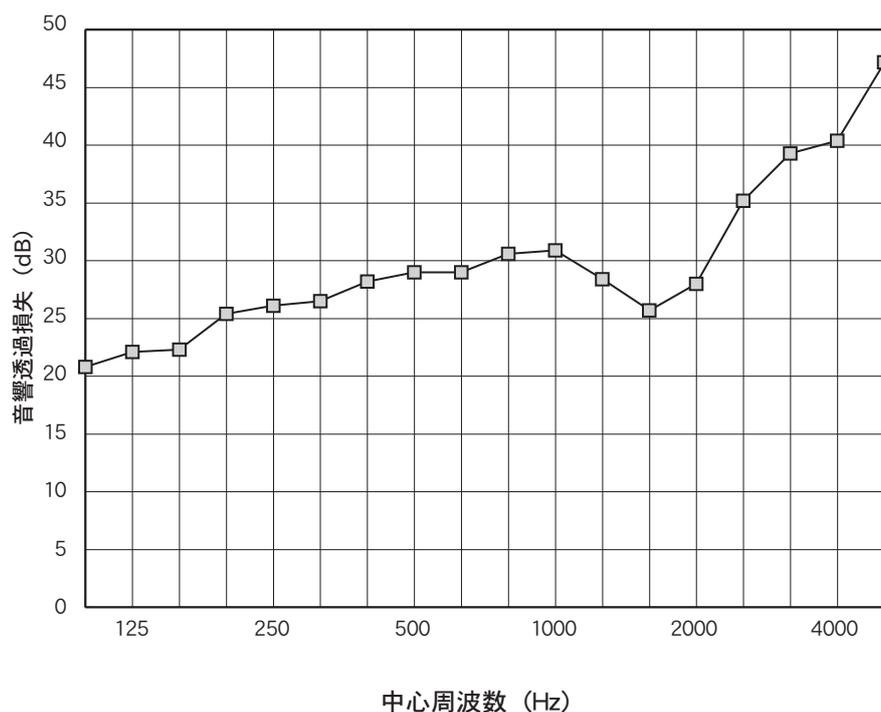
## 遮音性能

耐火ヴァンドRZ75/RZ75V-600



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	20.3
125	21.0
160	23.0
200	24.9
250	25.8
315	27.0
400	28.4
500	28.8
630	29.5
800	31.0
1000	31.2
1250	29.1
1600	25.8
2000	28.5
2500	35.1
3150	39.7
4000	41.3
5000	47.6

耐火ヴァンドRZ75/RZ75V-900



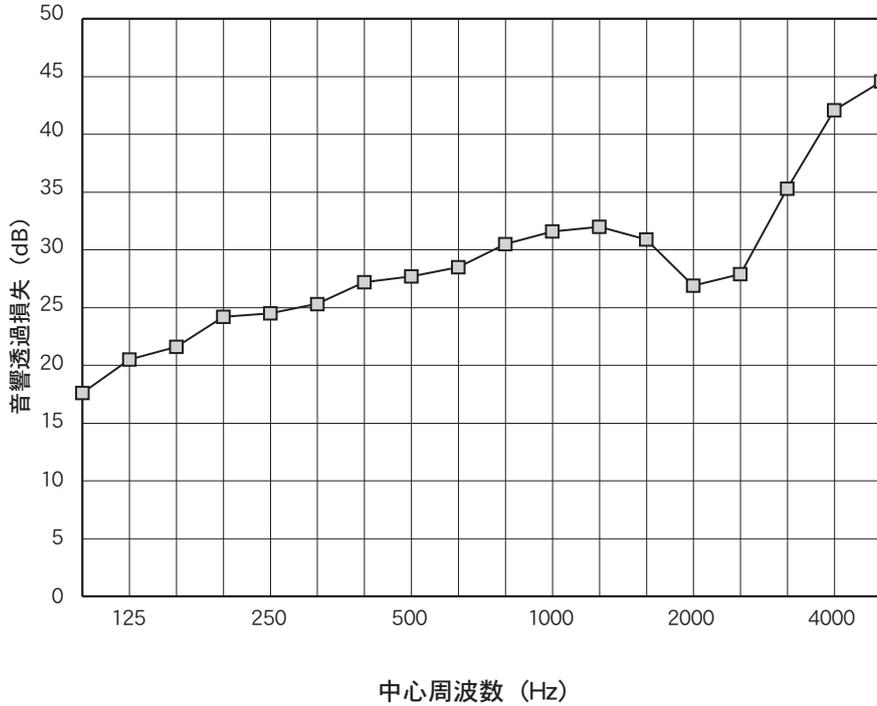
中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	20.8
125	22.1
160	22.3
200	25.4
250	26.1
315	26.5
400	28.2
500	29.0
630	29.0
800	30.6
1000	30.9
1250	28.4
1600	25.7
2000	28.0
2500	35.2
3150	39.3
4000	40.4
5000	47.2

○試験方法：JIS-A-1416

○検査機関：(一財)小林理学研究所

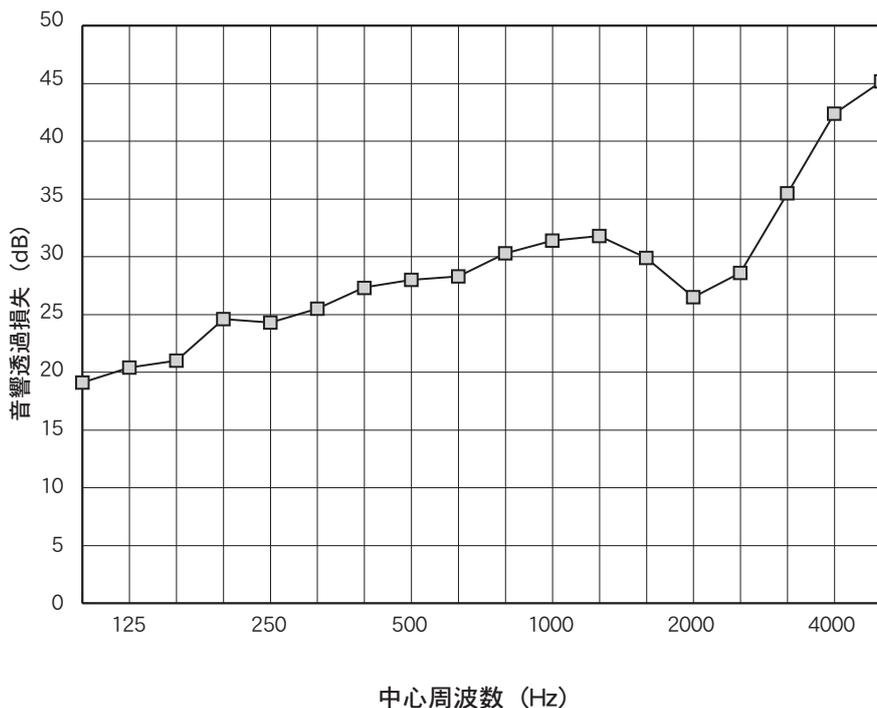
## 遮音性能

### 耐火ヴァンドRZ50/RZ50V-600



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	17.6
125	20.5
160	21.6
200	24.2
250	24.5
315	25.3
400	27.2
500	27.7
630	28.5
800	30.5
1000	31.6
1250	32.0
1600	30.9
2000	26.9
2500	27.9
3150	35.1
4000	42.1
5000	44.6

### 耐火ヴァンドRZ50/RZ50V-900



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	19.1
125	20.4
160	21.0
200	24.6
250	24.3
315	25.5
400	27.3
500	28.0
630	28.3
800	30.3
1000	31.4
1250	31.8
1600	29.9
2000	26.5
2500	28.6
3150	35.5
4000	42.4
5000	45.2

○試験方法：JIS-A-1416

○検査機関：(一財)小林理学研究所

## 層間変形追従性能

商品タイプ	働き幅 (mm)	変形角 (rad)	試験結果
耐火ヴァンドRZ75 耐火ヴァンドRZ75V 耐火ヴァンドRZ50 耐火ヴァンドRZ50V	900	1/50	パネルの脱落なし

注：たて張りの場合は耐火ヴァンド RZ75/RZ50 をたて張りスターター無しで試験した値です。  
性能保証値ではありません。

○試験方法：静的変形性能試験 ○試験機関：(一財)建材試験センター

## 水密性能

商品タイプ	働き幅 (mm)	試験結果
耐火ヴァンドRZ75 耐火ヴァンドRZ75V 耐火ヴァンドRZ50 耐火ヴァンドRZ50V	600	平均圧力差 2,200Paで漏水なし

注：たて張りの場合は耐火ヴァンド RZ75/RZ50 をたて張りスターター無しで試験した値です。  
性能保証値ではありません。

○試験方法：JIS A 1414 ○試験機関：(一財)建材試験センター

## 断熱性能

商品タイプ	働き幅 (mm)	部 位	熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> K)	熱抵抗 <sup>※3</sup> (m <sup>2</sup> K/W)	しん材熱伝導率 <sup>※4</sup> (W/mK)
耐火ヴァンドRZ75 耐火ヴァンドRZ75V	600	壁全体 <sup>※1</sup>	0.74	1.21	0.045
		一般部 <sup>※2</sup>	0.54		
	900	壁全体 <sup>※1</sup>	0.69	1.30	
		一般部 <sup>※2</sup>	0.54		
耐火ヴァンドRZ50 耐火ヴァンドRZ50V	600	壁全体 <sup>※1</sup>	1.07	0.79	
		一般部 <sup>※2</sup>	0.82		
	900	壁全体 <sup>※1</sup>	0.98	0.87	
		一般部 <sup>※2</sup>	0.82		

※1 かん合部を含む壁全体の値です。測定値であり、性能保証値ではありません。

※2 測定値から算出した値であり、性能保証値ではありません。

※3 熱抵抗は壁全体の熱貫流率から算出した値であり、性能保証値ではありません。

※4 20℃の時の熱伝導率です。測定値から算出した値であり、性能保証値ではありません。

○試験方法：JIS A 1420 ○試験機関：(一財)建材試験センター

## [6] 認定

### 外壁（非耐力壁）防耐火構造認定

認定区分	対象商品	張り方向	認定番号	構造仕様	掲載ページ	
1時間 耐火構造	耐火ヴァンドRZ75	よこ <sup>※1</sup>	FP060NE-0162-2	下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上	P14	
	耐火ヴァンドRZ75V	たて <sup>(注)</sup>	FP060NE-0162			
	耐火ヴァンドRZ50		よこ	FP060NE-9305 <sup>※4</sup>	吹付けロックウール30mm以上	—
			よこ <sup>※1</sup>	FP060NE-0248(1) FP060NE-0248(2) <sup>※5</sup>	下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上 (強化せっこうボード12.5mm以上+12.5mm以上内装重ね張り) <sup>※6</sup>	P15 —
	耐火ヴァンドRZ50V		たて	FP060NE-9305 <sup>※4</sup>	吹付けロックウール30mm以上	—
			たて <sup>(注)</sup>	FP060NE-0253(1) FP060NE-0253(2) <sup>※5</sup>	下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上 (強化せっこうボード12.5mm以上+12.5mm以上内装重ね張り) <sup>※6</sup>	P16 —
30分 耐火構造	耐火ヴァンドRZ50	よこ <sup>※2</sup>	FP030NE-0160-1 <sup>※3</sup>	下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上	P17	
	耐火ヴァンドRZ50V	たて <sup>(注)</sup>	FP030NE-0160			
45分 準耐火構造	耐火ヴァンドRZ50	よこ <sup>※2</sup>	QF045NE-0020-1 <sup>※3</sup>	下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード9.5mm以上+12.5mm以上内装重ね張り)	P18	
	耐火ヴァンドRZ50V	たて <sup>(注)</sup>	QF045NE-0033-1	下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード15mm以上または、9.5mm以上+12.5mm以上内装重ね張り)	P19	
防火構造	耐火ヴァンドRZ50	よこ <sup>※2</sup>	PC030NE-0155-1 <sup>※3</sup>	下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上	P20	
	耐火ヴァンドRZ50V	たて <sup>(注)</sup>				

(注) たてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。

- ※1 たて目地の胴縁は□100×100×2.3以上またはC100×50×20×2.3以上リップ合わせとしてください。
- ※2 たて目地の胴縁は□100×100×2.3以上または2C100×50×20×2.3以上を使用してください。
- ※3 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくは P129 を参照してください。
- ※4 FP060NE-9305 はロックウール工業会会員各社の個別認定です。但し、ご使用にあたっては、事前に行政機関等に相談してください。
- ※5 壁内に断熱材(グラスウールまたはロックウール)を充てんする場合。
- ※6 せっこうボードは強化せっこうボード JIS A 6901 不燃材料 NM-8615(GB-F(V)適合品)が必須になります。

## 合成耐火構造認定

認定区分	対象商品	張り方向	認定番号	構造体	被覆材仕様	掲載ページ
柱1時間合成耐火構造	耐火ヴァンドRZ75	よこ	FP060CN-0787-1	鋼管柱	繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上	P21
			FP060CN-0521-2	鉄骨柱	繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上	P21
	耐火ヴァンドRZ75V	たて <sup>(注)</sup>	FP060CN-0489-1	鋼管柱	吹付けロックウール30mm以上	P23
			FP060CN-0526-1		繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上	P25
			FP060CN-0500	鉄骨柱	吹付けロックウール30mm以上	P23
			FP060CN-0530		繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上	P25
	耐火ヴァンドRZ75 耐火ヴァンドRZ50 <sup>※3</sup>	よこ	FP060CN-0781-1	鋼管柱	吹付けロックウール25mm以上	P27
			FP060CN-0769-1		ロックウール巻き付け40mm以上	P29
			FP060CN-0787-1		繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上	P31
			FP060CN-0782-1	鉄骨柱	吹付けロックウール25mm以上	P27
			FP060CN-0811-1		繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上	P31
	はり1時間合成耐火構造	耐火ヴァンドRZ75	よこ	FP060BM-0315-2	鉄骨はり	繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上
耐火ヴァンドRZ75V		たて <sup>(注)</sup>	FP060BM-0313	吹付けロックウール30mm以上		P24
			FP060BM-0323	繊維混入けい酸カルシウム板25mm以上		P26
耐火ヴァンドRZ75 耐火ヴァンドRZ50 <sup>※3</sup>		よこ	FP060BM-0475-1	吹付けロックウール25mm以上		P28
			FP060BM-0423-2	ロックウール巻き付け20mm以上		P30
			FP060BM-0489-1	繊維混入けい酸カルシウム板20mm以上		P32

(注) たてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。

※3 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくは P129 を参照してください。

## 材料認定

認定区分	認定番号	対象商品
不燃材料	NM-3419-1	耐火ヴァンドRZ75/RZ50・耐火ヴァンドRZ75V/RZ50V

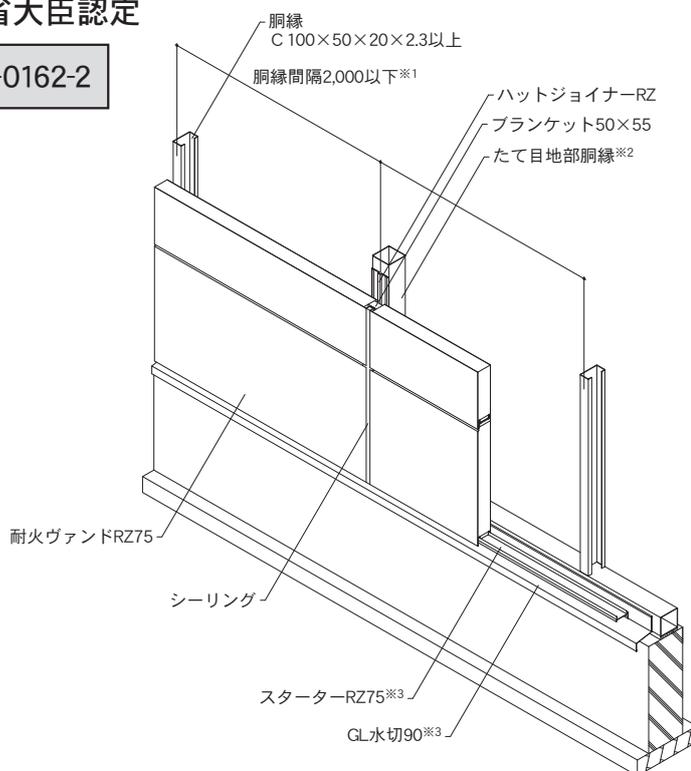
## 防耐火構造仕様図

### 1時間耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ75

国土交通省大臣認定

FP060NE-0162-2

よこ張り



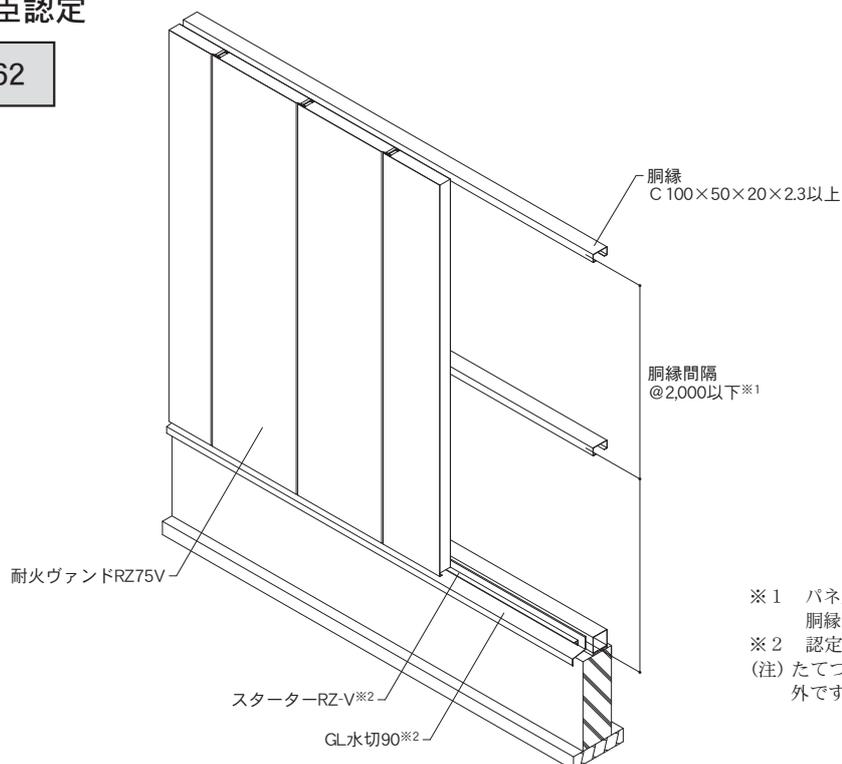
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 たて目地部の胴縁は、 $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上または、 $C100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ 以上リップ合わせとしてください。
- ※3 認定の対象外です。

### 1時間耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ75V

国土交通省大臣認定

FP060NE-0162

たて張り



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

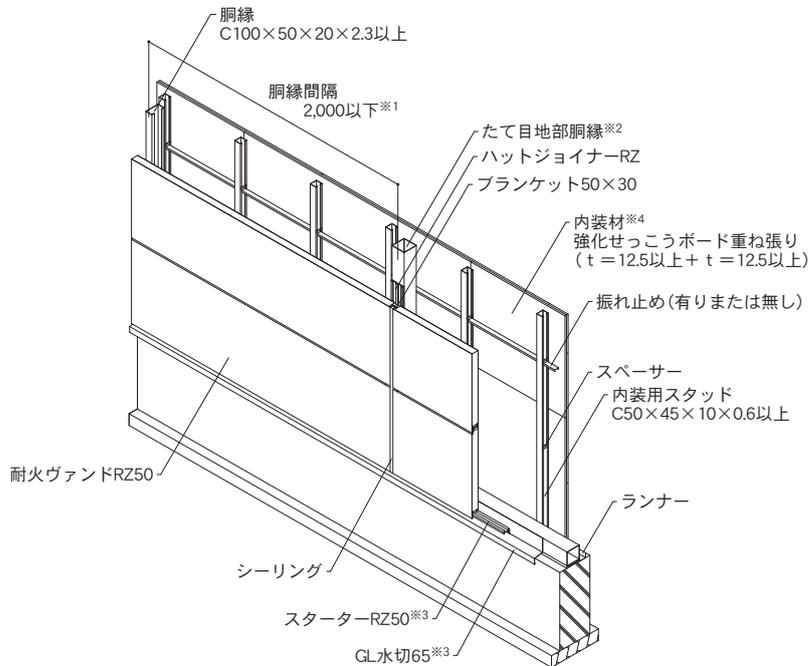


1時間耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50

国土交通省大臣認定

FP060NE-0248(1) せっこうボード内装重ね張り

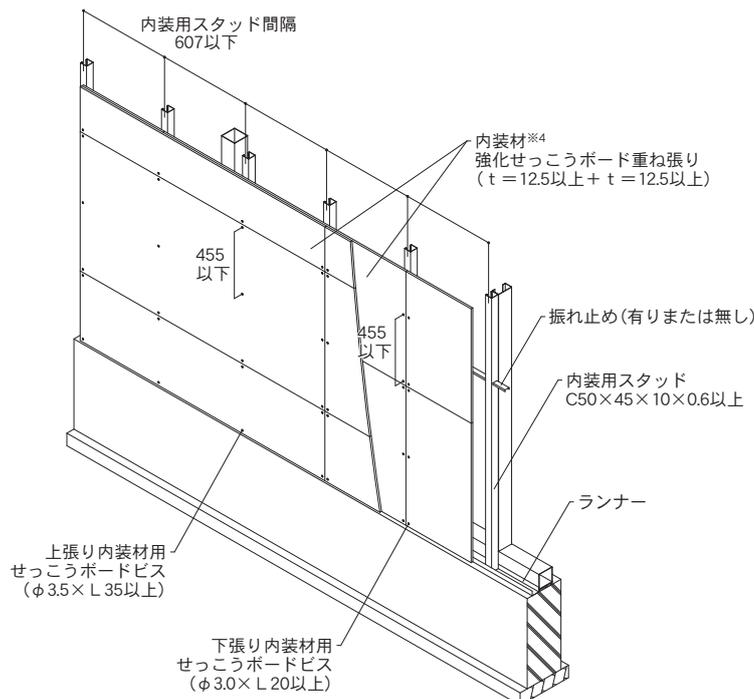
よこ張り



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 たて目地部の胴縁は□100×100×2.3以上または、C100×50×20×2.3以上リップ合わせとしてください。
- ※3 認定の対象外です。
- ※4 強化せっこうボード JIS A 6901 不燃材料 NM-8615 (GB-F (V) 適合品) が必須になります。下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。

〔耐火ヴァンドRZ50 せっこうボード内装重ね張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・内装材は強化せっこうボード JIS A 6901 不燃材料 NM-8615 (GB-F (V) 適合品) が必須になります。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材は強化せっこうボード12.5mm以上を使い、せっこうボードビス (φ3.0×L20以上) で455mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材は強化せっこうボード12.5mm以上を使い、せっこうボードビス (φ3.5×L35以上) で455mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

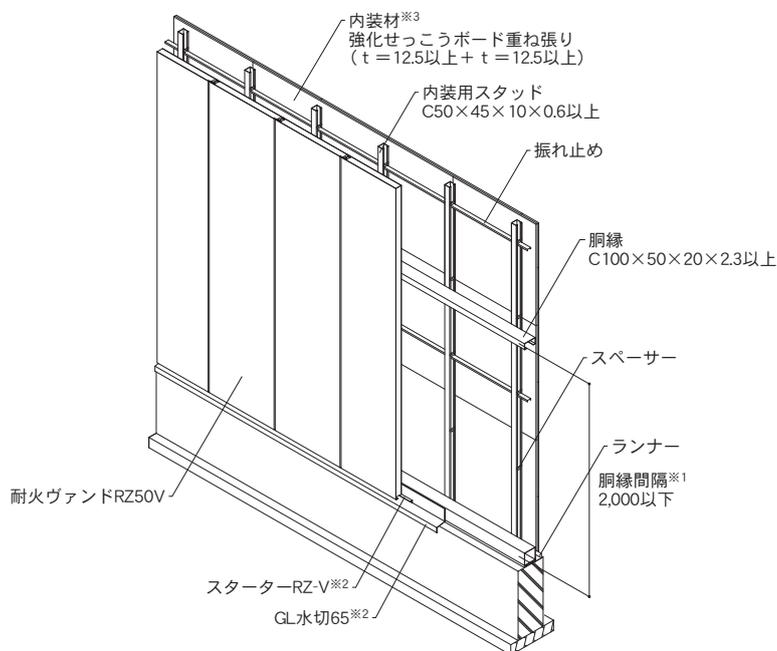
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

# 1時間耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50V

国土交通省大臣認定

FP060NE-0253(1) せっこうボード内装重ね張り

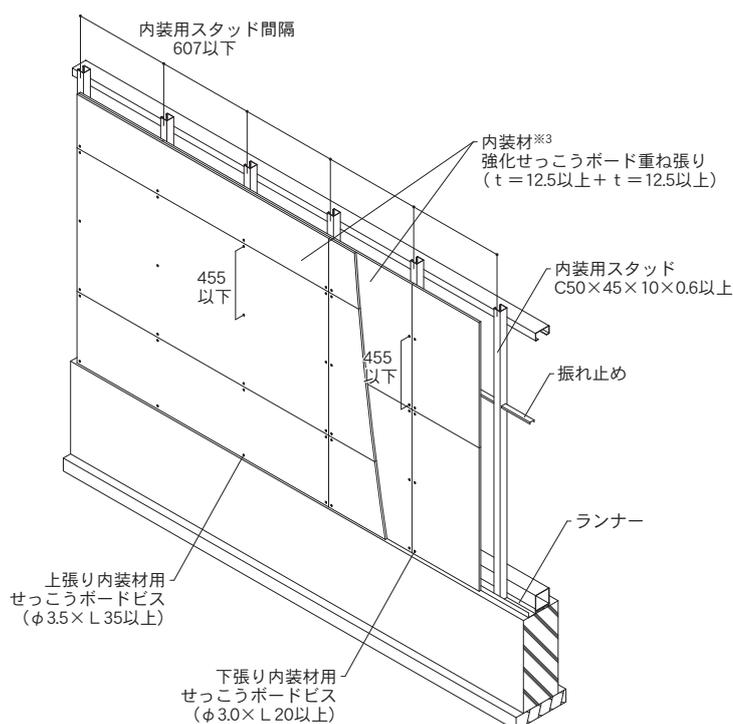
たて張り



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 強化せっこうボード JIS A 6901 不燃材料 NM-8615 (GB-F (V) 適合品) が必須になります。  
下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ (中間水切) 部は認定の対象外です。

## 〔耐火ヴァンドRZ50V せっこうボード内装重ね張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・内装材は強化せっこうボード JIS A 6901 不燃材料 NM-8615 (GB-F (V) 適合品) が必須になります。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材は強化せっこうボード12.5mm以上を使い、せっこうボードビス (φ3.0×L20以上) で455mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材は強化せっこうボード12.5mm以上を使い、せっこうボードビス (φ3.5×L35以上) で455mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

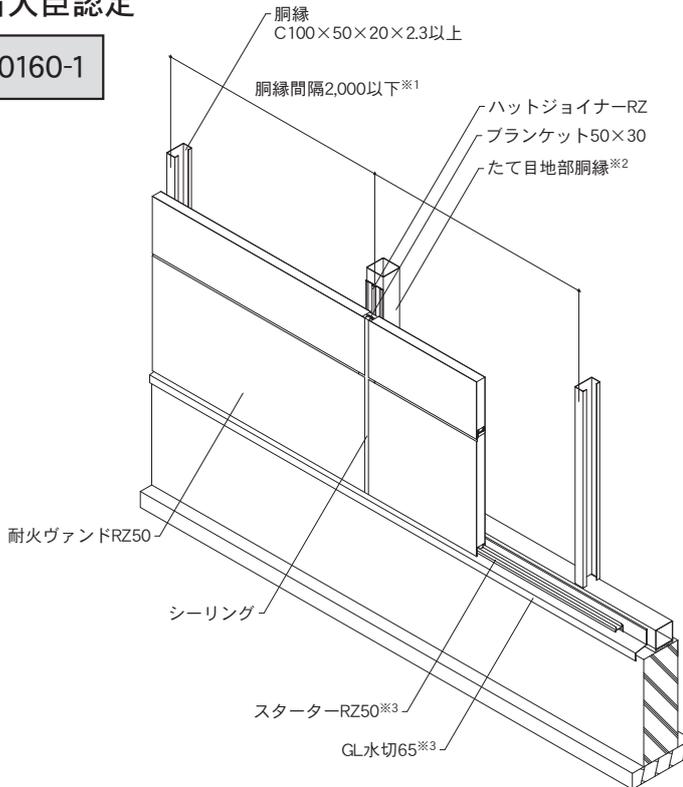
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

### 30分耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50

国土交通省大臣認定

FP030NE-0160-1

よこ張り



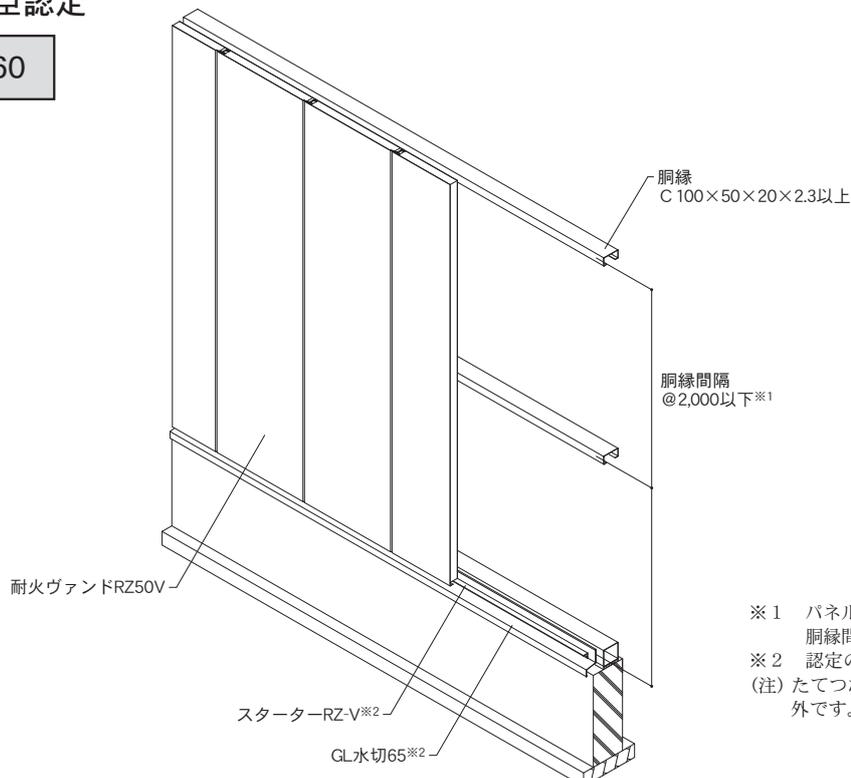
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 たて目地部の胴縁は、 $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上または  $2C100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ 以上としてください。
- ※3 認定の対象外です。
- (注) 耐火ヴァンドRZ50のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

### 30分耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50V

国土交通省大臣認定

FP030NE-0160

たて張り



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

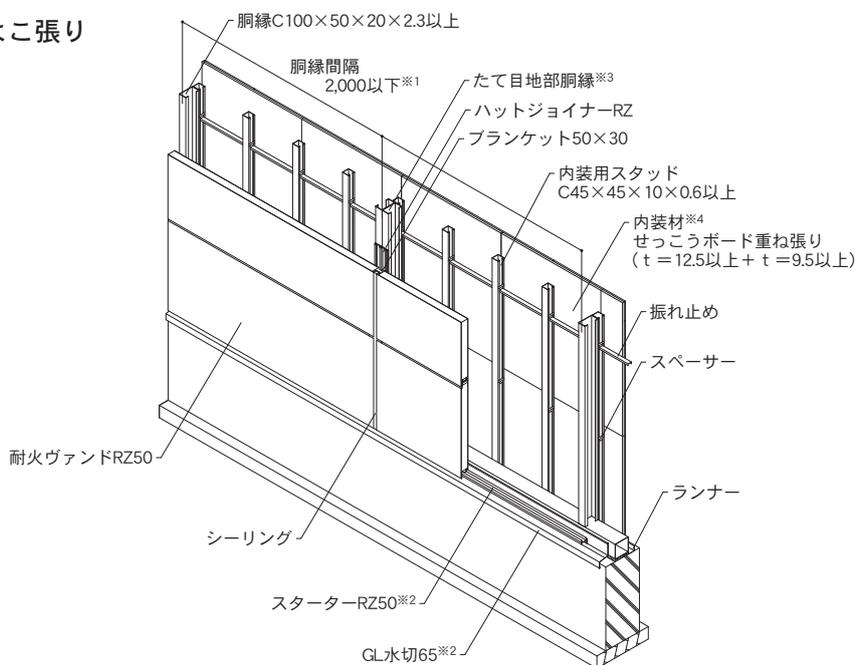
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50

国土交通省大臣認定

QF045NE-0020-1 せっこうボード内装重ね張り

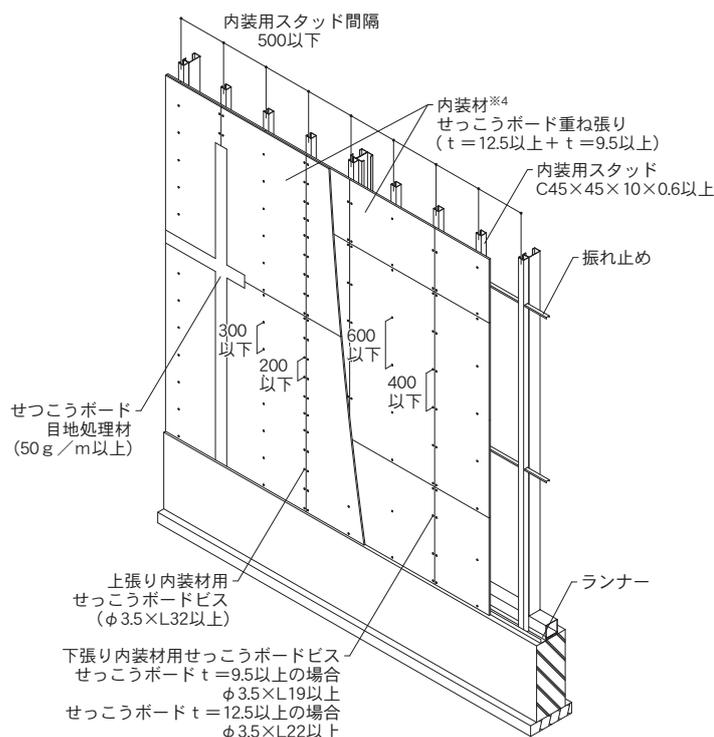
よこ張り



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は、 $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上または $2C100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ 以上としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) 耐火ヴァンドRZ50のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

### 〔耐火ヴァンドRZ50 せっこうボード内装重ね張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・内装材は、せっこうボード下張り9.5mm以上+12.5mm以上または、下張り12.5mm以上+9.5mm以上のいずれか一仕様としてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス(φ3.5×L22以上)を外周部400mm以下中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス(φ3.5×L32以上)を外周部200mm以下中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材の目地部にはせっこうボード目地処理材(50g/m以上)を施してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

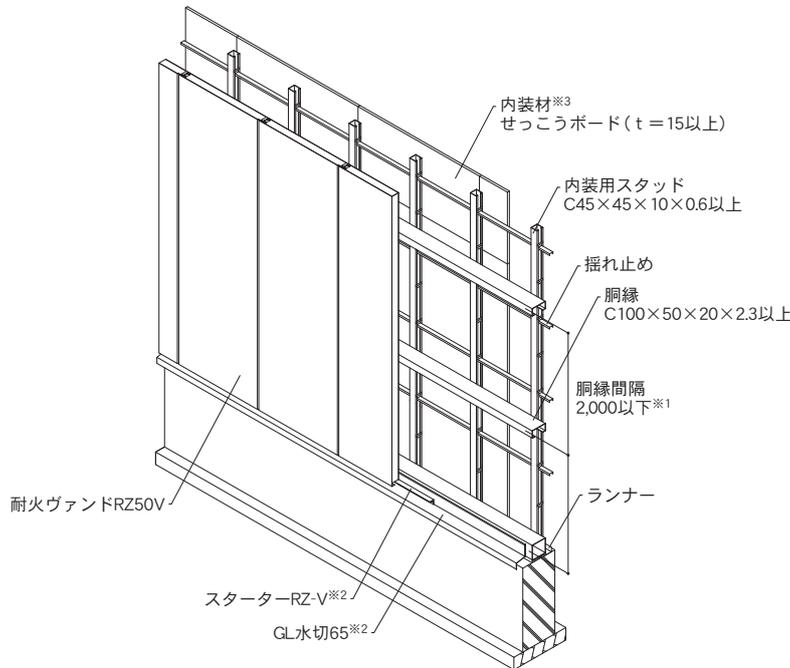
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50V

国土交通省大臣認定

QF045NE-0033-1 せっこうボード内装張り

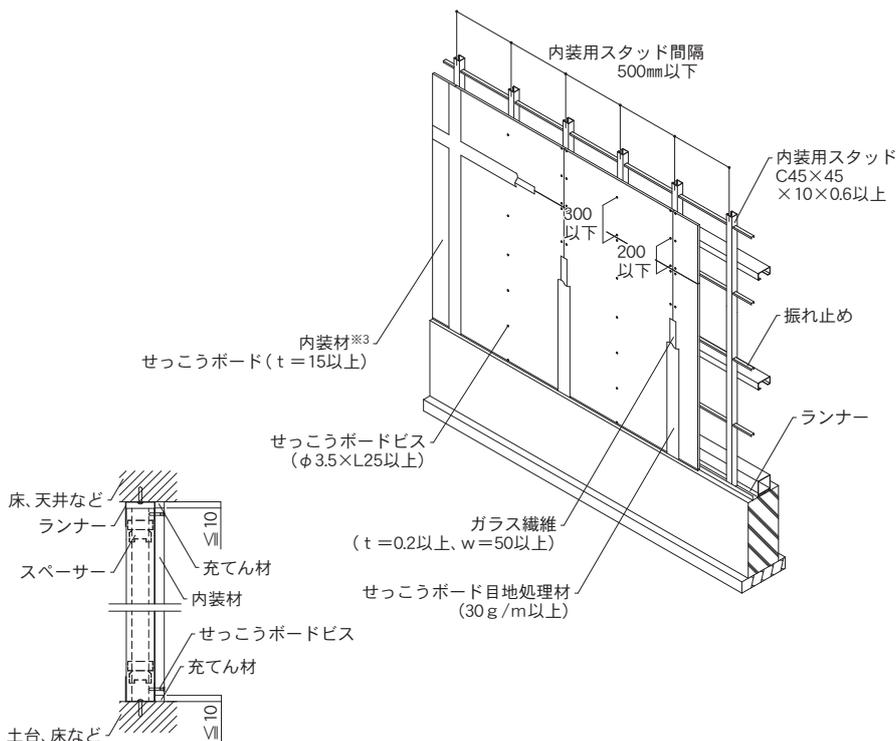
たて張り



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 内装材は、せっこうボード(9.5mm以上+12.5mm以上)の重ね張りも可能です。
- (注) たてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。

〔耐火ヴァンドRZ50V せっこうボード内装張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・せっこうボード15mm以上(9.5mm以上+12.5mm以上の重ね張りも可能)をせっこうボードビス(φ3.5×L25以上)を用いて、外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。床、天井などの取り合い部のすき間は10mm以下としてください。
- ・せっこうボードの目地部は、ガラス繊維(t=0.2mm以上, w=50mm以上)を貼り、せっこうボード目地処理材(主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上)を施してください。
- ・せっこうボードを重ね張りする場合は別途、認定書をご確認ください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

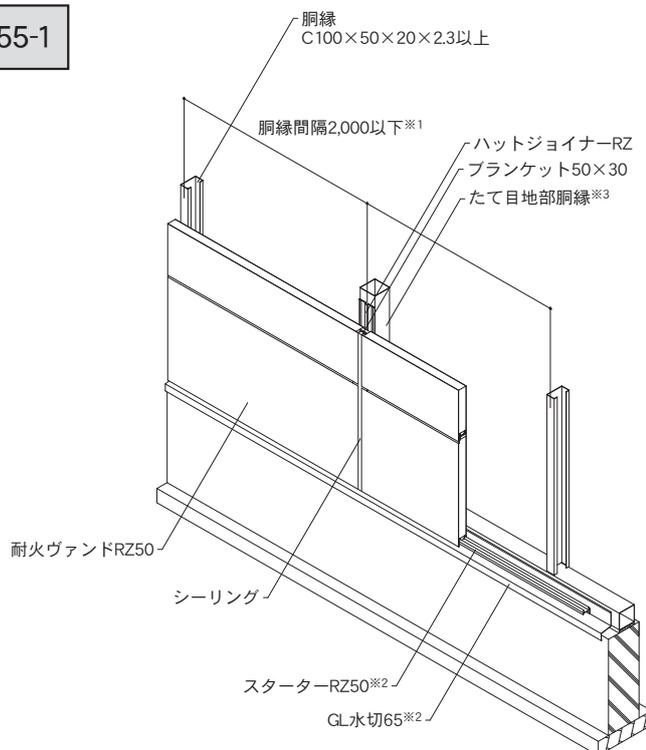
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 防火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50

国土交通省大臣認定

PC030NE-0155-1

よこ張り



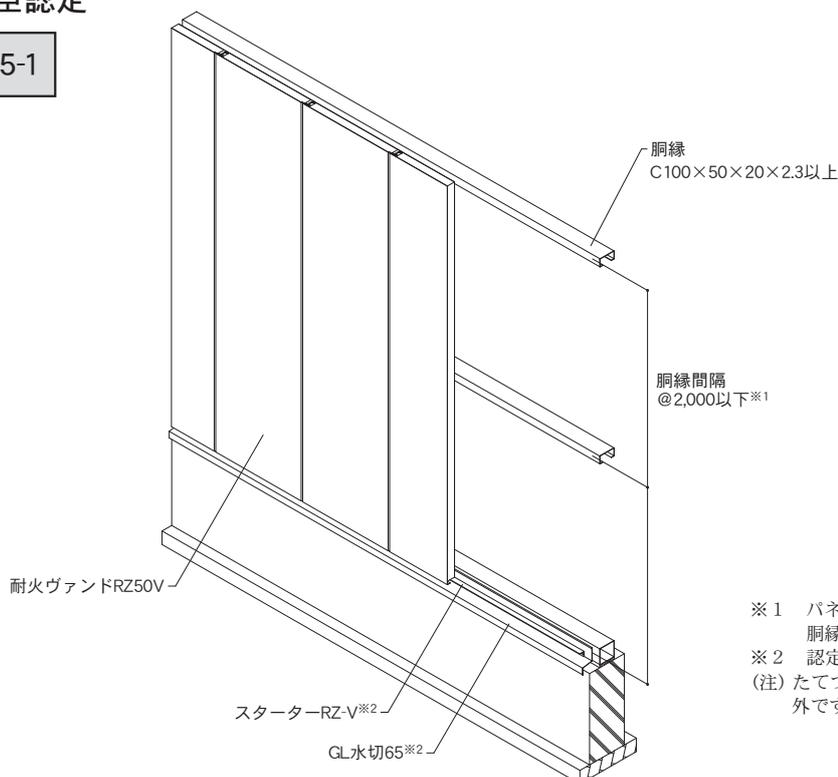
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は、 $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上または  $2C100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ 以上としてください。
- (注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくは P129 を参照してください。

## 防火構造（外壁非耐力壁）：耐火ヴァンドRZ50V

国土交通省大臣認定

PC030NE-0155-1

たて張り



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

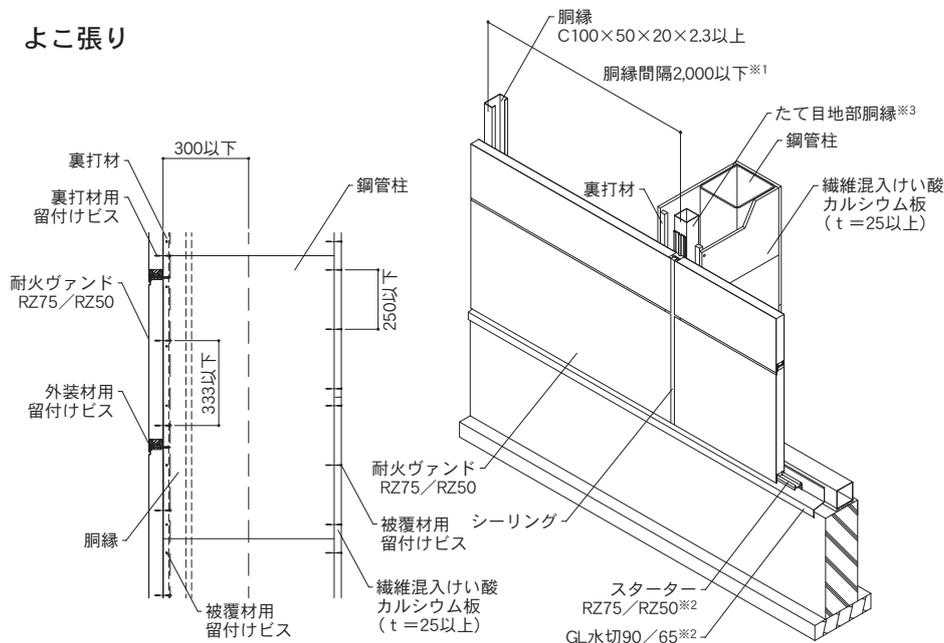
MEMO

## 柱1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75

国土交通省大臣認定

FP060CN-0787-1 鋼管柱：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

よこ張り



(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

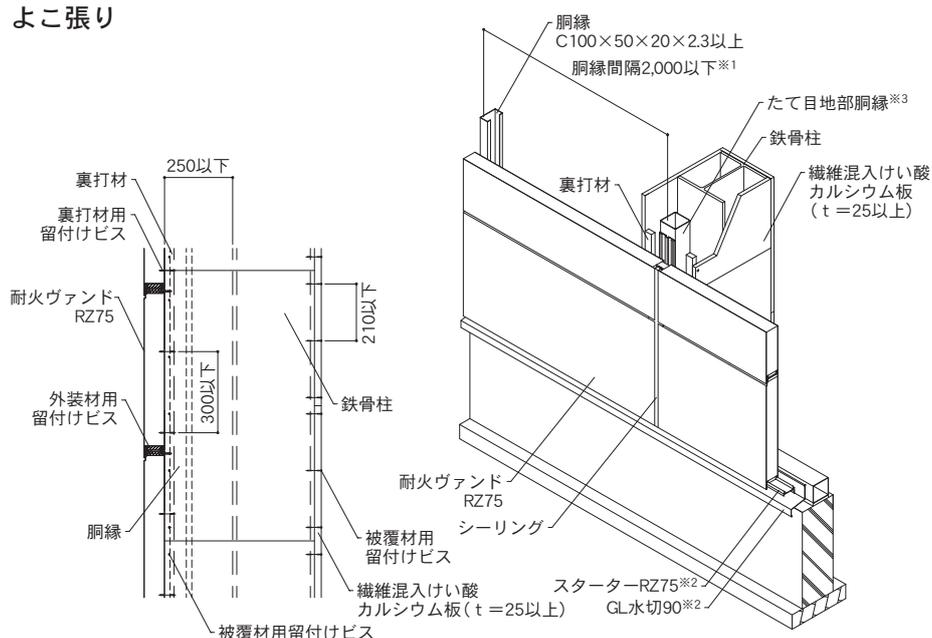
- ・鋼管柱の寸法は、 $\square 300 \times 300 \times 9$ 以上または、 $\phi 382 \times 9$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鋼管柱の間隔は300mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・被覆材は繊維混入けい酸カルシウム板  $t=25\text{mm}$ 以上（密度 $0.25\text{ g/cm}^3$ 以上）を使用してください。
- ・外装材と被覆材の取り付け部に裏打材（繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ $25\text{mm} \times$ 幅 $35\text{mm}$ 以上）を裏打材用留付けビスで $333\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・被覆材は側面のよこ目地が揃わないように配置し、小口及び裏打材に被覆材用留付けビスで $250\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 耐火被覆と取り合うたて目地部の胴縁は $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上としてください。

国土交通省大臣認定

FP060CN-0521-2 鉄骨柱：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

よこ張り



○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

- ・鉄骨柱の寸法は、 $H300 \times 300 \times 10 \times 15$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨柱の間隔は $250\text{mm}$ 以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・繊維混入けい酸カルシウム板  $t=25\text{mm}$ 以上（密度 $0.20\text{ g/cm}^3$ 以上）は国土交通省大臣認定NM-8578を使用してください。
- ・外装材と被覆材の取り付け部に裏打材（繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ $35\text{mm} \times$ 幅 $50\text{mm}$ 以上）を裏打材用留付けビスで $300\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・被覆材は側面のよこ目地が揃わないように配置し、小口及び裏打材に被覆材用留付けビスで $210\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は、 $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上または、 $C100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ 以上リップ合わせとしてください。



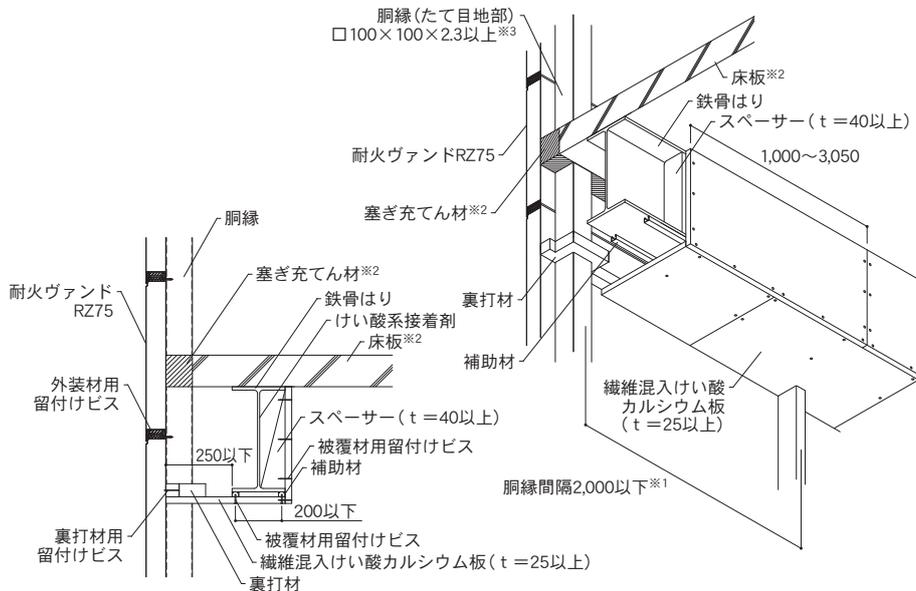
単位：mm

## はり1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75

国土交通省大臣認定

FP060BM-0315-2 鉄骨はり：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

よこ張り



- 鉄骨はりの寸法は、H400×200×8×13以上の断面寸法としてください。
- 外装材と鉄骨はりの間隔は250mm以下としてください。
- 外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- 繊維混入けい酸カルシウム板  $t=25\text{mm}$  以上（密度 $0.20\text{g/cm}^3$ 以上）は国土交通省大臣認定NM-8578を使用してください。
- スペーサー（繊維混入けい酸カルシウム板）を鉄骨はり中空部に $1,000\text{mm}$ 以下の間隔で貼り付けてください。
- 鉄骨はり側面の被覆材はスペーサー上で突合せて留め付けてください。
- 鉄骨はり下フランジに補助材を溶接してください。はり幅が $200\text{mm}$ の場合は1本または2本。 $200\text{mm}$ 以上の場合は2本以上で、取付け間隔は $200\text{mm}$ 以下としてください。
- 外装材と被覆材の取り付け部に裏打材（ロックウールもしくは生体溶解性繊維ブランケットまたは、繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ $50\times$ 幅 $50$ 以上）を裏打材用留付けビスで $500\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- 被覆材は、側面と底面のつなぎ部がそろわないよう千鳥状に取り付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地の胴縁は $\square 100\times 100\times 2.3$ 以上または、 $C100\times 50\times 20\times 2.3$ 以上リップ合わせとしてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

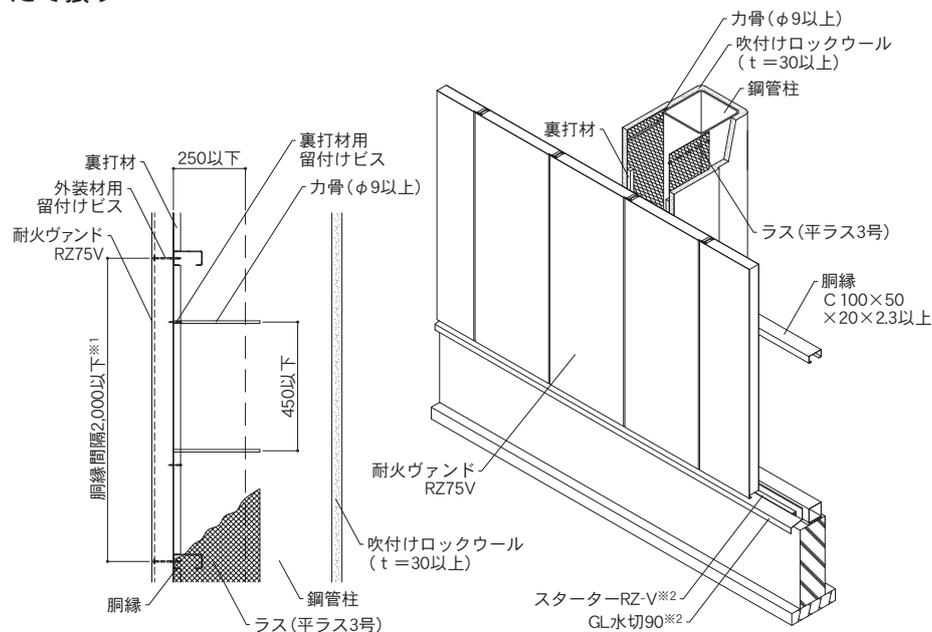
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 柱1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75V

国土交通省大臣認定

FP060CN-0489-1 鋼管柱：吹付けロックウール合成被覆

たて張り



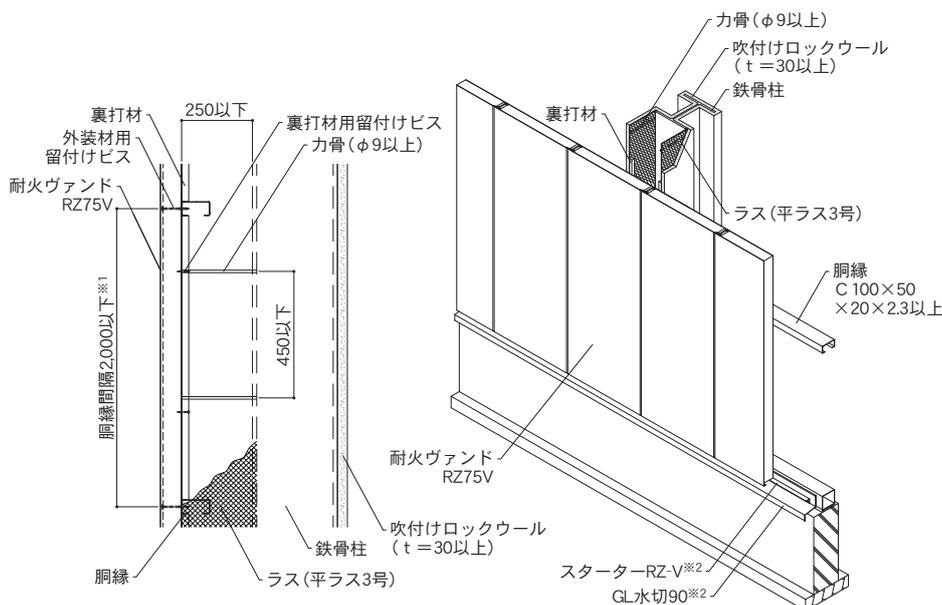
- ・鋼管柱の寸法は、 $\square 300 \times 300 \times 9$ 以上または、 $\phi 382 \times 9$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鋼管柱の間隔は250mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・外装材と吹付けロックウールの取り付け合い部に、裏打材（ロックウール厚さ25mm×幅25mm以上）を裏打材用留付けビスで500mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・外装材と鋼管柱の取り付け合い部に、力骨（鉄筋コンクリート用棒鋼 $\phi 9$ 以上）を450mm以下の間隔で鋼管柱に溶接し、ラス（平ラス3号）を結束線で留め付けてください。
- ・ロックウールの吹付け厚さは30mm以上（密度 $0.28 \text{ g/cm}^3$ 以上）とし、「吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針」（ロックウール工業会編）に従って施工してください。

※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。  
 ※2 認定の対象外です。  
 (注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

国土交通省大臣認定

FP060CN-0500 鉄骨柱：吹付けロックウール合成被覆

たて張り



- ・鉄骨柱の寸法は、 $H 300 \times 300 \times 10 \times 15$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と柱の間隔は250mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・外装材と吹付けロックウールの取り付け合い部に、裏打材（ロックウール厚さ25mm×幅25mm以上）を裏打材用留付けビスで500mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・外装材と柱の取り付け合い部に、力骨（鉄筋コンクリート用棒鋼 $\phi 9$ 以上）を450mm以下の間隔で柱に溶接し、ラス（平ラス3号）を結束線で留め付けてください。
- ・ロックウールの吹付け厚さは30mm以上（密度 $0.28 \text{ g/cm}^3$ 以上）とし、「吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針」（ロックウール工業会編）に従って施工してください。

※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。  
 ※2 認定の対象外です。  
 (注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

単位：mm

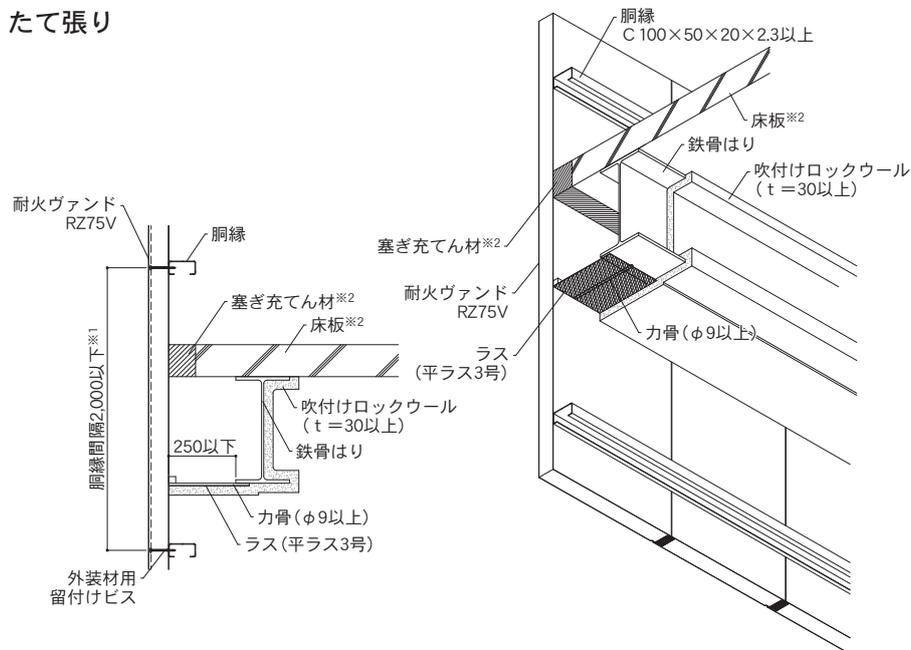
## はり1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75V

国土交通省大臣認定

FP060BM-0313

鉄骨はり：吹付けロックウール合成被覆

たて張り



- ・鉄骨はりの寸法は、H400×200×8×13以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨はりの間隔は250mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・外装材と鉄骨はりの取り付け部に、カ骨（鉄筋コンクリート用棒鋼φ9mm以上）を450mm以下の間隔で鉄骨はりに溶接し、ラス（平ラス3号）を結束線で留め付けてください。
- ・塞ぎ充てん材はモルタル、グラスウール、ロックウール保温板を使用してください。
- ・ロックウールの吹付け厚さは30mm以上（密度0.28g/cm<sup>3</sup>以上）とし、「吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針」（ロックウール工業会編）に従って施工してください。

※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。

※2 認定の対象外です。

(注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

2

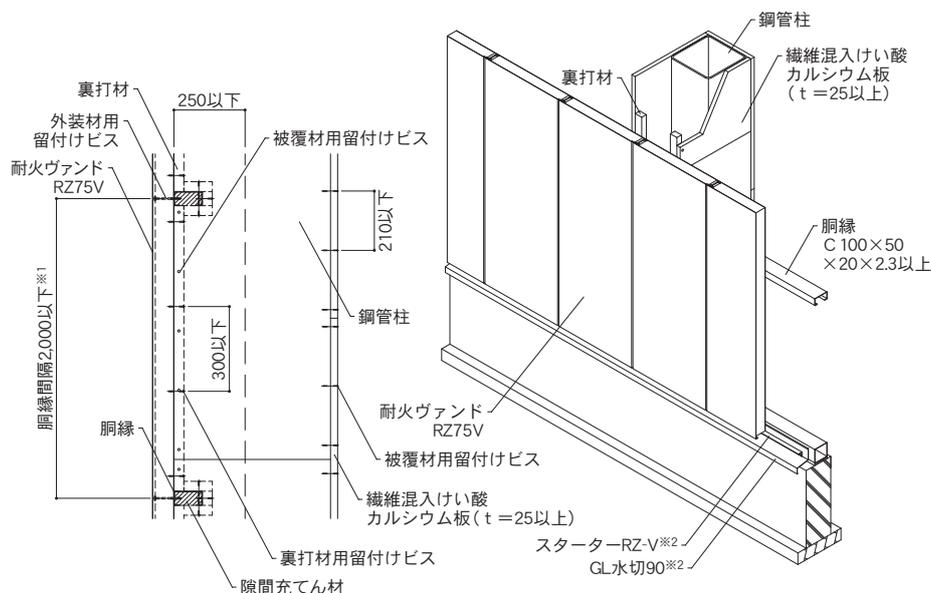
耐火ヴァンドRZ

## 柱1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75V

国土交通省大臣認定

FP060CN-0526-1 鋼管柱：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

たて張り



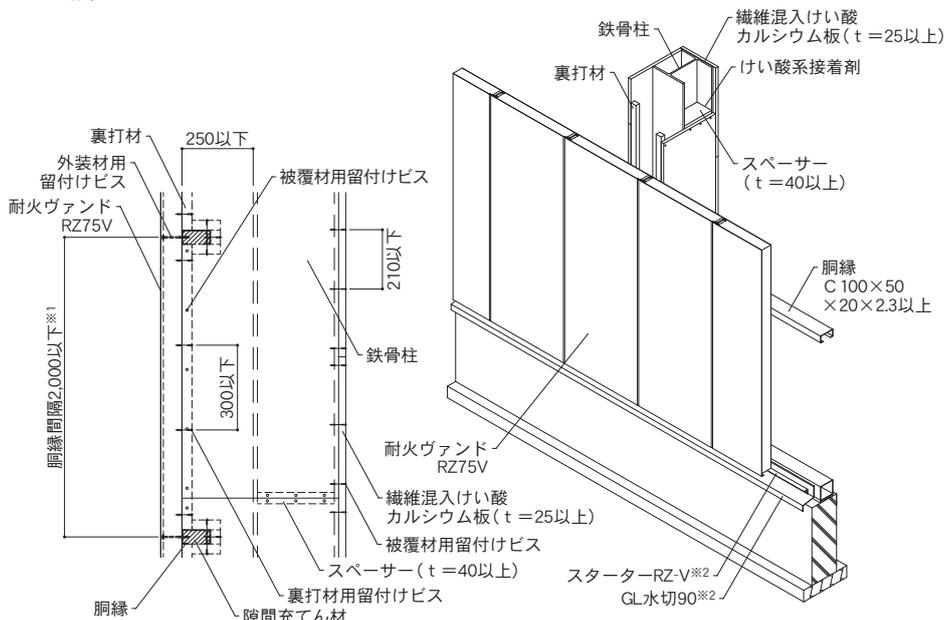
- ・鋼管柱の寸法は、 $\square 300 \times 300 \times 9$ 以上または、 $\phi 382 \times 9$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鋼管柱の間隔は250mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・繊維混入けい酸カルシウム板  $t = 25$  mm以上（密度 $0.20 \text{ g/cm}^3$ 以上）は国土交通省大臣認定NM-8578を使用してください。
- ・外装材と被覆材の取り合い部に裏打材（繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ $35 \text{ mm} \times$ 幅 $50 \text{ mm}$ 以上）を裏打材用留付けビスで $300 \text{ mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・被覆材は側面のよこ目地が揃わないように配置し、小口及び裏打材に被覆材用留付けビスで $210 \text{ mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・銅縁と裏打材の取り合い部に隙間が生じる場合は隙間充てん材を充てんしてください。

※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって銅縁間隔が制限される場合があります。  
 ※2 認定の対象外です。  
 (注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

国土交通省大臣認定

FP060CN-0530 鉄骨柱：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

たて張り



- ・鉄骨柱の寸法は、 $H300 \times 300 \times 10 \times 15$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨柱の間隔は250mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・繊維混入けい酸カルシウム板  $t = 25$  mm以上（密度 $0.20 \text{ g/cm}^3$ 以上）は国土交通省大臣認定NM-8578を使用してください。
- ・外装材と被覆材の取り合い部に裏打材（繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ $35 \text{ mm} \times$ 幅 $50 \text{ mm}$ 以上）を裏打材用留付けビスで $300 \text{ mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・スペーサー（繊維混入けい酸カルシウム板）を鉄骨中空部に $1,000 \text{ mm}$ 以下の間隔で取り付けてください。
- ・鉄骨柱側面の被覆材はスペーサー上で突き合せて留め付けてください。
- ・被覆材は側面のよこ目地が揃わないように配置し、小口及び裏打材に被覆材用留付けビスで $210 \text{ mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・銅縁と裏打材の取り合い部に隙間が生じる場合は隙間充てん材を充てんしてください。

※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって銅縁間隔が制限される場合があります。  
 ※2 認定の対象外です。  
 (注) たてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

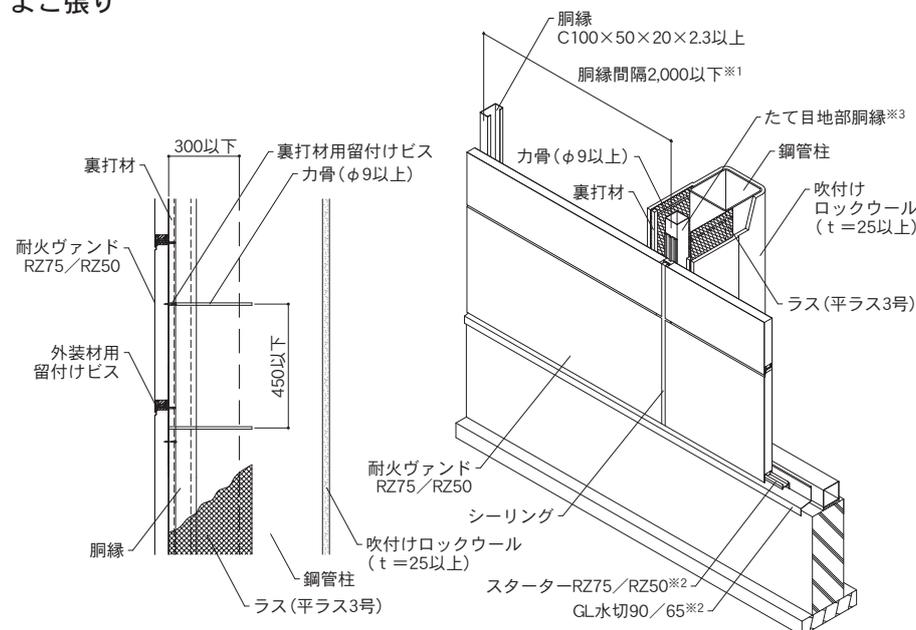


## 柱1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75/RZ50

国土交通省大臣認定

FP060CN-0781-1 鋼管柱：吹付けロックウール合成被覆

よこ張り



(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

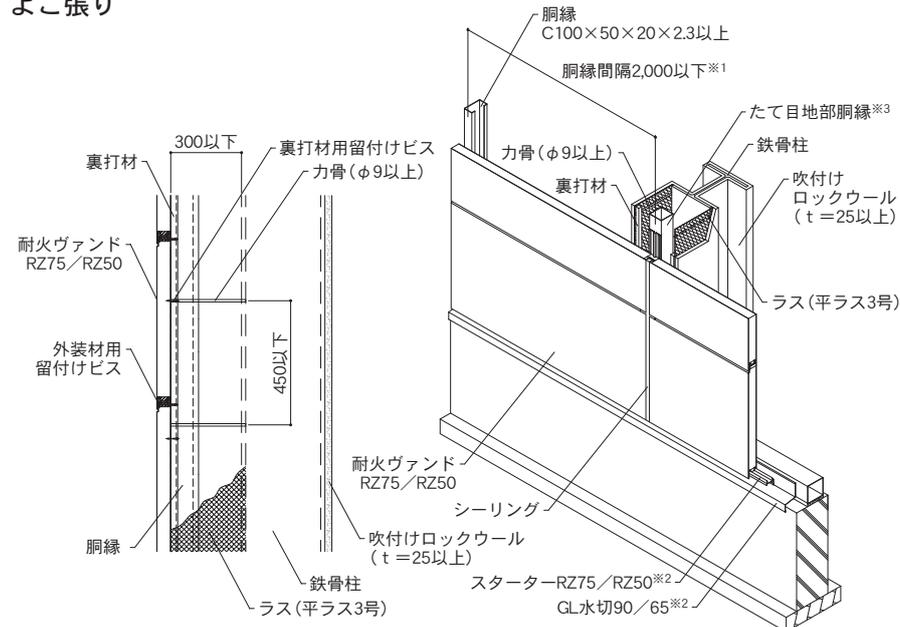
- ・鋼管柱の寸法は、 $\square 300 \times 300 \times 9$ 以上または、 $\phi 382 \times 9$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鋼管柱の間隔は300mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・外装材と吹付けロックウールの取り付け合い部に、裏打材（ロックウールもしくは生体溶解性繊維ブランケット厚さ25mm×幅25mm以上）を裏打材用留付けビスで500mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・外装材と鋼管柱の取り付け合い部に、カ骨（鉄筋コンクリート用棒鋼 $\phi 9$ mm以上）を450mm以下の間隔で鋼管柱に溶接し、ラス（平ラス3号）を結束線で留め付けてください。
- ・ロックウールの吹付け厚さは25mm以上（密度 $0.28 \text{ g/cm}^3$ 以上）とし、「吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針」（ロックウール工業会編）に従って施工してください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって鋼縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 耐火被覆と取り合うたて目地部の鋼縁は $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上としてください。

国土交通省大臣認定

FP060CN-0782-1 鉄骨柱：吹付けロックウール合成被覆

よこ張り



(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

- ・鉄骨柱の寸法は、 $H300 \times 300 \times 10 \times 15$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨柱の間隔は300mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・外装材と吹付けロックウールの取り付け合い部に、裏打材（ロックウールもしくは生体溶解性繊維ブランケット厚さ25mm×幅25mm以上）を裏打材用留付けビスで500mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・外装材と鉄骨柱の取り付け合い部に、カ骨（鉄筋コンクリート用棒鋼 $\phi 9$ mm以上）を450mm以下の間隔で鉄骨柱に溶接し、ラス（平ラス3号）を結束線で留め付けてください。
- ・ロックウールの吹付け厚さは25mm以上（密度 $0.28 \text{ g/cm}^3$ 以上）とし、「吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針」（ロックウール工業会編）に従って施工してください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって鋼縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 耐火被覆と取り合うたて目地部の鋼縁は $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上としてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

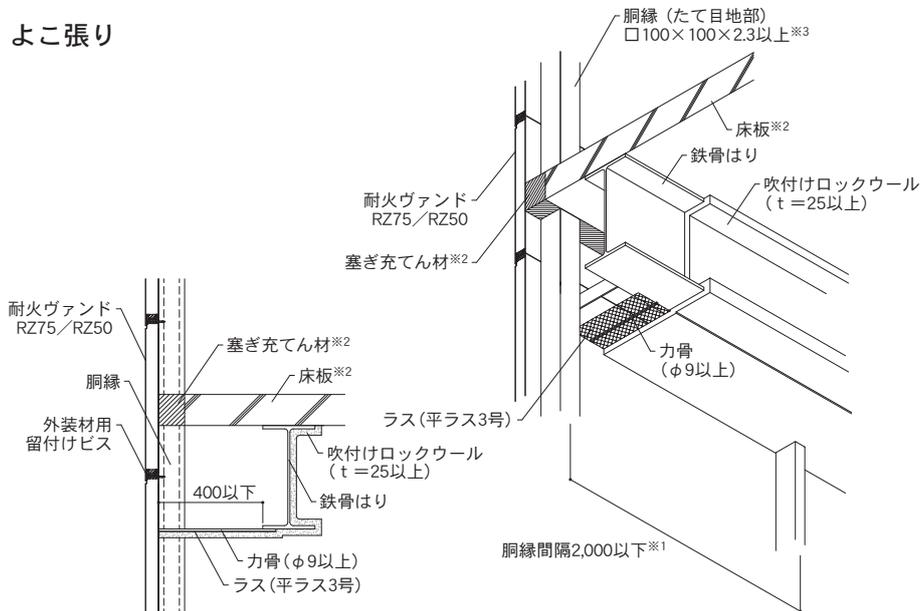
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## はり1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75/RZ50

国土交通省大臣認定

FP060BM-0475-1 鉄骨はり：吹付けロックウール合成被覆

## よこ張り



- ・鉄骨はりの寸法は、H400×200×8×13以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨はりの間隔は400mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・外装材とはりの取り付け部に、力骨（鉄筋コンクリート用棒鋼φ9mm以上）を450mm以下の間隔で鉄骨はりに溶接し、ラス（平ラス3号）を結束線で留め付けてください。
- ・ロックウールの吹付け厚さは25mm以上（密度0.28g/cm<sup>3</sup>以上）とし、「吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針」（ロックウール工業会編）に従って施工してください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は□100×100×2.3以上としてください。

(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

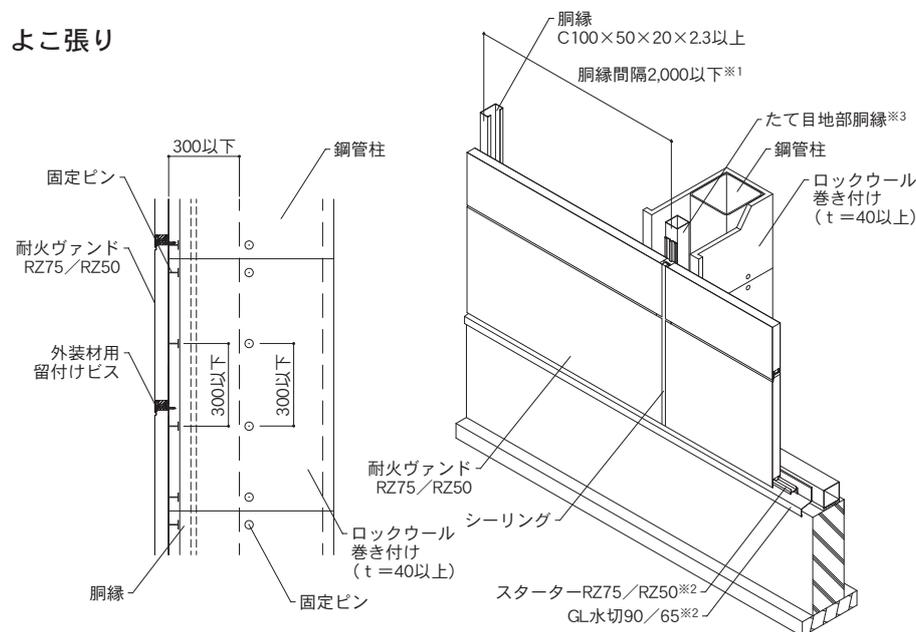
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 柱1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75/RZ50

国土交通省大臣認定

FP060CN-0769-1 鋼管柱：ロックウール巻き付け合成被覆

### よこ張り



- ・鋼管柱の寸法は、 $\square 300 \times 300 \times 9$ 以上または、 $\phi 382 \times 9$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鋼管柱の間隔は300mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・ロックウール  $t = 40\text{mm}$ 以上（密度  $80\text{kg}/\text{m}^3$ 以上）を固定ピンで300mm以下の間隔で鋼管柱に留め付けてください。
- ・外装材には、ロックウール（40mm以上）を固定ピンで300mm以下の間隔で留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 耐火被覆と取り合うたて目地部の胴縁は $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上としてください。

(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

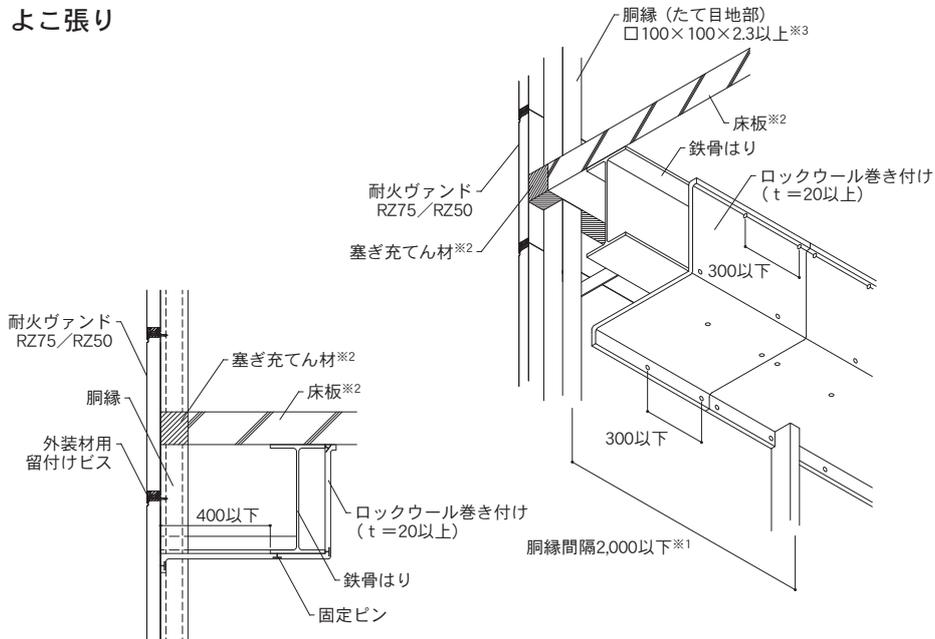


## はり1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75/RZ50

国土交通省大臣認定

FP060BM-0423-2 鉄骨はり：ロックウール巻き付け合成被覆

## よこ張り



- ・鉄骨はりの寸法は、H400×200×8×13以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨はりの間隔は400mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・ロックウール t=20mm以上（密度80kg/m<sup>2</sup>以上）を鉄骨はりの上フランジ部と下フランジ部に300mm以下の間隔で固定ピンで留め付けてください。
- ・外装材には、ロックウール（20mm以上）を固定ピンで300mm以下の間隔で留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は□100×100×2.3以上としてください。

(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

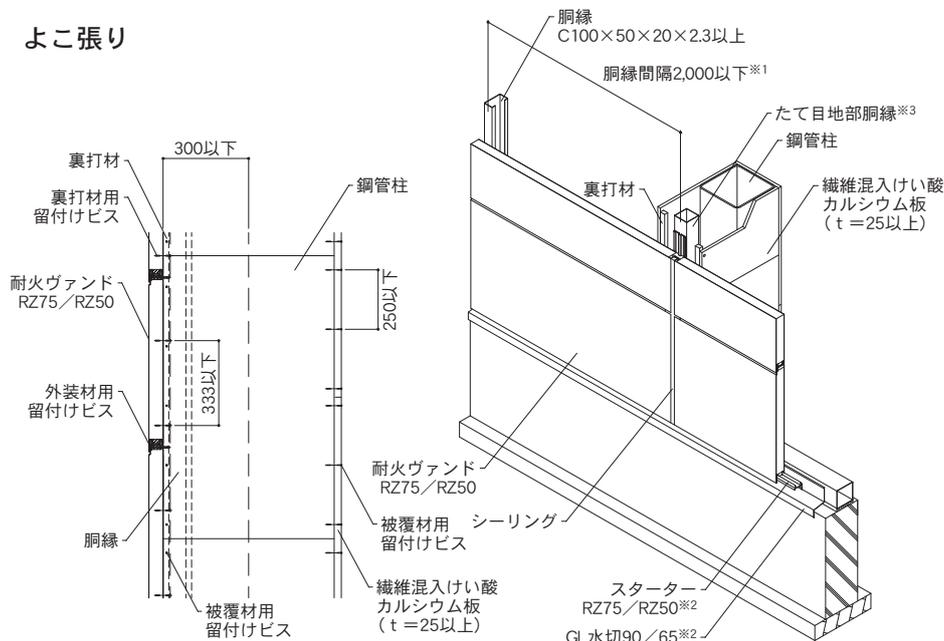
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 柱1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75/RZ50

国土交通省大臣認定

FP060CN-0787-1 鋼管柱：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

よこ張り



- ・鋼管柱の寸法は、 $\square 300 \times 300 \times 9$ 以上または、 $\phi 382 \times 9$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鋼管柱の間隔は300mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・被覆材は繊維混入けい酸カルシウム板  $t = 25\text{mm}$ 以上（密度 $0.25\text{ g/cm}^3$ 以上）を使用してください。
- ・外装材と被覆材の取り付け部に裏打材（繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ $25\text{mm} \times$ 幅 $35\text{mm}$ 以上）を裏打材用留付けビスで $333\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・被覆材は側面のよこ目地が揃わないように配置し、小口及び裏打材に被覆材用留付けビスで $250\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。

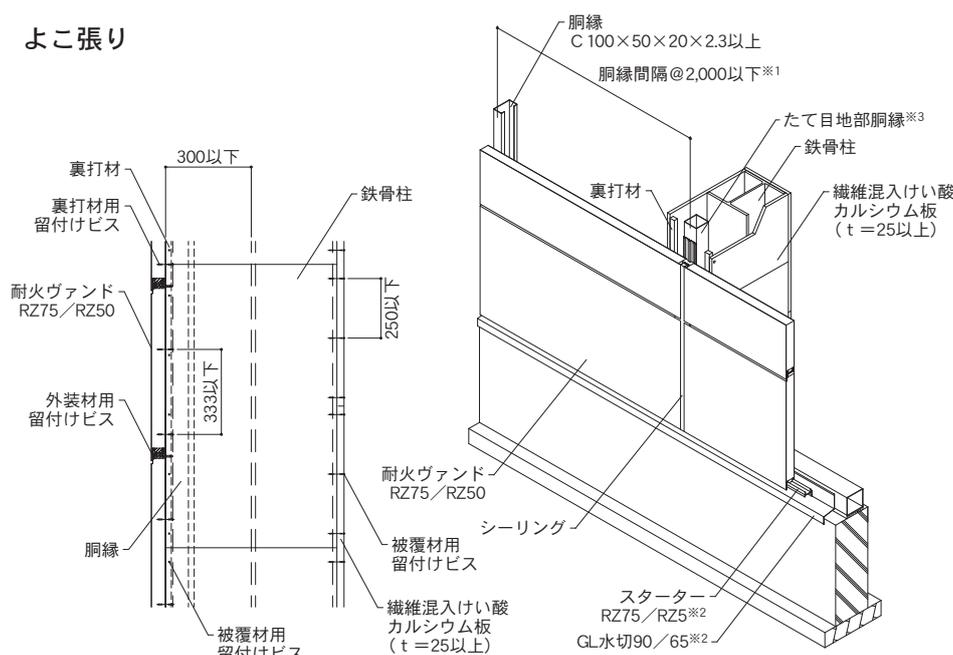
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 耐火被覆と取り合うたて目地部の胴縁は $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上としてください。

(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

国土交通省大臣認定

FP060CN-0811-1 鉄骨柱：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

よこ張り



- ・鉄骨柱の寸法は、 $H300 \times 300 \times 10 \times 15$ 以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨柱の間隔は300mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・被覆材は繊維混入けい酸カルシウム板  $t = 25\text{mm}$ 以上（密度 $0.25\text{ g/cm}^3$ 以上）を使用してください。
- ・外装材と被覆材の取り付け部に裏打材（繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ $25\text{mm} \times$ 幅 $35\text{mm}$ 以上）を裏打材用留付けビスで $333\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。
- ・被覆材は側面のよこ目地が揃わないように配置し、小口及び裏打材に被覆材用留付けビスで $250\text{mm}$ 以下の間隔で留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 耐火被覆と取り合うたて目地部の胴縁は $\square 100 \times 100 \times 2.3$ 以上としてください。

(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

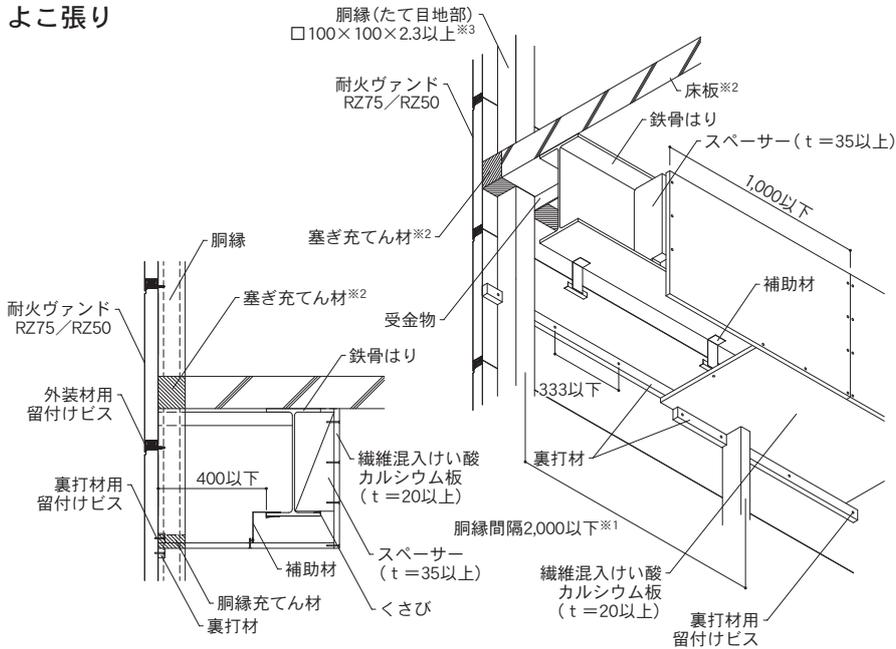
単位：mm

## はり1時間合成耐火構造：耐火ヴァンドRZ75/RZ50

国土交通省大臣認定

FP060BM-0489-1 鉄骨はり：繊維混入けい酸カルシウム板合成被覆

### よこ張り



(注) 耐火ヴァンド RZ50 のたて目地とよこ目地が交差する十字シールの長さに認定上の制限があります。詳しくはP129を参照してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

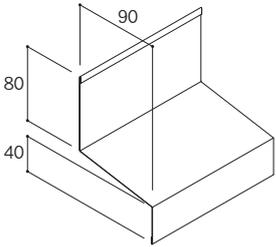
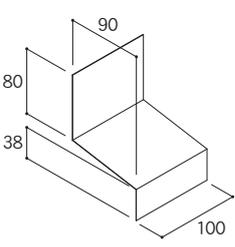
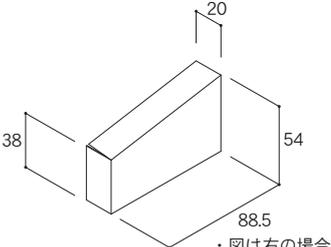
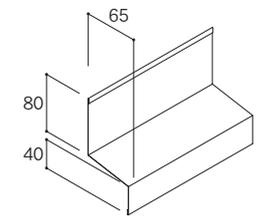
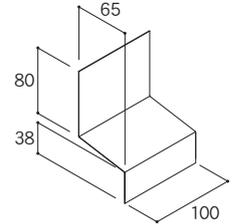
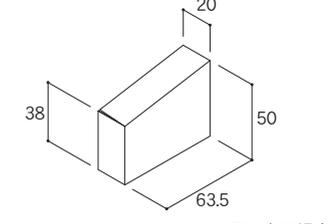
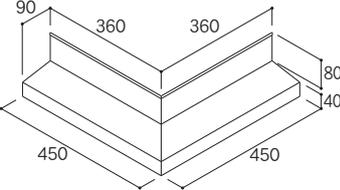
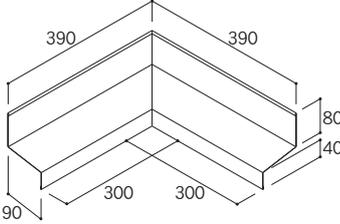
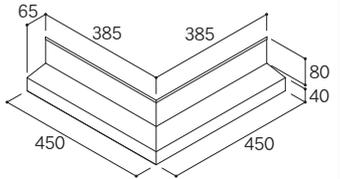
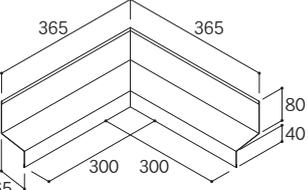
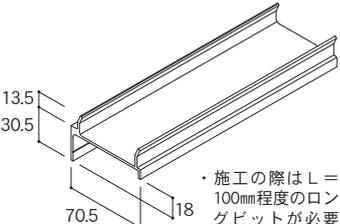
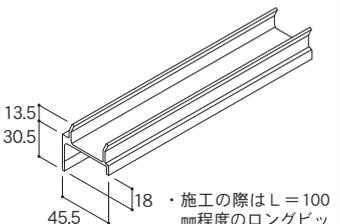
- ・鉄骨はりの寸法は、H400×200×8×13以上の断面寸法としてください。
- ・外装材と鉄骨はりの間隔は400mm以下としてください。
- ・外装材の取り付けは、外壁の耐火構造認定に従って施工してください。
- ・被覆材は繊維混入けい酸カルシウム板 t = 20mm以上 (密度0.25 g/cm<sup>3</sup>以上) を使用してください。
- ・スペーサー (繊維混入けい酸カルシウム板) は、くさび及びスペーサー用留付け材を用いて鉄骨はり中空部に1,000mm以下の間隔で取り付けしてください。
- ・鉄骨はり側面の被覆材はスペーサー上で突き合わせて留め付けてください。
- ・鉄骨はり下フランジに補助材を1,000mm以下の間隔で取り付けしてください。
- ・外装材と被覆材の取り付け部に裏打材 (繊維混入けい酸カルシウム板で厚さ25×幅35以上) を裏打材用留付けビスで333mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・被覆材は、側面と底面のつなぎ部が揃わないよう千鳥状に取り付けてください。

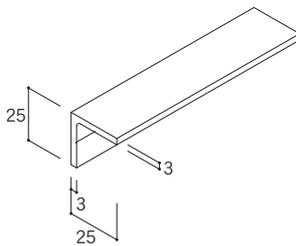
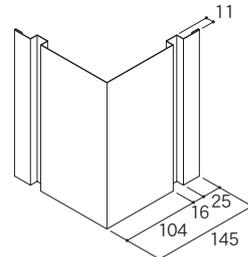
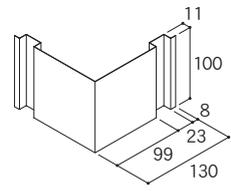
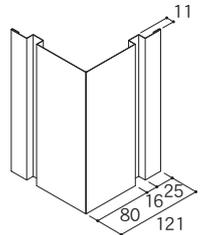
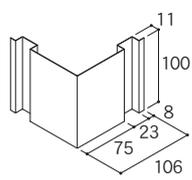
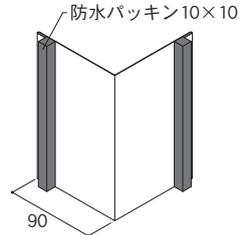
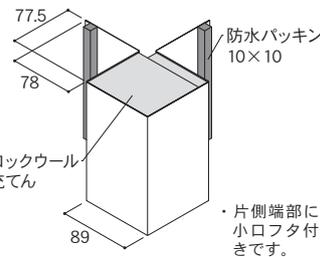
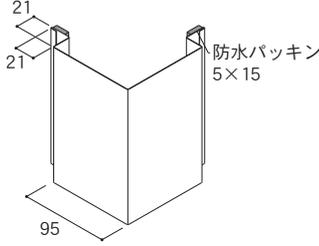
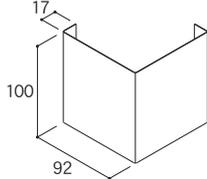
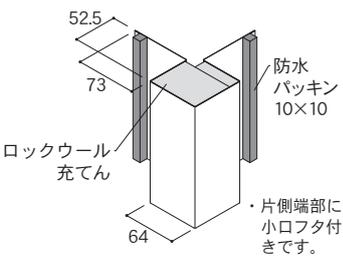
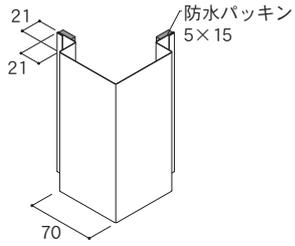
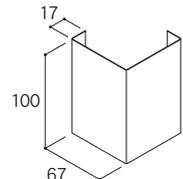
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は□100×100×2.3以上としてください。

2

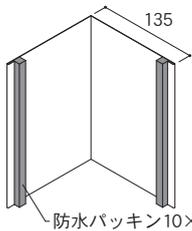
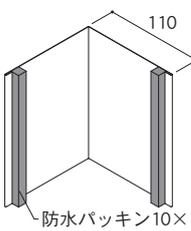
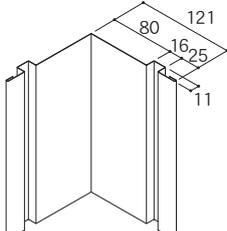
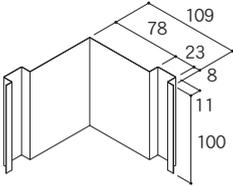
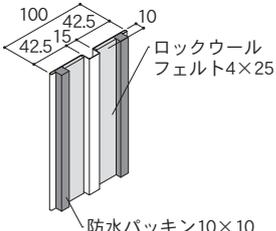
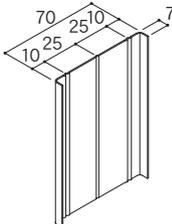
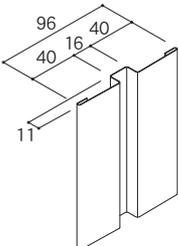
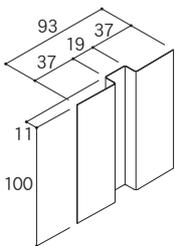
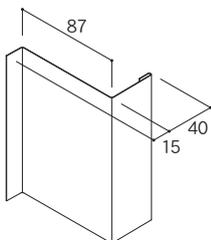
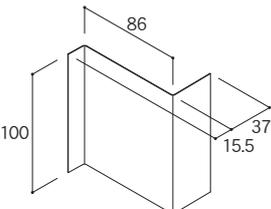
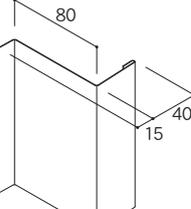
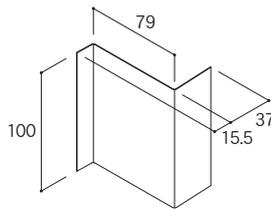
耐火ヴァンドRZ

[7] 部材 それぞれのヴァンド本体には●の付いた部材が適応します。

商品名		GL水切90	GL90水切ジョイント※	GL90水切小口蓋 (右・左)
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=4,000	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V			
商品名		GL水切65	GL65水切ジョイント※	GL65水切小口蓋 (右・左)
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=4,000	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V			
商品名		GL90水切出隅	GL90水切入隅	GL65水切出隅
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5	本体同質同色鋼板 t=0.5	本体同質同色鋼板 t=0.5
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V			
商品名		GL65水切入隅	スターター-RZ75	スターター-RZ50
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5	アルミ押出型材 アルマイトクリアー t=2 L=4,000	アルミ押出型材 アルマイトクリアー t=2 L=4,000
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V		●耐火ヴァンドRZ75のみ	
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●		●耐火ヴァンドRZ50のみ

商品名		スターターRZ-V	出隅カバー75	出隅カバー75ジョイント※
形状・寸法 材質				
		アルミ押出型材 アルマイトクリアー t=3 L=4,000	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●耐火ヴァンドRZ75Vのみ	●	●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●耐火ヴァンドRZ50Vのみ		
商品名		出隅カバー35-50	出隅カバー35-50ジョイント※	出隅捨板※
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=4,000
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●	●	●
商品名		出隅角75下地※	出隅角75カバー	出隅角75カバージョイント※
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.35 L=2,270	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●耐火ヴァンドRZ75のみ	●耐火ヴァンドRZ75のみ	●耐火ヴァンドRZ75のみ
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V			
商品名		出隅角50下地※	出隅角50カバー	出隅角50カバージョイント※
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.35 L=2,270	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V			
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●耐火ヴァンドRZ50のみ	●耐火ヴァンドRZ50のみ	●耐火ヴァンドRZ50のみ

※色については弊社にお任せください。

商品名		入隅捨板75	入隅捨板35-50	入隅カバー
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=4,000	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=4,000	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●		●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V		●	●
商品名		入隅カバージョイント※	ハットジョイナーZ	カバープレート※
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.35 L=4,000	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.8 L=4,000
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●耐火ヴァンドRZ75のみ	●耐火ヴァンドRZ75のみ
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●	●耐火ヴァンドRZ50のみ	●耐火ヴァンドRZ50のみ
商品名		目地キャップS	目地キャップSジョイント	見切75S
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●耐火ヴァンドRZ75のみ	●耐火ヴァンドRZ75のみ	●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●耐火ヴァンドRZ50のみ	●耐火ヴァンドRZ50のみ	
商品名		見切75Sジョイント	フラット見切75S	フラット見切75Sジョイント
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V			

単位：mm

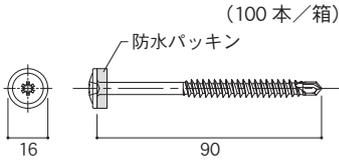
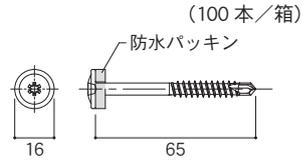
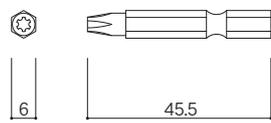
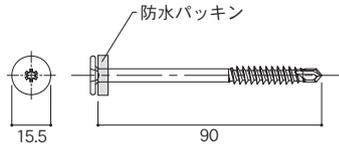
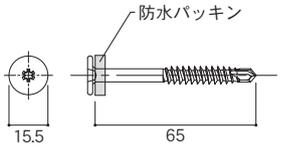
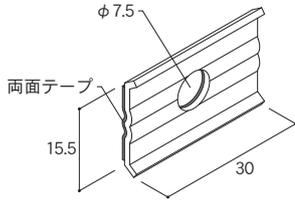
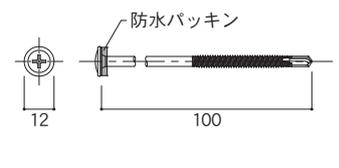
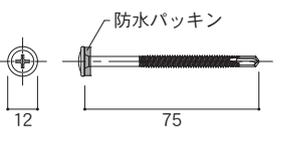
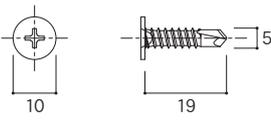
商品名		見切50S	見切50Sジョイント	フラット見切50S
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●
本体	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●	●	●
商品名		フラット見切50Sジョイント	かん合部パッキンス	裏面横走り防止パッキン
形状・寸法 材質			(50ヶ/CS) 	(50ヶ/シート) 
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100	発泡EPDM	発泡ウレタン
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●耐火ヴァンドRZ75のみ
本体	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●	●	●耐火ヴァンドRZ50のみ
商品名		防水パッキン10×10	防水パッキン10×10×100	ブランケット50×55
形状・寸法 材質		(10本/CS) 	(10本/シート) 	(20本/CS) 
		発泡EPDM L=3,600	発泡EPDM L=100	生体溶解性繊維 L=1,200
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	●
本体	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●	●	●
商品名		ブランケット50×30	同質コイル	
形状・寸法 材質		(20本/CS) 	(6m/本) 	
		生体溶解性繊維 L=1,200	本体同質同色鋼板 t=0.5 板幅=914	
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●	●	
本体	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V	●	●	

※色については弊社にお任せください。

2

耐火ヴァンドRZ

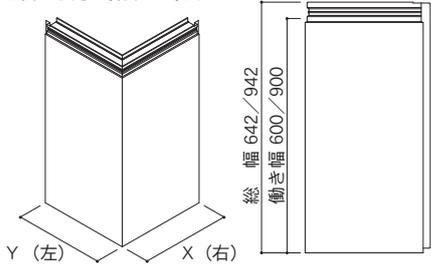
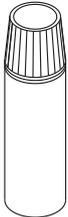
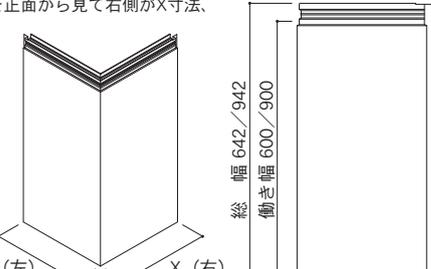
単位：mm

商品名		TWL690N	TWL665N	ビットTWL
形状・寸法 材質		(100本/箱) 	(100本/箱) 	
		軸径6.5mm シンワッシャータイプ ・ディスク処理により、優れた耐食性。 ・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。 ・ビットTWL以外では施工できません。 ・ビットTWLが1箱に1個付属します。		
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●		●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V		●	●
商品名		FHL790R※1	FHL765R※1	FHL用座金※1
形状・寸法 材質		(100本/箱) 	(100本/箱) 	(100個/箱) 
		軸径7mm 平頭タイプ ・ディスク処理により、優れた耐食性。 ・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。 ・ビットTWL以外では施工できません。 ・ビットTWLが1箱に1個付属します。		
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●		●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V		●	●
商品名		TW5100	TW570	FH519
形状・寸法 材質		(100本/箱) 	(200本/箱) 	(700本/箱) 
		軸径5mm シンワッシャータイプ ・ジオメット処理により、優れた耐食性。 ・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。 ・十字ビット2番で施工できます。		
本体	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●		●
	耐火ヴァンドRZ50/RZ50V		●	●

※1 FHL790R、FHL765RはFHL用座金と組み合わせて使用してください。



単位：mm

商品名		耐火RZ75 L型出隅	タッチアップペイント※2※3
形状・寸法 材質	<p>L型出隅の発注寸法は、商品を正面から見て右側がX寸法、左側がY寸法です。</p>  <p>・ X+Y=900~1,800mmの間で1mm単位でオーダー可能。 但しX≥200mmかつY≥200mm。 ・ 両端箱折 ・ 本体同質同色</p>		 <p>15ml</p> <p>【表面材用】 ポリエステル各色 フッ素各色 【裏面材用】 ライトグレー</p>
	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●耐火ヴァンドRZ75のみ	●
耐火ヴァンドRZ50/RZ50V		●	
商品名		耐火RZ50 L型出隅	
形状・寸法 材質	<p>L型出隅の発注寸法は、商品を正面から見て右側がX寸法、左側がY寸法です。</p>  <p>・ X+Y=900~1,800mmの間で1mm単位でオーダー可能。 但しX≥200mmかつY≥200mm。 ・ 両端箱折 ・ 本体同質同色</p>		
	耐火ヴァンドRZ75/RZ75V	●耐火ヴァンドRZ50のみ	
耐火ヴァンドRZ50/RZ50V			

- ※2 タッチアップペイントと商品は塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※3 標準色のみを設定です。準標準色については1kg缶の補修塗料をご用命ください。ただし、受注生産品のためパネル本体と同時に発注してください。

**【注意 !!】** パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。

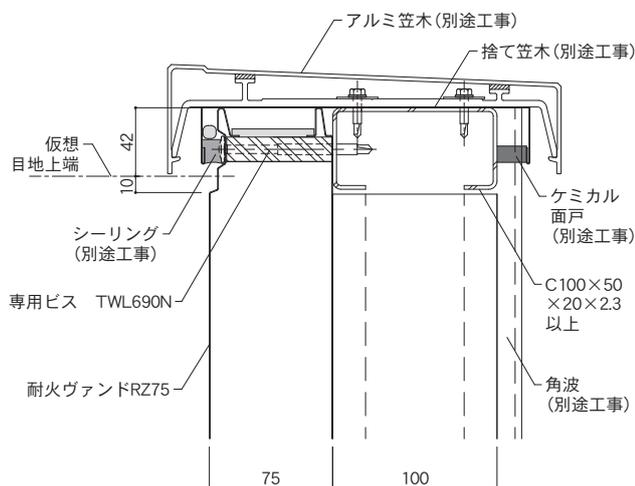
●各種ビスの用途についてはP132の4-4パネル取り付け用専用ビスを参照してください。

2

耐火ヴァンドRZ

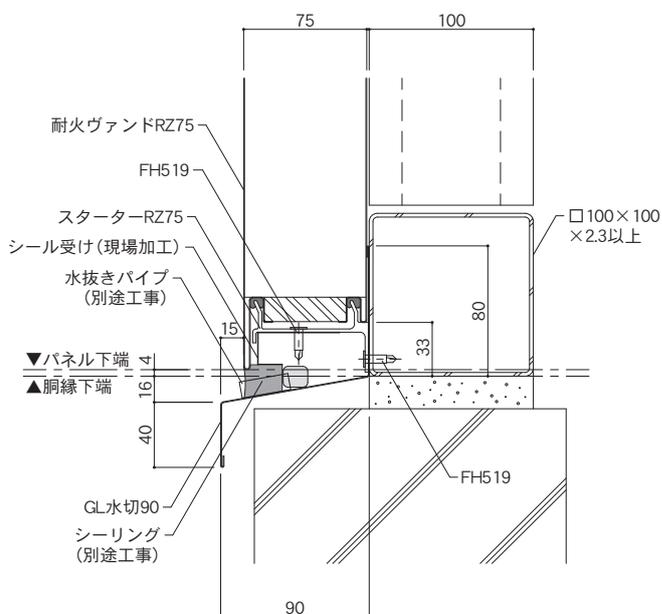
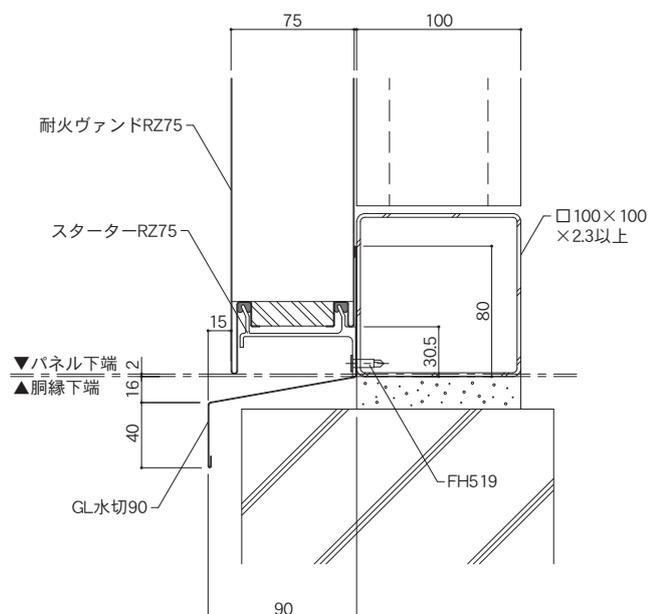
## [8] 納まり参考図 耐火ヴァンドRZ75

### 笠木部



### 水切部(一般納まり)

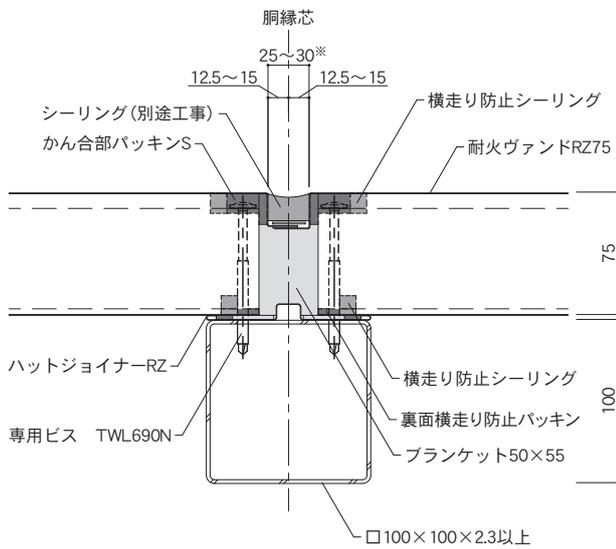
### 水切部(シーリング納まり)



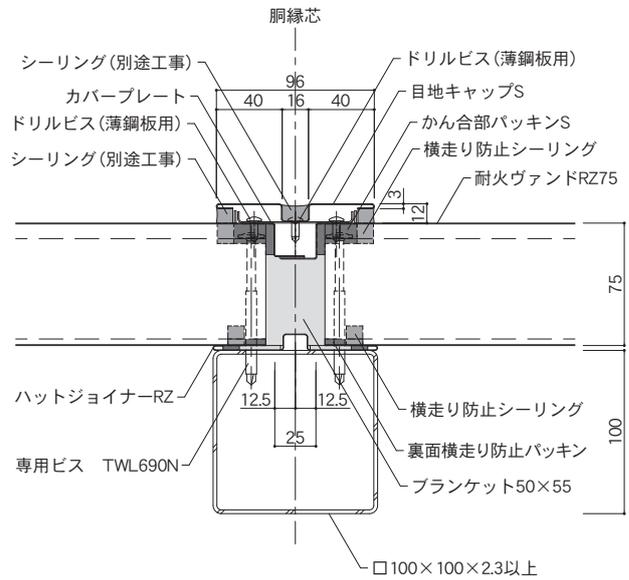
- ・ 納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。
- ・ 漏水しない納まりが必要です。
- ・ 部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。（<https://www.igkogyo.co.jp/>）

たて目地部(シーリングタイプ)

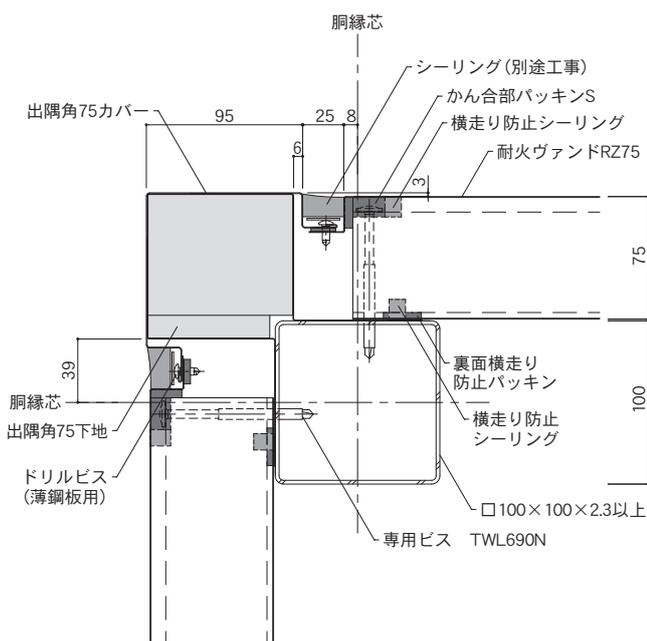


たて目地部(ふかしタイプ)

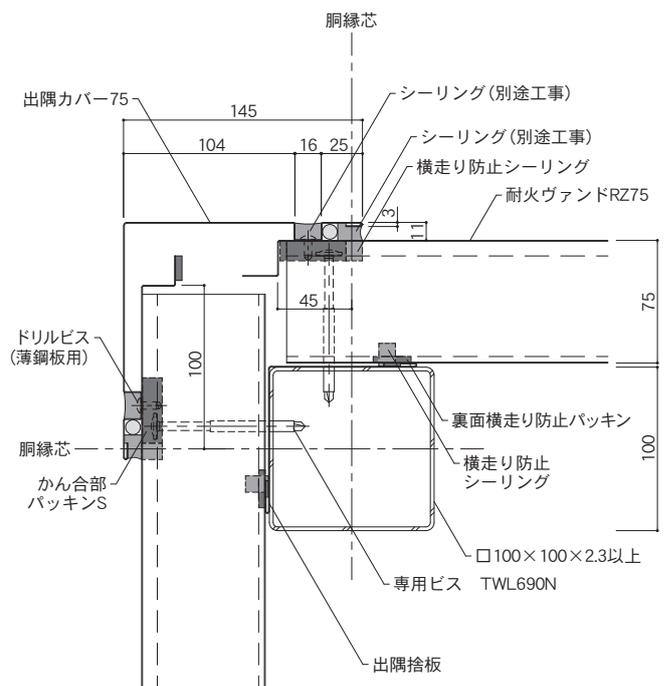


※シーリングタイプのたて目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。

出隅部(出隅角下地+出隅角カバー)



出隅部(出隅カバー)



2

耐火ヴァンドRZ

RZ 75

RZ 75 V

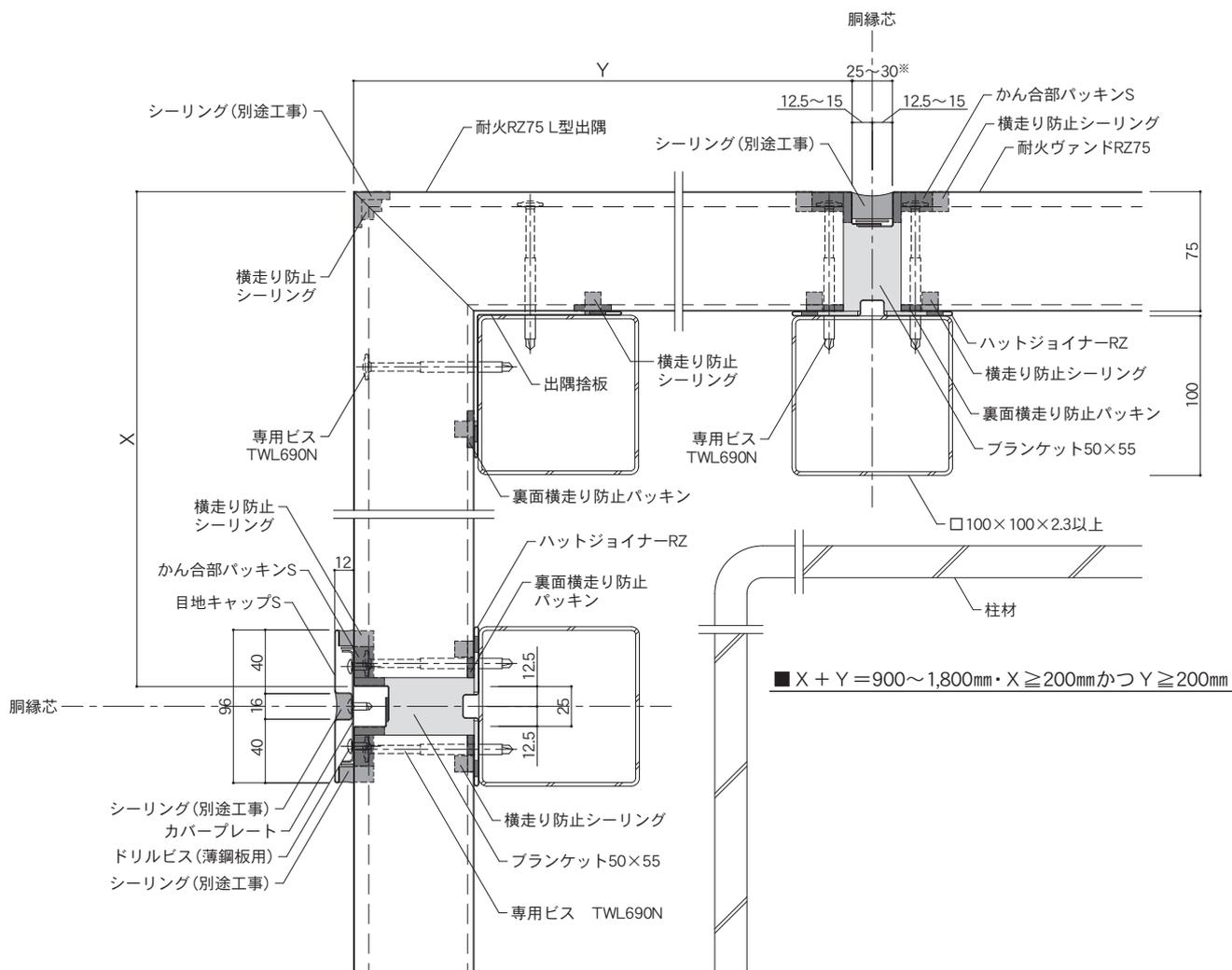
RZ 50

RZ 50 V

## 耐火ヴァンドRZ75

### 出隅部(L型出隅)

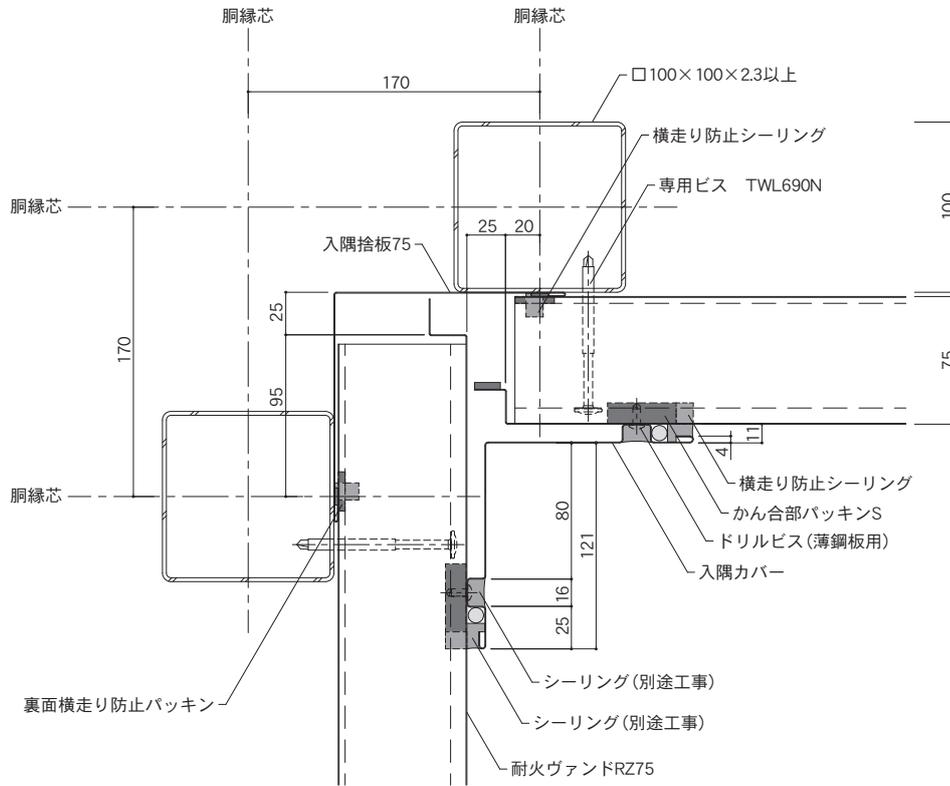
●シーリングタイプ納めの例



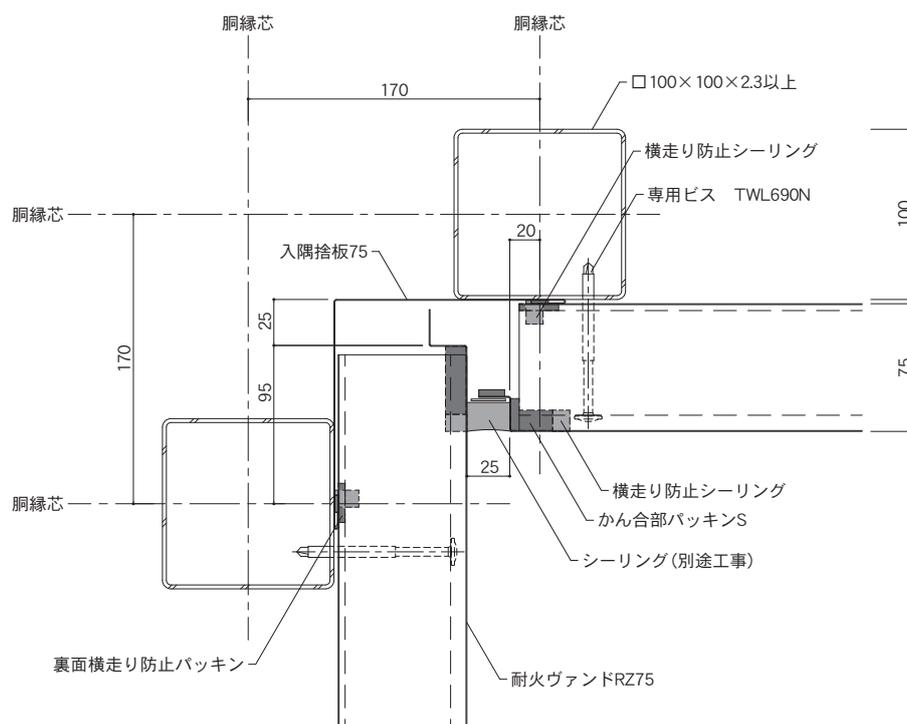
●ふかしタイプ納めの例

※シーリングタイプのため目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。

入隅部(入隅カバー)



入隅部(シーリング)



2

耐火ヴァンドRZ

RZ 75

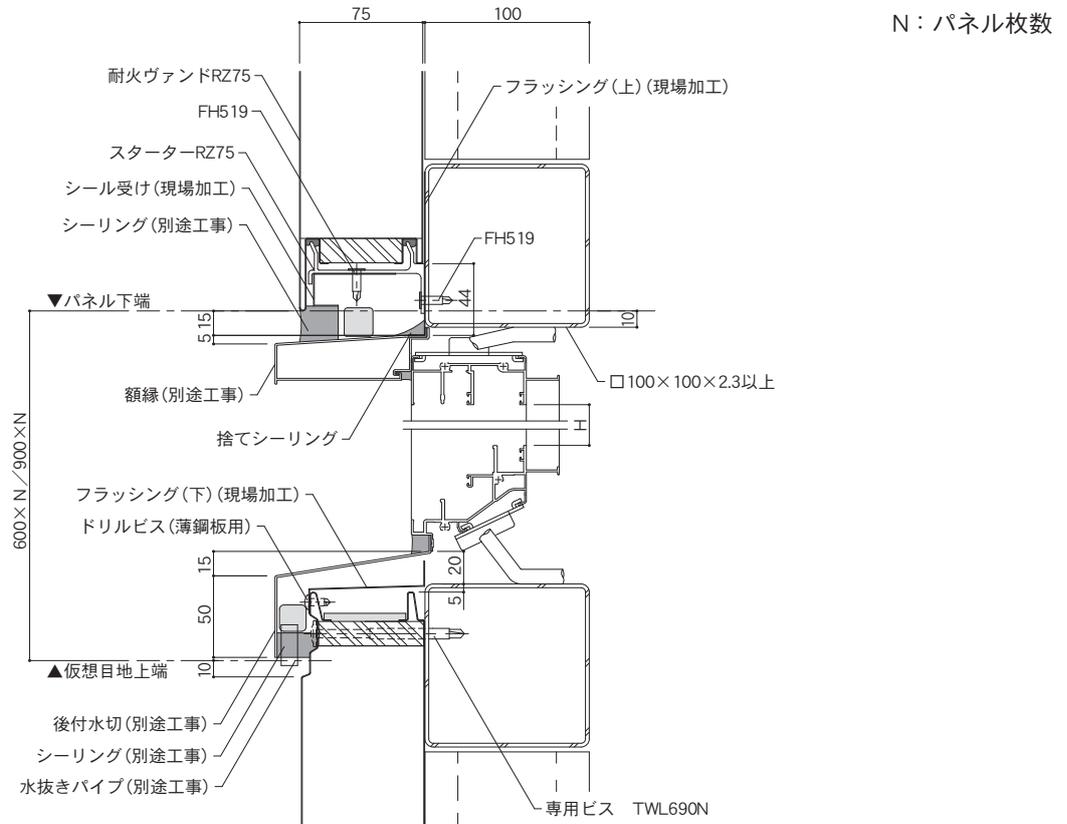
RZ 75 V

RZ 50

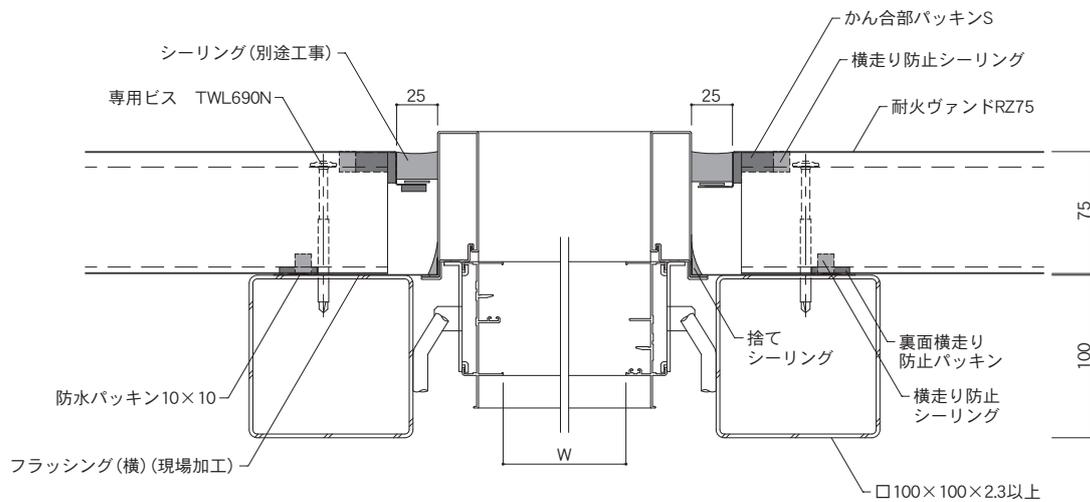
RZ 50 V

## 耐火ヴァンドRZ75

### サッシ部(断面)



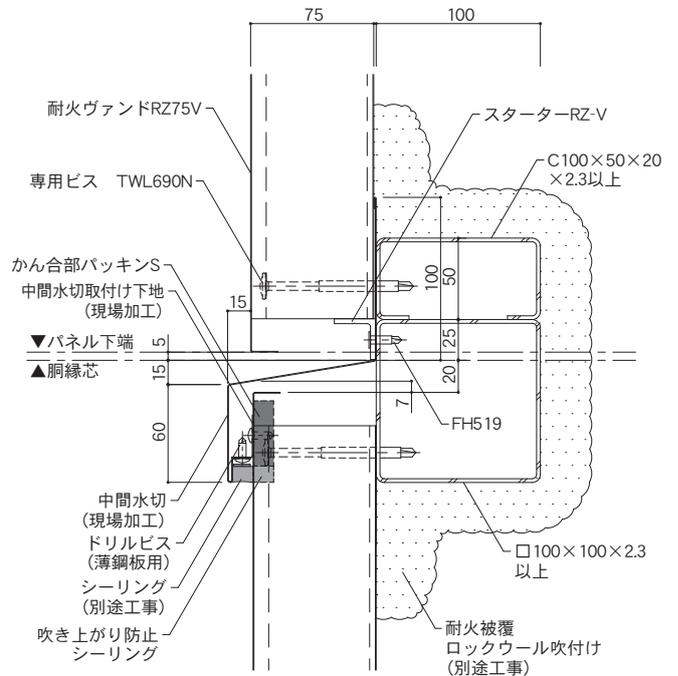
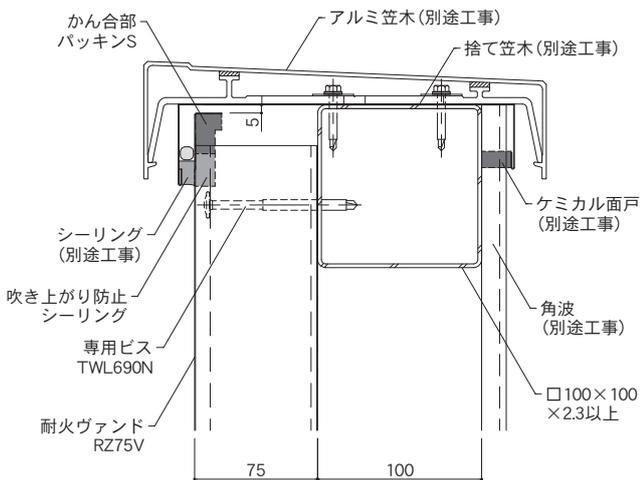
### サッシ部(平面)



耐火ヴァンドRZ75V

笠木部

たてつなぎ部



2

耐火ヴァンドRZ

RZ 75

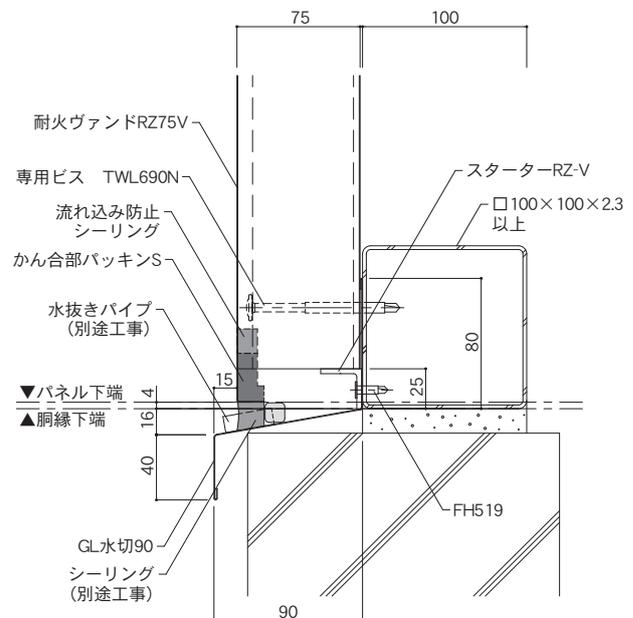
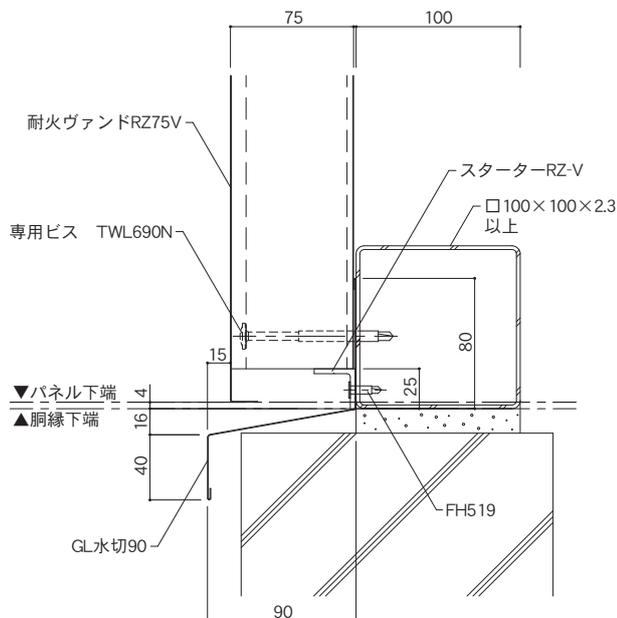
RZ 75 V

RZ 50

RZ 50 V

水切部(一般納まり)

水切部(シーリング納まり)

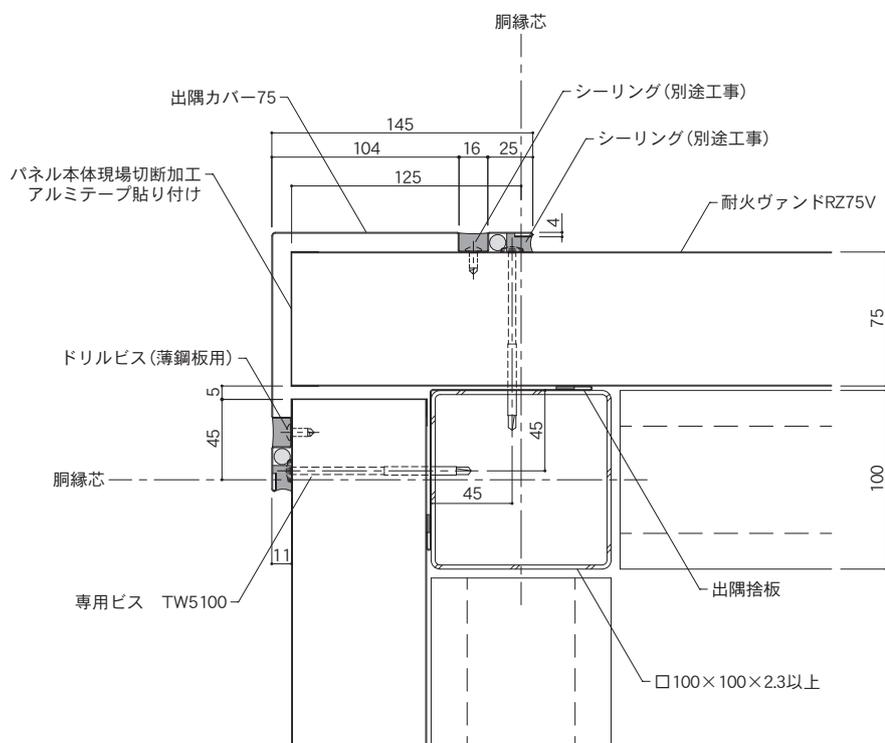


・納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。  
 ・漏水しない納まりが必要です。  
 ・部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

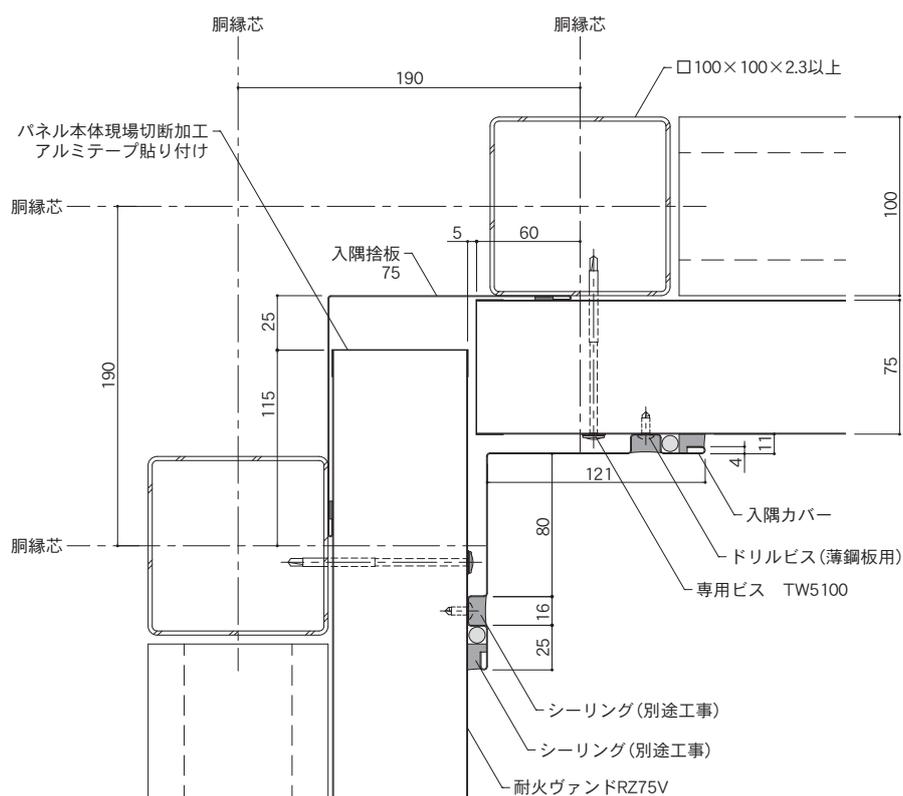
弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
 本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 耐火ヴァンドRZ75V

### 出隅部(出隅カバー)

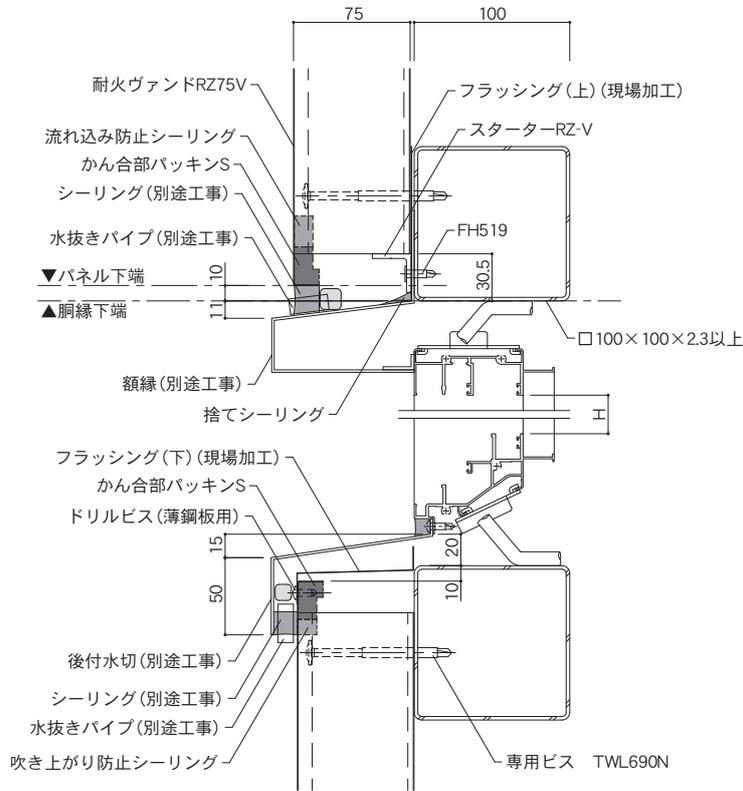


### 入隅部(入隅カバー)

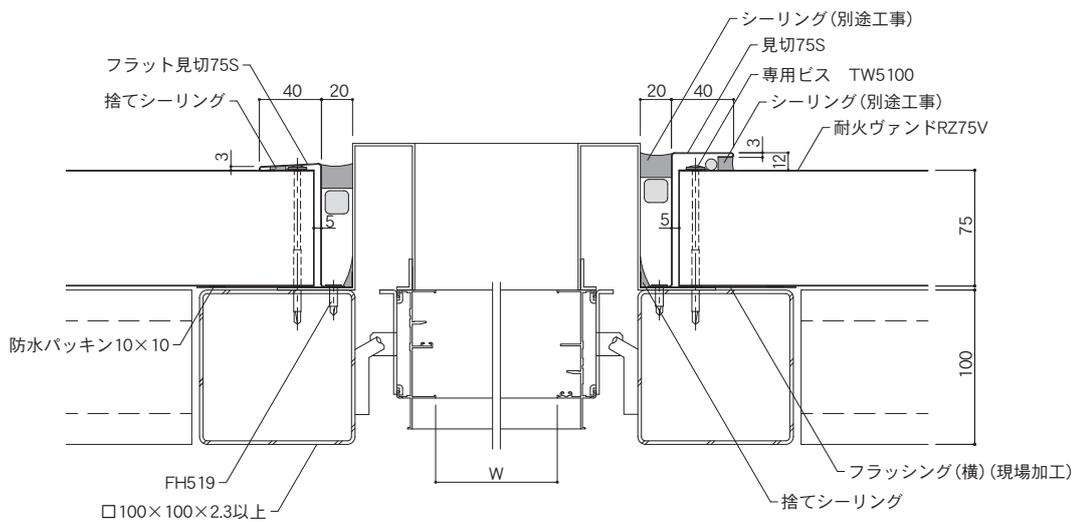




サッシ部(断面)



サッシ部(平面)



2

耐火ヴァンドRZ

RZ 75

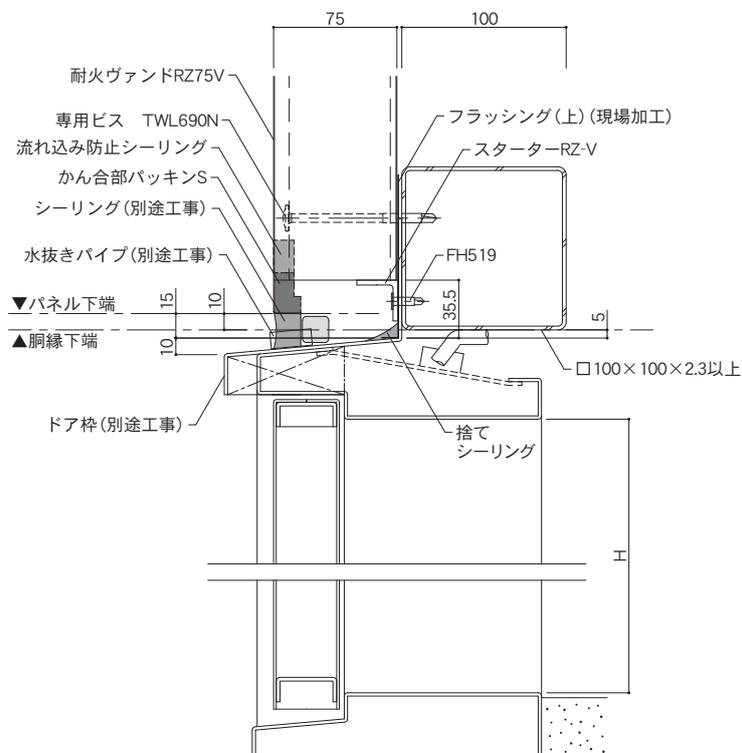
RZ 75 V

RZ 50

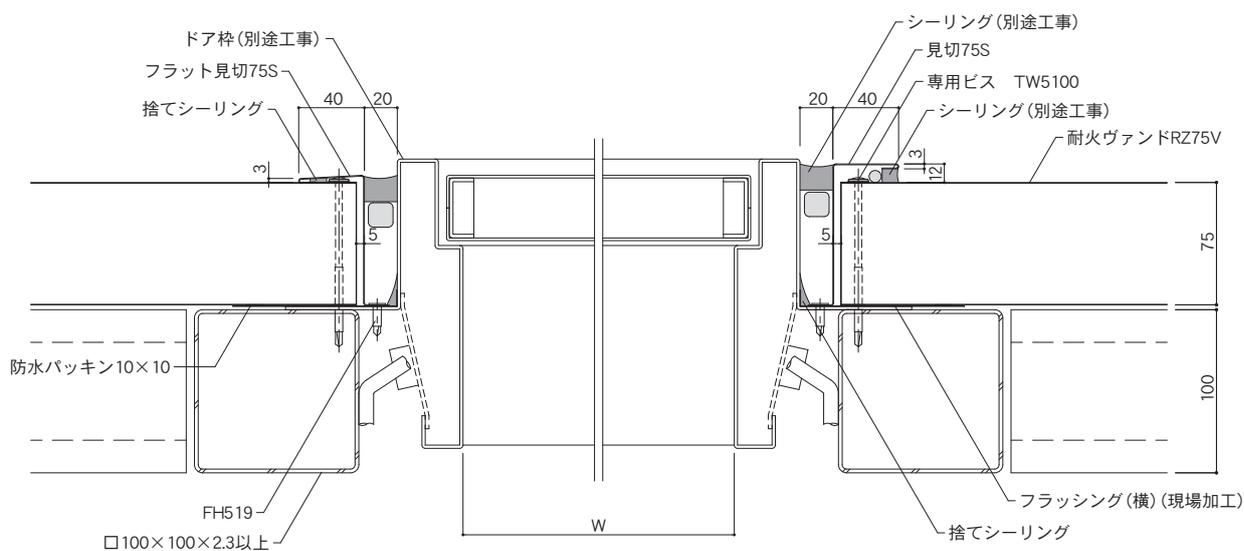
RZ 50 V

## 耐火ヴァンドRZ75V

### スチールドア部(断面)

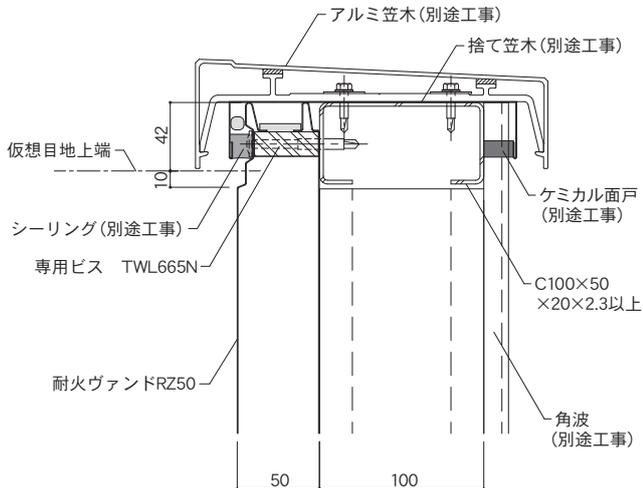


### スチールドア部(平面)



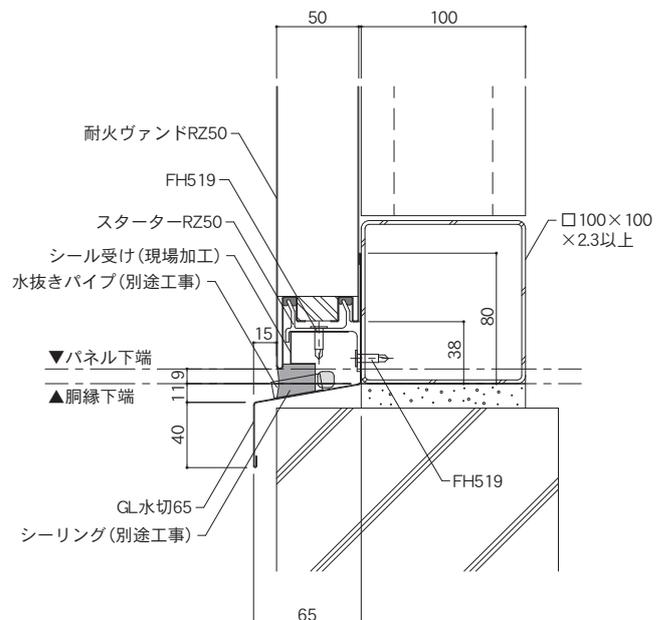
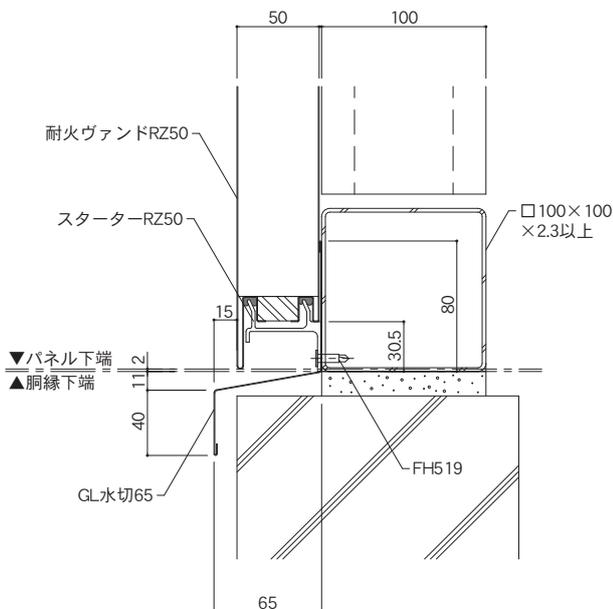
## 耐火ヴァンドRZ50

### 笠木部



### 水切部(一般納まり)

### 水切部(シーリング納まり)

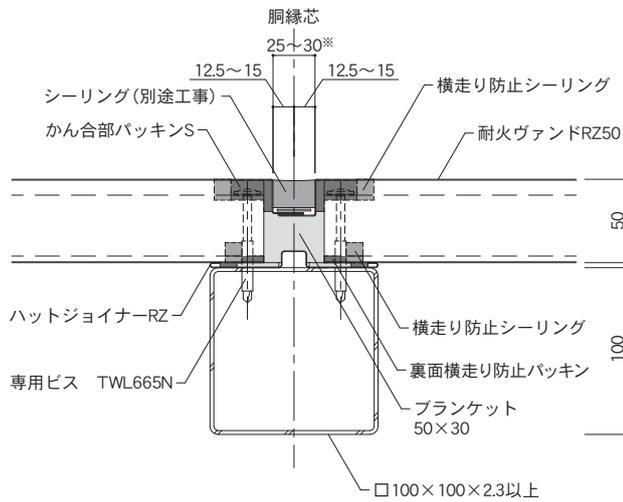


- ・納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。
- ・漏水しない納まりが必要です。
- ・部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

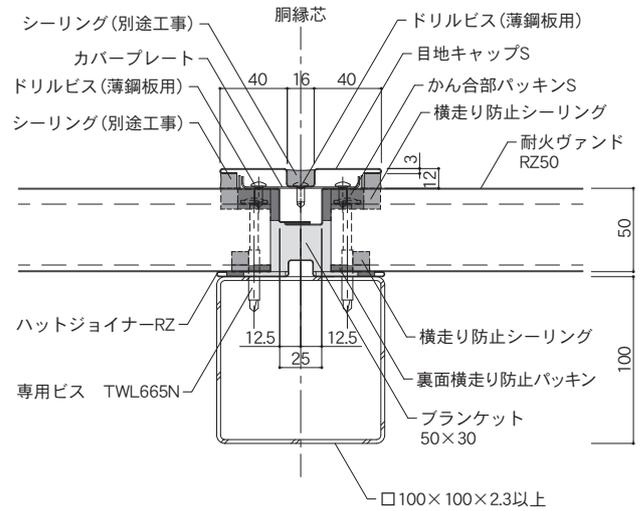
弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
 本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 耐火ヴァンドRZ50

たて目地部(シーリングタイプ)

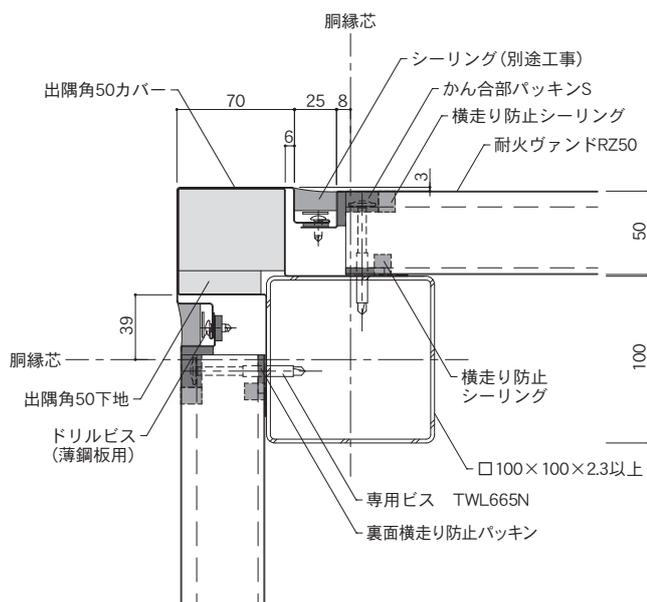


たて目地部(ふかしタイプ)

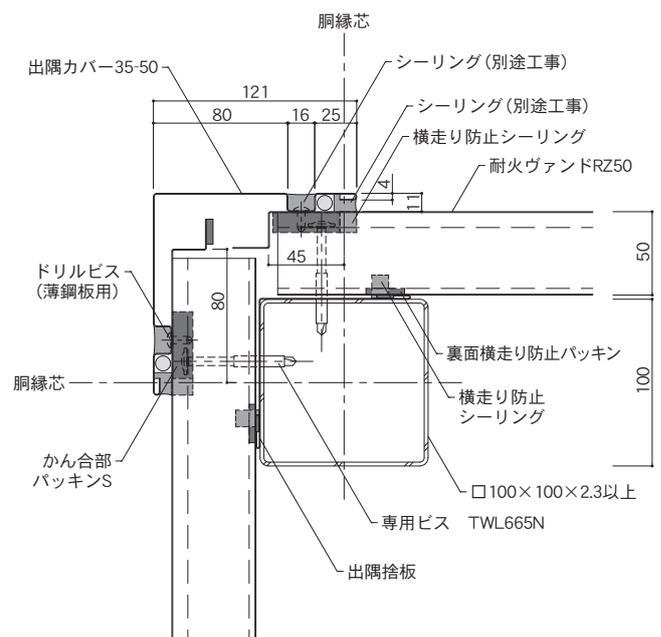


※シーリングタイプのたて目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。

出隅部(出隅角下地+出隅角カバー)

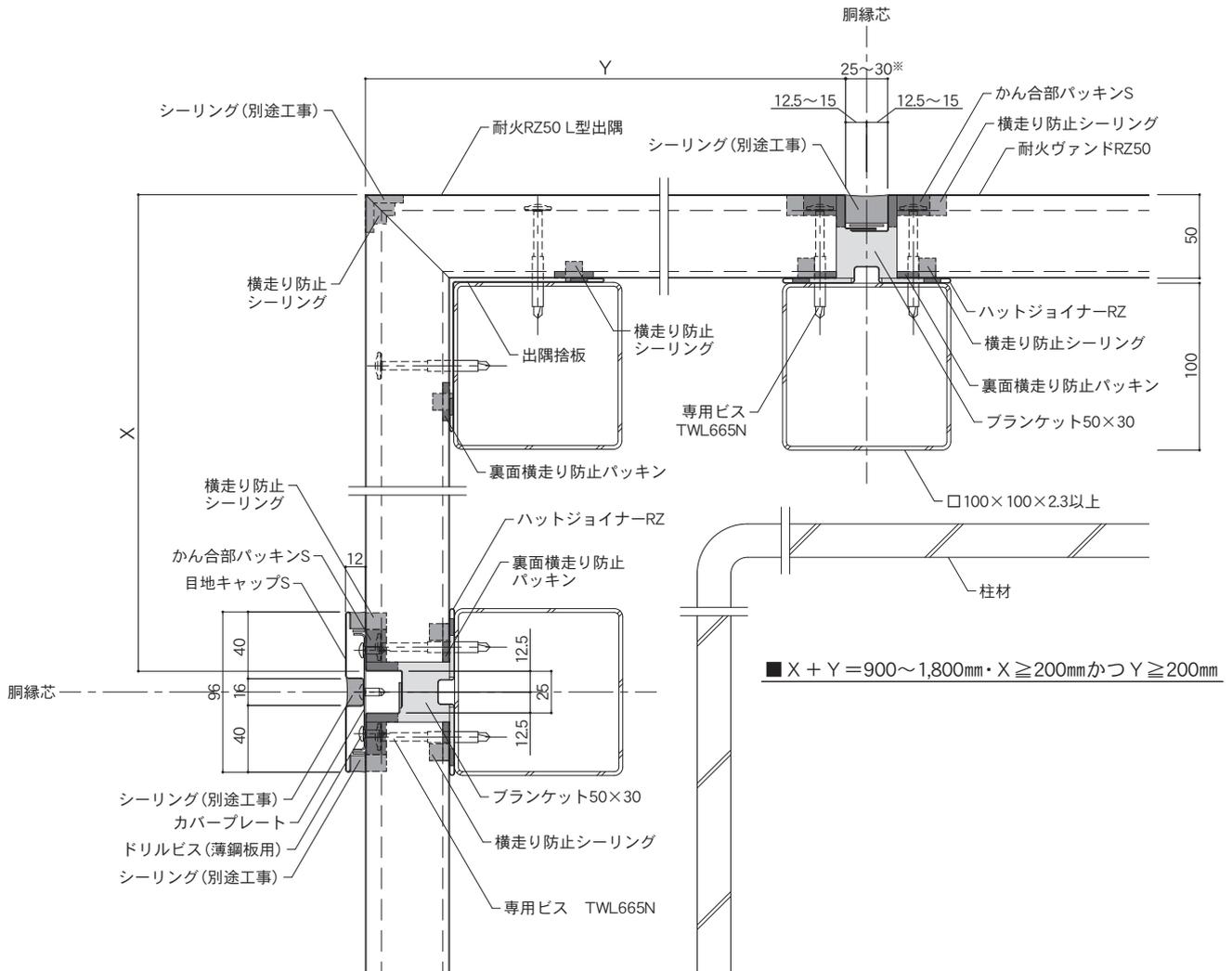


出隅部(出隅カバー)



出隅部(L型出隅)

●シーリングタイプ納めの例

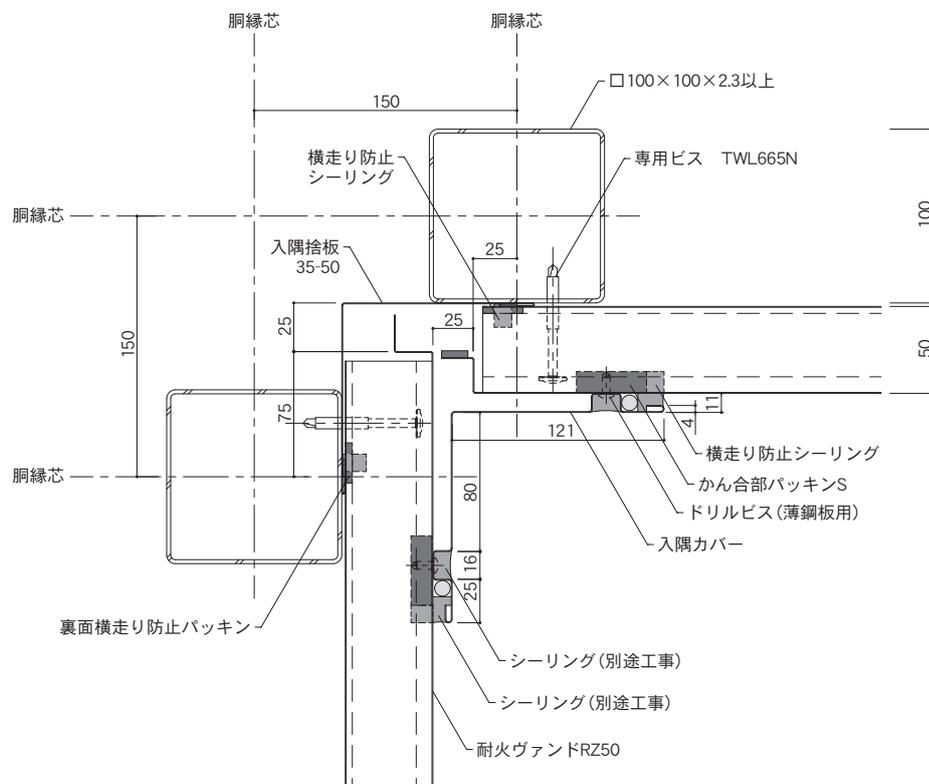


●ふかタイプ納めの例

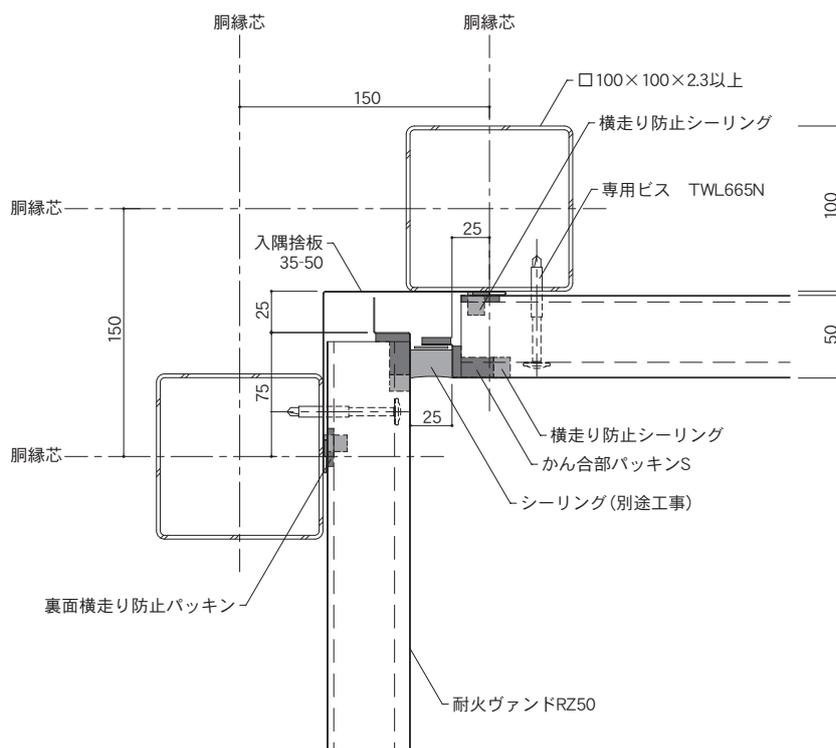
※シーリングタイプのため目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。

## 耐火ヴァンドRZ50

### 入隅部(入隅カバー)

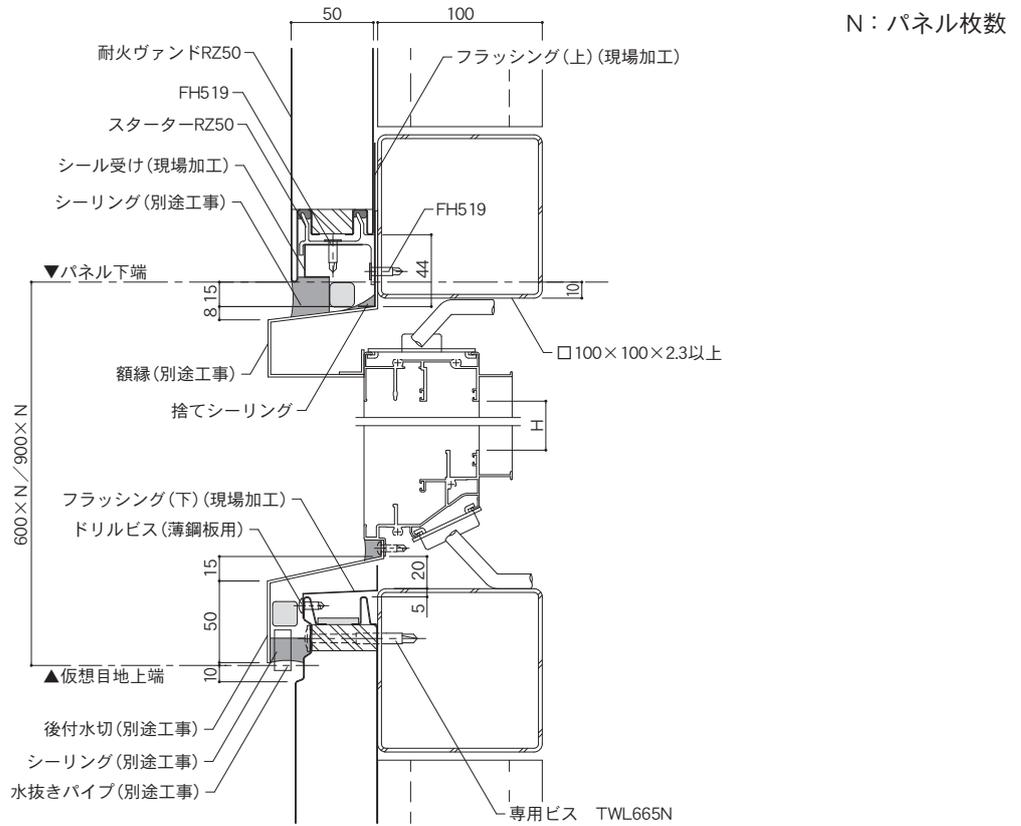


### 入隅部(シーリング)

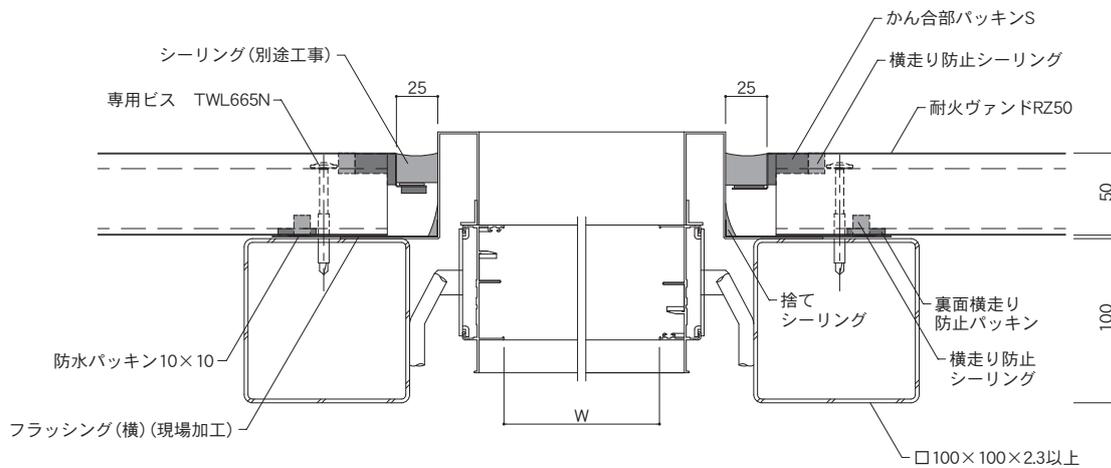


単位：mm

サッシ部(断面)



サッシ部(平面)



2

耐火ヴァンドRZ

RZ 75

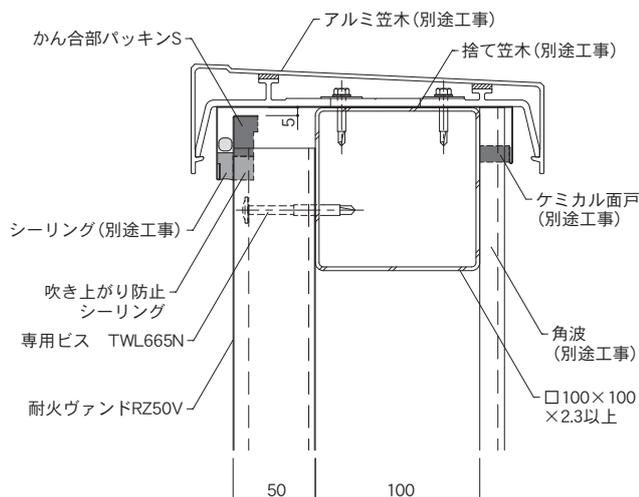
RZ 75 V

RZ 50

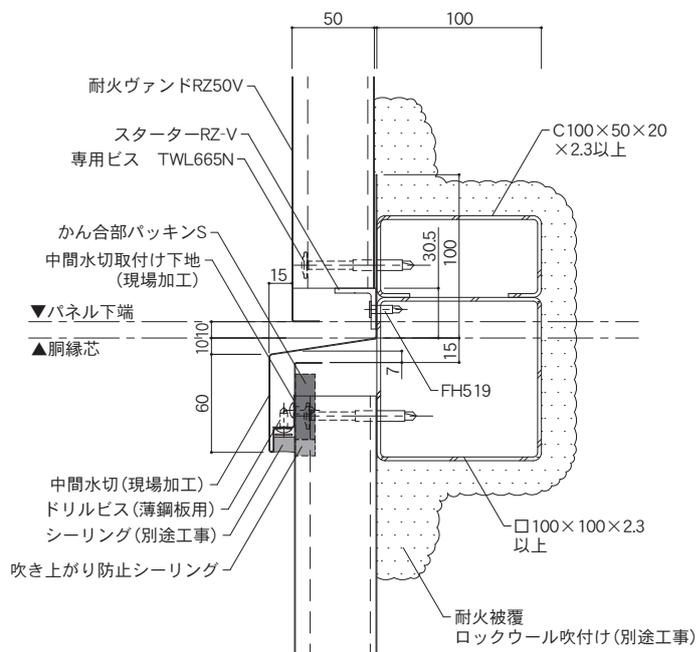
RZ 50 V

## 耐火ヴァンドRZ50V

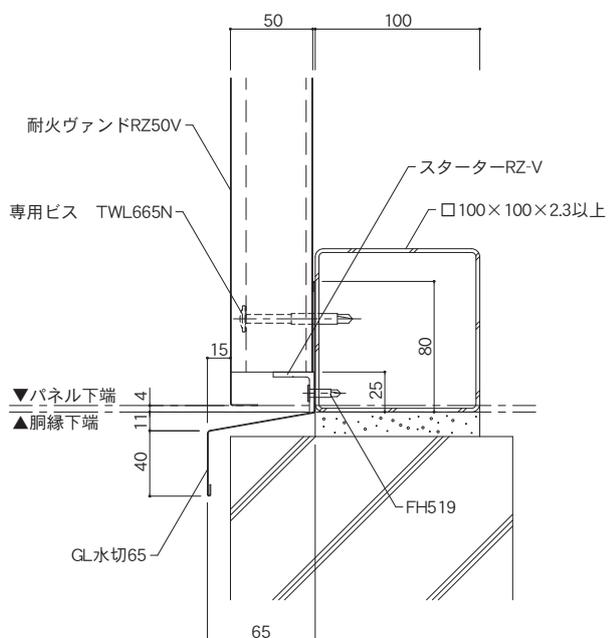
### 笠木部



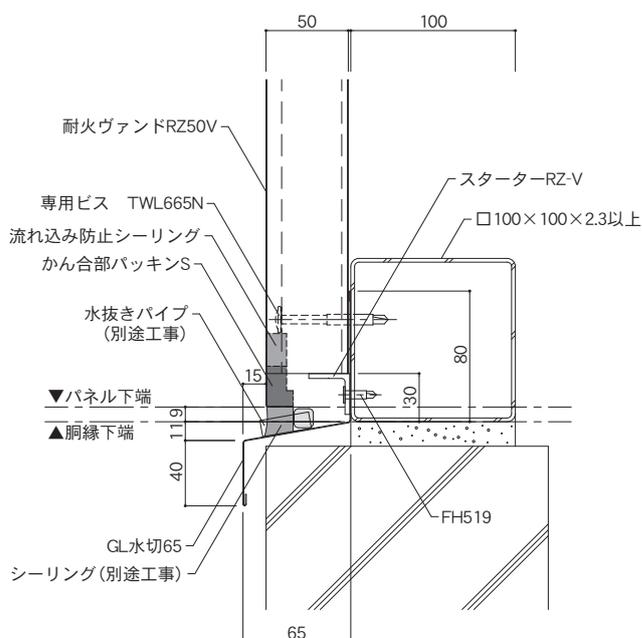
### たてつなぎ部



### 水切部(一般納まり)



### 水切部(シーリング納まり)

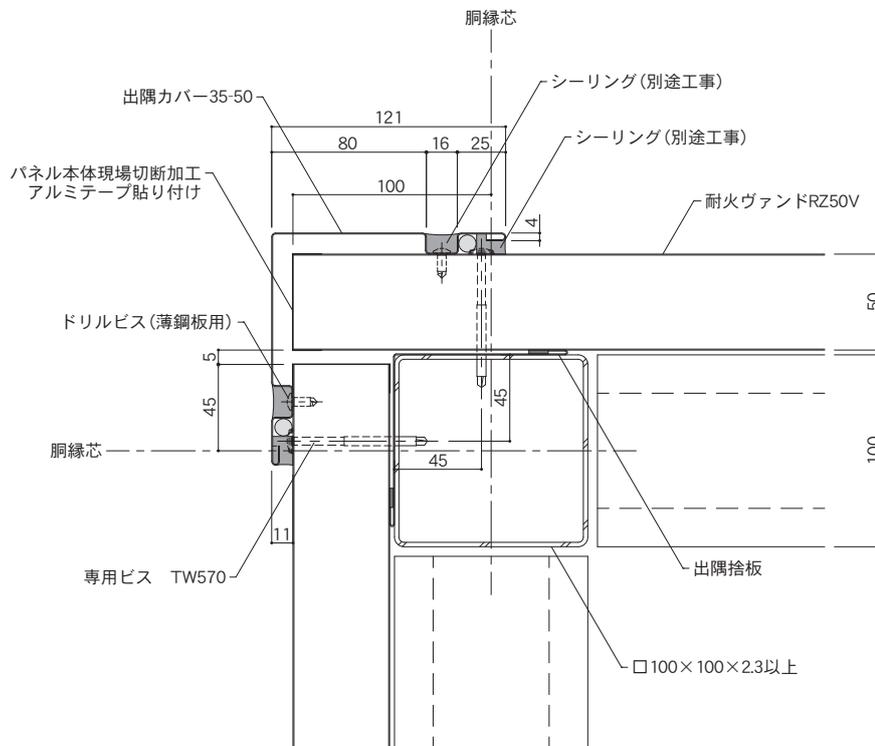


- ・納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。
- ・漏水しない納まりが必要です。
- ・部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

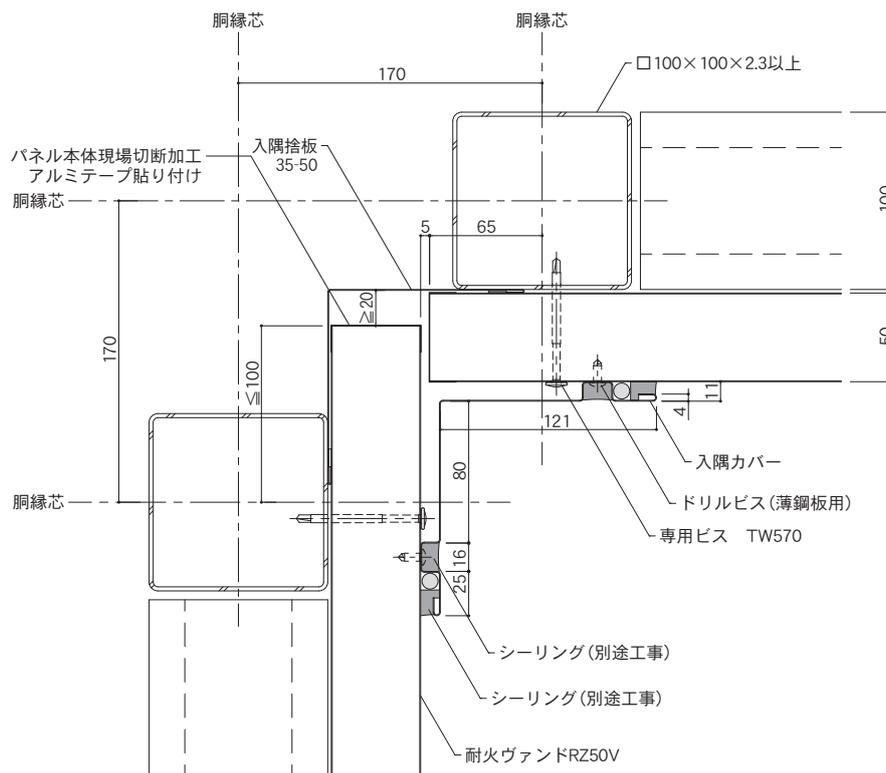
弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
 本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)



出隅部(出隅カバー)



入隅部(入隅カバー)



2

耐火ヴァンドRZ

RZ 75

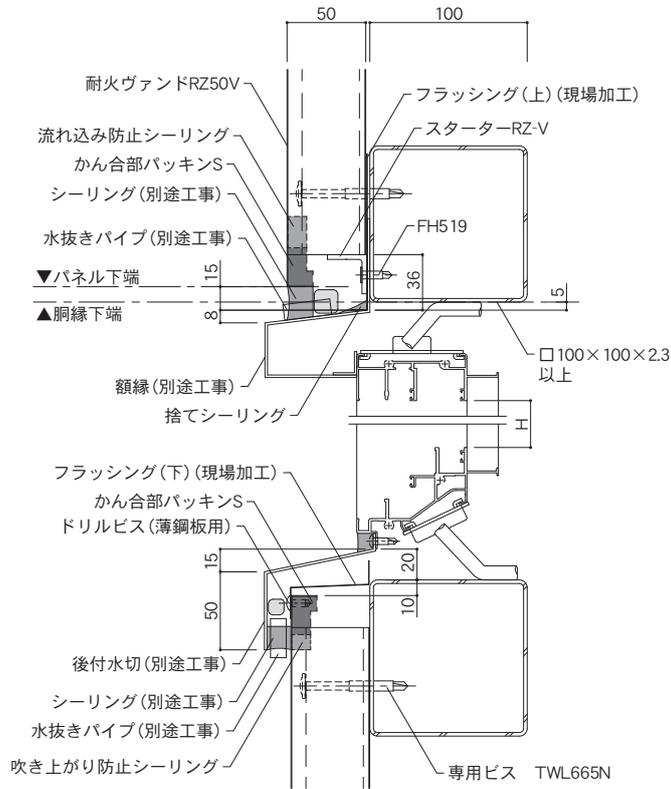
RZ 75 V

RZ 50

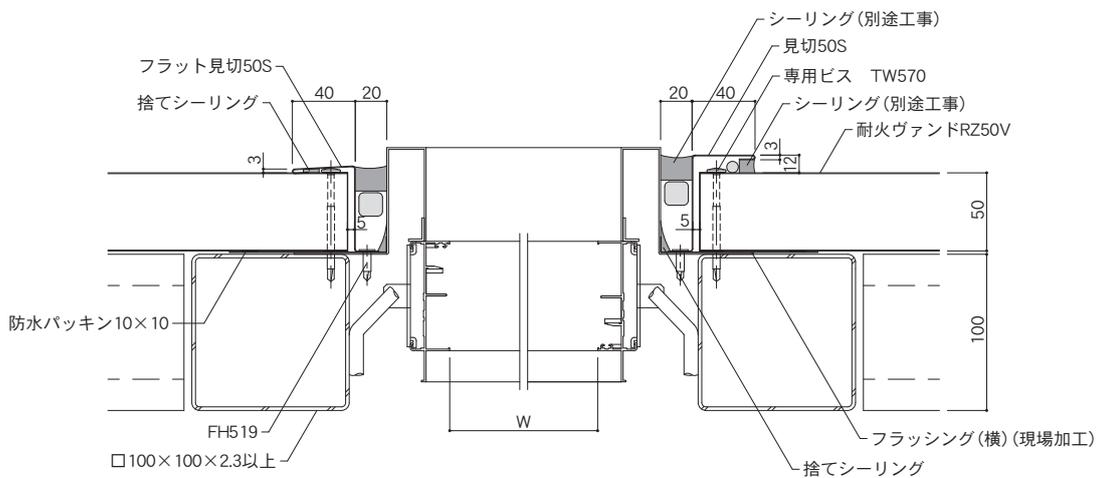
RZ 50 V

# 耐火ヴァンドRZ50V

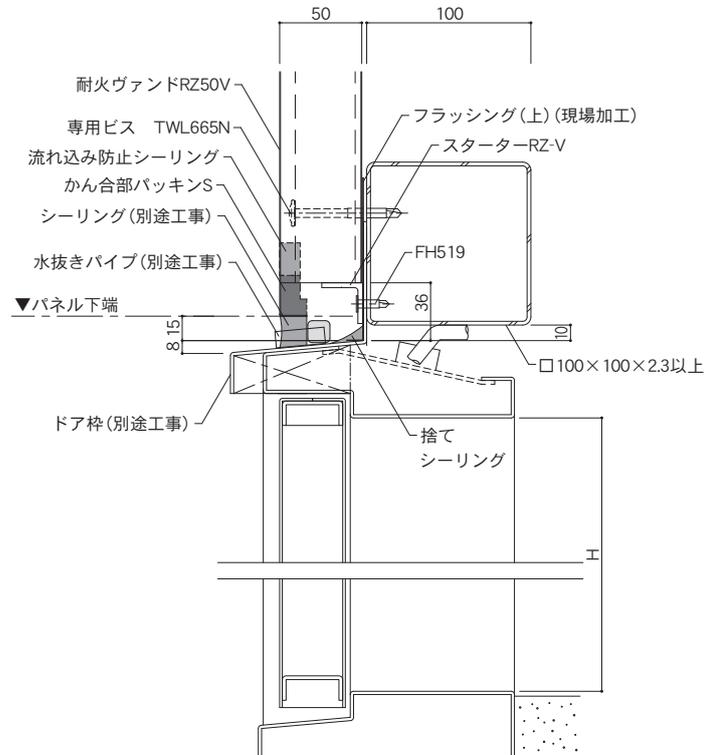
## サッシ部(断面)



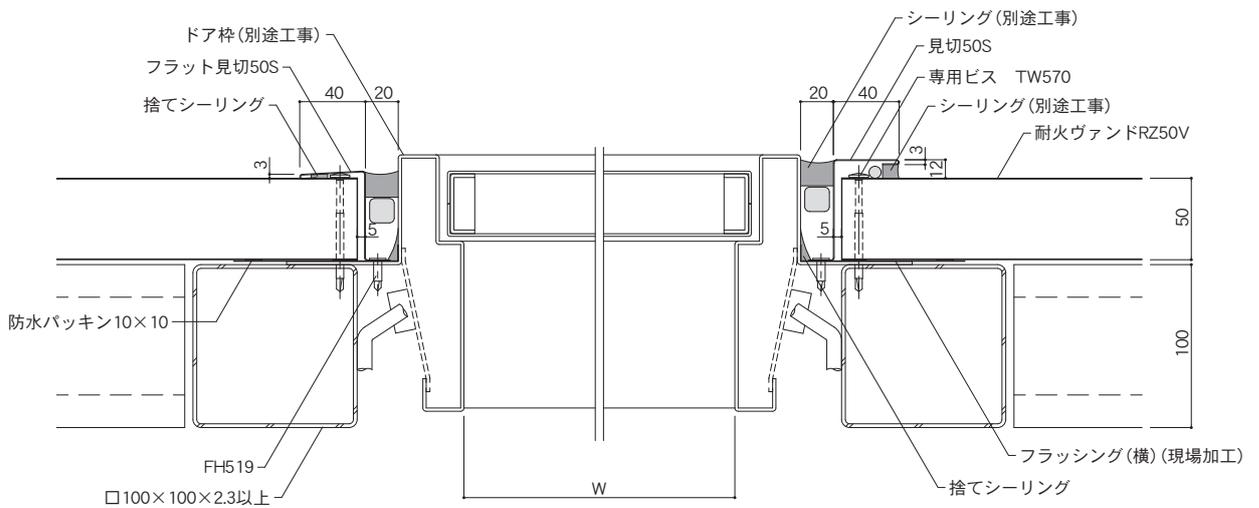
## サッシ部(平面)



スチールドア部(断面)



スチールドア部(平面)



2

耐火ヴァンドRZ

RZ 75

RZ 75 V

RZ 50

RZ 50 V

### 3 断熱ヴァンドNZ

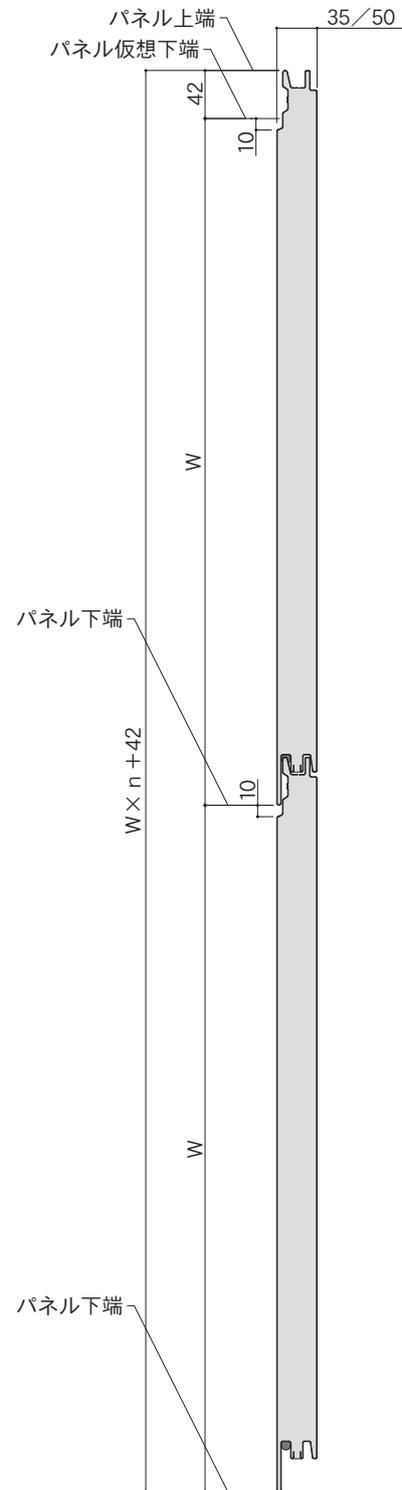
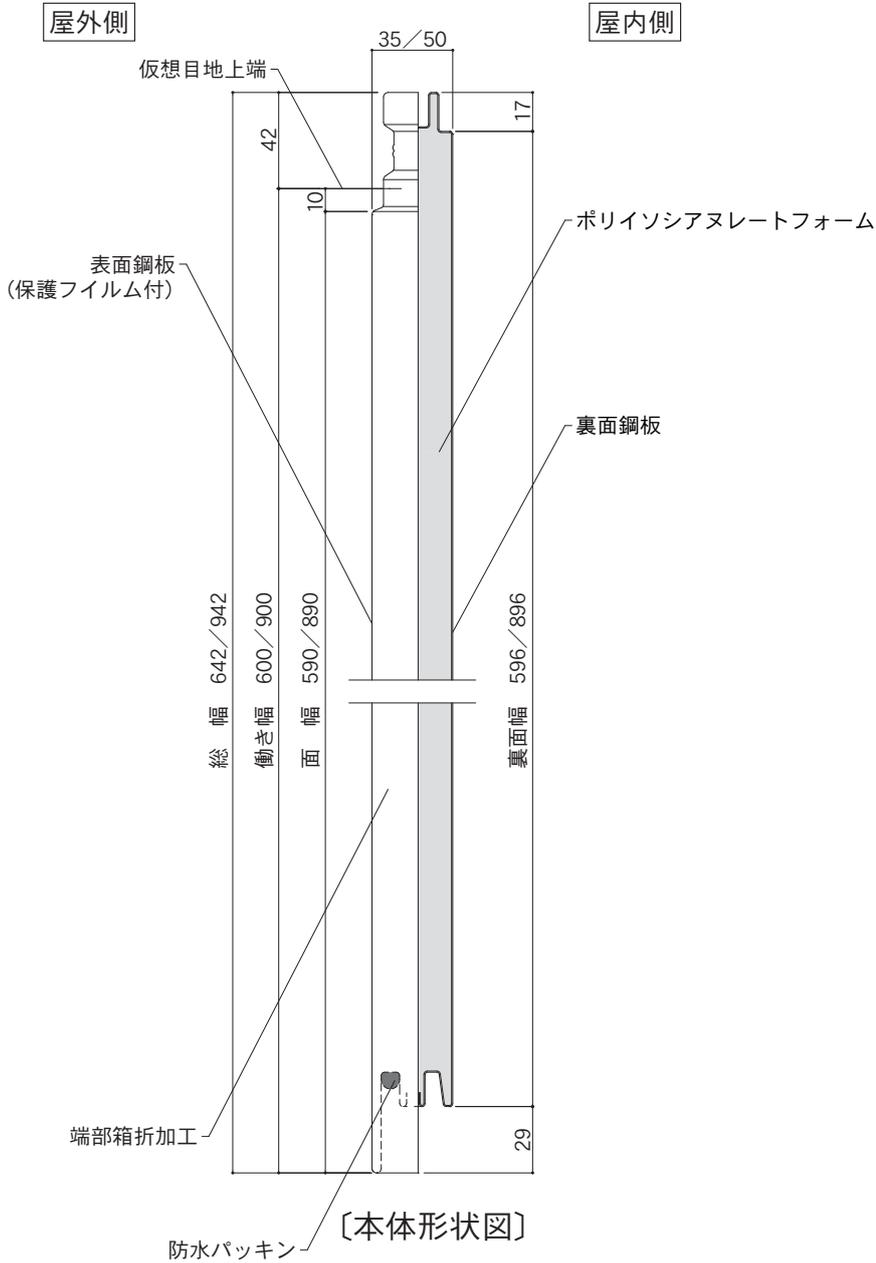
単位：mm

#### 3-1 商品仕様

##### [1] 本体形状とパネル割り付け

■断熱ヴァンドNZ35/NZ35F

■断熱ヴァンドNZ50/NZ50F



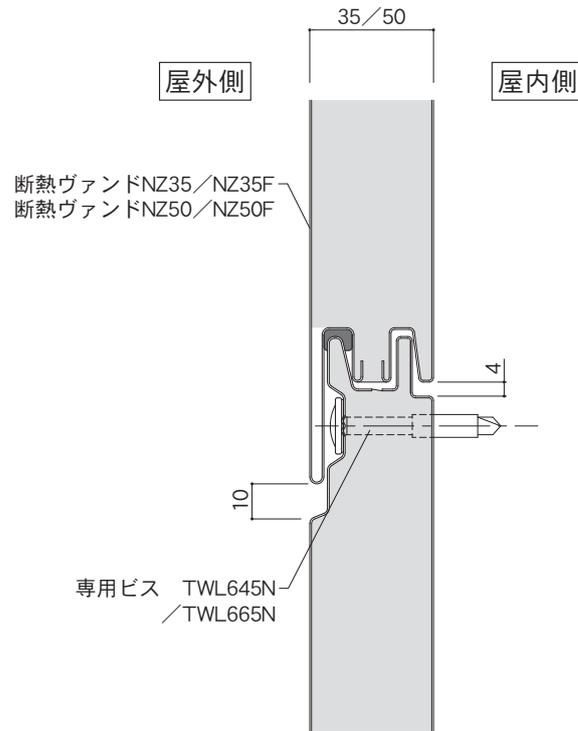
n：パネル枚数  
W：働き幅 600または900

[分割り付け図]

		断熱ヴァンドNZ35 断熱ヴァンドNZ50	断熱ヴァンドNZ35F 断熱ヴァンドNZ50F
表面鋼板	板厚 (mm)	0.5	
	意匠	フラット	
裏面鋼板	板厚 (mm)	0.27	0.5
	意匠	エンボス (カワシボ柄)	フラット

注) 図は断熱ヴァンドNZ35F

## ジョイント部断面図

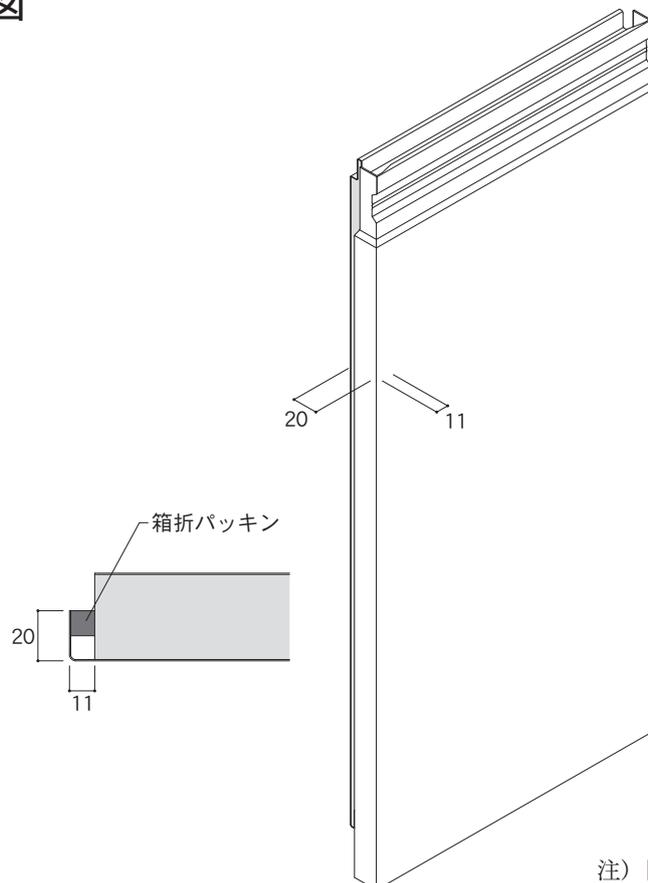


3

断熱ヴァンドNZ

**【注意 !!】** パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。

## 端部箱折形状図



## [2] 本体規格

### ■断熱ヴァンドNZ35／NZ35F

		断熱ヴァンドNZ35		断熱ヴァンドNZ35F	
規格	働き幅(mm)	600	900	600	900
	総幅(mm)	642	942	642	942
	長さ(mm)	1,800～9,300※1※2			
	厚さ(mm)	35			
	重量(kg/m <sup>2</sup> )	10	10	12	12
	箱折	あり			
施工方法	張り方向	たて・よこ兼用			
表面材	塗装種別 (材質)	ポリエステル樹脂塗装 (ガルバリウム鋼板) 防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装 (超高耐久GL鋼板ガルマックス)			
	板厚(mm)	0.5			
	表面意匠	フラット			
しん材	材質	ポリイソシアヌレートフォーム			
裏面材	塗装種別 (材質)	ポリエステル樹脂塗装 (ガルバリウム鋼板)			
	板厚(mm)	0.27		0.5	
	表面意匠	エンボス (カワシボ柄)		フラット	
	塗色	ライトグレー			

### ■断熱ヴァンドNZ50／NZ50F

		断熱ヴァンドNZ50		断熱ヴァンドNZ50F	
規格	働き幅(mm)	600	900	600	900
	総幅(mm)	642	942	642	942
	長さ(mm)	1,800～9,300※1※2			
	厚さ(mm)	50			
	重量(kg/m <sup>2</sup> )	11	10	13	12
	箱折	あり			
施工方法	張り方向	たて・よこ兼用			
表面材	塗装種別 (材質)	ポリエステル樹脂塗装 (ガルバリウム鋼板) 防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装 (超高耐久GL鋼板ガルマックス)			
	板厚(mm)	0.5			
	表面意匠	フラット			
しん材	材質	ポリイソシアヌレートフォーム			
裏面材	塗装種別 (材質)	ポリエステル樹脂塗装 (ガルバリウム鋼板)			
	板厚(mm)	0.27		0.5	
	表面意匠	エンボス (カワシボ柄)		フラット	
	塗色	ライトグレー			

※1 300mm～1,799mmまで製造可能 (オプション)。長さ9,300mmを超える長さについては弊社にお問い合わせください。

※2 300mm～899mm、900mm～1,799mmは、それぞれ別途加工賃を申し受けます。

詳しくは弊社または、アイジーヴァンド取り扱い店へお問い合わせください。

## カラーラインナップ

表面材	ポリエステル樹脂塗装		防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装		日本塗料工業会 色票番号(近似) <sup>※4</sup> 塗装色共通
	色名	マンセル値(測定値)	色名	マンセル値(測定値)	
標準色	PシルバーS	N 7.0 <sup>※5</sup>	CFシルバーS	3.1B 7.9/0.1 <sup>※5</sup>	※4
	Pホワイト	N 8.6	CFホワイト	9.0YR 8.5/0.1	LN-87
	Pシャンパンゴールド	8.7Y 6.4/0.6 <sup>※5</sup>	CFシャンパンゴールド	8.8Y 7.0/0.4 <sup>※5</sup>	※4
	Pメタリックグレー	4.8G 4.3/0.1 <sup>※5</sup>	CFメタリックグレー	6.2BG 4.2/0.1 <sup>※5</sup>	※4
準標準色	Pアイボリー	3.5Y 8.1/1.5	CFアイボリー	3.0Y 8.1/1.5	L25-85B
	Pグレー	8.5G 7.2/0.2	CFグレー	6.3BG 7.2/0.2	LN-75
	Pダークグレー	3.7PB 3.5/0.4	CFダークグレー	5.1PB 3.5/0.3	LN-40

裏面材	ポリエステル樹脂塗装		日本塗料工業会 色票番号(近似) <sup>※3</sup>
	色名	マンセル値(測定値)	
	ライトグレー	4.1Y 8.0/0.2	LN-82

※3 2021年L版の日本塗料工業会色票番号です。

※4 メタリック色は、日本塗料工業会色票番号の設定がありません。

※5 メタリック色は、光の強さや見る角度によって色が変わって見えるため、マンセル値での表現が困難です。上記値は、一定の角度での測定値を代表値としております。実際の色の見え方とは異なり、輝度感も反映されておられません。上記値で塗料などの調色(色合わせ)を行っても色が合いませんので、調色を行う際は実物と色合わせをお願いします。

3

断熱ヴァンドNZ

## [3] 材料特性

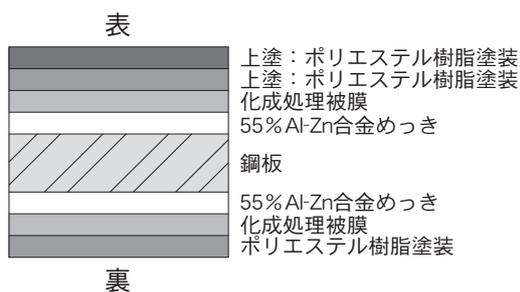
### 面材特性

#### ■仕様

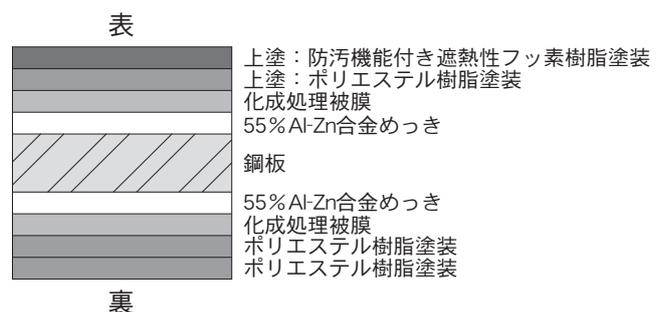
	商品タイプ	塗装	めっき付着量	板厚
表面 鋼板	断熱ヴァンドNZ35 断熱ヴァンドNZ35F 断熱ヴァンドNZ50 断熱ヴァンドNZ50F	ポリエステル樹脂塗装または 防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装	AZ150	0.5mm
裏面 鋼板	断熱ヴァンドNZ35F 断熱ヴァンドNZ50F	ポリエステル樹脂塗装	AZ150	0.5mm
	断熱ヴァンドNZ35 断熱ヴァンドNZ50		AZ120	0.27mm

#### ■表面鋼板塗膜構成

##### 〔ポリエステル樹脂塗装〕



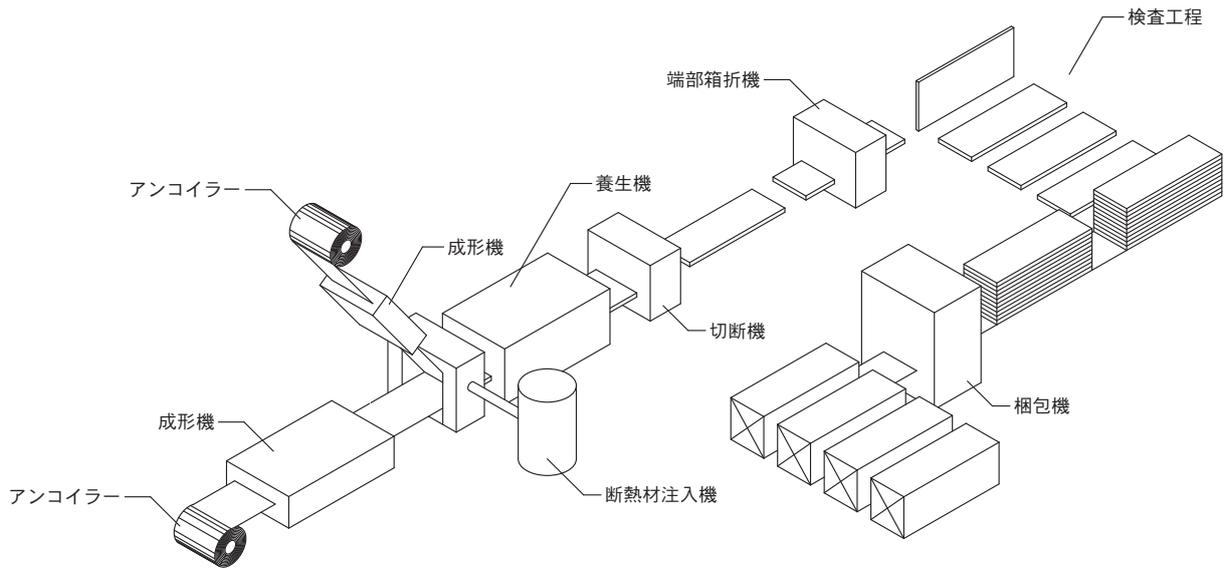
##### 〔防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装〕



## しん材

断熱ヴァンドNZのしん材に採用しているポリイソシアヌレートフォームは軽量で高い断熱性能を誇るしん材です。また、高温下での寸法安定性が高いため、耐熱性と耐燃焼性に優れており自己消火性を有しています。

### [4] 製造工程



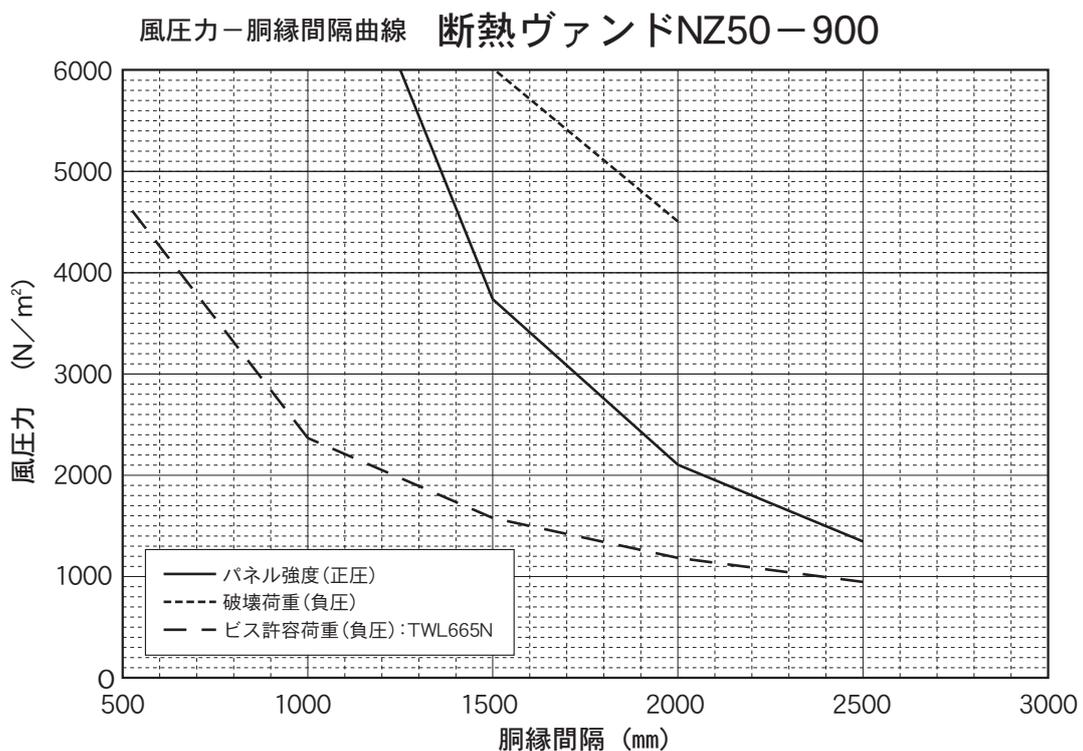
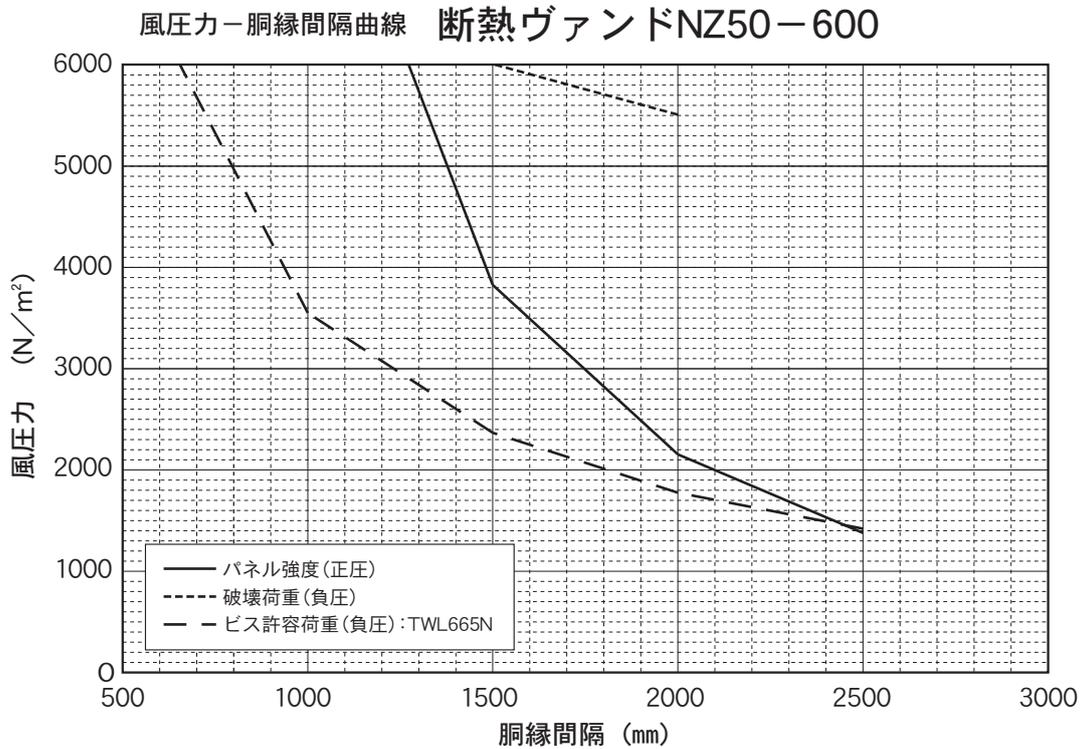


## [5] 性能

## 【注意 !!】

耐風圧性能のビス許容荷重は専用ビスを使用した場合の値です。パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。  
本体取り付けの専用ビスは全ての胴縁に留め付けてください。

## 耐風圧性能



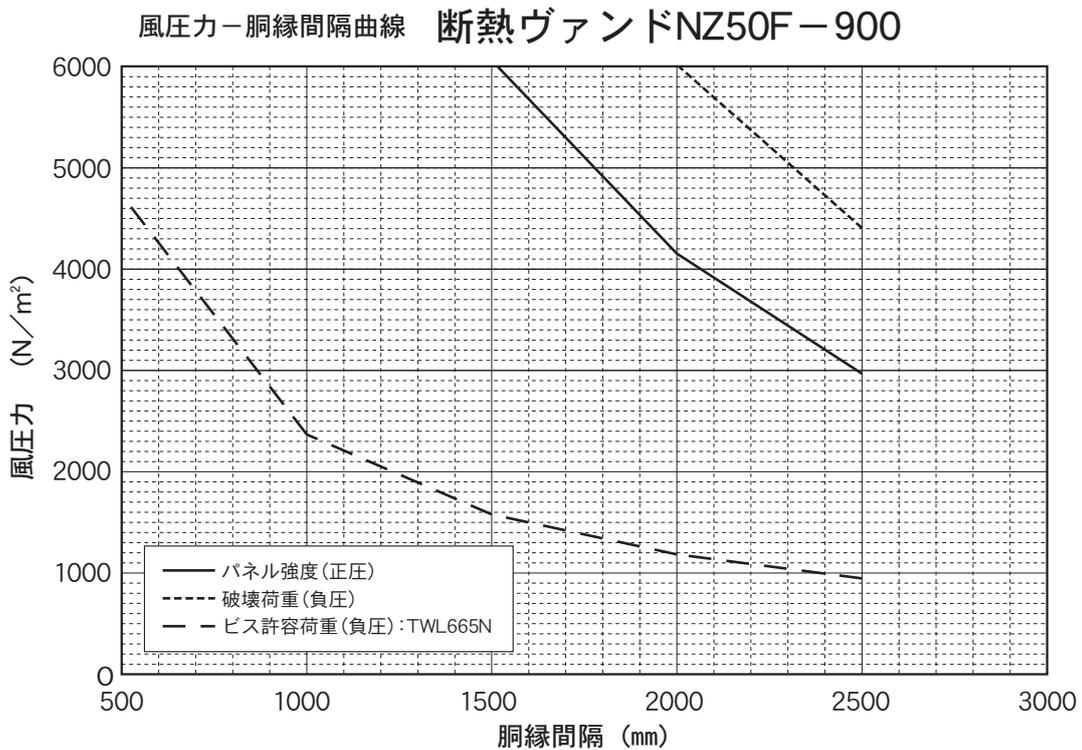
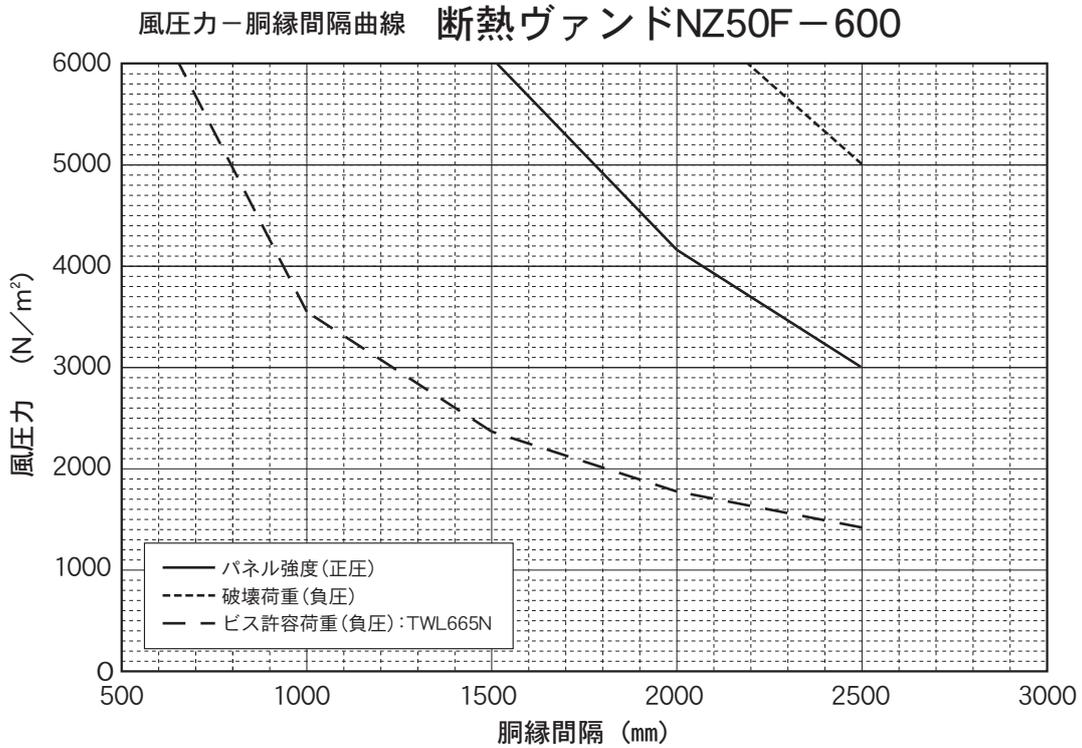
注) 破壊荷重は風圧力試験での測定値です。

注) パネル強度はパネル曲げ試験からの許容曲げ荷重と 1/150 たわみ制限からの計算値です。

**【注意 !!】**

耐風圧性能のビス許容荷重は専用ビスを使用した場合の値です。パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。  
本体取り付けの専用ビスは全ての胴縁に留め付けてください。

耐風圧性能



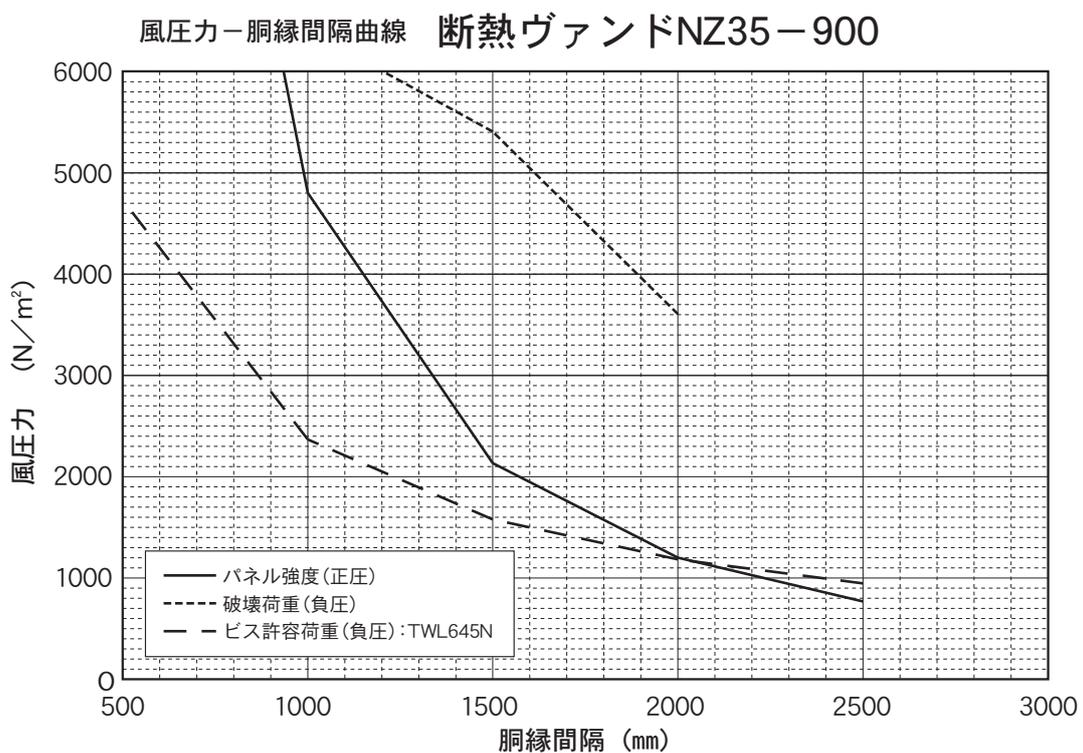
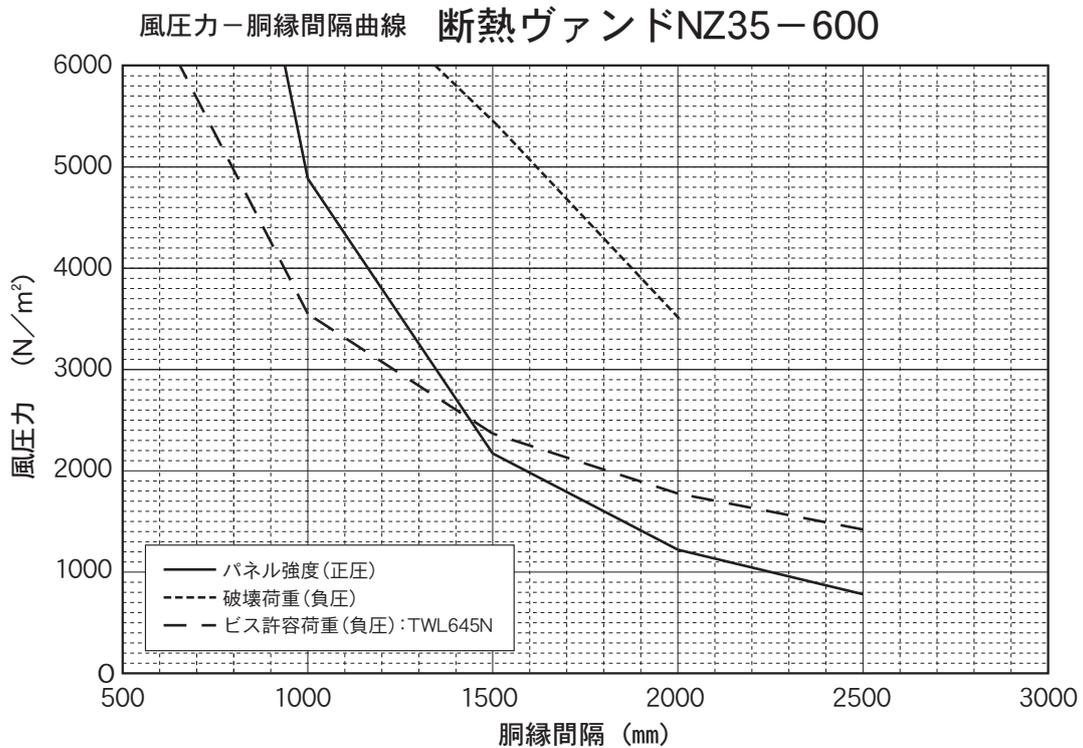
注)破壊荷重は風圧力試験での測定値です。

注)パネル強度はパネル曲げ試験からの許容曲げ荷重と1/150たわみ制限からの計算値です。

**【注意 !!】**

耐風圧性能のビス許容荷重は専用ビスを使用した場合の値です。パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。  
本体取り付けの専用ビスは全ての胴縁に留め付けてください。

## 耐風圧性能



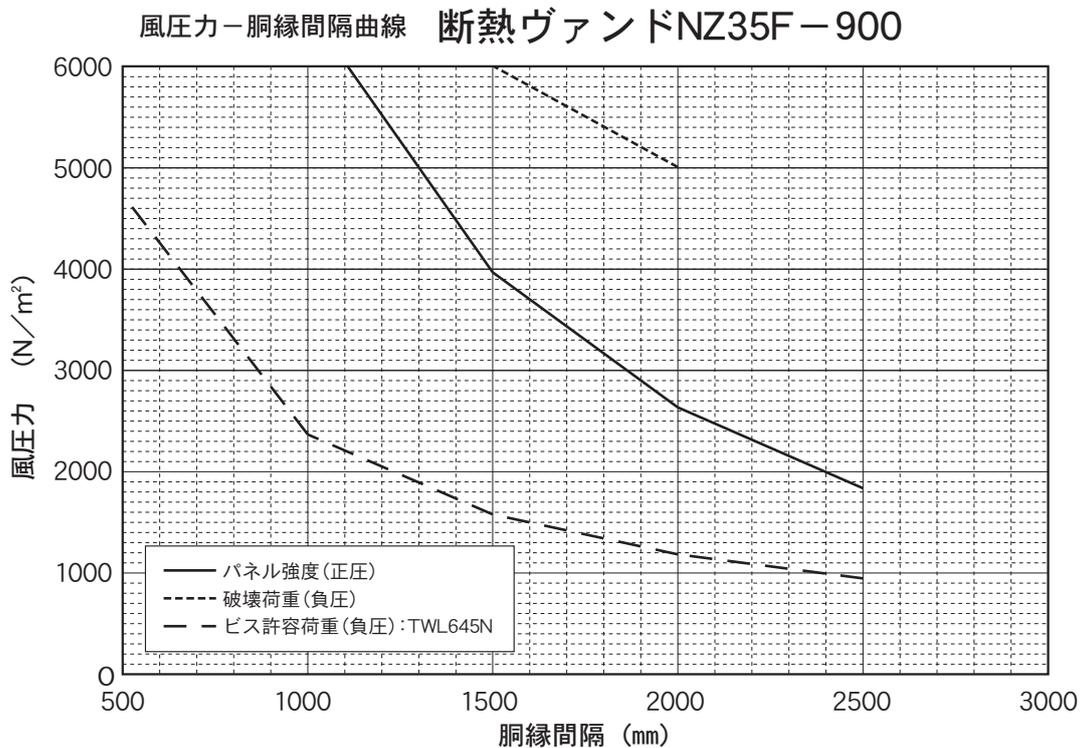
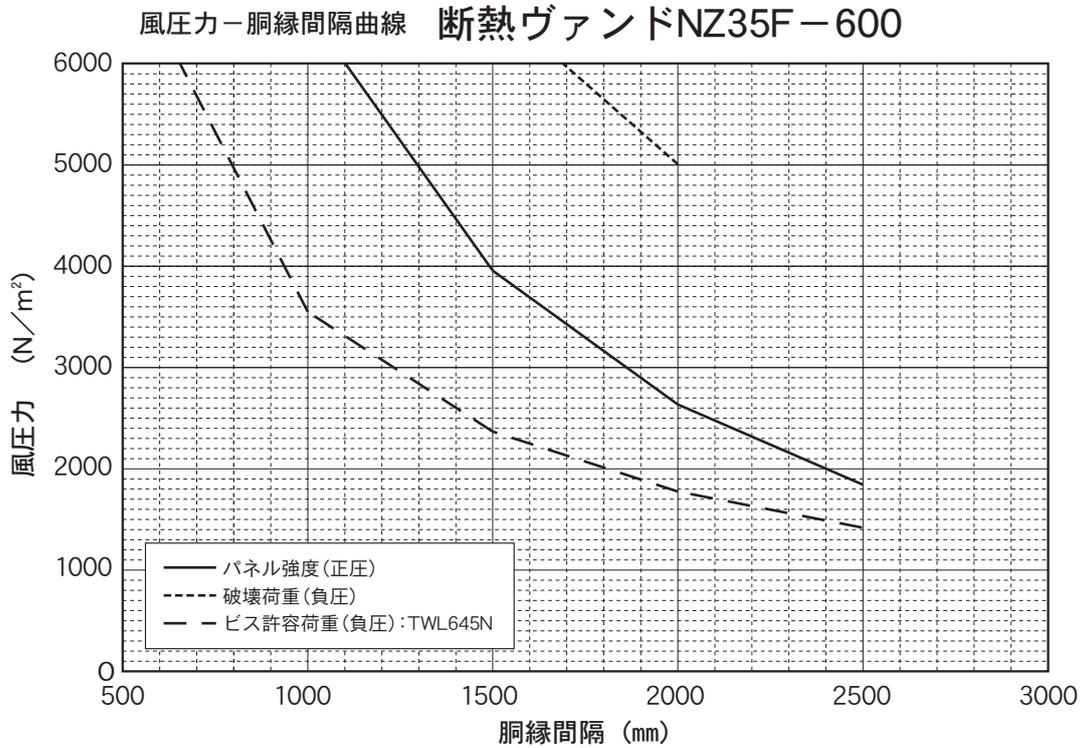
注) 破壊荷重は風圧力試験での測定値です。

注) パネル強度はパネル曲げ試験からの許容曲げ荷重と 1/150 たわみ制限からの計算値です。

**【注意 !!】**

耐風圧性能のビス許容荷重は専用ビスを使用した場合の値です。パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。本体取り付けの専用ビスは全ての胴縁に留め付けてください。

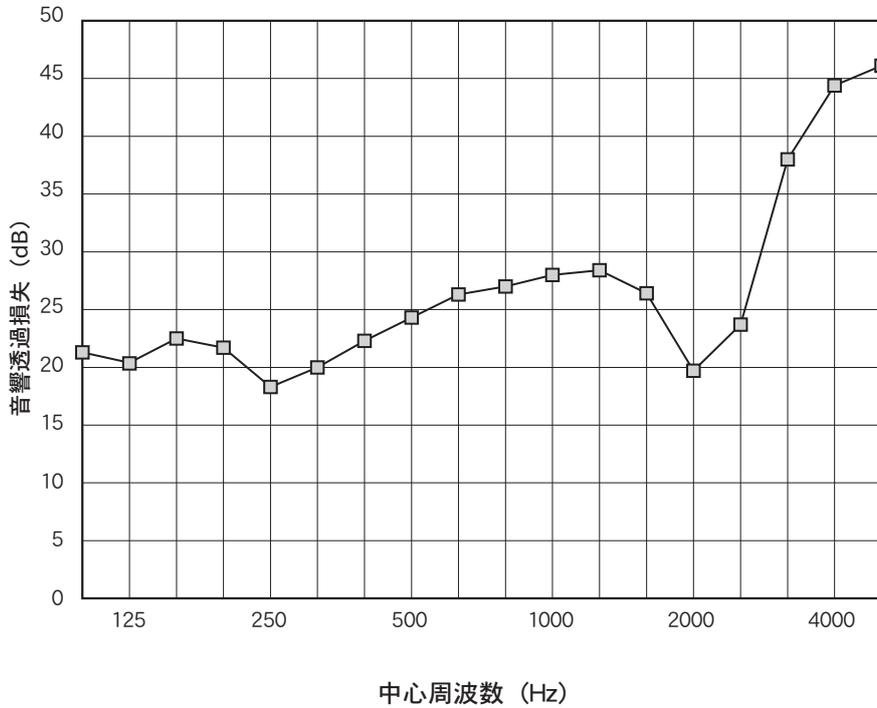
耐風圧性能



注) 破壊荷重は風圧力試験での測定値です。  
注) パネル強度はパネル曲げ試験からの許容曲げ荷重と 1/150 たわみ制限からの計算値です。

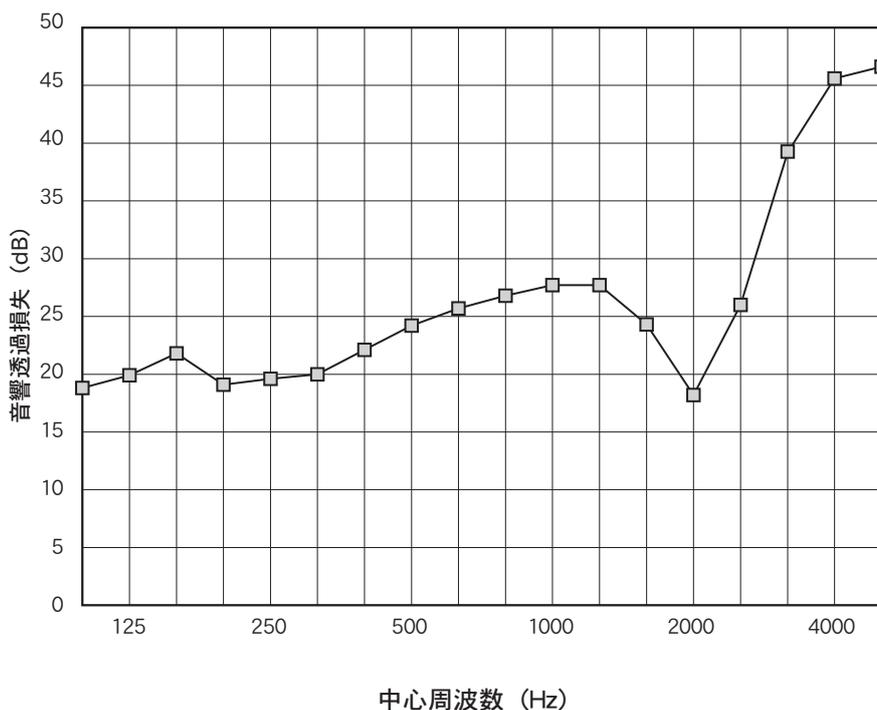
## 遮音性能

断熱ヴァンドNZ50-600



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	21.3
125	20.4
160	22.5
200	21.7
250	18.3
315	20.0
400	22.3
500	24.3
630	26.3
800	27.0
1000	28.0
1250	28.4
1600	26.4
2000	19.7
2500	23.7
3150	38.0
4000	44.4
5000	46.1

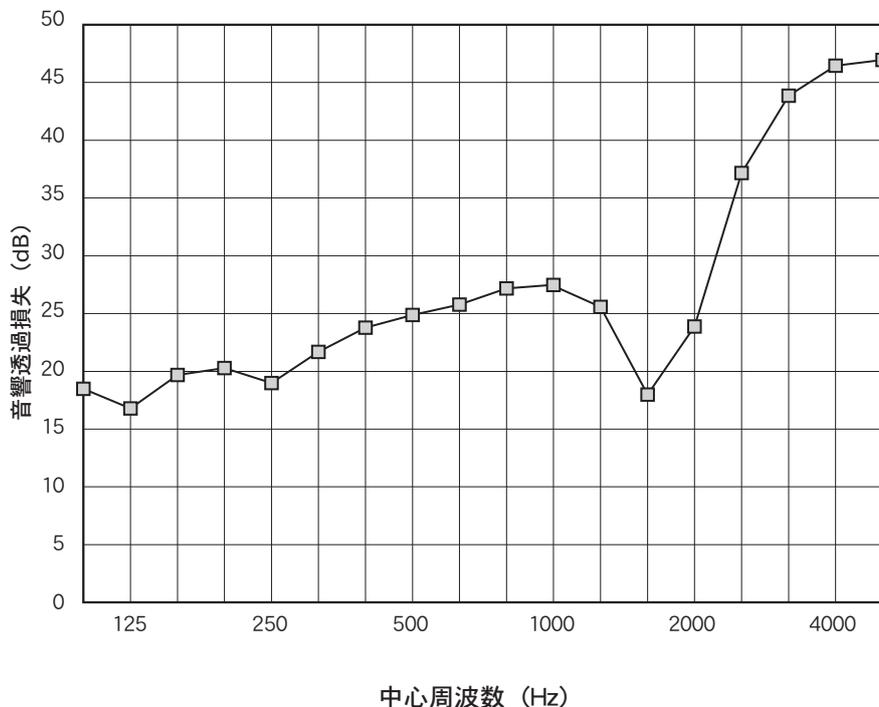
断熱ヴァンドNZ50-900



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	18.8
125	19.9
160	21.8
200	19.1
250	19.6
315	20.0
400	22.1
500	24.2
630	25.7
800	26.8
1000	27.7
1250	27.7
1600	24.3
2000	18.2
2500	26.0
3150	39.2
4000	45.6
5000	46.6

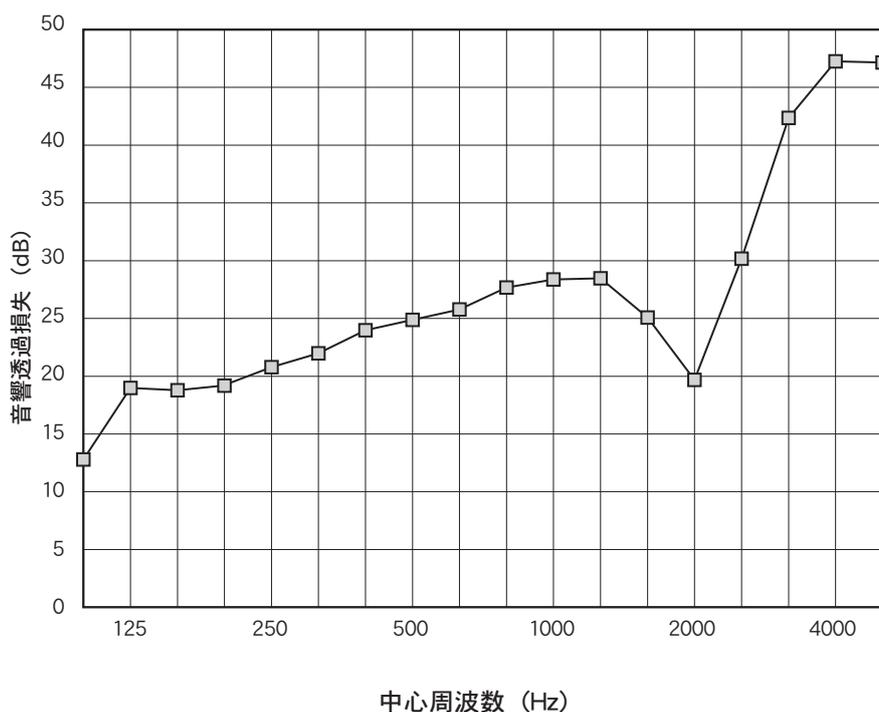
## 遮音性能

### 断熱ヴァンドNZ50F-600



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	18.5
125	16.8
160	19.7
200	20.3
250	19.0
315	21.7
400	23.8
500	24.9
630	25.8
800	27.2
1000	27.5
1250	25.6
1600	18.0
2000	23.9
2500	37.2
3150	43.9
4000	46.5
5000	47.0

### 断熱ヴァンドNZ50F-900



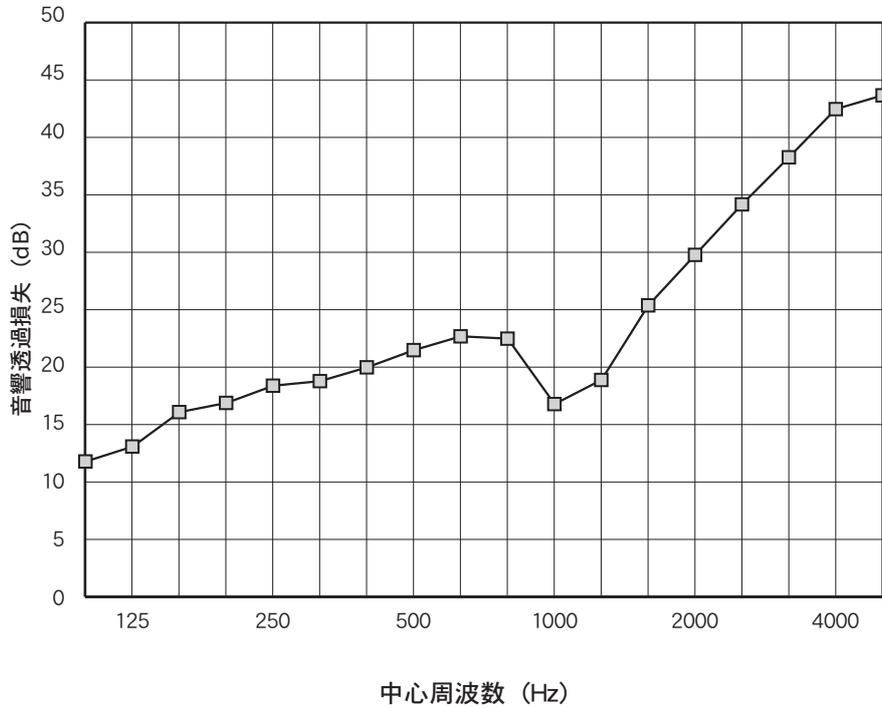
中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	12.8
125	19.0
160	18.8
200	19.2
250	20.8
315	22.0
400	24.0
500	24.9
630	25.8
800	27.7
1000	28.4
1250	28.5
1600	25.1
2000	19.7
2500	30.2
3150	42.4
4000	47.3
5000	47.2

○試験方法：JIS-A-1416

○検査機関：(一財)小林理学研究所

## 遮音性能

断熱ヴァンドNZ35-600



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	11.8
125	13.1
160	16.1
200	16.9
250	18.4
315	18.8
400	20.0
500	21.5
630	22.7
800	22.5
1000	16.8
1250	18.9
1600	25.4
2000	29.8
2500	34.2
3150	38.3
4000	42.5
5000	43.7

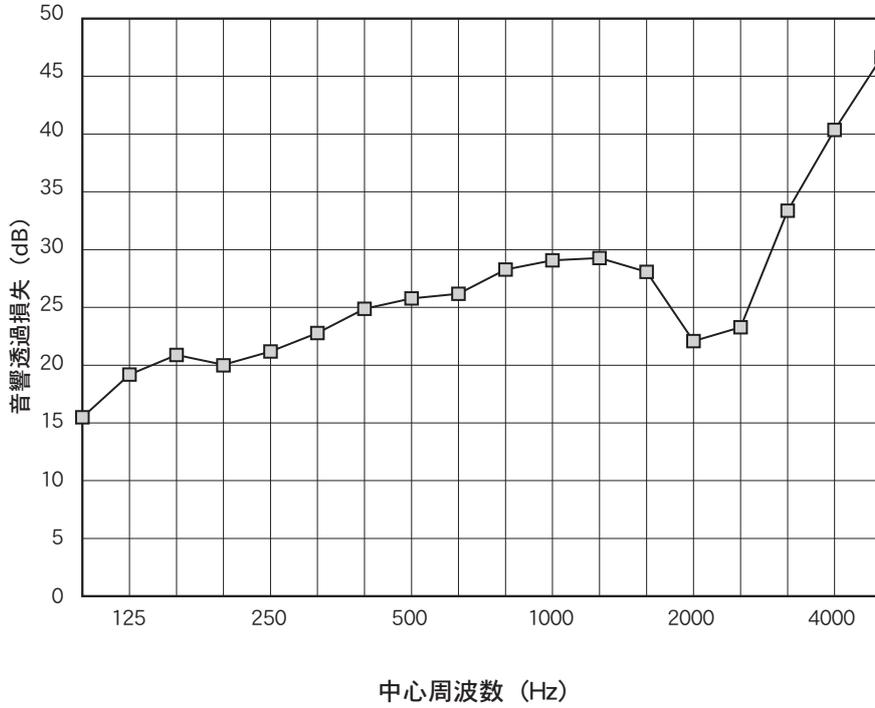
3

断熱ヴァンドNZ

○試験方法：JIS-A-1416      ○検査機関：(一財)建材試験センター

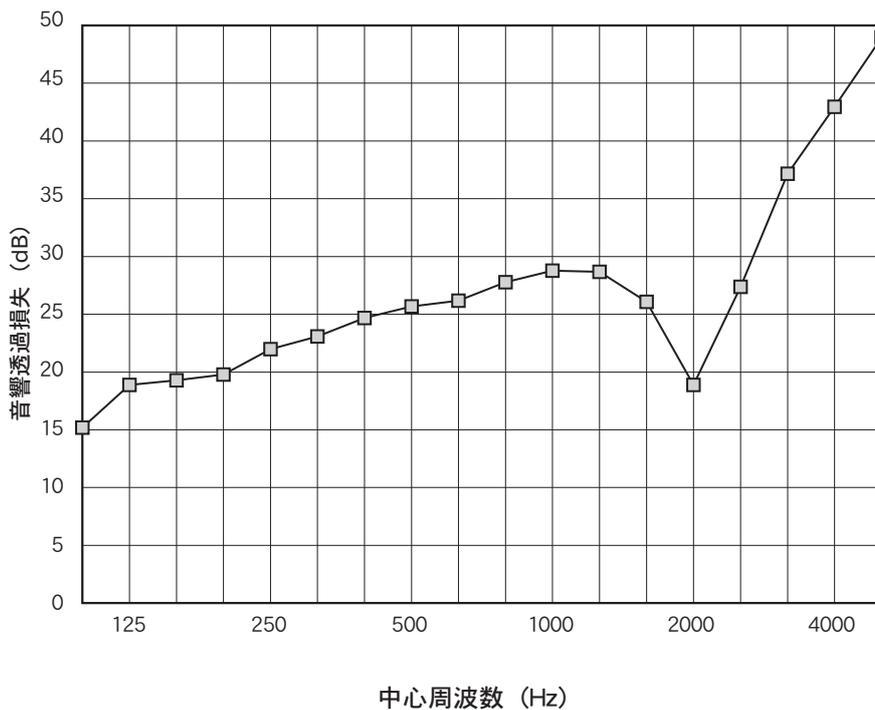
# 遮音性能

## 断熱ヴァンドNZ35F-600



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	15.5
125	19.2
160	20.9
200	20.0
250	21.2
315	22.8
400	24.9
500	25.8
630	26.2
800	28.3
1000	29.1
1250	29.3
1600	28.1
2000	22.1
2500	23.3
3150	33.4
4000	40.4
5000	46.7

## 断熱ヴァンドNZ35F-900



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	15.2
125	18.9
160	19.3
200	19.8
250	22.0
315	23.1
400	24.7
500	25.7
630	26.2
800	27.8
1000	28.8
1250	28.7
1600	26.1
2000	18.9
2500	27.4
3150	37.2
4000	43.0
5000	49.0

○試験方法：JIS-A-1416

○検査機関：(一財)小林理学研究所



## 層間変形追従性能

商品タイプ	働き幅 (mm)	変形角 (rad)	試験結果
断熱ヴァンドNZ35/NZ35F 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	900	1/50	パネルの脱落なし

注：断熱ヴァンドNZ50と断熱ヴァンドNZ35Fを測定した値です。性能保証値ではありません。  
○試験方法：静的変形性能試験 ○試験機関：(一財)建材試験センター

## 水密性能

商品タイプ	働き幅 (mm)	試験結果
断熱ヴァンドNZ35/NZ35F 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	600	平均圧力差 2,200Paで漏水なし

注：断熱ヴァンドNZ50と断熱ヴァンドNZ35Fを測定した値です。性能保証値ではありません。  
○試験方法：JIS A 1414 ○試験機関：(一財)建材試験センター

## 断熱性能

商品タイプ	働き幅 (mm)	部 位	熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> K)	熱抵抗 <sup>※3</sup> (m <sup>2</sup> K/W)	しん材熱伝導率 <sup>※4</sup> (W/mK)
断熱ヴァンドNZ35 断熱ヴァンドNZ35F	600	壁全体 <sup>※1</sup>	0.62	1.46	0.020
		一般部 <sup>※2</sup>	0.54		
	900	壁全体 <sup>※1</sup>	0.58	1.57	0.020
		一般部 <sup>※2</sup>	0.54		
断熱ヴァンドNZ50 断熱ヴァンドNZ50F	600	壁全体 <sup>※1</sup>	0.42	2.23	0.021
		一般部 <sup>※2</sup>	0.36		
	900	壁全体 <sup>※1</sup>	0.39	2.41	0.021
		一般部 <sup>※2</sup>	0.36		

注：断熱ヴァンドNZ50と断熱ヴァンドNZ35Fを測定した値です。性能保証値ではありません。

※1 かん合部を含む壁全体の値です。測定値であり、性能保証値ではありません。

※2 測定値から算出した値であり、性能保証値ではありません。

※3 熱抵抗は壁全体の熱貫流率から算出した値であり、性能保証値ではありません。

※4 20℃の時の熱伝導率です。測定値から算出した値であり、性能保証値ではありません。

○試験方法：熱貫流率/JIS A 1420、熱伝導率/JIS A 1412-2

○試験機関：(一財)建材試験センター

## [6] 認定

### 外壁（非耐力壁）防耐火構造認定

#### ■断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

認定区分	認定番号	張り方向	構造仕様		構造仕様図
1時間耐火構造	FP060NE-9305※1	たて・よこ	吹付けロックウール30mm以上		—
30分耐火構造	FP030NE-9304※1	たて・よこ	吹付けロックウール20mm以上		—
45分準耐火構造	QF045NE-0053(1)	よこ	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P72
	QF045NE-0053(3)※2				—
	QF045NE-0053(2)		せっこうボード下張り +内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード下張り9.5mm以上) (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P73
	QF045NE-0053(4)※2				—
	QF045NE-0055(1)	たて	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P74
	QF045NE-0055(3)※2				—
	QF045NE-0055(2)		せっこうボード下張り +内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード下張り9.5mm以上) (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P75
	QF045NE-0055(4)※2				—
防火構造	PC030NE-0264※4	たて・よこ(注)	せっこうボード 下張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 下張り)	P76
	PC030NE-0269※3			下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 下張り)	P77
	PC030NE-0265(1)	たて・よこ(注)	せっこうボード 内装張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 内装張り)	P78
	PC030NE-0265(2)※2				—
	PC030NE-0268(1)	たて	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード9.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P79
	PC030NE-0268(2)※2				—

- (注) たて張り時のたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。
- ※1 FP060NE-9305及びFP030NE-9304はロックウール工業会会員各社の個別認定です。但し、ご使用にあたっては、事前に行政機関等に相談してください。
- ※2 壁内に断熱材（グラスウールまたはロックウール）を充てんする場合。
- ※3 せっこうボード下張りの目地処理はロックウールフェルト。
- ※4 せっこうボード下張りの目地処理はガラス繊維とせっこうボード目地処理材。

## 材料認定

認定区分	認定番号	表面材塗装種別	対象商品
不燃材料	NM-5442	ポリエステル樹脂塗装	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F
	NM-4598	防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

**【注意 !!】** 断熱ヴァンドNZ50/NZ50Fの不燃材料認定番号は表面材塗装種別で異なりますのでご注意ください。

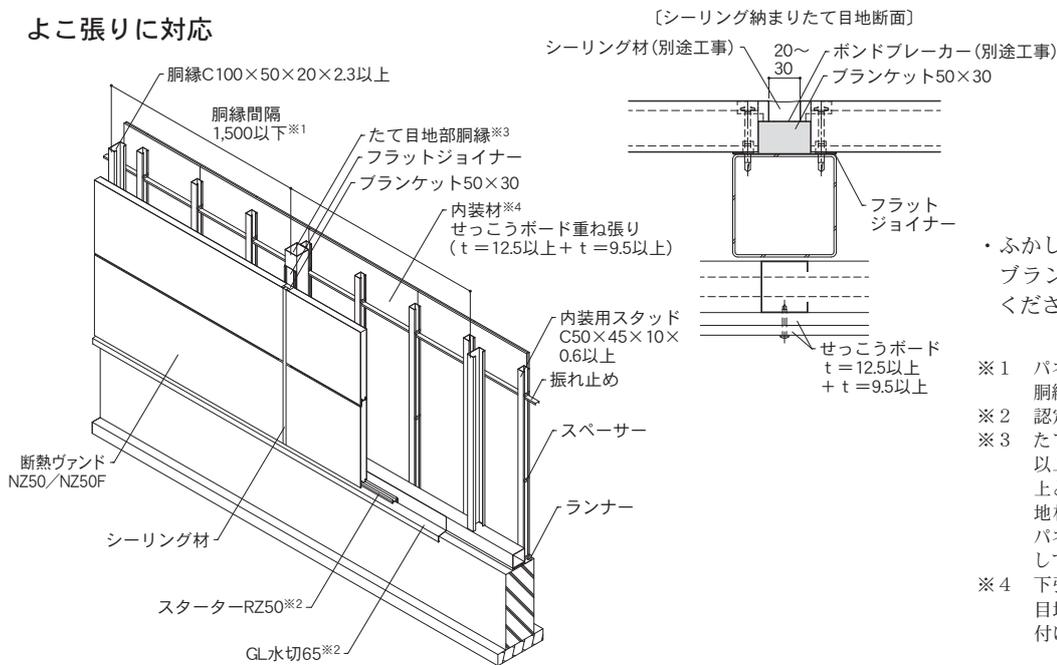
## 防耐火構造仕様図

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

QF045NE-0053(1)	せっこうボード内装重ね張り
-----------------	---------------

よこ張りに対応

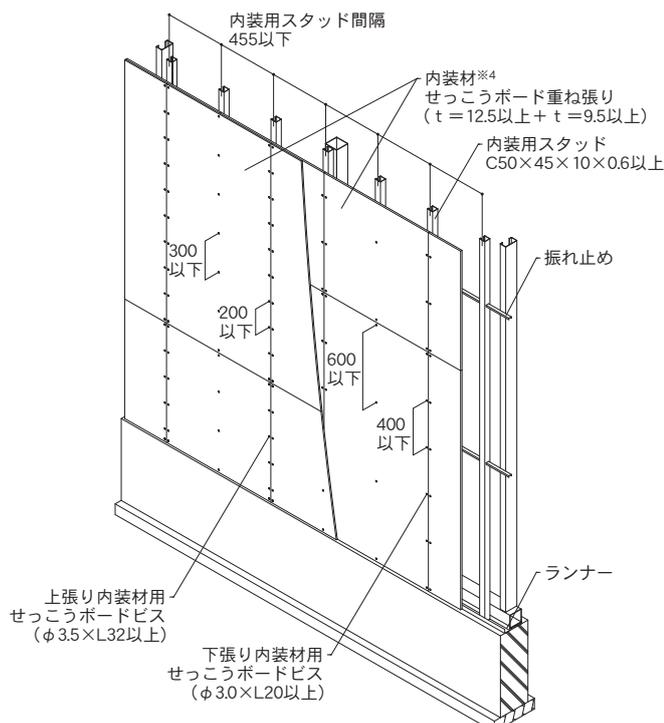


・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×30を充て込んでください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。

## 〔断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード内装重ね張り〕

## (内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス(φ3.0×L20以上)を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス(φ3.5×L32以上)を外周部200mm以下中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

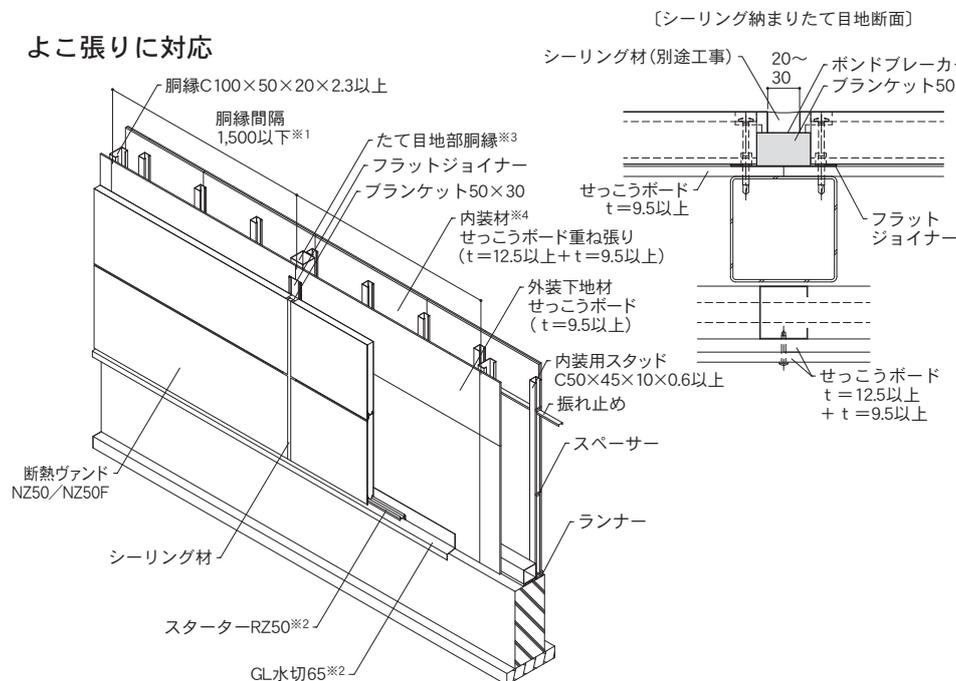
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

QF045NE-0053(2) **せっこうボード下張り+内装重ね張り**

### よこ張りに対応

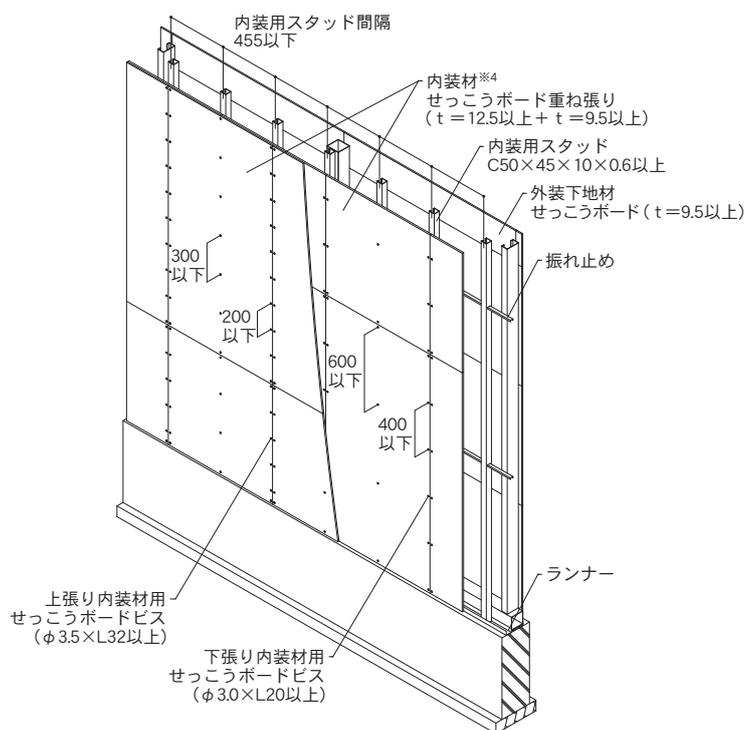


- ・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×30を充て込んでください。
- ・外装下地材はドリルビス（φ3×L20以上）を用いて500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。

### 〔断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード下張り+内装重ね張り〕

#### （内装側から見たせっこうボード施工方法）



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

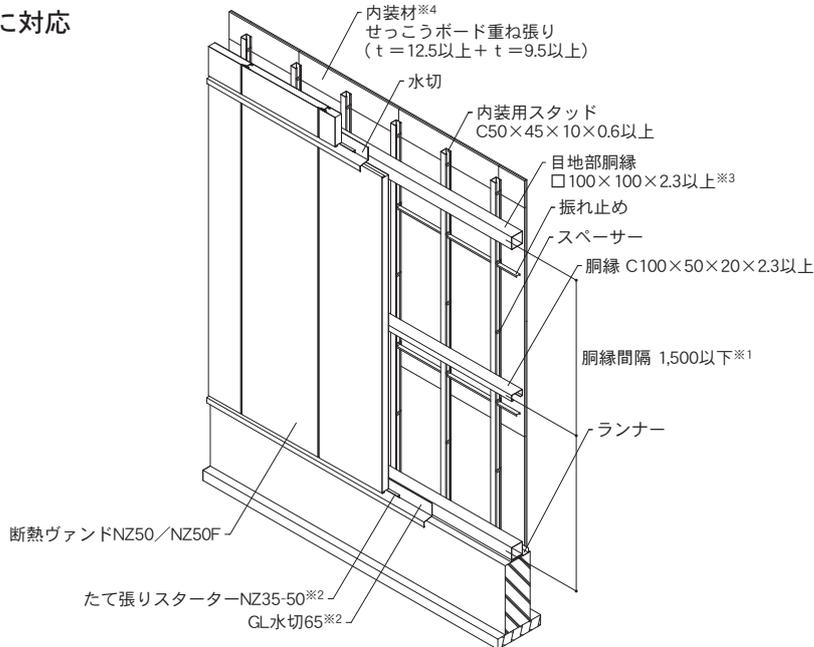
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

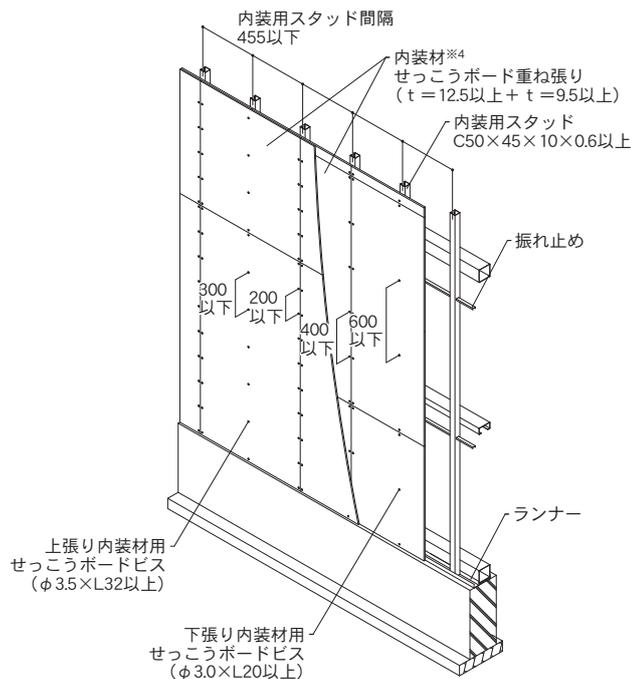
QF045NE-0055(1)	せっこうボード内装重ね張り
-----------------	---------------

たて張りに対応



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 目地部胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

[断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード内装重ね張り]  
 (内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

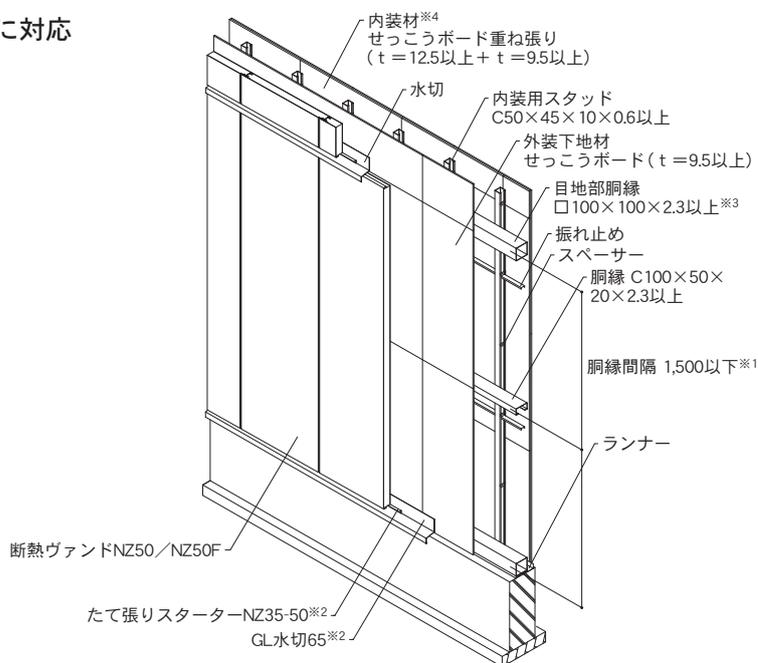
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

QF045NE-0055(2) せっこうボード下張り+内装重ね張り

たて張りに対応

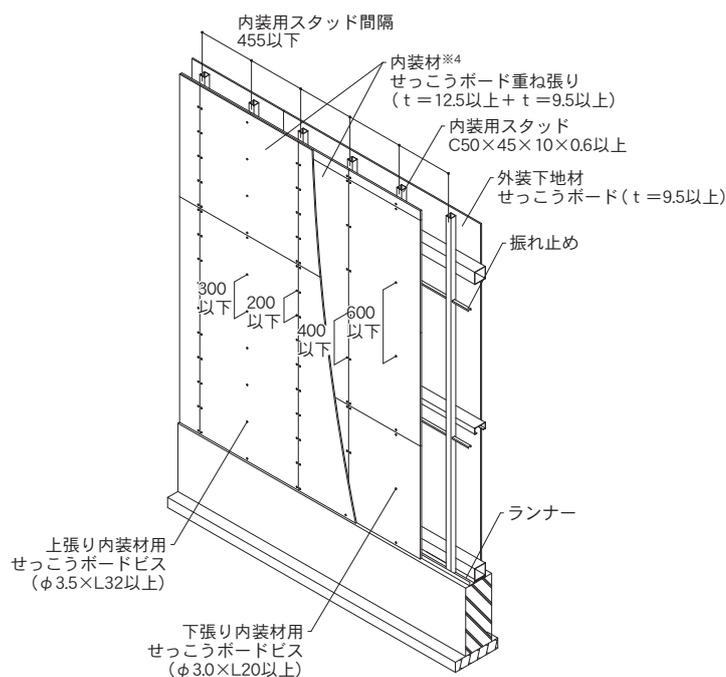


・外装下地材はドリルビス（φ3×L20以上）を用いて500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 目地部胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

### 〔断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード下張り+内装重ね張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

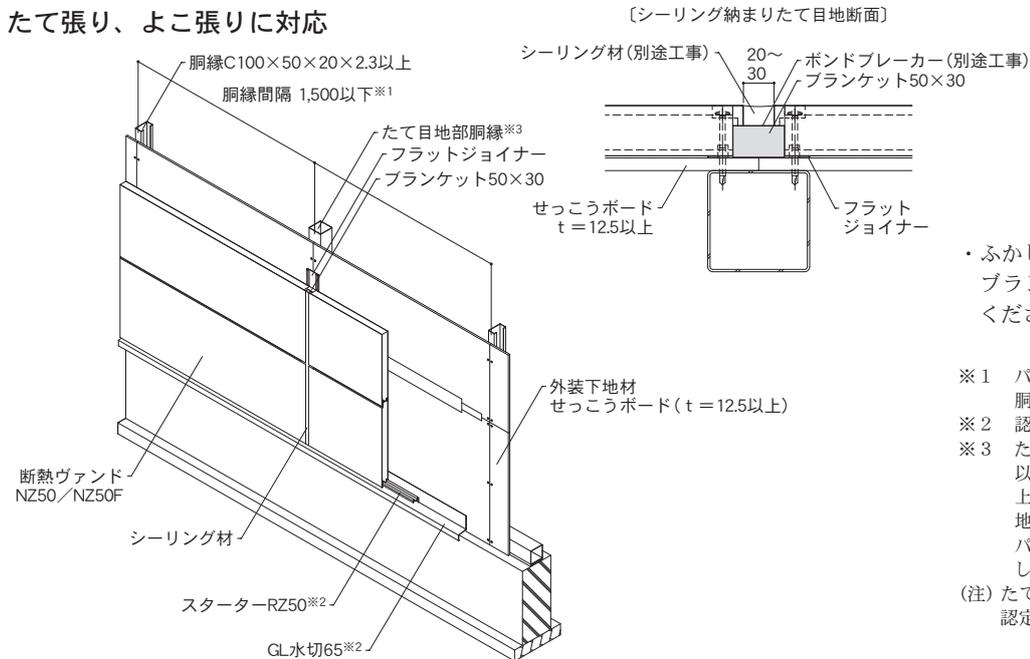
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0264 せっこうボード下張り

## たて張り、よこ張りに対応



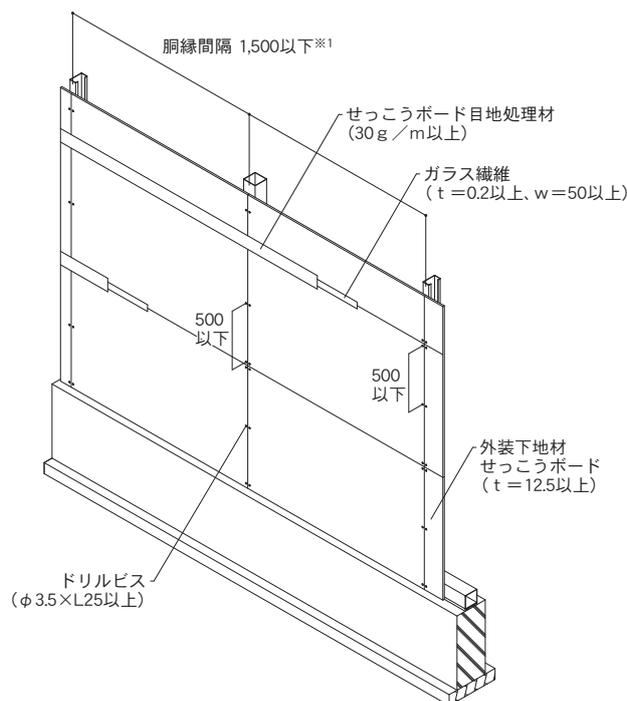
・ふかし納まりのたて目地にも同様にブラケット50×30を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。

## 〔断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード下張り〕

## (外装側から見たせっこうボード施工方法)

## よこ張りの場合



- ・外装下地材に、せっこうボード12.5mm以上をドリルビス(φ3.5×L25以上)を用いて、500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部(胴縁に重ならない目地)に、ガラス繊維(t=0.2mm以上、w=50mm以上)を貼り、せっこうボード目地処理材(主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上)を施してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

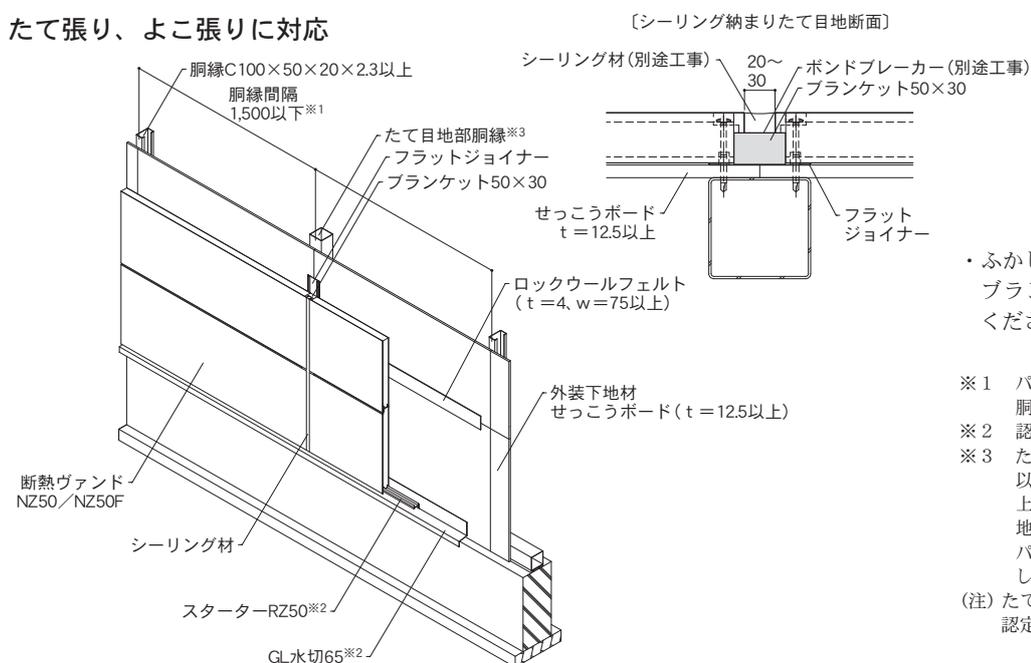
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0269 せっこうボード下張り

### たて張り、よこ張りに対応



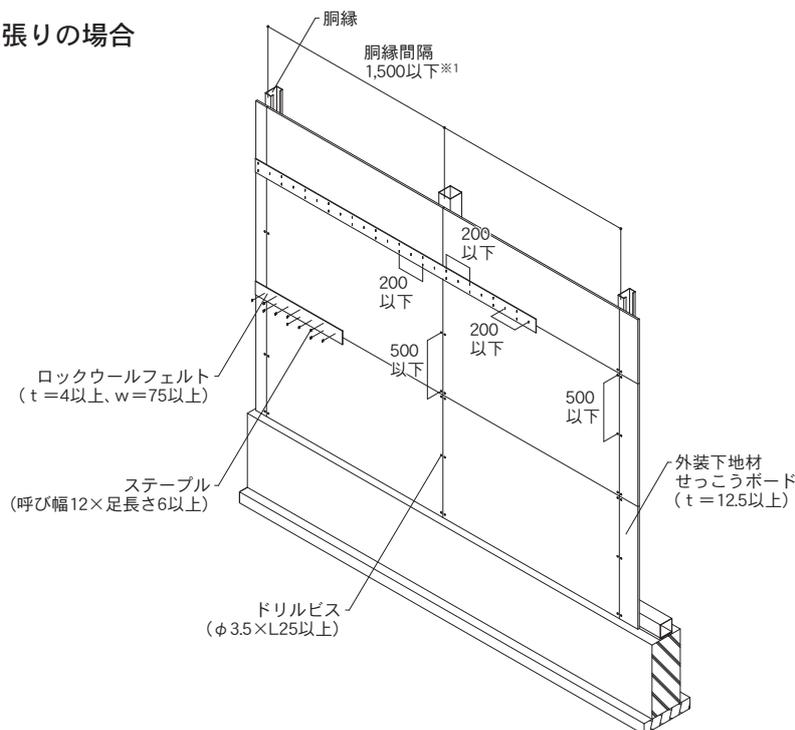
・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×30を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

### 〔断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード下張り〕

#### （外装側から見たせっこうボード施工方法）

#### よこ張りの場合



- ・外装下地材は、せっこうボード12.5mm以上をドリルビス（φ3.5×L25以上）を用いて、たて方向500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部（胴縁に重ならない目地）にロックウールフェルト系テープ（厚さ4mm×幅75mm以上、密度190kg/m<sup>3</sup>以上）を貼り付け、ステープル（肩幅12mm×足長さ6mm以上）で留め付けてください。（中央200mm以下の間隔、その間でフェルトの両端に各1本）

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。（<https://www.igkogyo.co.jp/>）

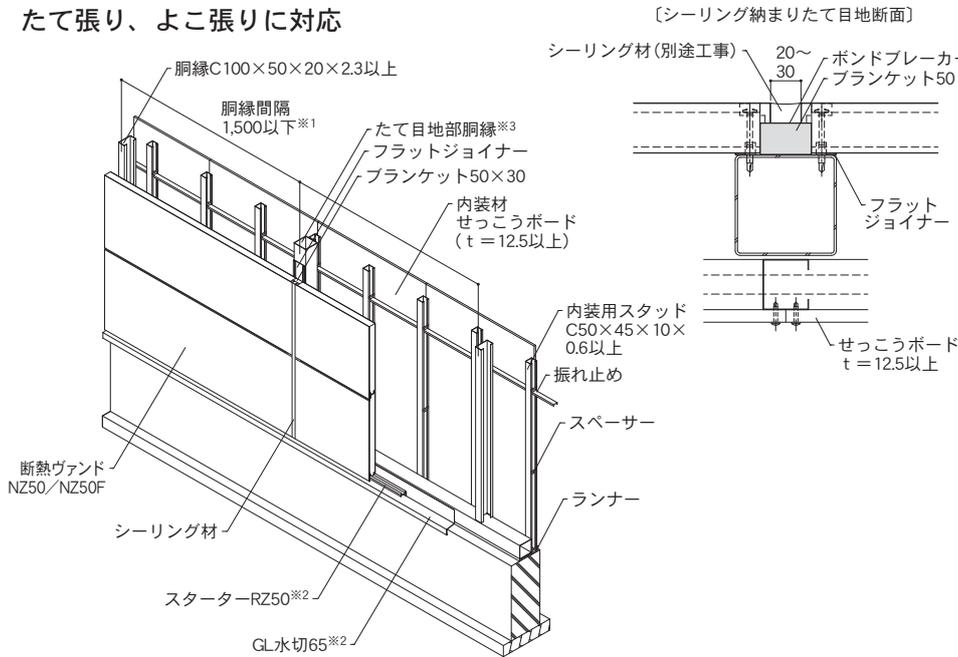


## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0265(1) せっこうボード内装張り

たて張り、よこ張りに対応

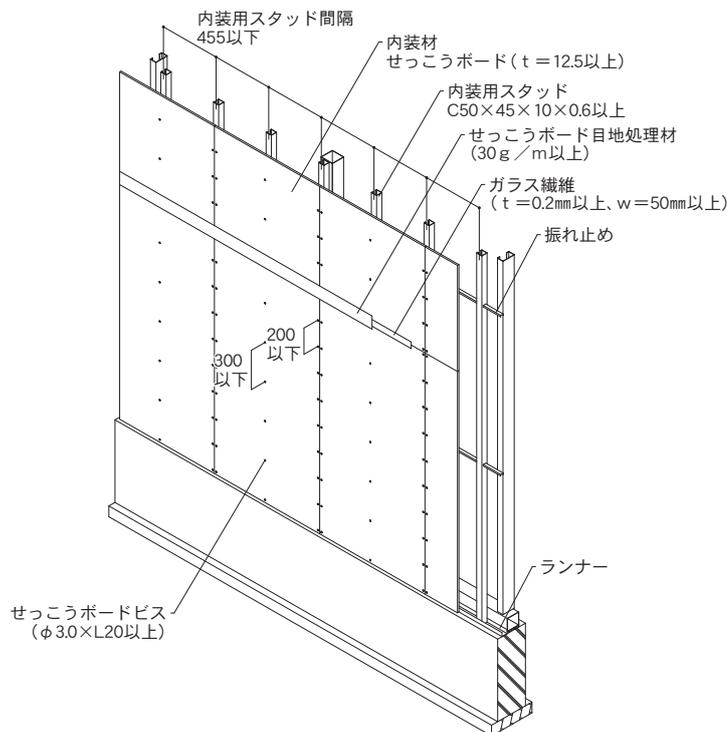


・ふかし納まりのたて目地にも同様にプランケット50×30を充てんしてください。

- ※1 パネル、下材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

## [断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード内装張り]

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・内装材はせっこうボード12.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部（よこ目地）部に、ガラス繊維（t=0.2mm以上、w=50mm以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもの）を30g/m以上を施してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

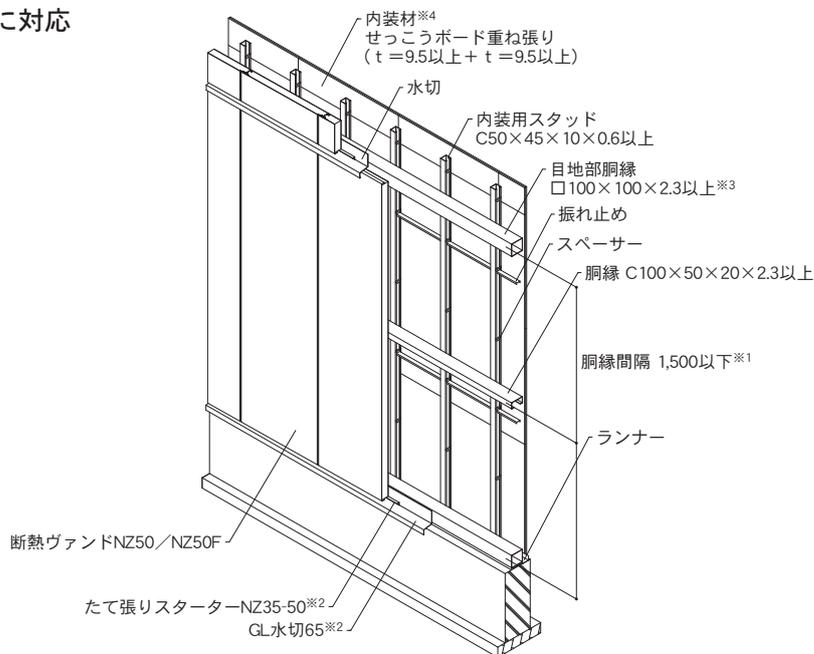
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ50/NZ50F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0268(1) せっこうボード内装重ね張り

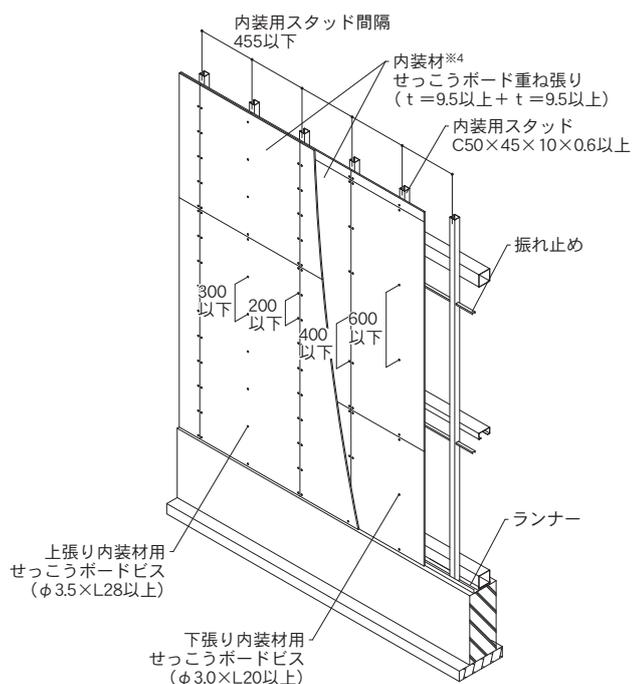
たて張りに対応



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 目地部胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

### 〔断熱ヴァンドNZ50/NZ50F せっこうボード内装重ね張り〕

（内装側から見たせっこうボード施工方法）



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材はせっこうボード9.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材はせっこうボード9.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.5×L28以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## ■断熱ヴァンドNZ35

認定区分	認定番号	張り方向	構造仕様		構造仕様図
1時間耐火構造	FP060NE-9305※1	たて・よこ	吹付けロックウール30mm以上		—
30分耐火構造	FP030NE-9304※1	たて・よこ	吹付けロックウール20mm以上		—
45分準耐火構造	QF045NE-0050(1)	よこ	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,250mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P81
	QF045NE-0050(3)※2				—
	QF045NE-0050(2)		せっこうボード下張り +内装重ね張り	下地条件：@1,250mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード下張り9.5mm以上) (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P82
	QF045NE-0050(4)※2				—
	QF045NE-0052(1)	たて	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,250mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P83
	QF045NE-0052(3)※2				—
	QF045NE-0052(2)		せっこうボード下張り +内装重ね張り	下地条件：@1,250mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード下張り9.5mm以上) (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P84
	QF045NE-0052(4)※2				—
防火構造	PC030NE-0246※3	たて・よこ注)	せっこうボード 下張り	下地条件：@1,365mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 下張り)	P85
	PC030NE-0270※4				P86
	PC030NE-0247(1)	たて・よこ注)	せっこうボード 内装張り	下地条件：@1,250mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 内装張り)	P87
	PC030NE-0247(2)※2				—
	PC030NE-0251(1)	たて	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,250mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード9.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P88
	PC030NE-0251(2)※2				—

3

断熱ヴァンドNZ

(注) たて張り時のたてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。

※1 FP060NE-9305及びFP030NE-9304はロックウール工業会会員各社の個別認定です。但し、ご使用にあたっては、事前に行政機関等に相談してください。

※2 壁内に断熱材(グラスウールまたはロックウール)を充てんする場合。

※3 せっこうボード下張りの目地処理はロックウールフェルト。

※4 せっこうボード下張りの目地処理はガラス繊維とせっこうボード目地処理材。

## 材料認定

認定区分	認定番号	表面材塗装種別	対象商品
不燃材料	NM-5441	ポリエステル樹脂塗装	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F
	NM-4431	防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F

**【注意 !!】** 断熱ヴァンドNZ35/NZ35Fの不燃材料認定番号は表面材塗装種別で異なりますのでご注意ください。

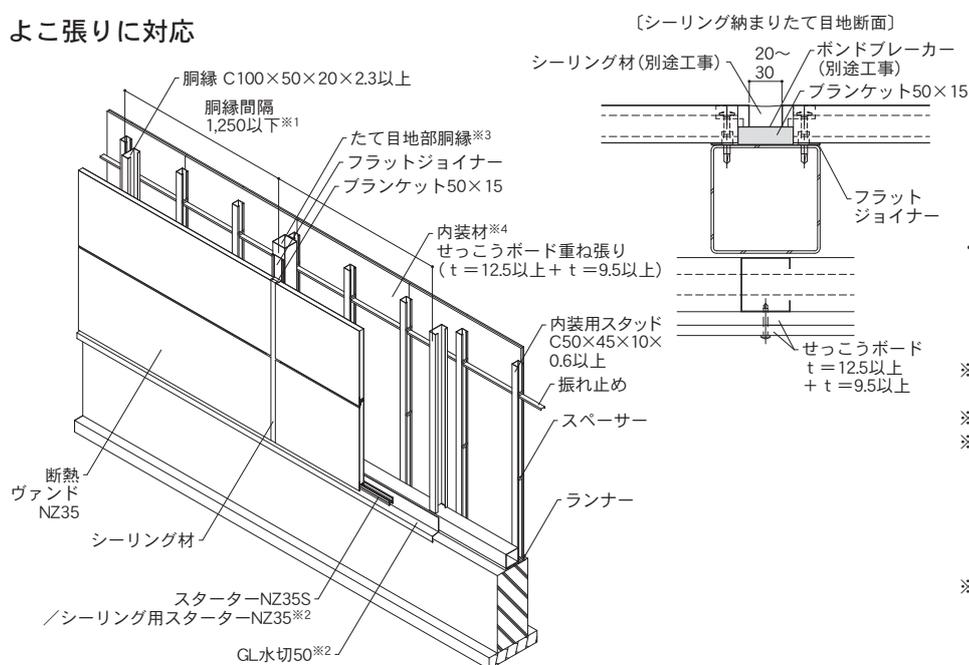
# 防耐火構造仕様図

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

QF045NE-0050(1) せっこうボード内装重ね張り

### よこ張りに対応

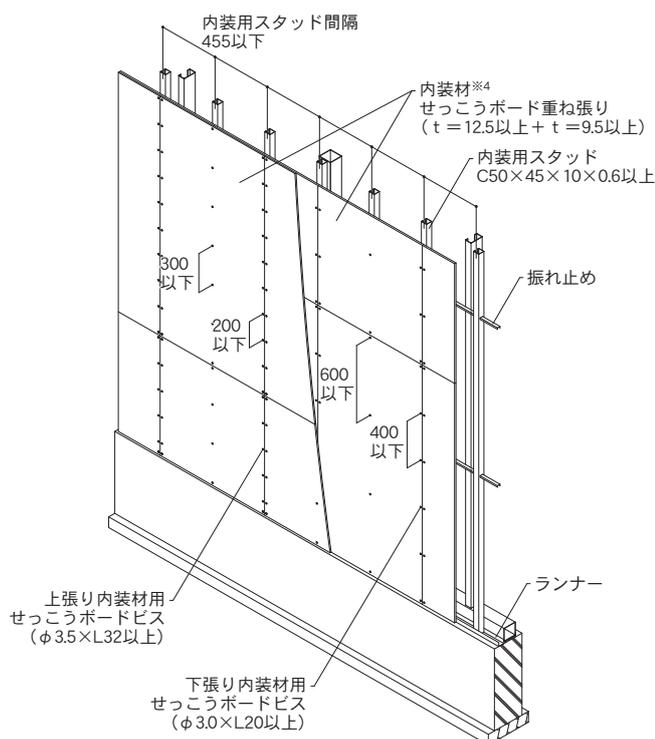


・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×15を充て込んでください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。

### 〔断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード内装重ね張り〕

#### (内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

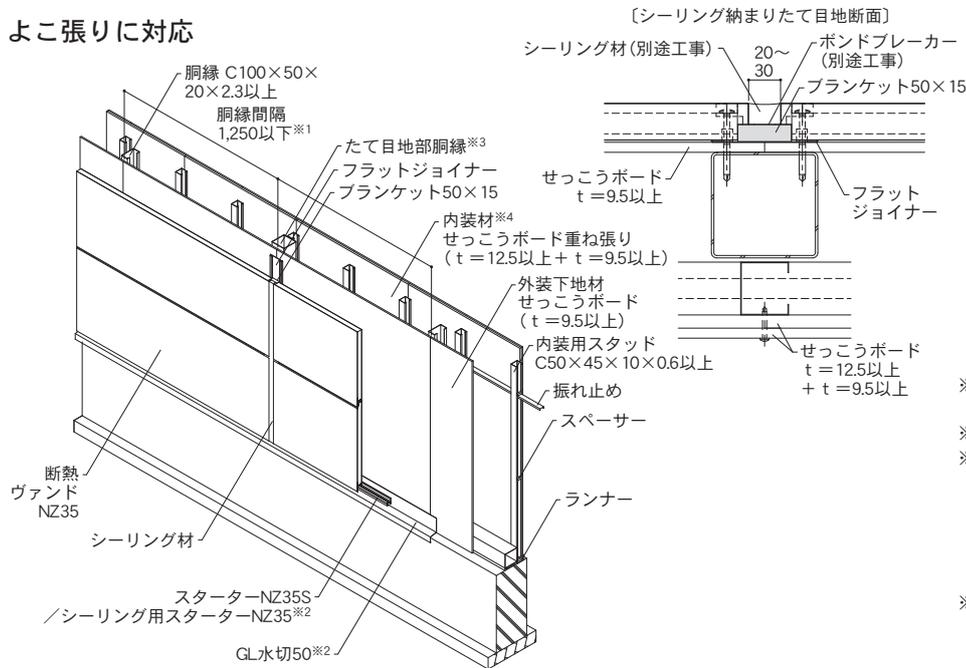
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

QF045NE-0050(2) せっこうボード下張り+内装重ね張り

よこ張りに対応

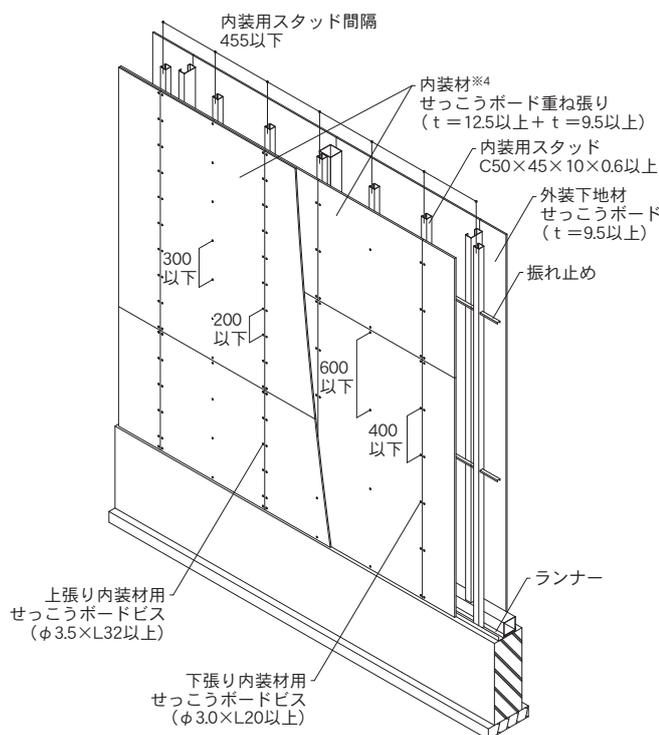


- ・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×15を充て込んでください。
- ・外装下地材はドリルビス（φ3×L20以上）を用いて500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。

## [断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード下張り+内装重ね張り]

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

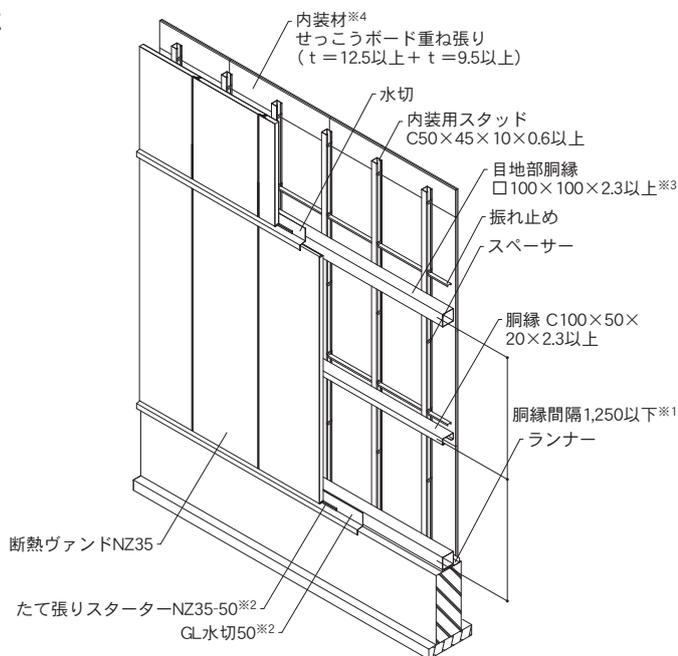
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

QF045NE-0052(1) せっこうボード内装重ね張り

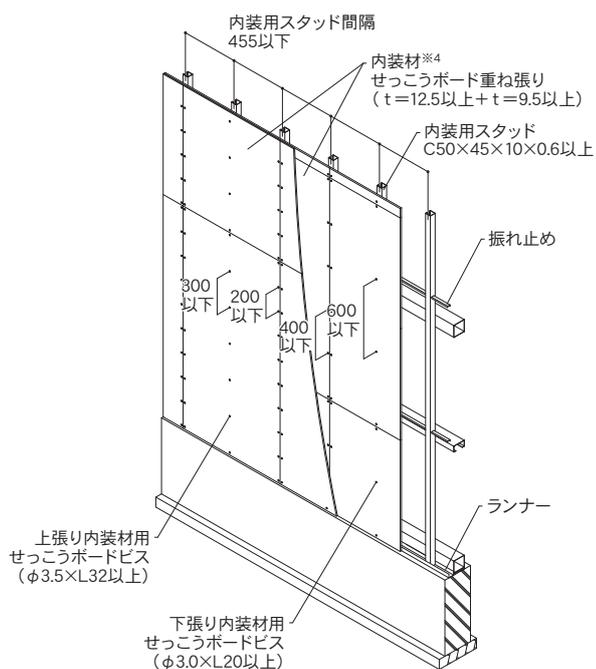
たて張りに対応



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

### 〔断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード内装重ね張り〕

（内装側から見たせっこうボード施工方法）



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

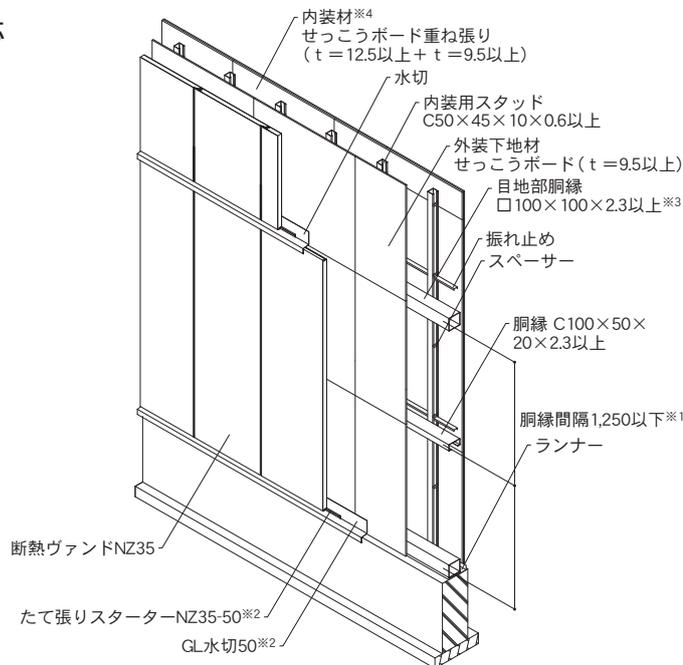
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

QF045NE-0052(2) せっこうボード下張り+内装重ね張り

たて張りに対応



・外装下地材はドリルビス（φ3×L20以上）を用いて500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

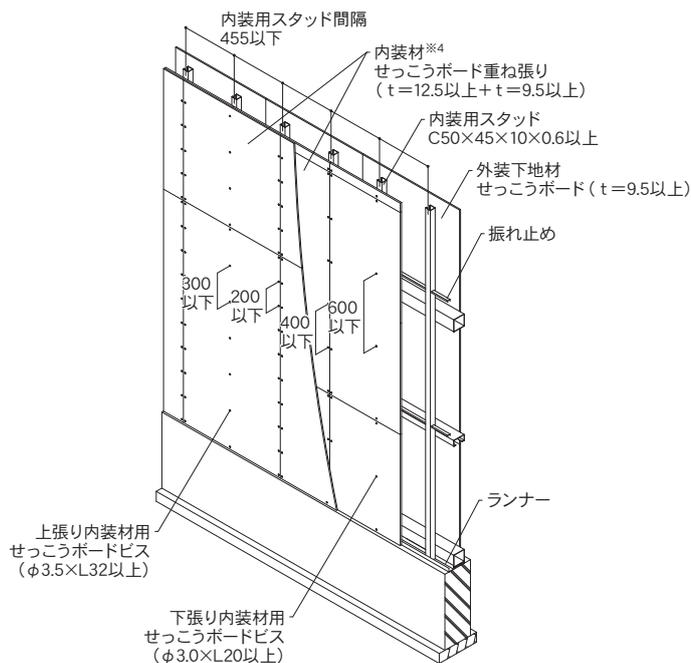
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- （注）たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

3

断熱ヴァンドNZ

## 〔断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード下張り+内装重ね張り〕

（内装側から見たせっこうボード施工方法）



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

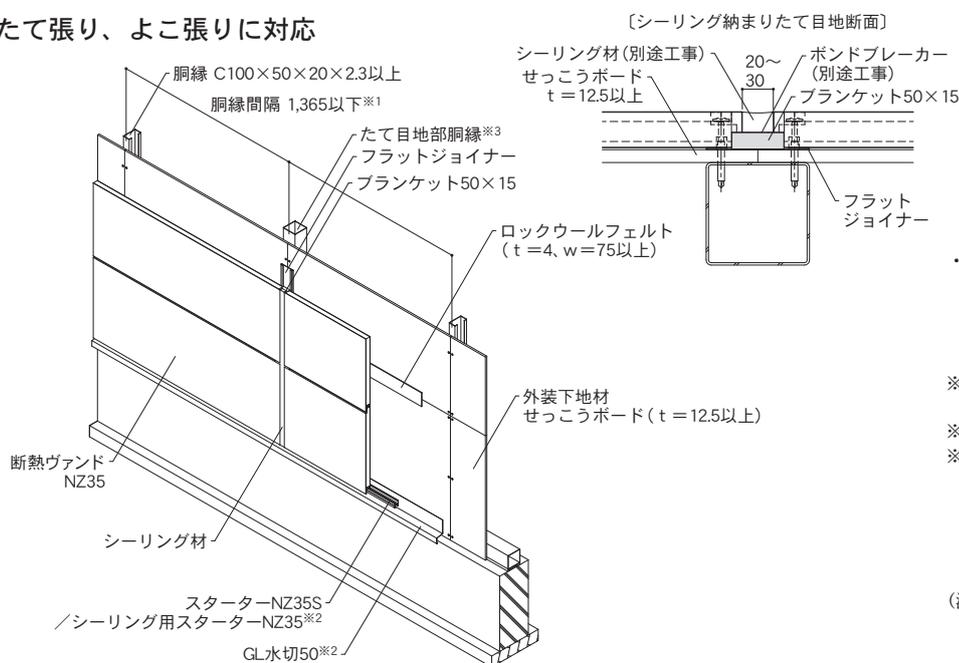
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。（<https://www.igkogyo.co.jp/>）

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

PC030NE-0246 せっこうボード下張り

たて張り、よこ張りに対応



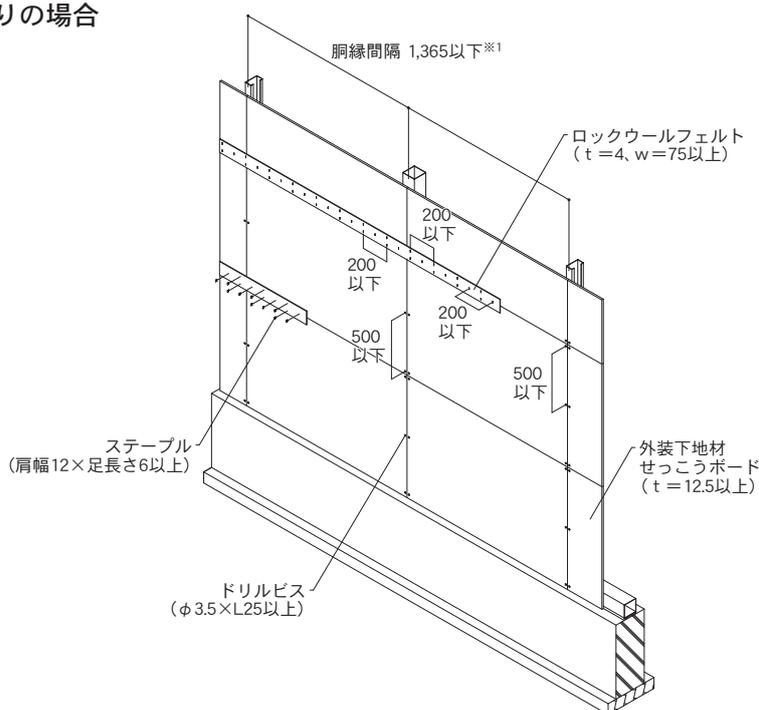
・ふかし納まりのたて目地にも同様にプランケット50×15を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。

### [断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード下張り]

(外装側から見たせっこうボード施工方法)

よこ張りの場合



- ・外装下地材は、せっこうボード12.5mm以上をドリルビス(φ3.5×L25以上)を用いて、たて方向500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部(胴縁に重ならない目地)にロックウールフェルト系テープ(厚さ4mm×幅75mm以上、密度190kg/m<sup>3</sup>以上)を貼り付け、ステープル(肩幅12mm×足長さ6mm以上)で留め付けてください。(中央200mm以下の間隔、その間でフェルトの両端に各1本)

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

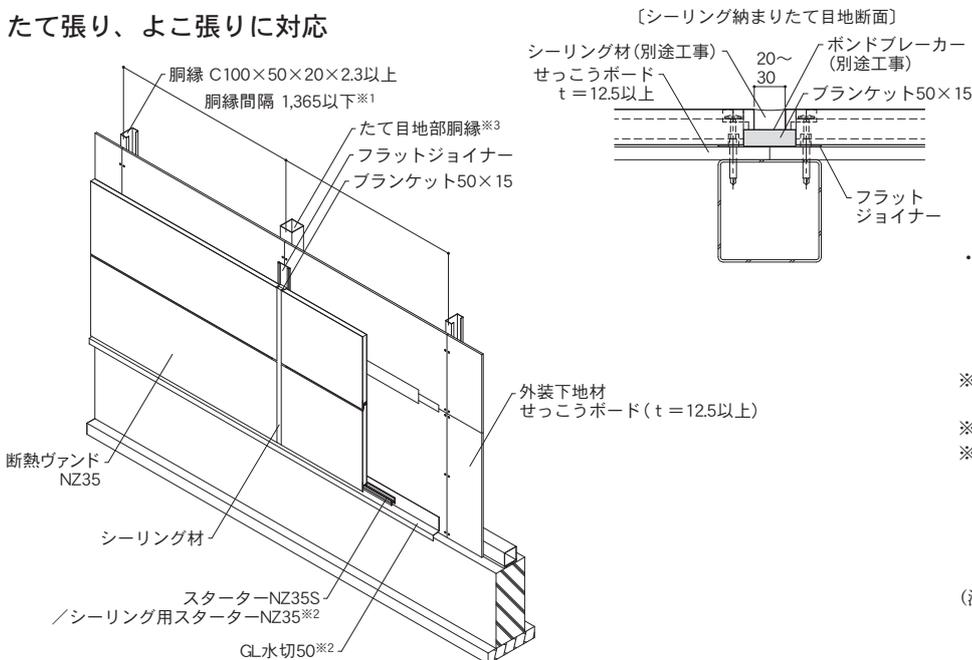


## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

PC030NE-0270 せっこうボード下張り

## たて張り、よこ張りに対応



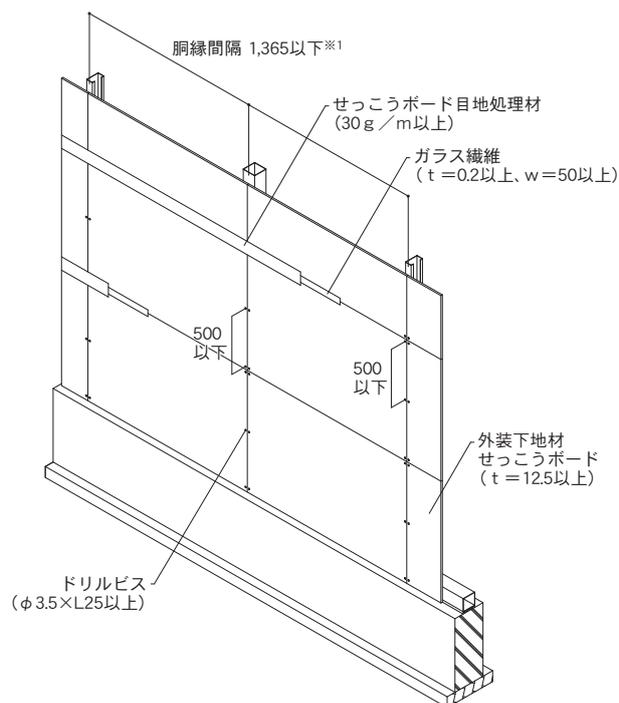
・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×15を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

## [断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード下張り]

## (外装側から見たせっこうボード施工方法)

## よこ張りの場合



- ・外装下地材は、せっこうボード12.5mm以上をドリルビス（φ3.5×L25以上）を用いて、500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部（胴縁に重ならない目地）に、ガラス繊維（t=0.2mm以上、w=50mm以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

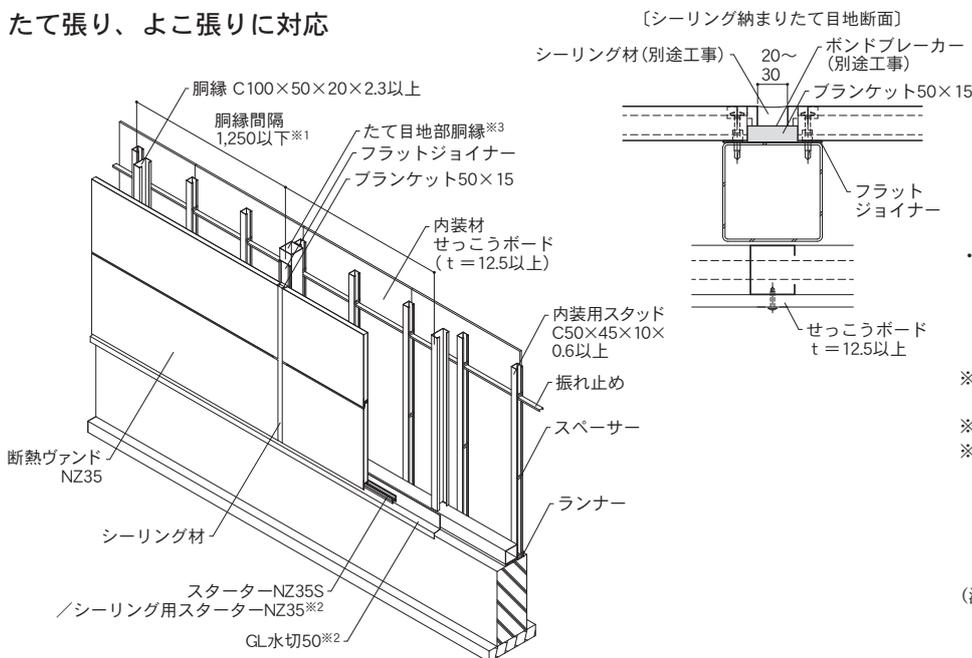
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。（<https://www.igkogyo.co.jp/>）

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

PC030NE-0247(1) せっこうボード内装張り

たて張り、よこ張りに対応

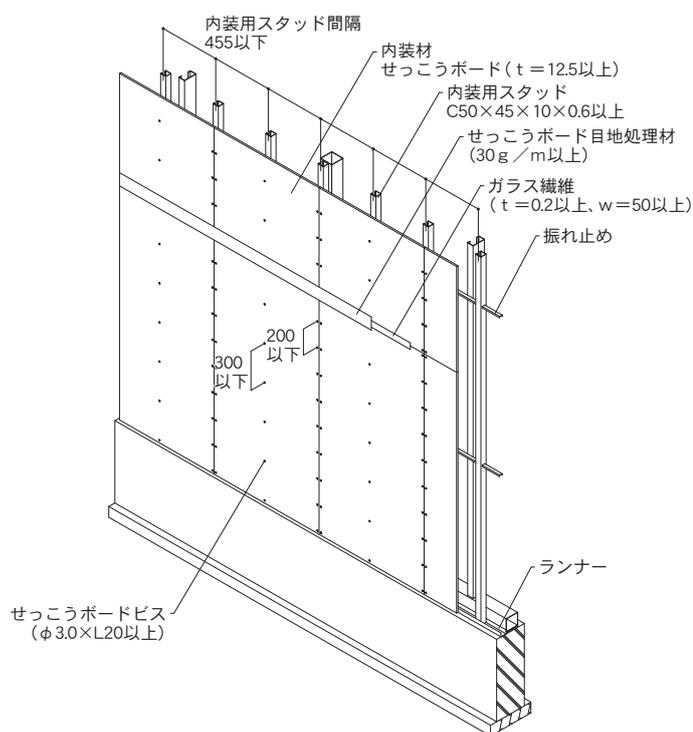


・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×15を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

### 〔断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード内装張り〕

（内装側から見たせっこうボード施工方法）



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・内装材はせっこうボード12.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部（よこ目地）部に、ガラス繊維（t=0.2mm以上、w=50mm以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもの）で30g/m以上を施してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

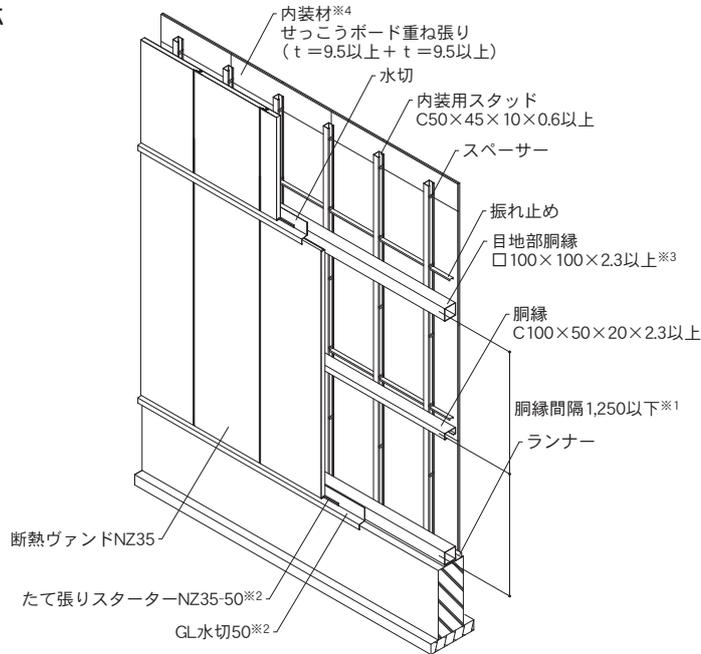
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。（<https://www.igkogyo.co.jp/>）

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35

国土交通省大臣認定

PC030NE-0251(1) せっこうボード内装重ね張り

たて張りに対応



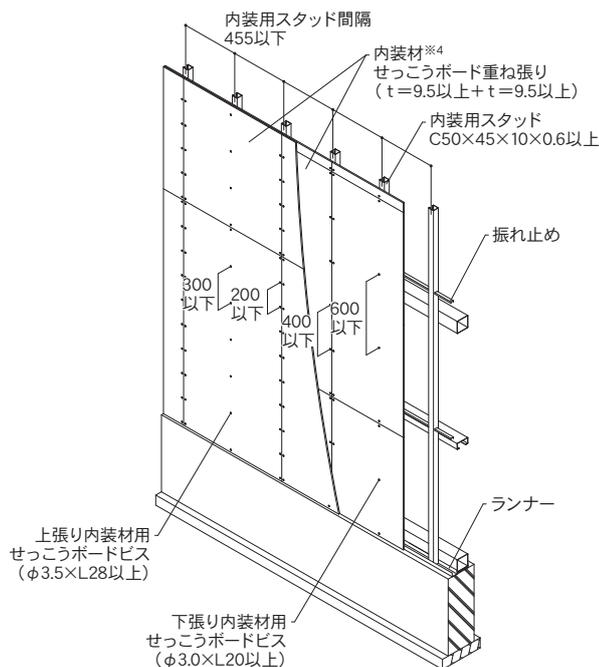
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

3

断熱ヴァンドNZ

## 〔断熱ヴァンドNZ35 せっこうボード内装重ね張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けしてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を用いて外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.5×L28以上）を用いて外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## ■断熱ヴァンドNZ35F

認定区分	認定番号	張り方向	構造仕様		構造仕様図
1時間耐火構造	FP060NE-9305※1	たて・よこ	吹付けロックウール30mm以上		—
30分耐火構造	FP030NE-9304※1	たて・よこ	吹付けロックウール20mm以上		—
45分準耐火構造	QF045NE-0049(1)	よこ	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P90
	QF045NE-0049(3)※2				—
	QF045NE-0049(2)	よこ	せっこうボード下張り +内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード下張り9.5mm以上) (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P91
	QF045NE-0049(4)※2				—
	QF045NE-0051(1)	たて	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P92
	QF045NE-0051(3)※2				—
	QF045NE-0051(2)		せっこうボード下張り +内装重ね張り	下地条件：@500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード下張り9.5mm以上) (せっこうボード12.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P93
	QF045NE-0051(4)※2				—
防火構造	PC030NE-0231※4	たて・よこ注)	せっこうボード 下張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 下張り)	P94
	PC030NE-0246※3			下地条件：@1,365mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 下張り)	P95
	PC030NE-0242(1)	たて・よこ注)	せっこうボード 内装張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード12.5mm以上 内装張り)	P96
	PC030NE-0242(2)※2				—
	PC030NE-0243(1)	たて	せっこうボード 内装重ね張り	下地条件：@1,500mm以下C100×50×20×2.3以上 (せっこうボード9.5mm以上+9.5mm以上 内装重ね張り)	P97
	PC030NE-0243(2)※2				—

- (注) たて張り時のたてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。
- ※1 FP060NE-9305及びFP030NE-9304はロックウール工業会会員各社の個別認定です。但し、ご使用にあたっては、事前に行政機関等に相談してください。
- ※2 壁内に断熱材(グラスウールまたはロックウール)を充てんする場合。
- ※3 せっこうボード下張りの目地処理はロックウールフェルト。
- ※4 せっこうボード下張りの目地処理はガラス繊維とせっこうボード目地処理材。

## 材料認定

認定区分	認定番号	表面材塗装種別	対象商品
不燃材料	NM-5441	ポリエステル樹脂塗装	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F
	NM-4431	防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F

**【注意 !!】** 断熱ヴァンドNZ35/NZ35Fの不燃材料認定番号は表面材塗装種別で異なりますのでご注意ください。

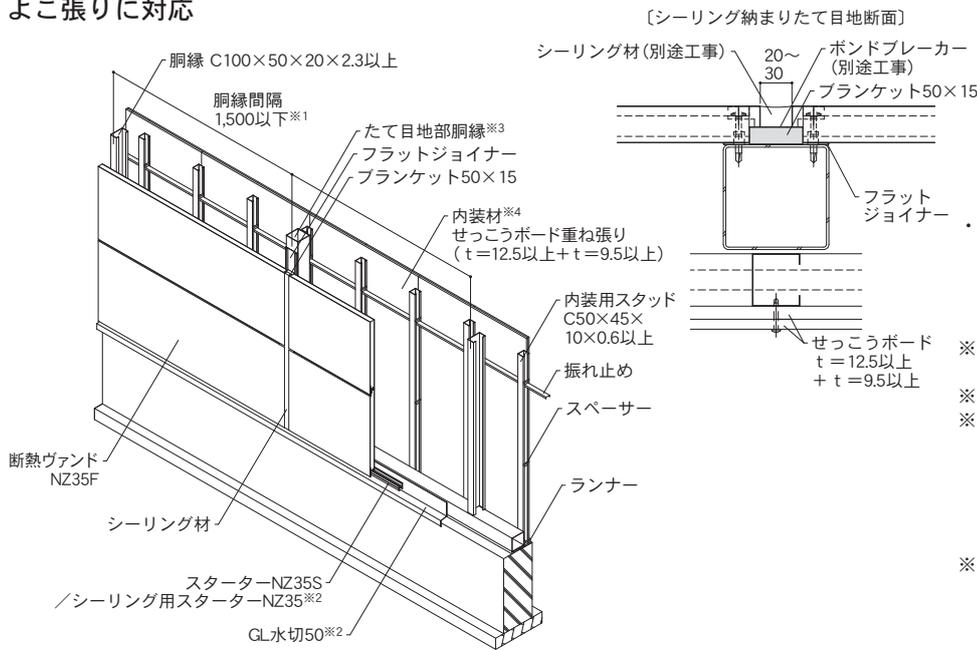
## 防耐火構造仕様図

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

QF045NE-0049(1)	せっこうボード内装重ね張り
-----------------	---------------

よこ張りに対応

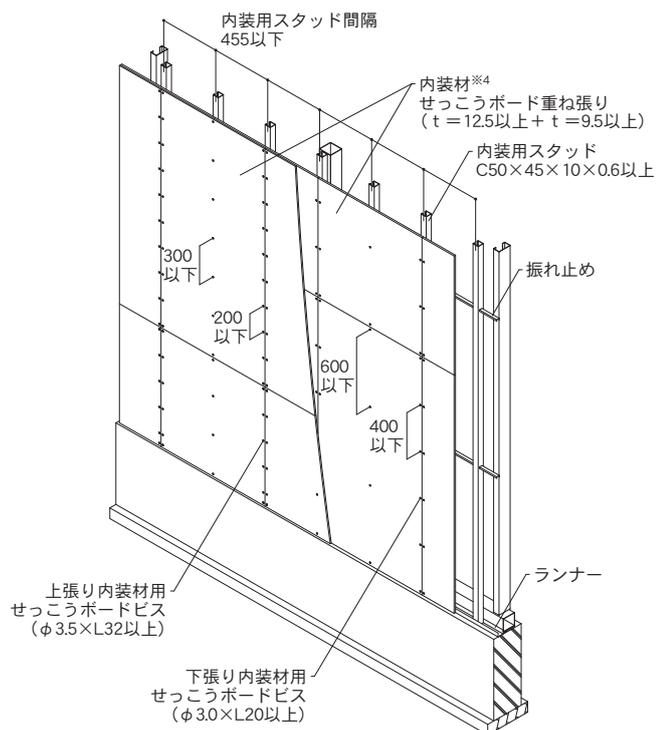


・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×15を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。

## 〔断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード内装重ね張り〕

## (内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス(φ3.0×L20以上)を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス(φ3.5×L32以上)を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

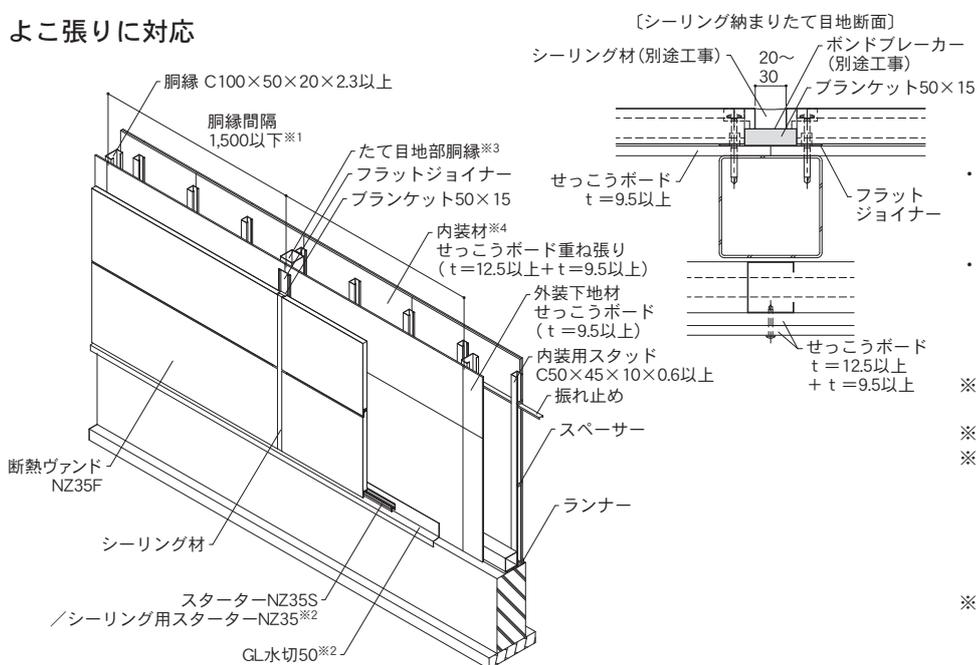
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

QF045NE-0049(2) せっこうボード下張り+内装重ね張り

### よこ張りに対応

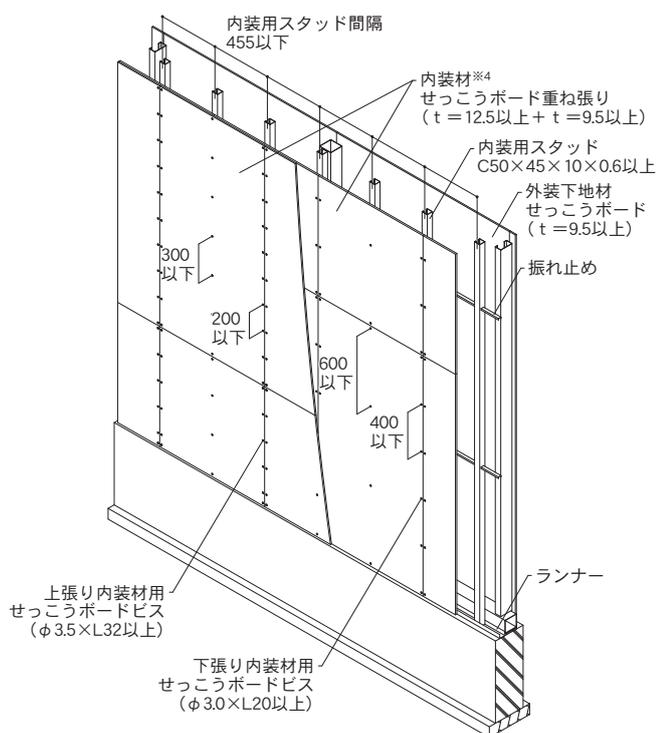


- ・ふかし納まりのたて目地にも同様にプランケット50×15を充て込んでください。
- ・外装下地材はドリルビス（φ3×L20以上）を用いて500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
- ※2 認定の対象外です。
- ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。

### 〔断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード下張り+内装重ね張り〕

#### (内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

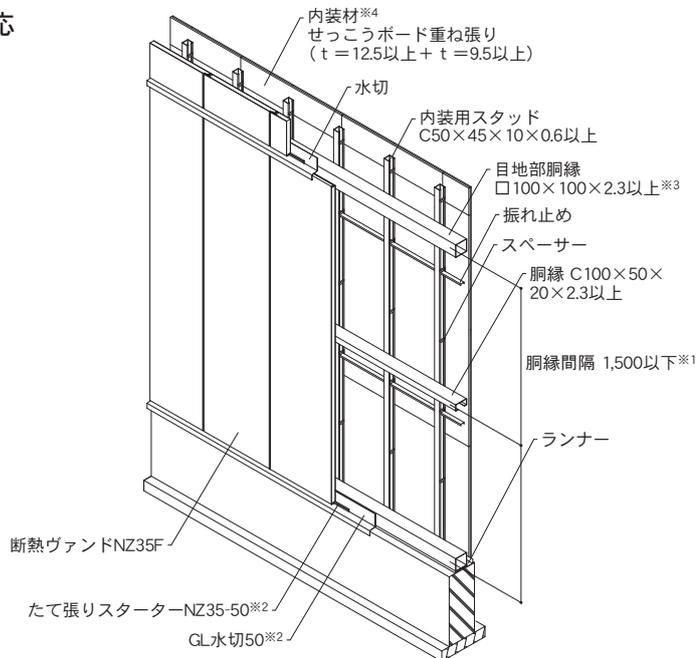
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

QF045NE-0051(1)	せっこうボード内装重ね張り
-----------------	---------------

たて張りに対応



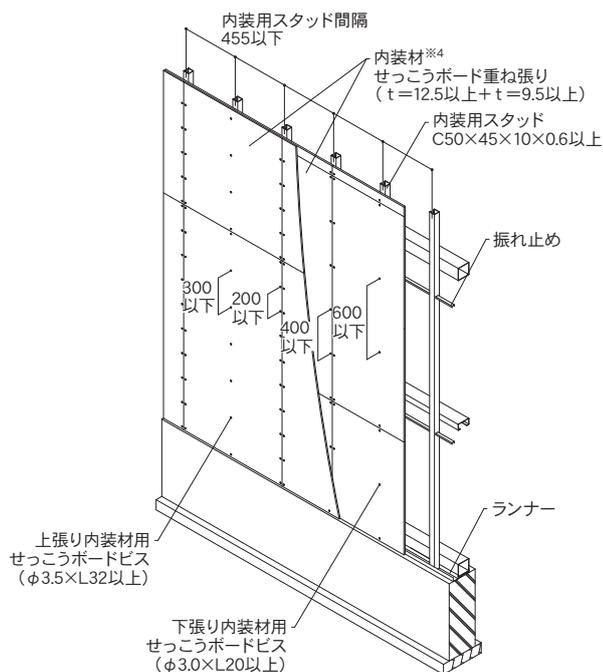
- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- （注）たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

3

断熱ヴァンドNZ

## 〔断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード内装重ね張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

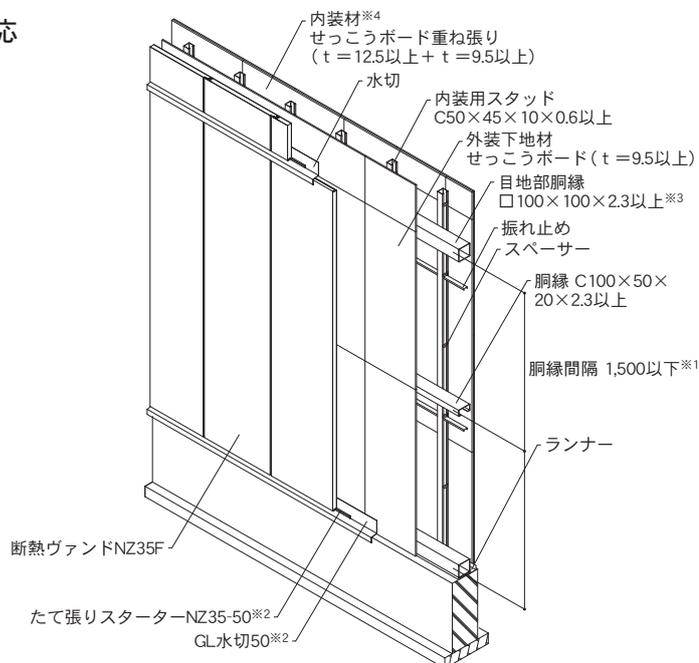
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 45分準耐火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

QF045NE-0051(2) せっこうボード下張り+内装重ね張り

たて張りに対応

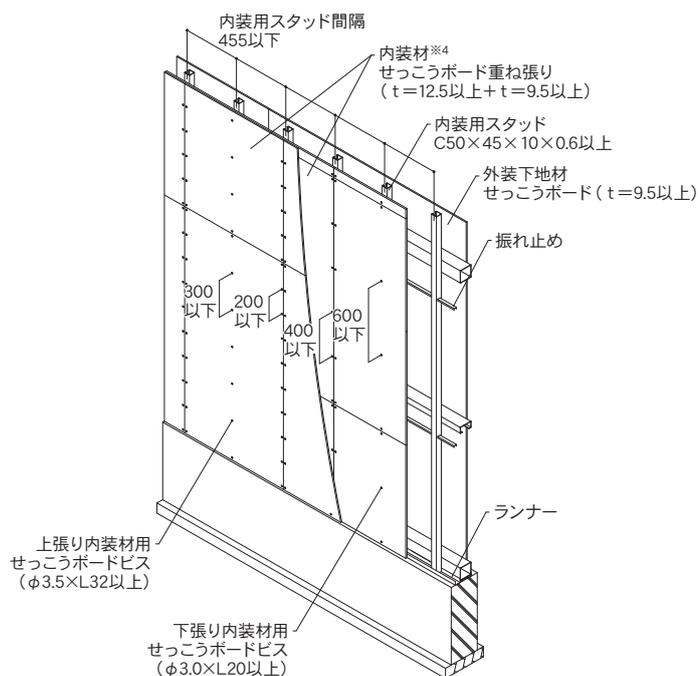


・外装下地材はドリルビス（φ3×L20以上）を用いて500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

### [断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード下張り+内装重ね張り]

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード12.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用いた場合、せっこうボードビス（φ3.5×L32以上）を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

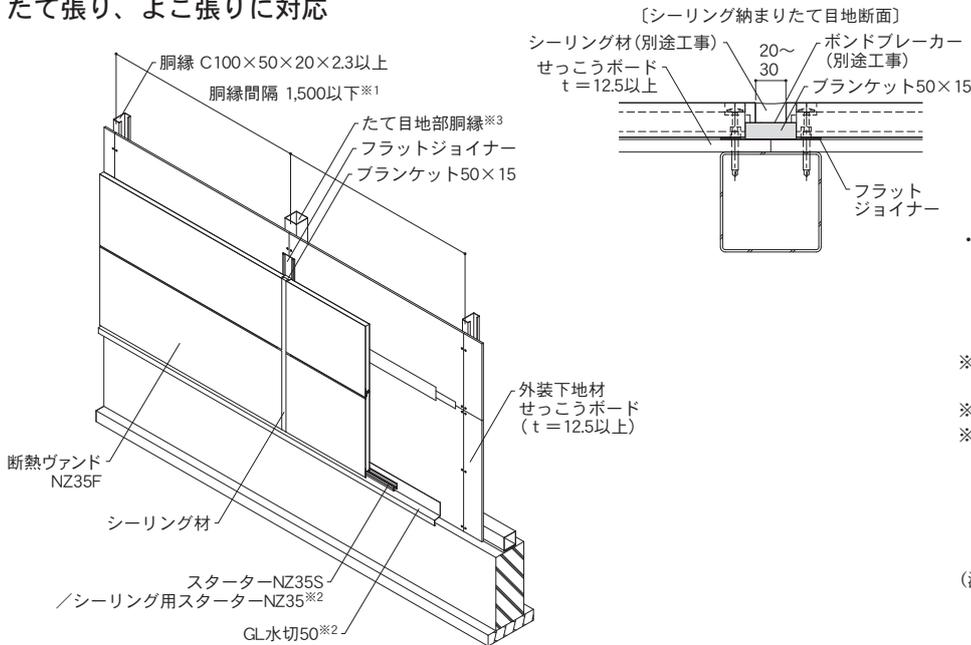


## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0231 せっこうボード下張り

たて張り、よこ張りに対応



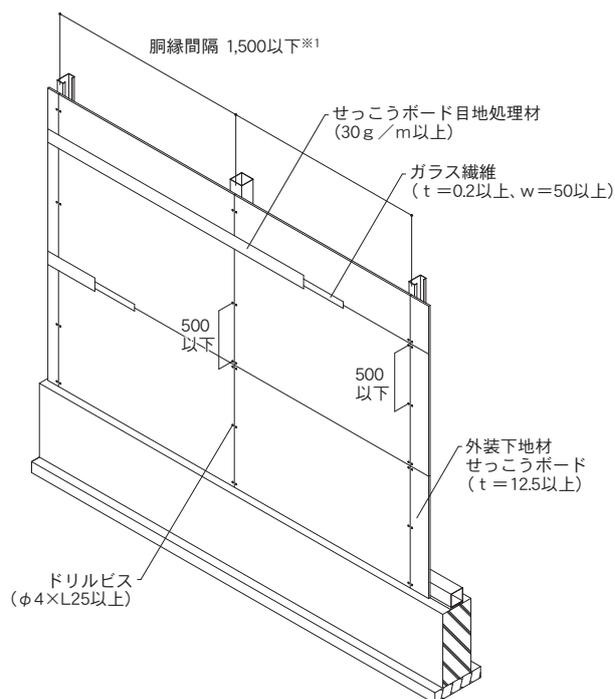
・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×15を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

## 〔断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード下張り〕

(外装側から見たせっこうボード施工方法)

よこ張りの場合



- ・外装下地材に、せっこうボード12.5mm以上をドリルビス（φ4×L25以上）を用いて、たて方向500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部（胴縁に重ならない目地）に、ガラス繊維（t=0.2mm以上、w=50mm以上）を貼り、せっこうボード目地処理材（主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもので30g/m以上）を施してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

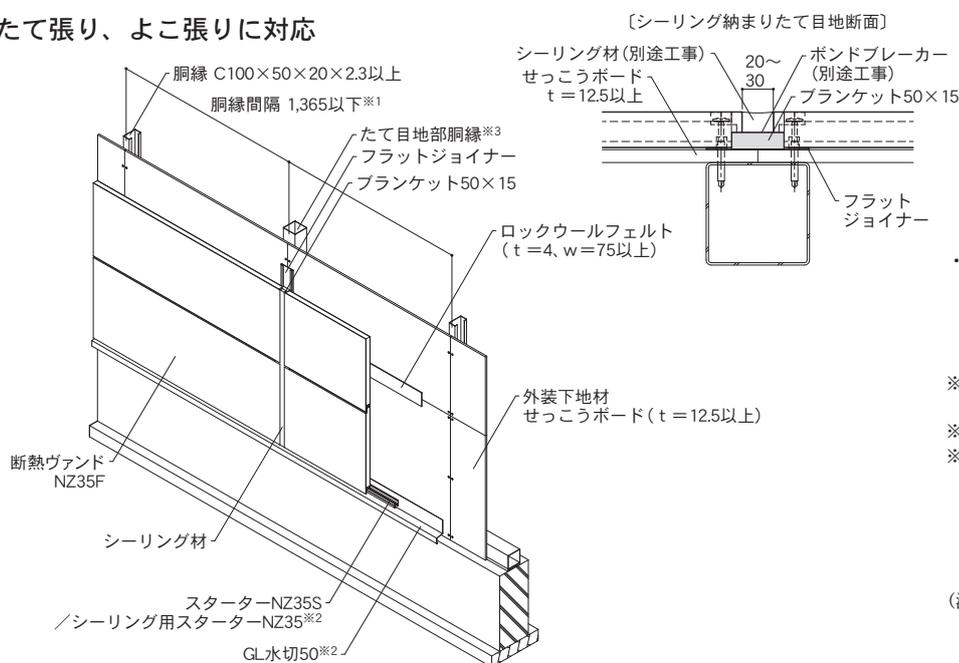
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0246 せっこうボード下張り

たて張り、よこ張りに対応



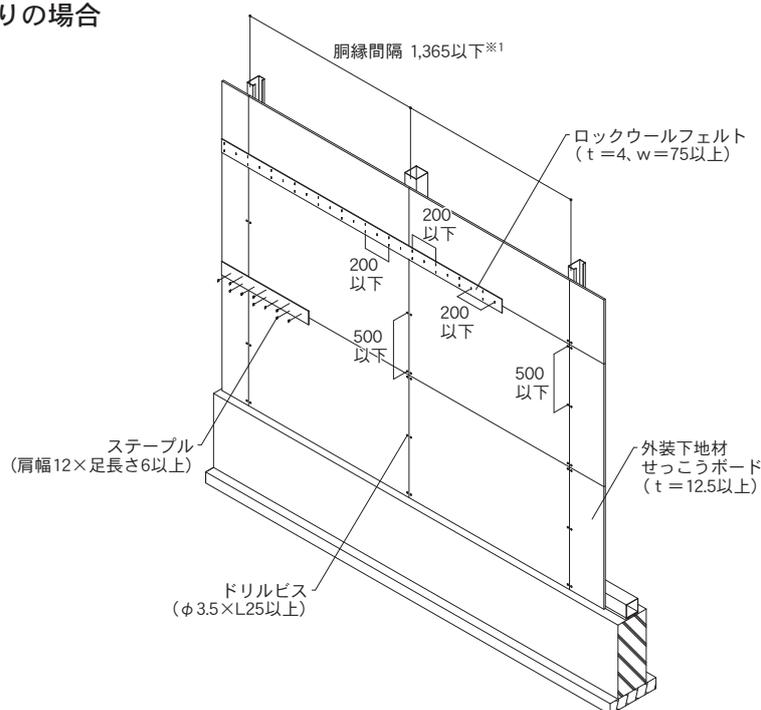
・ふかし納まりのたて目地にも同様にブラケット50×15を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ（中間水切）部は認定の対象外です。

### [断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード下張り]

(外装側から見たせっこうボード施工方法)

よこ張りの場合



- ・外装下地材は、せっこうボード12.5mm以上をドリルビス（φ3.5×L25以上）を用いて、たて方向500mm以下の間隔で胴縁に留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部（胴縁に重ならない目地）にロックウールフェルト系テープ（厚さ4mm×幅75mm以上、密度190kg/m<sup>3</sup>以上）を貼り付け、ステーブル（肩幅12mm×足長さ6mm以上）で留め付けてください。（中央200mm以下の間隔、その間でフェルトの両端に各1本）

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

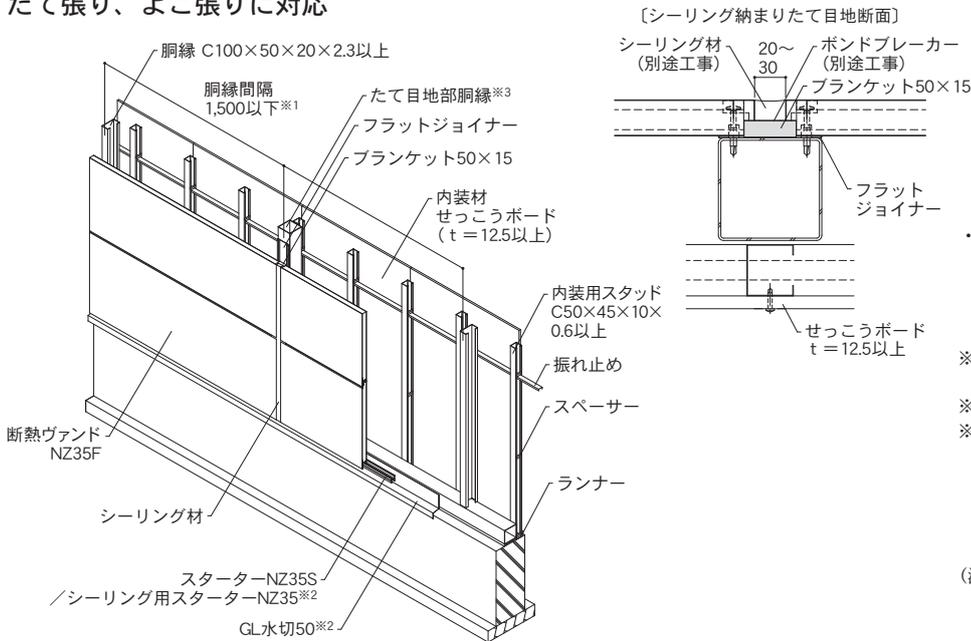
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0242(1) せっこうボード内装張り

たて張り、よこ張りに対応

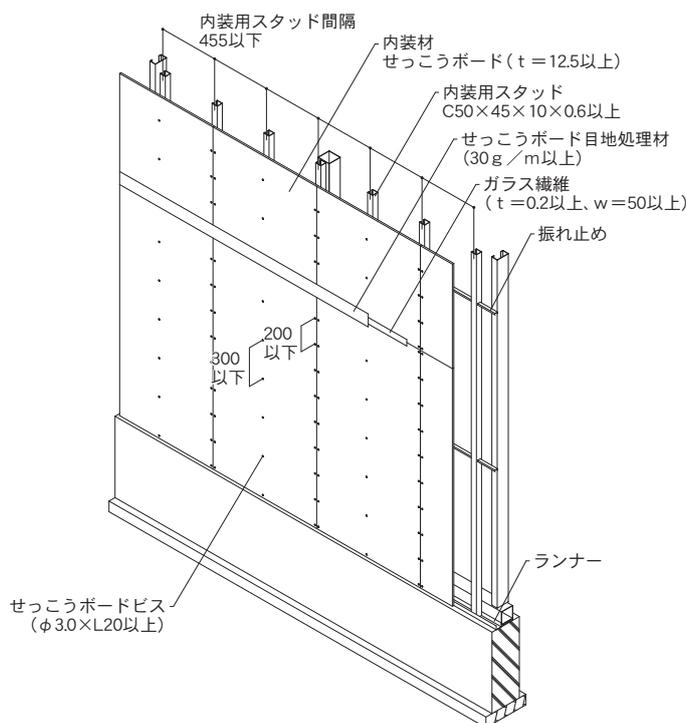


・ふかし納まりのたて目地にも同様にブランケット50×15を充てんしてください。

- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。認定の対象外です。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たて目地部の胴縁は口100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上としてください。胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネルのたて目地幅は20mm～30mmとしてください。
- (注) たて張りのたてつなぎ(中間水切)部は認定の対象外です。

## 〔断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード内装張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・内装材はせっこうボード12.5mm以上を用い、せっこうボードビス(φ3.0×L20以上)を外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・せっこうボード目地部(よこ目地)部に、ガラス繊維(t=0.2mm以上, w=50mm以上)を貼り、せっこうボード目地処理材(主成分がせっこう系または炭酸カルシウム系のもの)で30g/m以上)を施してください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

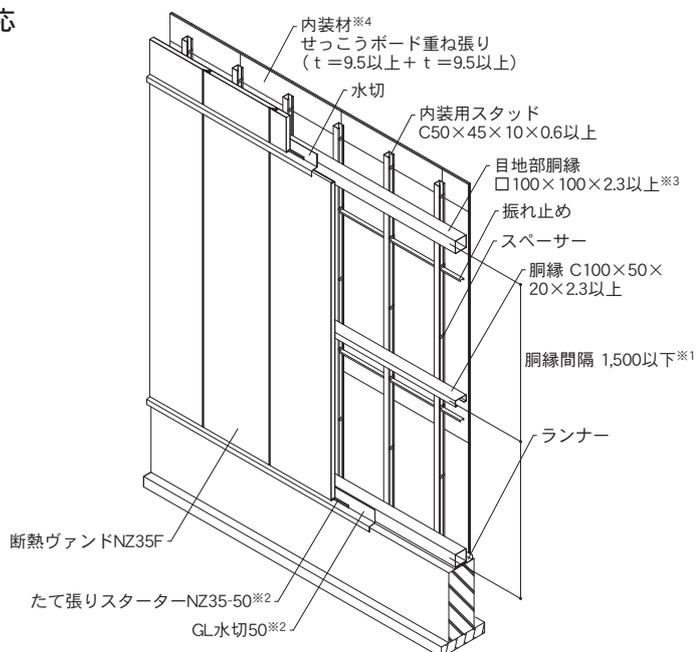
本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

## 防火構造（外壁非耐力壁）：断熱ヴァンドNZ35F

国土交通省大臣認定

PC030NE-0243(1) せっこうボード内装重ね張り

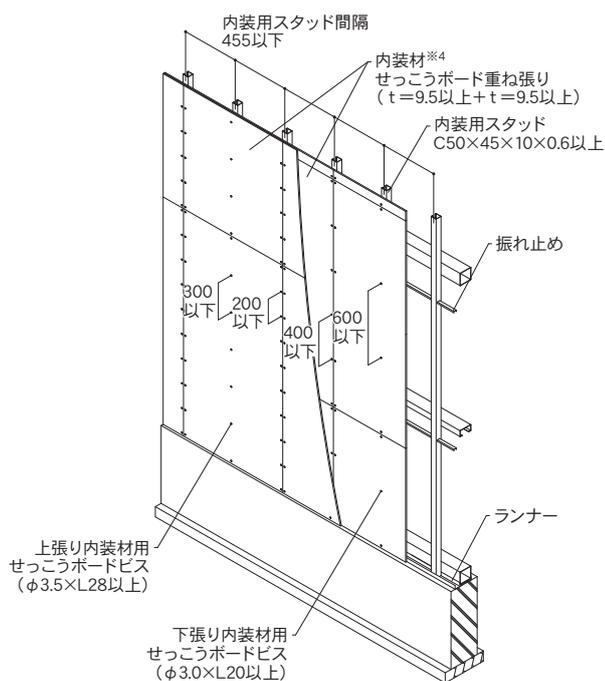
たて張りに対応



- ※1 パネル、下地材にかかる風圧力によって胴縁間隔が制限される場合があります。
  - ※2 認定の対象外です。
  - ※3 たてつなぎ（中間水切）部の胴縁には胴縁補助下地材を取り付ける事が可能です。また、パネル上下間の取り付け間隔は35mm以下としてください。
  - ※4 下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- (注) たてつなぎ（中間水切）部も認定に含まれます。

### 〔断熱ヴァンドNZ35F せっこうボード内装重ね張り〕

(内装側から見たせっこうボード施工方法)



- ・ランナーは打ち込みピンなどで、土台、床、天井などに900mm以下の間隔で留め付けてください。
- ・下張り用内装材と上張り用内装材の目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
- ・下張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.0×L20以上）を用いて外周部400mm以下、中間部600mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。
- ・上張り用内装材にせっこうボード9.5mm以上を用い、せっこうボードビス（φ3.5×L28以上）を用いて外周部200mm以下、中間部300mm以下の間隔で内装用スタッドに留め付けてください。

○構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

本商品の構造認定書はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

単位：mm

[7] 部材 それぞれのヴァンド本体には●の付いた部材が適応します。

商品名		GL水切65	GL65水切ジョイント※	GL65水切小口蓋 (右・左)
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=4,000	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	●
本体	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F			
商品名		GL水切50	GL50水切ジョイント※	GL50水切小口蓋(右・左)
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=4,000	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	●
本体	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F			
商品名		GL65水切出隅	GL65水切入隅	GL50水切出隅
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5	本体同質同色鋼板 t=0.5	本体同質同色鋼板 t=0.5
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	●
本体	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F			
商品名		GL50水切入隅	スターター-RZ50	スターター-NZ35S
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5	アルミ押出型材 アルマイトクリアー t=2 L=4,000 ・施工の際はL=100mm程度のロングビットが必要です。	アルミ押出型材 アルマイトクリアー t=1.5 L=4,000
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●よこ張り用	●よこ張り用
本体	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●		●よこ張り用

※色については弊社にお任せください。

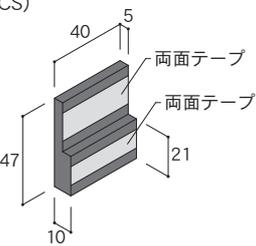
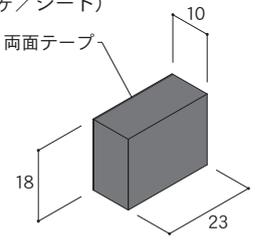
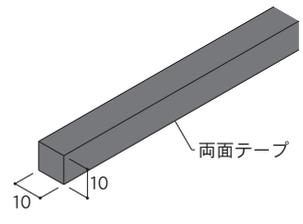
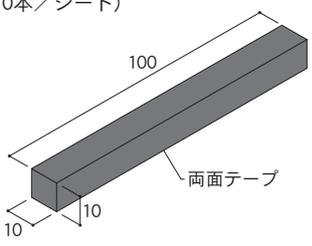
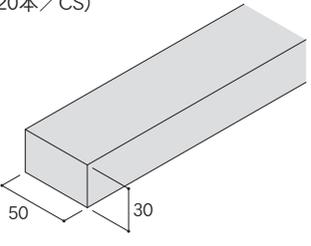
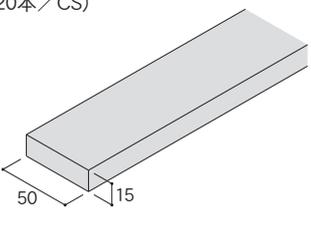
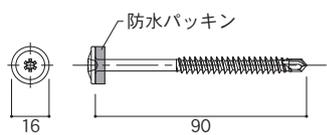
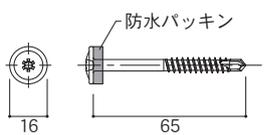
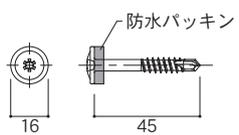
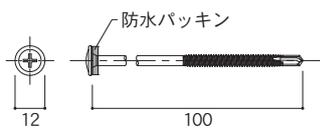
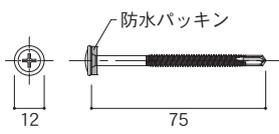
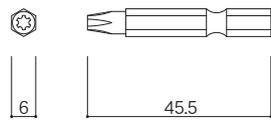
3

断熱ヴァンドNZ

商品名		シーリング用スターター NZ35	たて張りスターター NZ35-50	出隅カバー35-50
形状・寸法 材質				
		アルミ押出型材 アルマイトクリアー t=1.5 L=4,000	アルミ押出型材 アルマイトクリアー t=3 L=4,000	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F		●たて張り用	●
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●よこ張り用	●たて張り用	●
商品名		出隅カバー35-50ジョイント※	出隅捨板※	出隅角35N
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=4,000	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●	●	●よこ張り用
商品名		出隅角35Nジョイント	出隅角50N	出隅角50Nジョイント
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F		●よこ張り用	●よこ張り用
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●よこ張り用		
商品名		入隅捨板35-50	入隅カバー	入隅カバージョイント※
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=4,000	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.5 L=100
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	●
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●	●	●

商品名		フラットジョイナー	目地キャップS	目地キャップSジョイント
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.35 L=3,000	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●よこ張り用	●よこ張り用	●よこ張り用
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●よこ張り用	●よこ張り用	●よこ張り用
商品名		カバープレート※	見切50S	見切50Sジョイント
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.8 L=4,000	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●よこ張り用	●	●
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●よこ張り用		
商品名		フラット見切50S	フラット見切50Sジョイント	見切35S
形状・寸法 材質				
		本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	●
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F			
商品名		見切35Sジョイント	フラット見切35S	フラット見切35Sジョイント
形状・寸法 材質				
		ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100	本体同質同色鋼板 t=0.5 L=3,600	ポリエステル樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 ライトグレー色 t=0.5 L=100
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F			
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●	●	●

※色については弊社にお任せください。

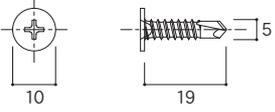
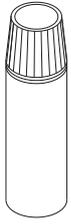
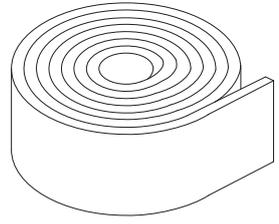
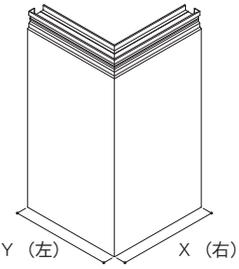
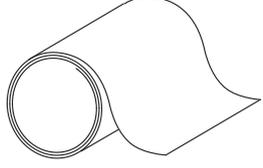
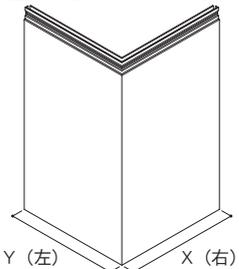
商品名		かん合部パッキンS	裏面横走り防止パッキン	防水パッキン10×10		
形状・寸法 材質	(50ヶ/CS)		(50ヶ/シート)		(10本/CS)	
		発泡EPDM	発泡ウレタン	発泡EPDM L=3,600		
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●よこ張り用	●		
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●	●よこ張り用	●		
商品名		防水パッキン10×10×100	ブランケット50×30	ブランケット50×15		
形状・寸法 材質	(10本/シート)		(20本/CS)		(20本/CS)	
		発泡EPDM L=100	生体溶解性繊維 L=1,200	生体溶解性繊維 L=1,200		
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	●		
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●		●		
商品名		TWL690N	TWL665N	TWL645N		
形状・寸法 材質	(100本/箱)		(100本/箱)		(200本/箱)	
		軸径6.5mm シンワッシャータイプ ・ディスゴ処理により、優れた耐食性。 ・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。 ・ビットTWL以外では施工できません。 ・ビットTWLが1箱に1個付属します。				
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●注1)	●	●		
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F		●注1)	●		
商品名		TW5100	TW570	ビットTWL		
形状・寸法 材質	(100本/箱)		(200本/箱)			
		軸径5mm シンワッシャータイプ ・ジオメット処理により、優れた耐食性。 ・パッキン付きで、防水性、気密性に効果があります。 ・十字ビット2番で施工できます。				
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●注2)	●	●		
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F		●注2)	●		

注1) セッコウボード下張りのパネル本体取り付けに使用してください。

注2) セッコウボード下張りのパネル本体脳天打ちに使用できます。



単位：mm

商品名		FH519	タッチアップペイント※1※2	ロックウールフェルトW100
形状・寸法 材質		(700本/箱)  ・ディスゴ処理により、優れた耐食性。	 15ml	 ロックウール（両面テープ付） 厚4×幅100 25m/巻
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●	●	●
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●	●	●
商品名		断熱NZ50/NZ50F L型出隅		同質コイル
形状・寸法 材質		L型出隅の発注寸法は、商品を正面から見て右側がX寸法、左側がY寸法です。  ・ X + Y = 900 ~ 1,800mmの間で1mm単位でオーダー可能。 但し X ≥ 200mm かつ Y ≥ 200mm。 ・ 両端箱折 ・ 本体同質同色		 (6m/本)
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●よこ張り用		●
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F			●
商品名		断熱NZ35/NZ35F L型出隅		
形状・寸法 材質		L型出隅の発注寸法は、商品を正面から見て右側がX寸法、左側がY寸法です。  ・ X + Y = 900 ~ 1,800mmの間で1mm単位でオーダー可能。 但し X ≥ 200mm かつ Y ≥ 200mm。 ・ 両端箱折 ・ 本体同質同色		
本体	断熱ヴァンドNZ50/NZ50F	●よこ張り用		
	断熱ヴァンドNZ35/NZ35F	●よこ張り用		

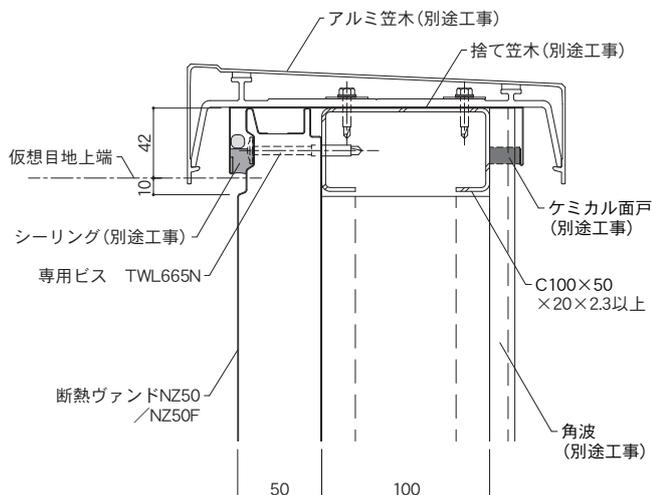
- ※1 タッチアップペイントと商品は塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※2 標準色のみを設定です。準標準色については1kg缶の補修塗料をご用命ください。ただし、受注生産品のためパネル本体と同時に発注してください。

**【注意 !!】** パネル強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ず専用ビスを使用してください。

●各種ビスの用途についてはP132の4-4パネル取り付け用専用ビスを参照してください。

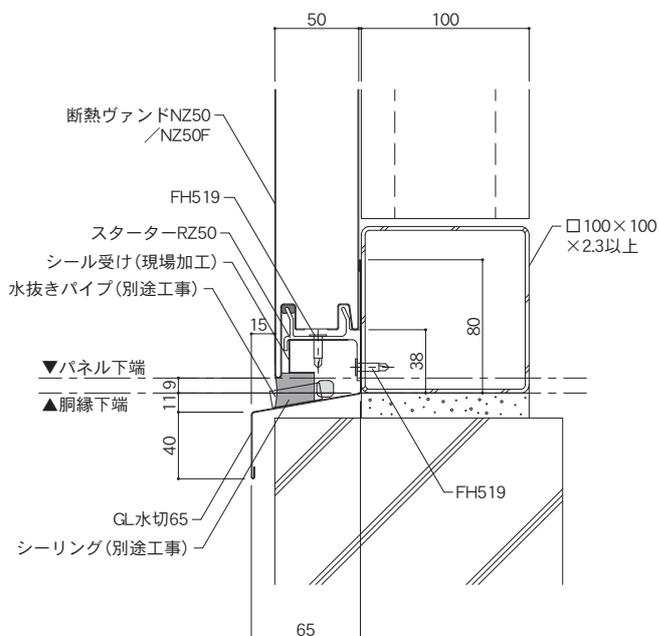
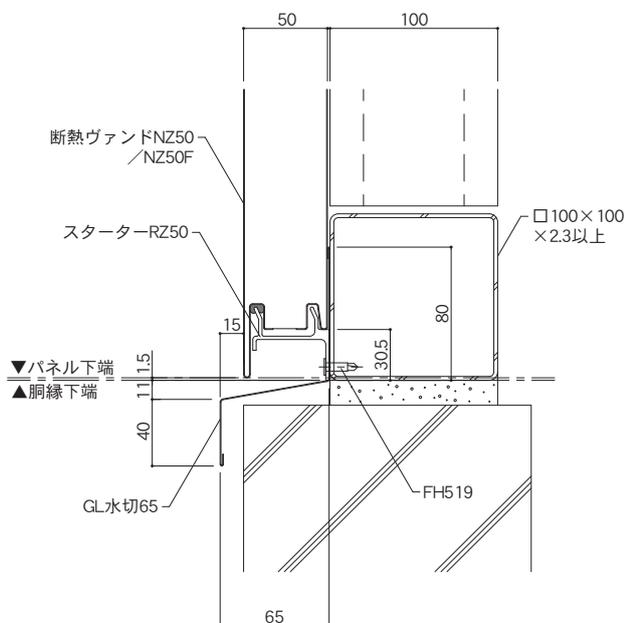
## [8] 納まり参考図 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F（よこ張り）

### 笠木部



### 水切部(一般納まり)

### 水切部(シーリング納まり)

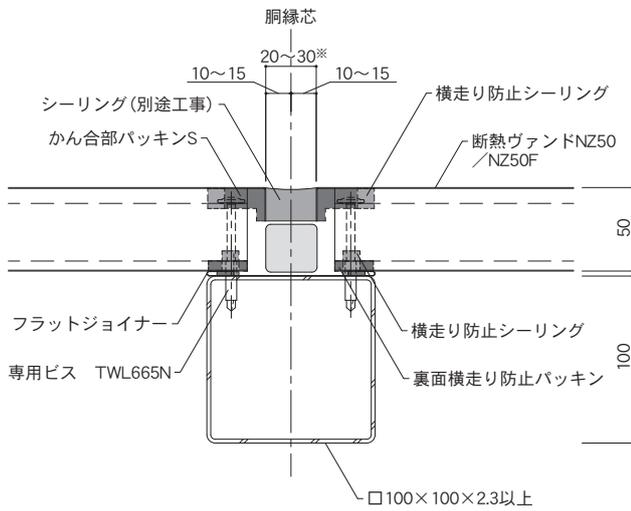


- ・納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。
- ・漏水しない納まりが必要です。
- ・部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

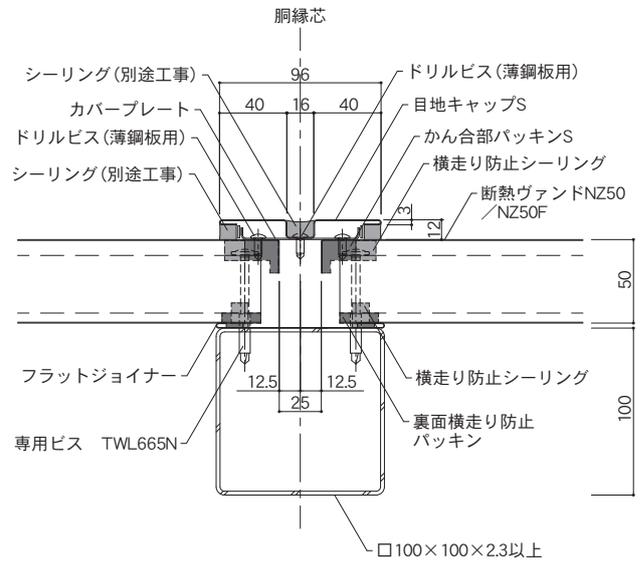
弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)

単位：mm

たて目地部(シーリングタイプ)



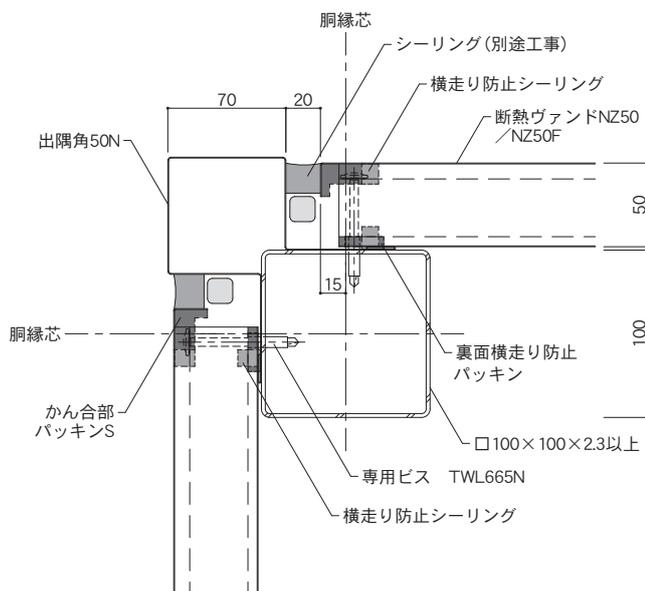
たて目地部(ふかしタイプ)



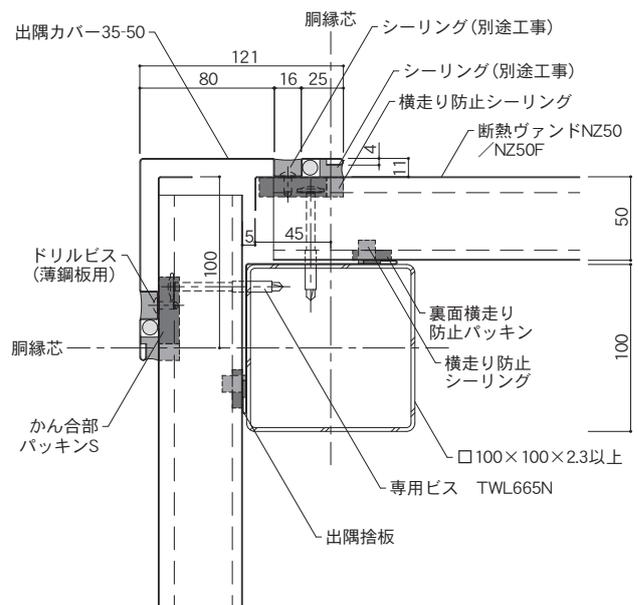
※シーリングタイプのたて目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。

防耐火構造認定の場合はパネル間のたて目地にブランケットの充てんが必要です。詳しくは以下のページをご確認ください。  
 45分準耐火構造の場合：P72、P73  
 防火構造の場合：P76、P77、P78

出隅部(出隅角)



出隅部(出隅カバー)



3  
断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ50・NZ50F

(たて張り)  
NZ50・NZ50F

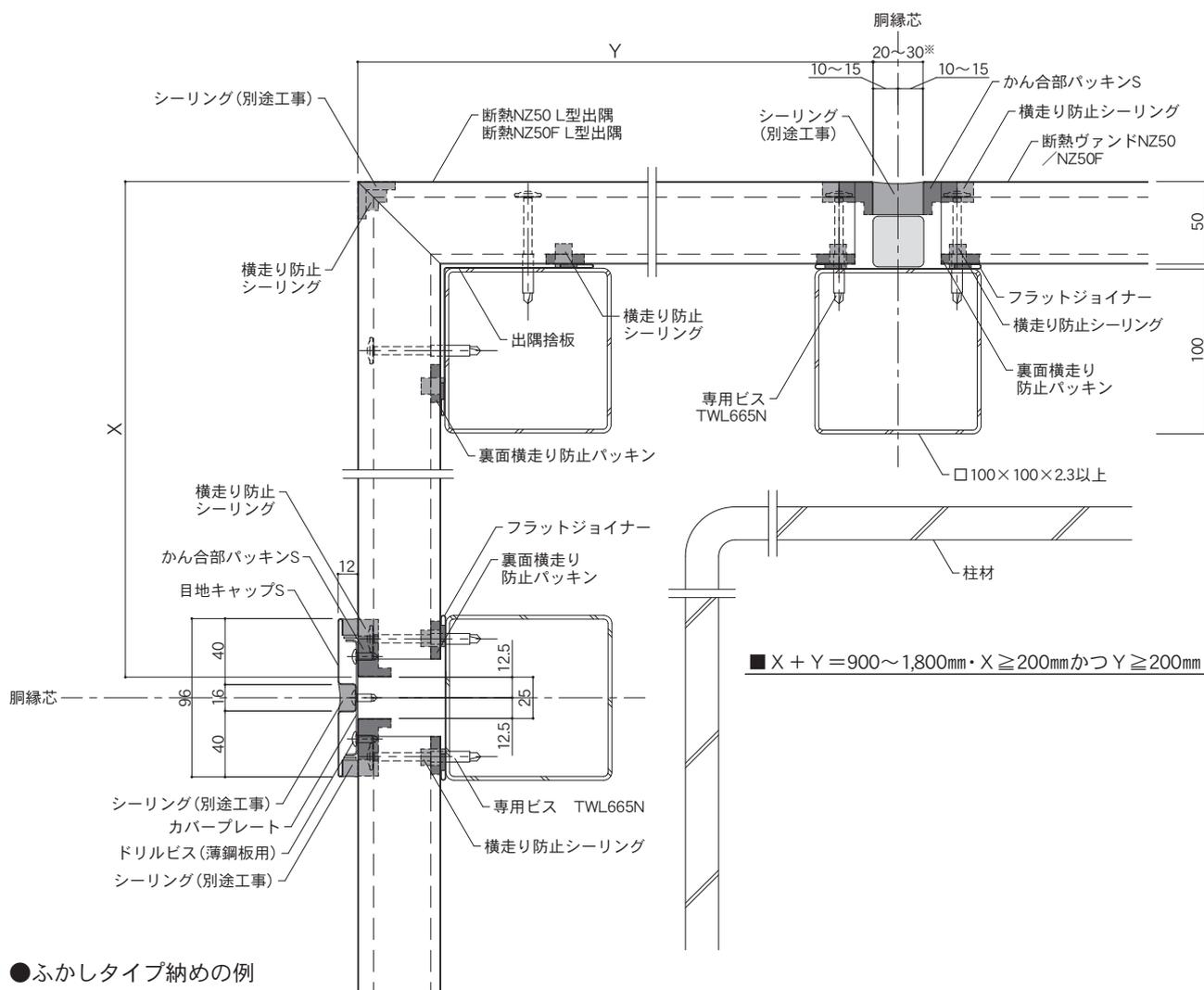
(よこ張り)  
NZ35・NZ35F

(たて張り)  
NZ35・NZ35F

## 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F（よこ張り）

### 出隅部(L型出隅)

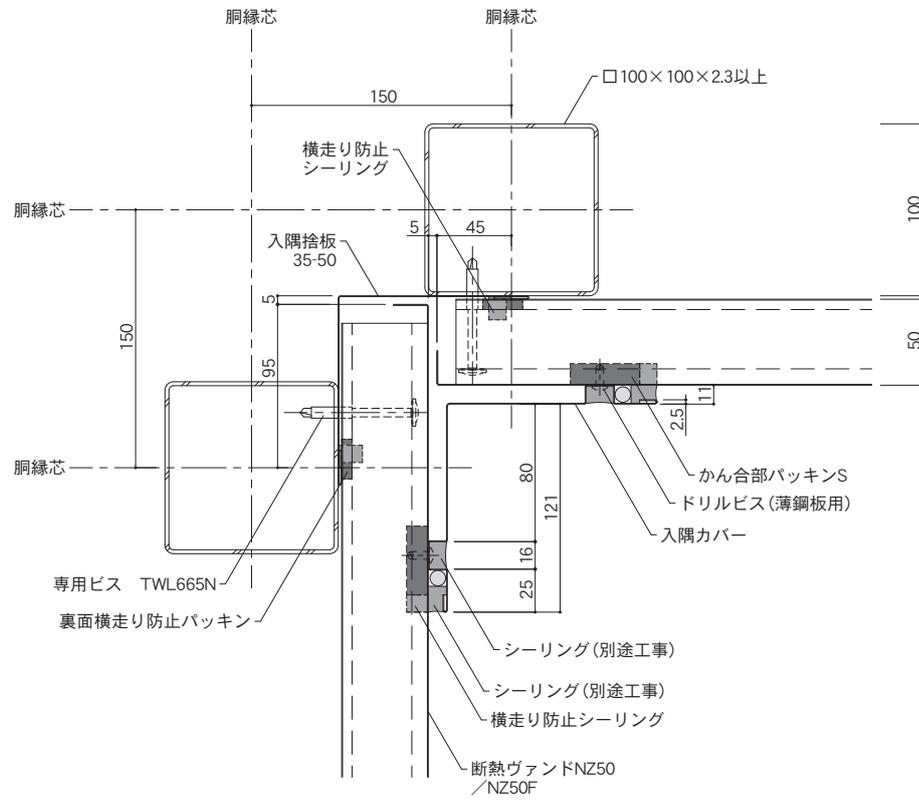
●シーリングタイプ納めの例



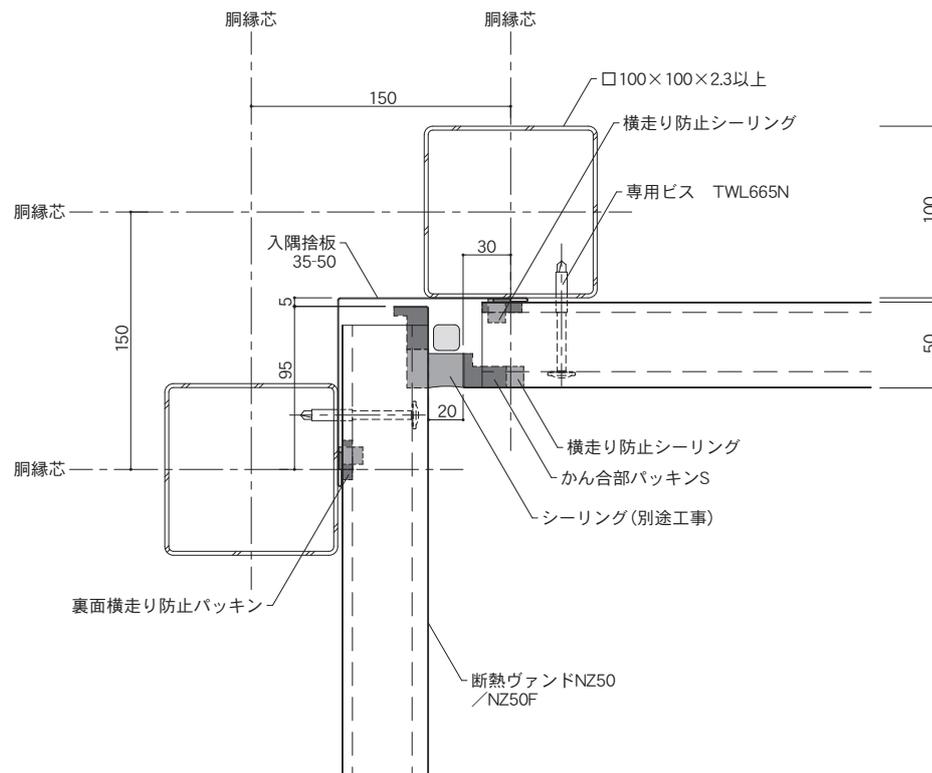
●ふかしタイプ納めの例

※シーリングタイプのため目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。

入隅部(入隅カバー)



入隅部(シーリング)



3

断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ50・NZ50F

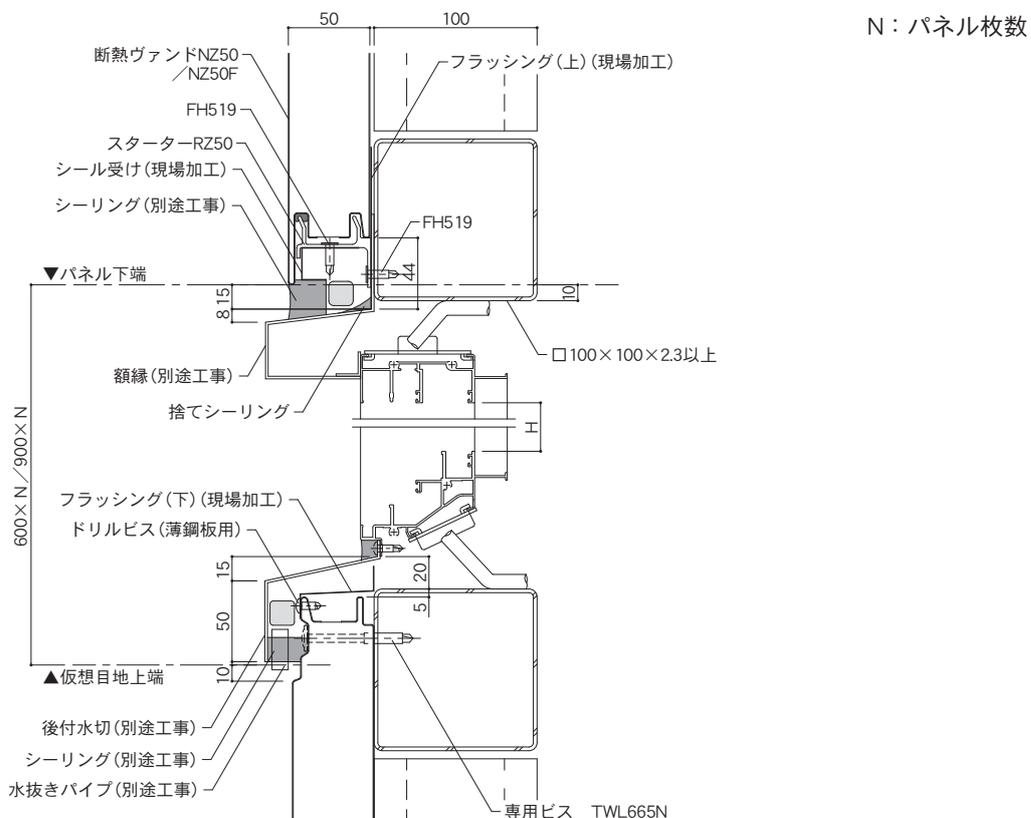
(たて張り)  
NZ50・NZ50F

(よこ張り)  
NZ35・NZ35F

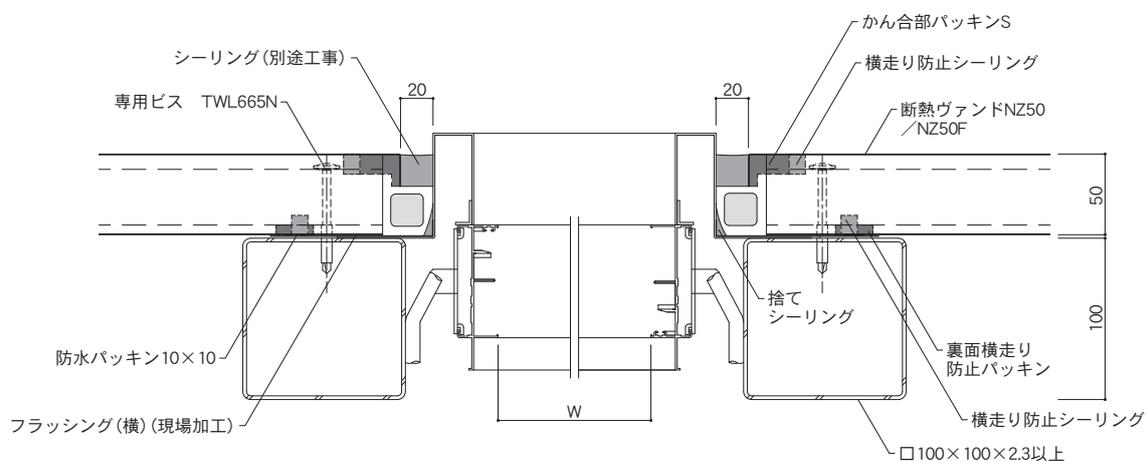
(たて張り)  
NZ35・NZ35F

## 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F（よこ張り）

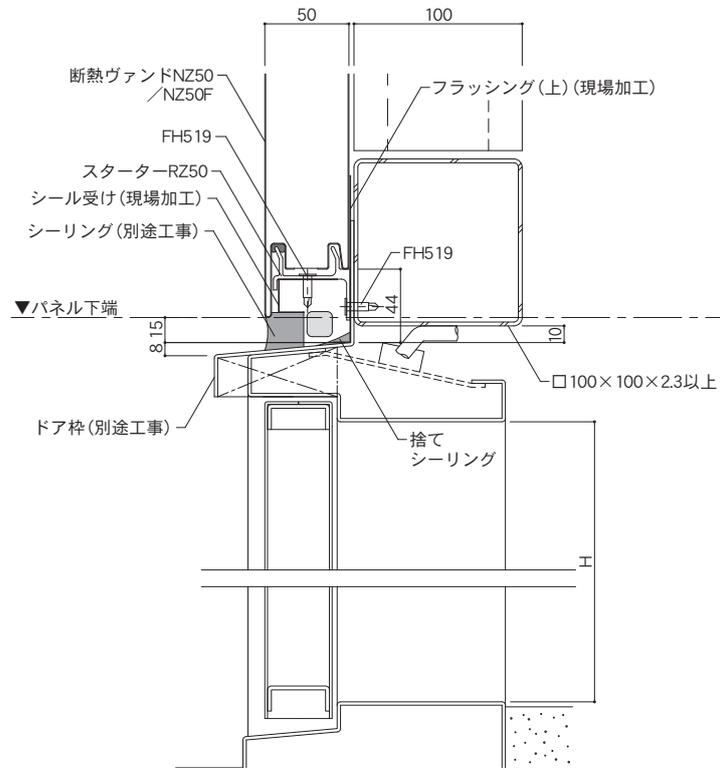
### サッシ部(断面)



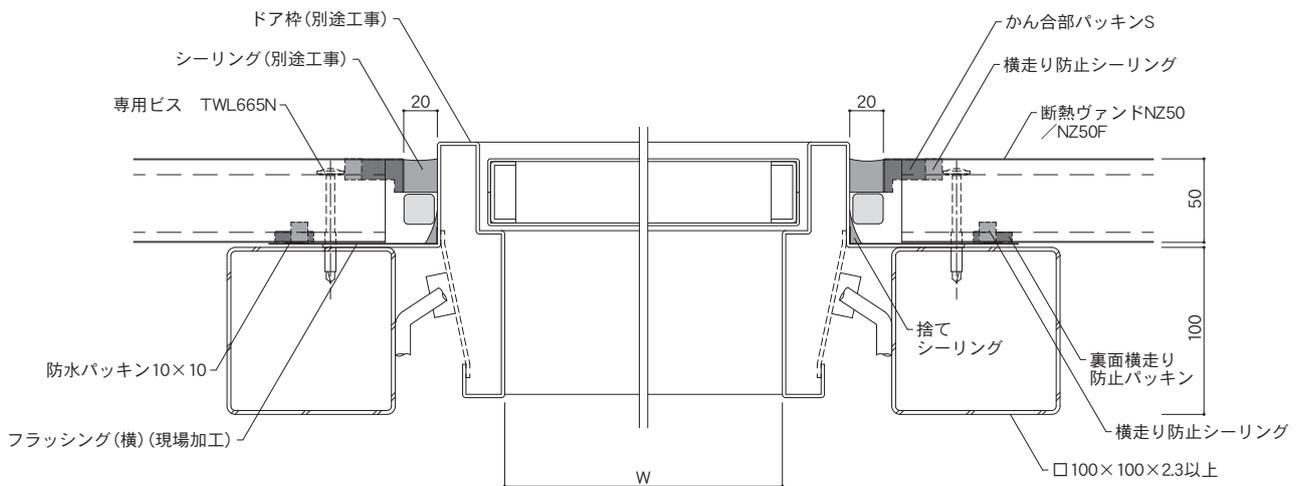
### サッシ部(平面)



スチールドア部(断面)



スチールドア部(平面)



3

断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ50・NZ50F

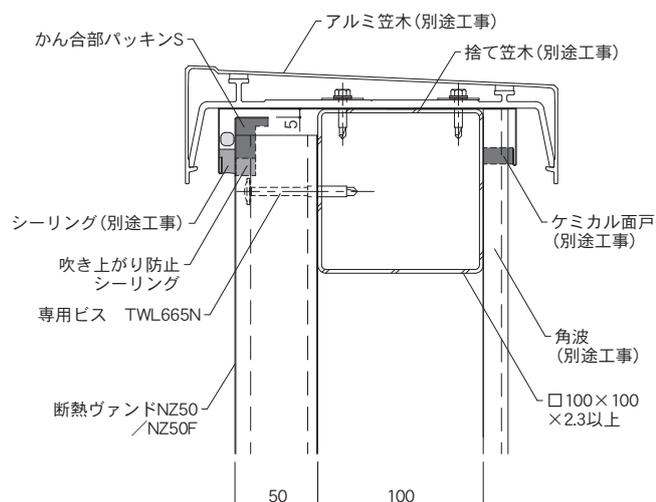
(たて張り)  
NZ50・NZ50F

(よこ張り)  
NZ35・NZ35F

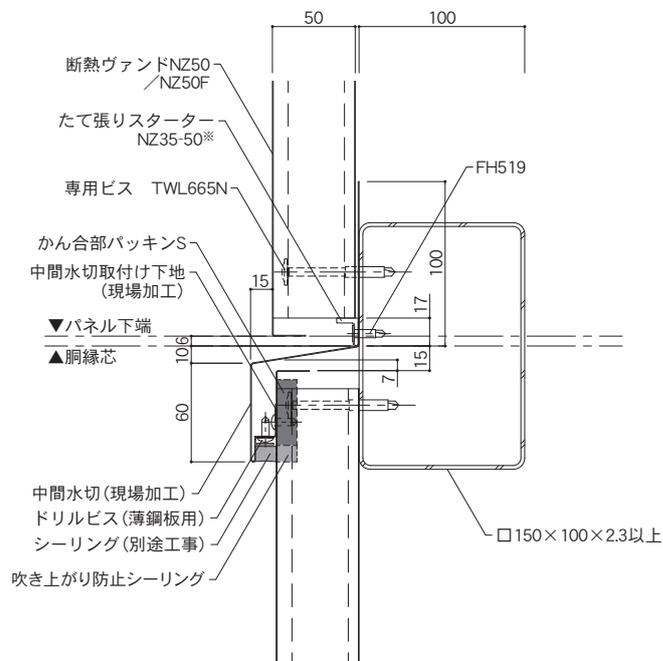
(たて張り)  
NZ35・NZ35F

## 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F（たて張り）

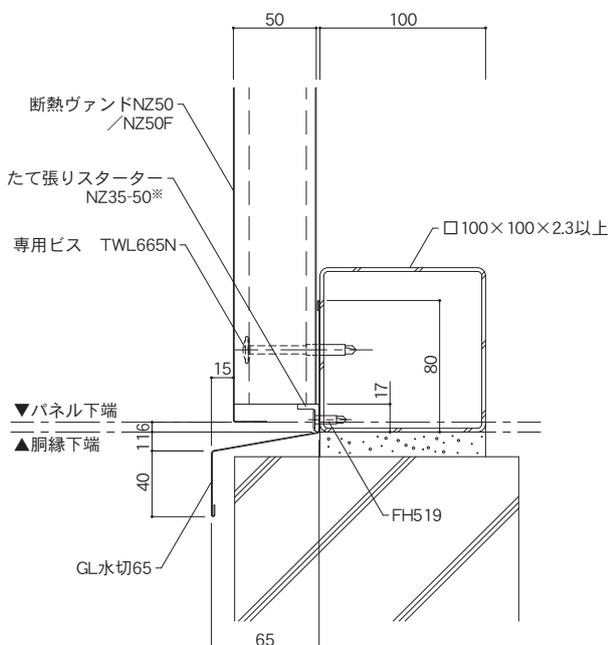
### 笠木部



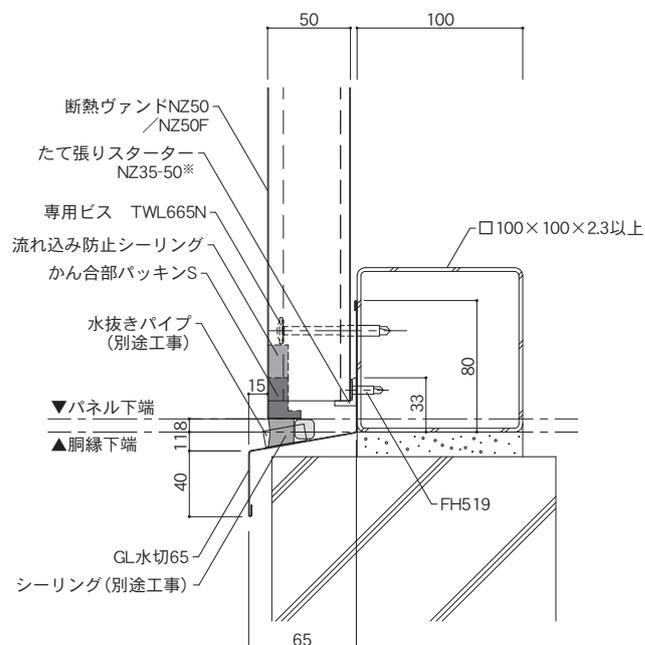
### たてつなぎ部



### 水切部(一般納まり)



### 水切部(シーリング納まり)



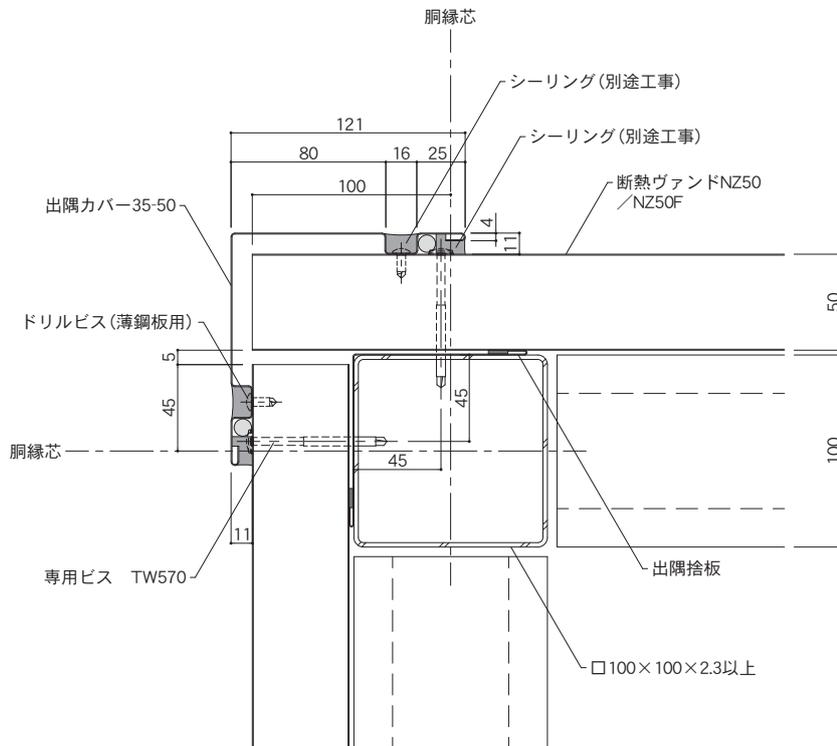
※たて張りスターターNZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

- ・納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。
- ・漏水しない納まりが必要です。
- ・部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

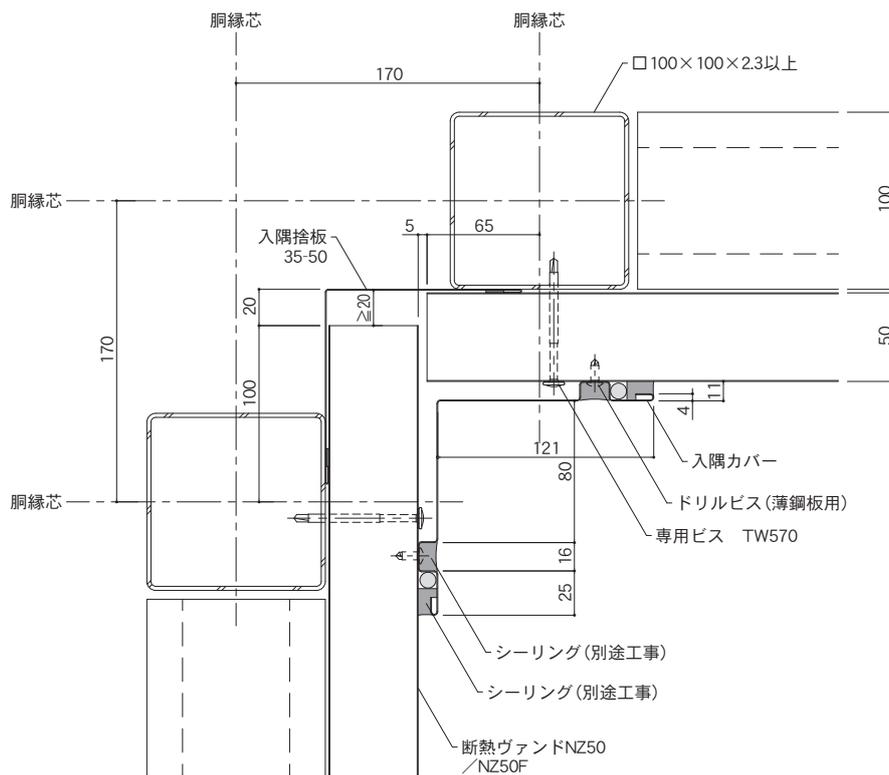
弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
 本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。（<https://www.igkogyo.co.jp/>）



出隅部(出隅カバー)



入隅部(入隅カバー)



3

断熱ヴァンドNZ

NZ  
50・NZ  
50 F  
(よこ張り)

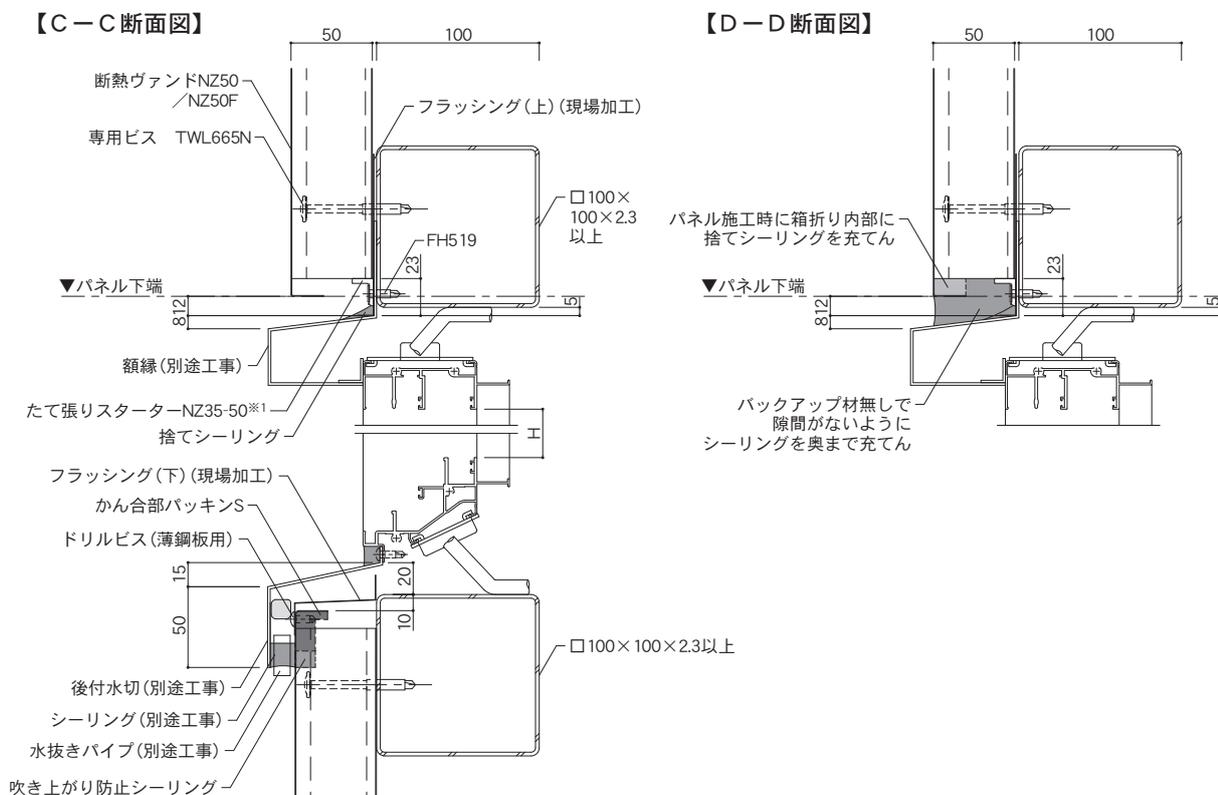
NZ  
50・NZ  
50 F  
(たて張り)

NZ  
35・NZ  
35 F  
(よこ張り)

NZ  
35・NZ  
35 F  
(たて張り)

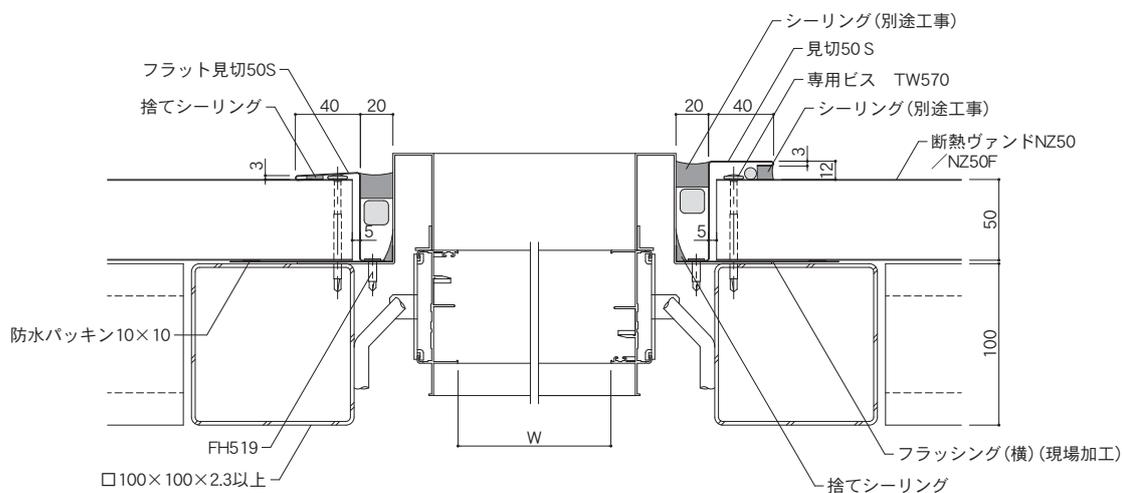
## 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F（たて張り）

### サッシ部：サッシ上をシール納まりにしない場合(断面)



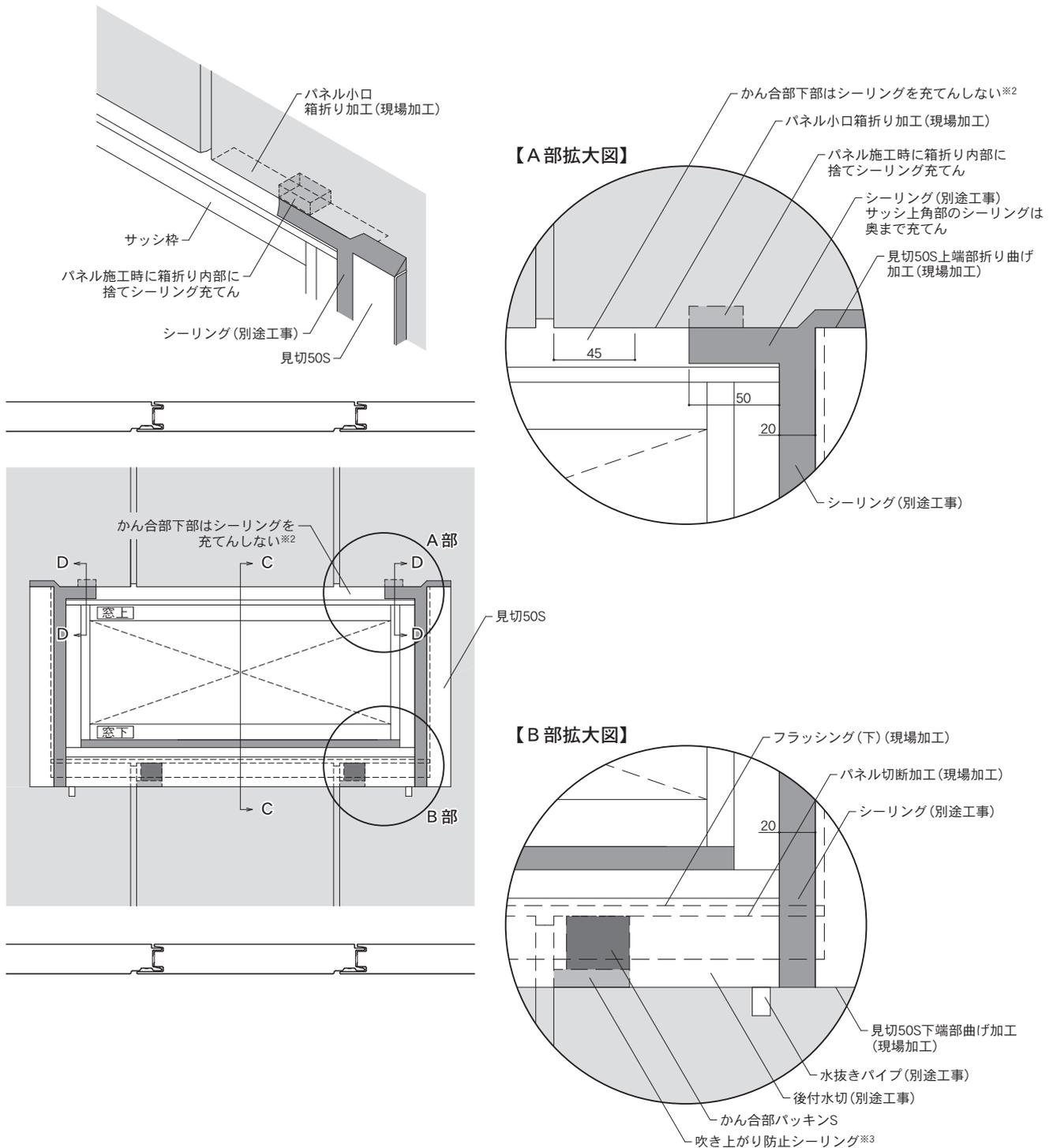
※1 たて張りスターターNZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

### サッシ部(平面)



サッシ部シーリング詳細(正面)

【パネル施工時に捨てシーリング充てん】



※2 かん合目地下部はビス打ち部に浸入した水を排出するため、シーリングを充てんしないでください。  
 ※3 パネル上部には必ず吹き上がり防止シーリングを施してください。

3

断熱ヴァンドNZ

NZ 50・NZ 50 F (よこ張り)

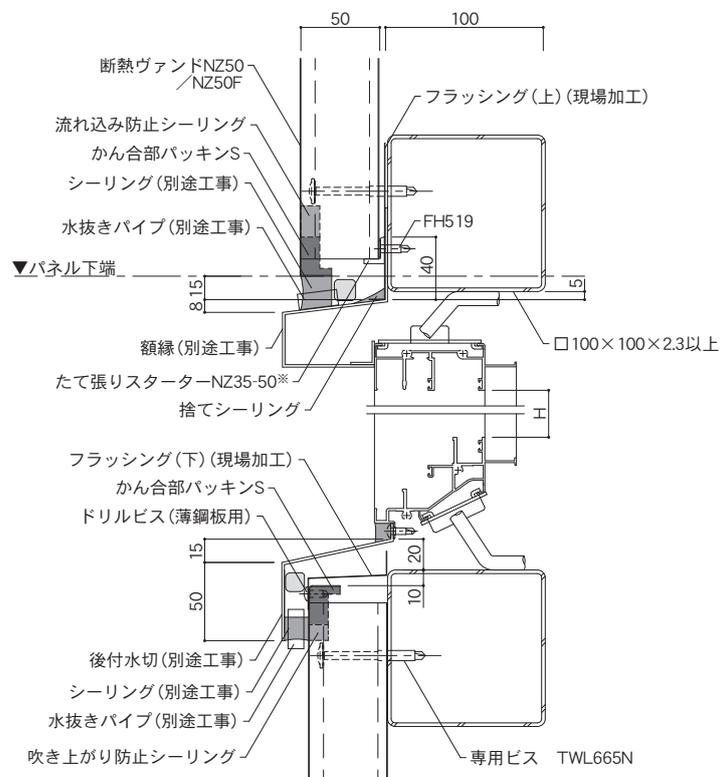
NZ 50・NZ 50 F (たて張り)

NZ 35・NZ 35 F (よこ張り)

NZ 35・NZ 35 F (たて張り)

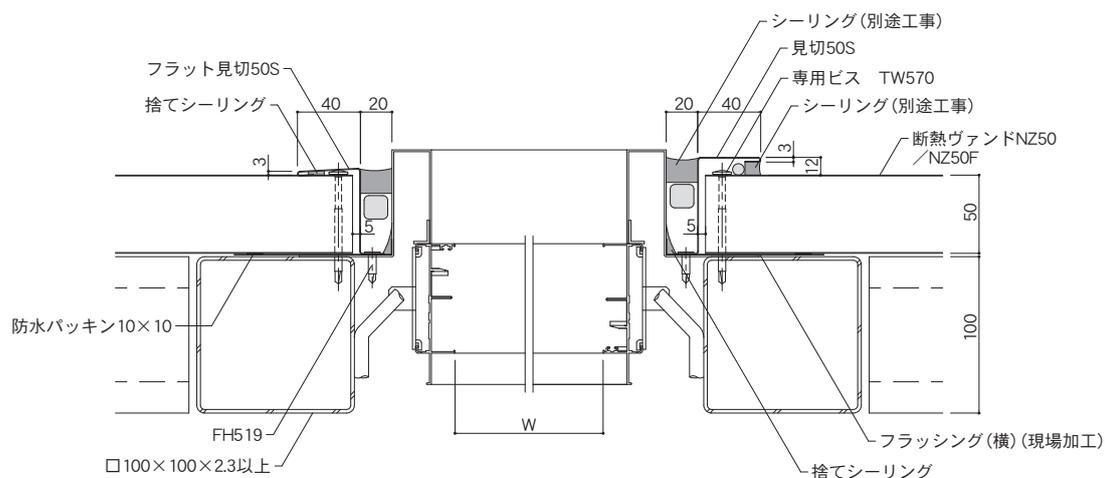
## 断熱ヴァンドNZ50/NZ50F（たて張り）

### サッシ部：サッシ上をシール納まりにする場合(断面)

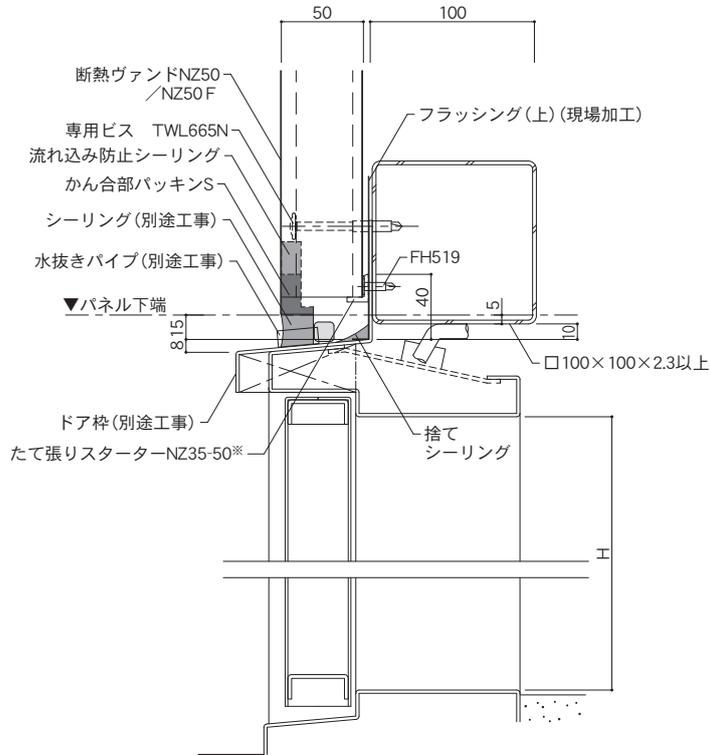


※たて張りスターターNZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

### サッシ部(平面)

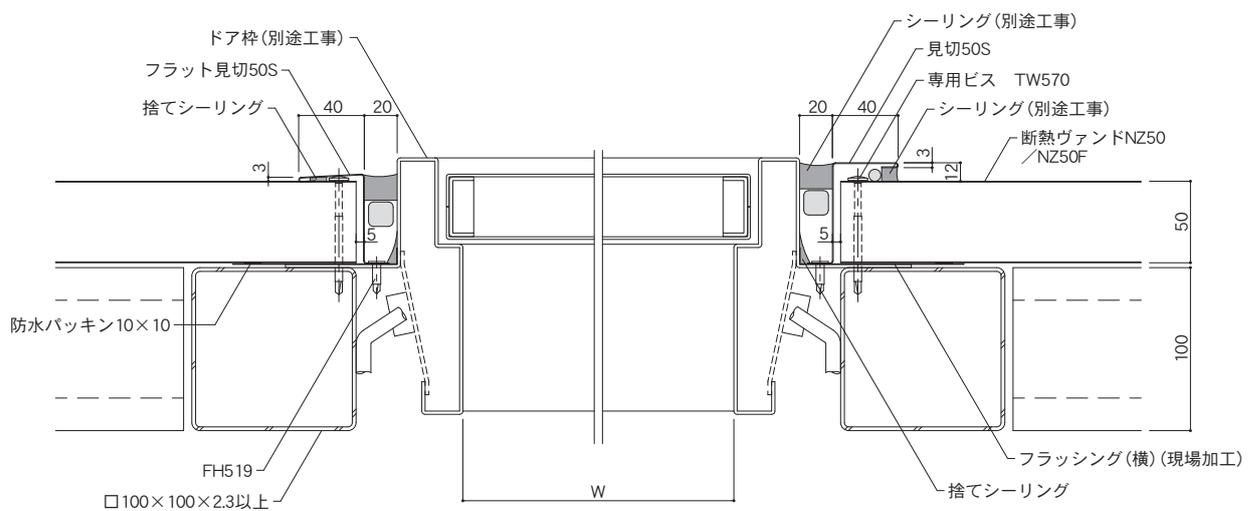


スチールドア部(断面)



※たて張りスターターNZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

スチールドア部(平面)



3

断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ50・NZ50F

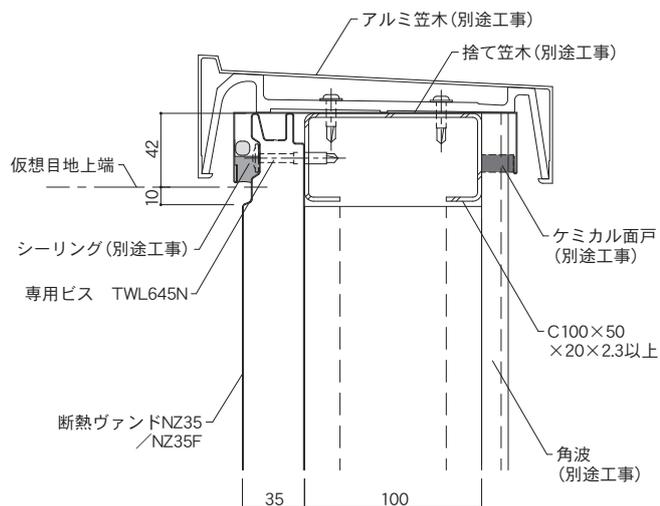
(たて張り)  
NZ50・NZ50F

(よこ張り)  
NZ35・NZ35F

(たて張り)  
NZ35・NZ35F

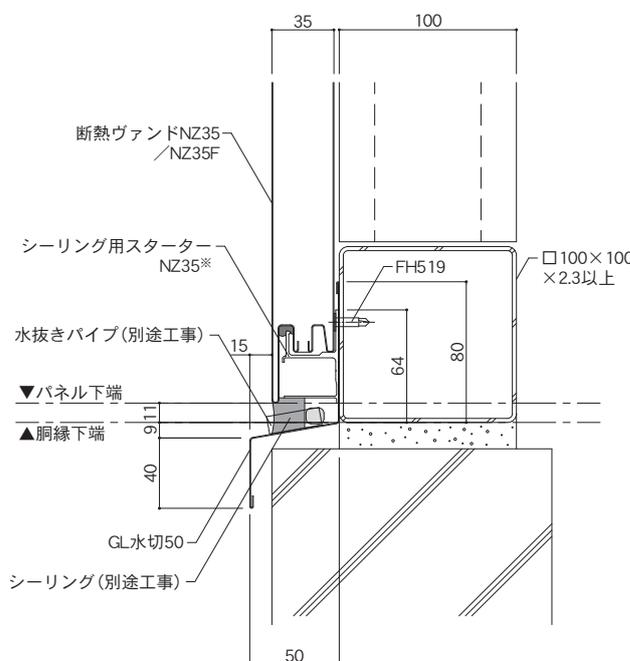
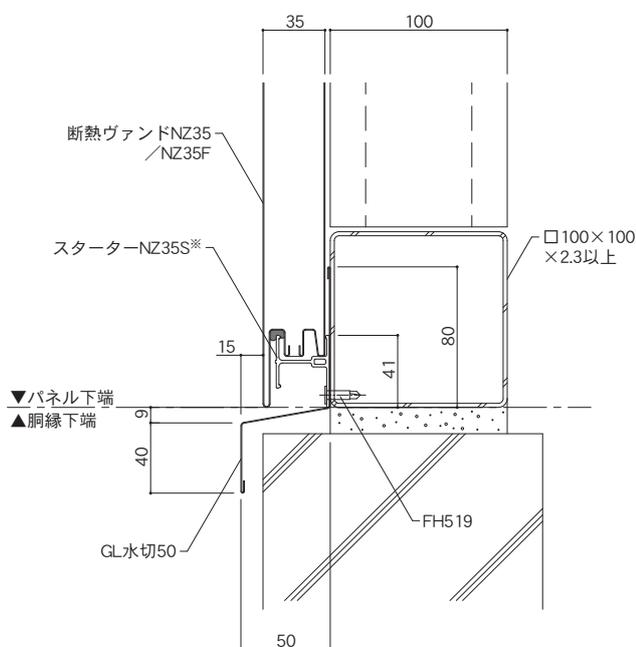
## 断熱ヴァンドNZ35/NZ35F（よこ張り）

### 笠木部



### 水切部(一般納まり)

### 水切部(シーリング納まり)

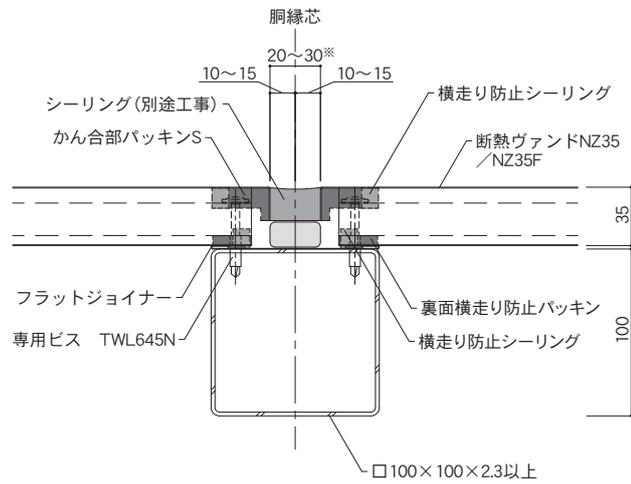


※スターター-NZ35Sとシーリング用スターター-NZ35は上留めと下留めのどちらにも対応します。

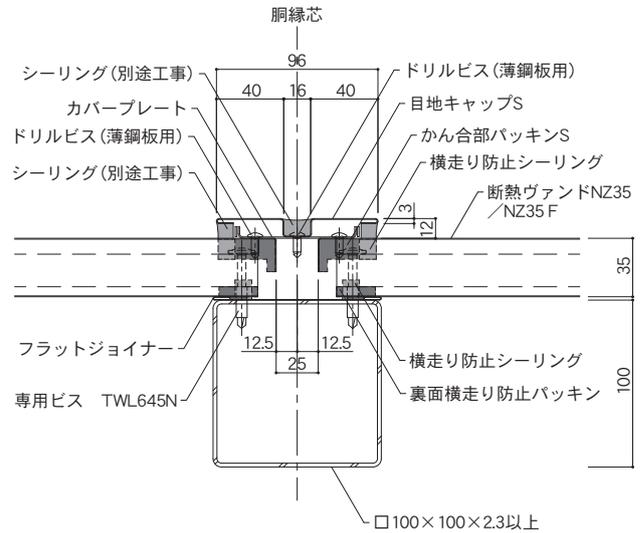
- ・納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。
- ・漏水しない納まりが必要です。
- ・部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。（<https://www.igkogyo.co.jp/>）

たて目地部(シーリングタイプ)



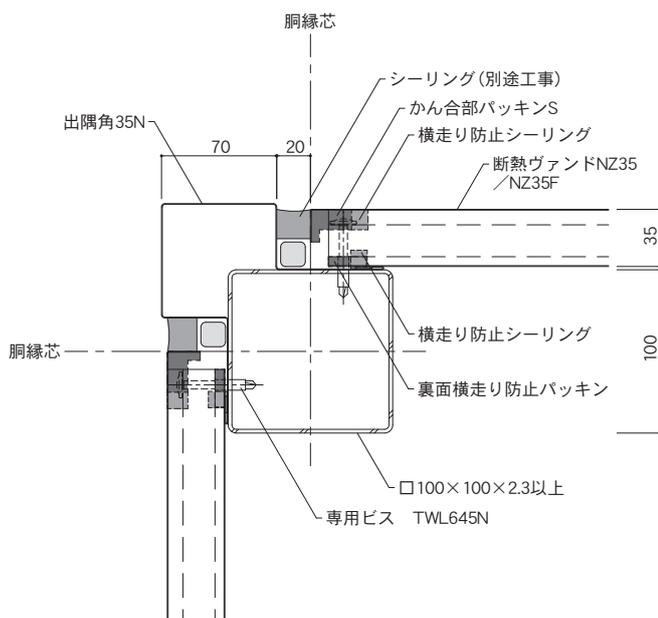
たて目地部(ふかしタイプ)



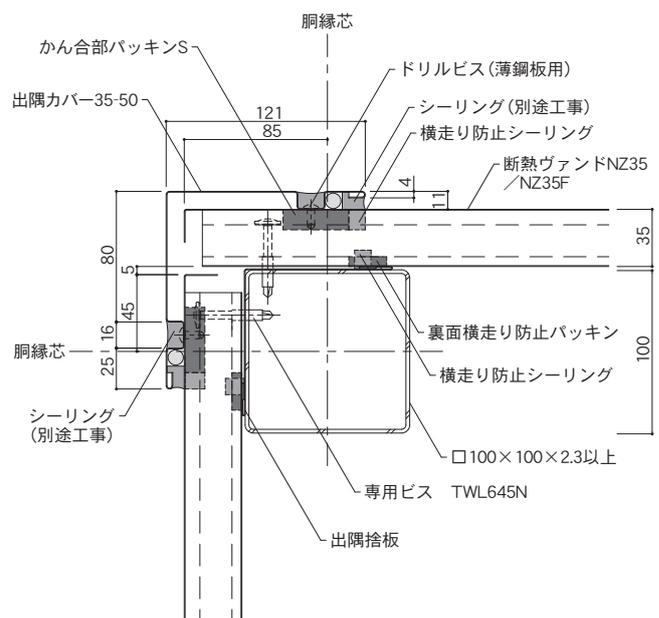
※シーリングタイプのたて目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。

防耐火構造認定の場合はパネル間のたて目地にブランケットの充てんが必要です。詳しくは以下のページをご確認ください。  
 45分準耐火構造の場合：NZ35/P81、P82 NZ35F/P90、P91  
 防火構造の場合：NZ35/P85、P86、P87 NZ35F/P94、P95、P96

出隅部(出隅角)



出隅部(出隅カバー)



3  
断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ 50・NZ 50 F

(たて張り)  
NZ 50・NZ 50 F

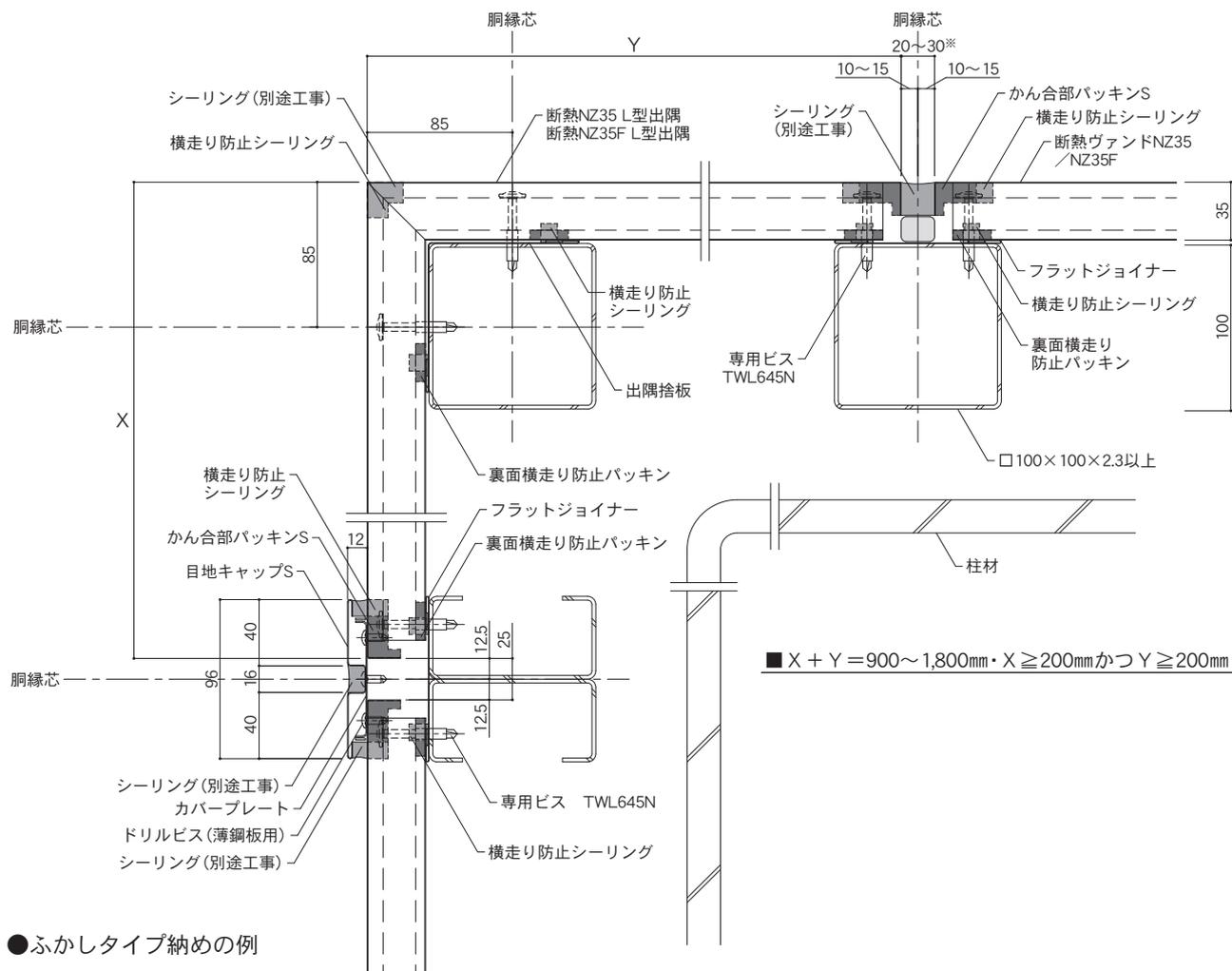
(よこ張り)  
NZ 35・NZ 35 F

(たて張り)  
NZ 35・NZ 35 F

## 断熱ヴァンドNZ35/NZ35F（よこ張り）

### 出隅部(L型出隅)

●シーリングタイプ納めの例

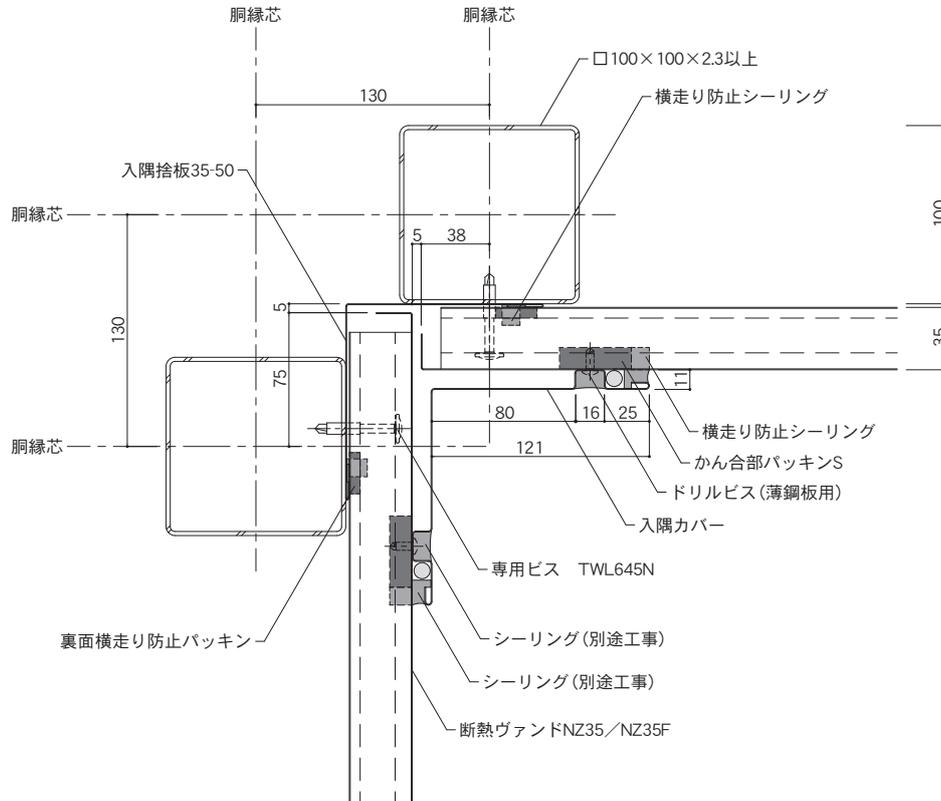


●ふかタイプ納めの例

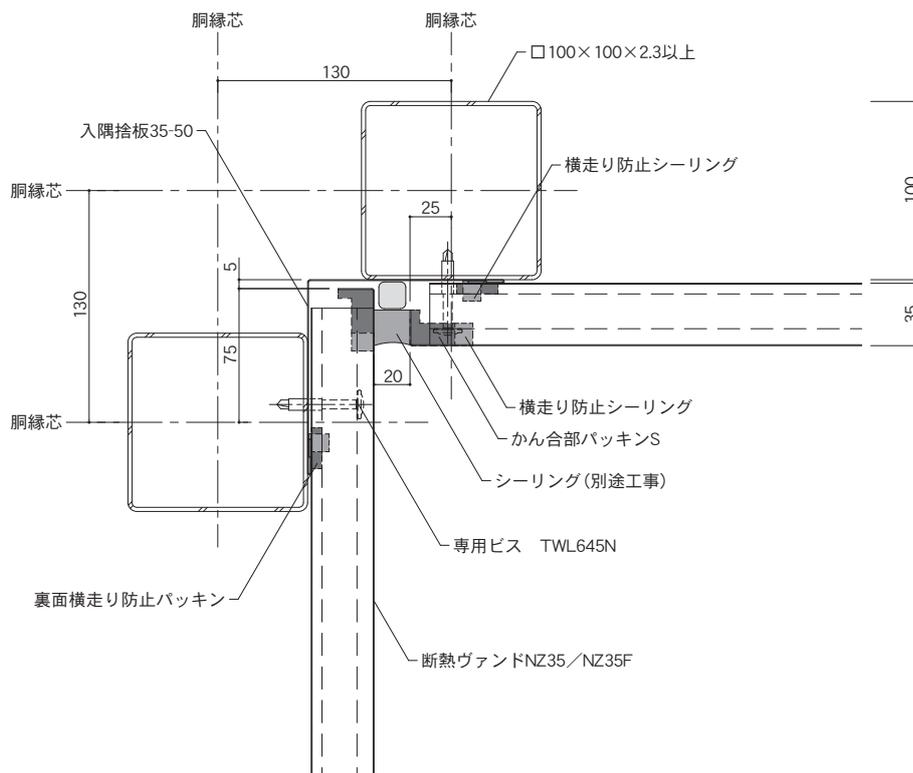
※シーリングタイプのため目地幅はパネル長さで設定してください。目地幅の設定はP132を参照してください。



入隅部(入隅カバー)



入隅部(シーリング)



3

断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ 50・NZ 50 F

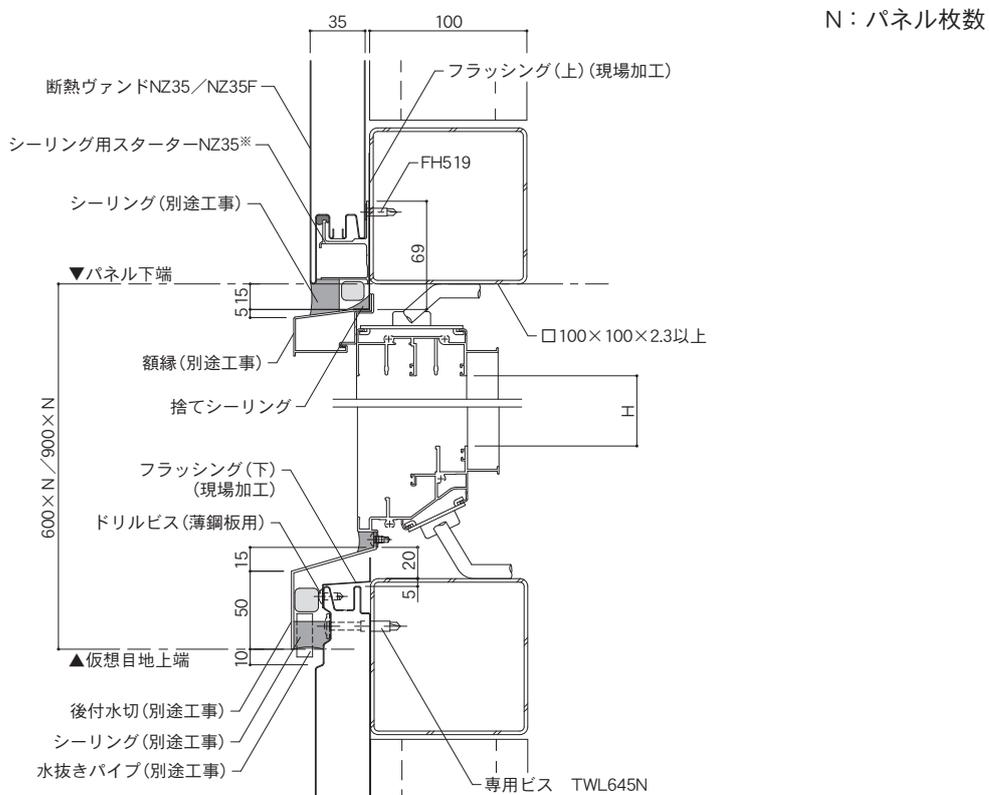
(たて張り)  
NZ 50・NZ 50 F

(よこ張り)  
NZ 35・NZ 35 F

(たて張り)  
NZ 35・NZ 35 F

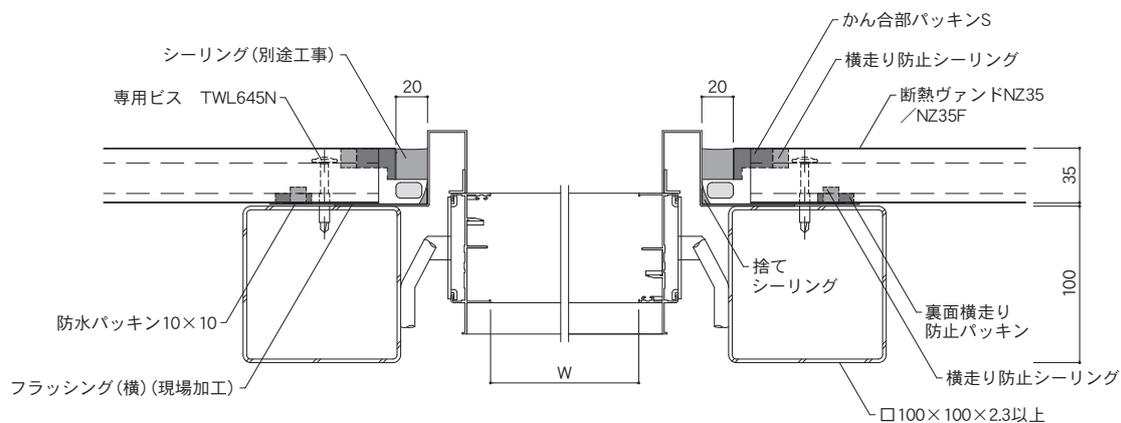
## 断熱ヴァンドNZ35/NZ35F（よこ張り）

### サッシ部(断面)

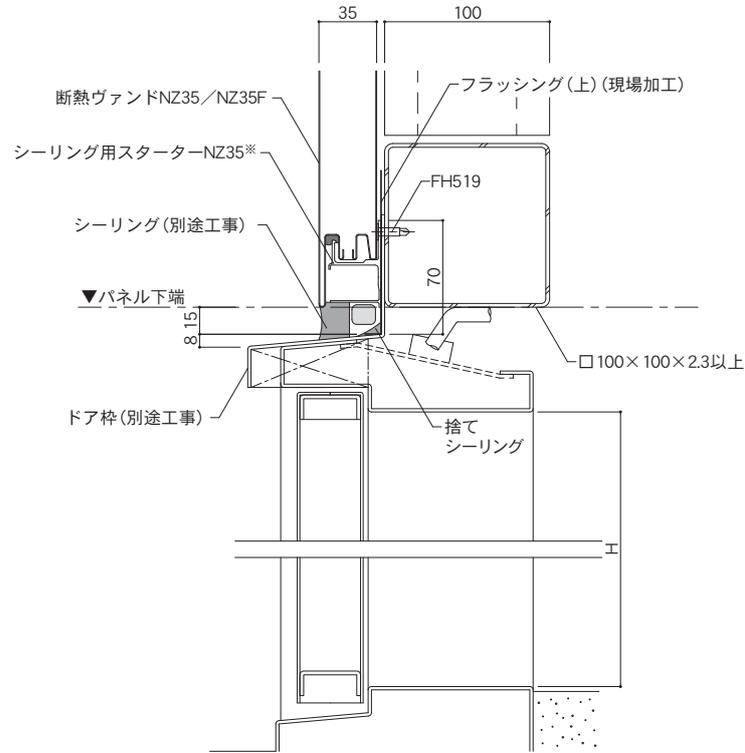


※シーリング用スターター-NZ35は上留めと下留めのどちらにも対応します。

### サッシ部(平面)

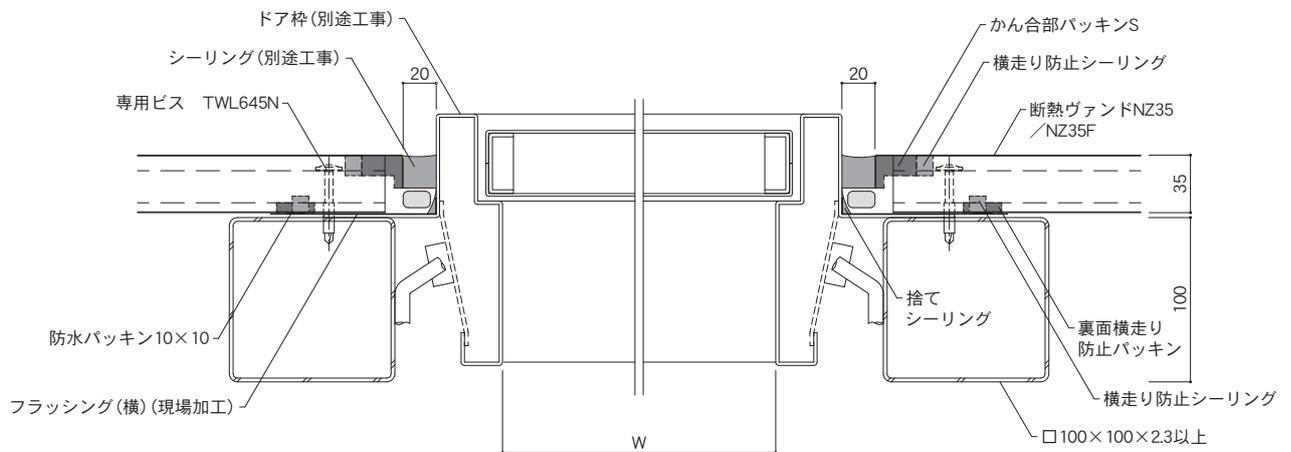


スチールドア部(断面)



※シーリング用スターターNZ35は上留めと下留めのどちらにも対応します。

スチールドア部(平面)



3

断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ50・NZ50F

(たて張り)  
NZ50・NZ50F

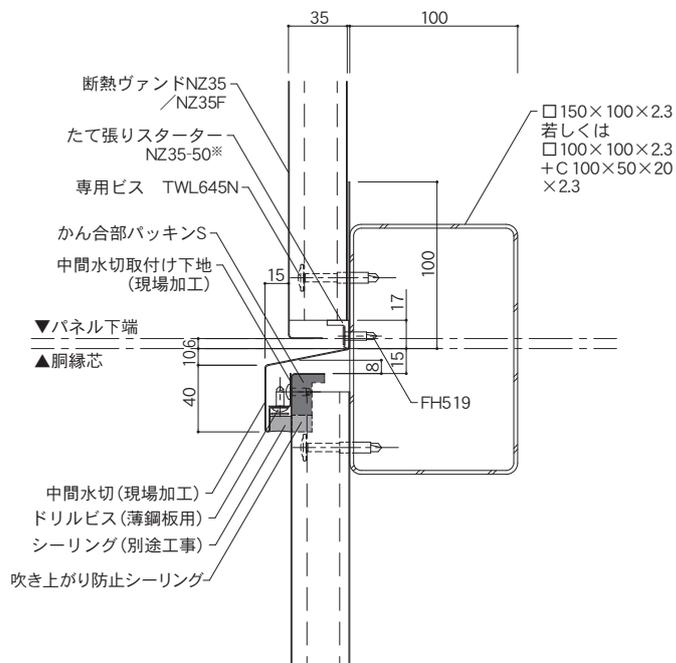
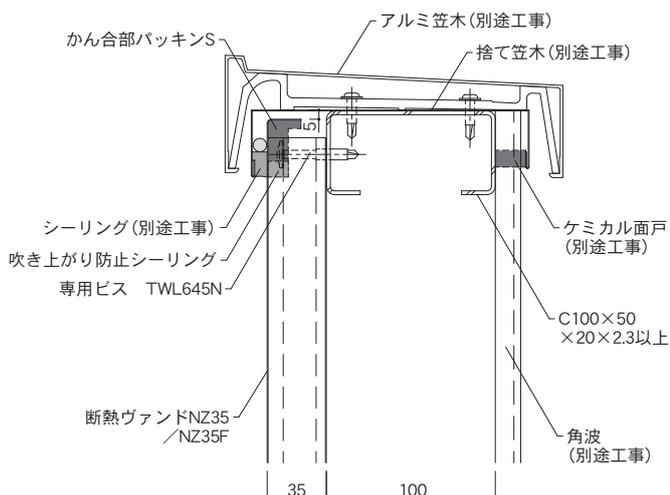
(よこ張り)  
NZ35・NZ35F

(たて張り)  
NZ35・NZ35F

## 断熱ヴァンドNZ35/NZ35F（たて張り）

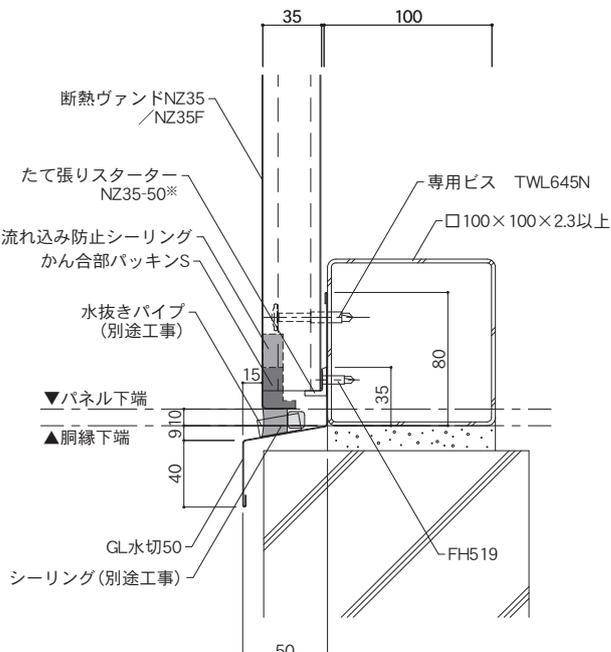
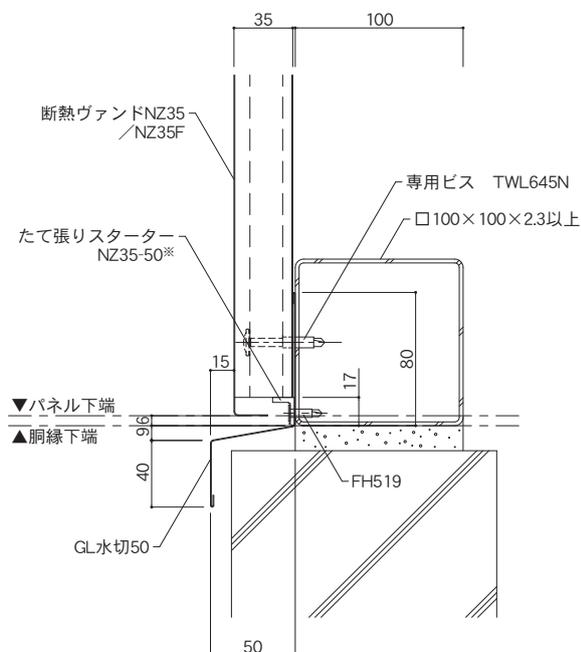
笠木部

たてつなぎ部



水切部(一般納まり)

水切部(シリーing納まり)



※たて張りスターターNZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

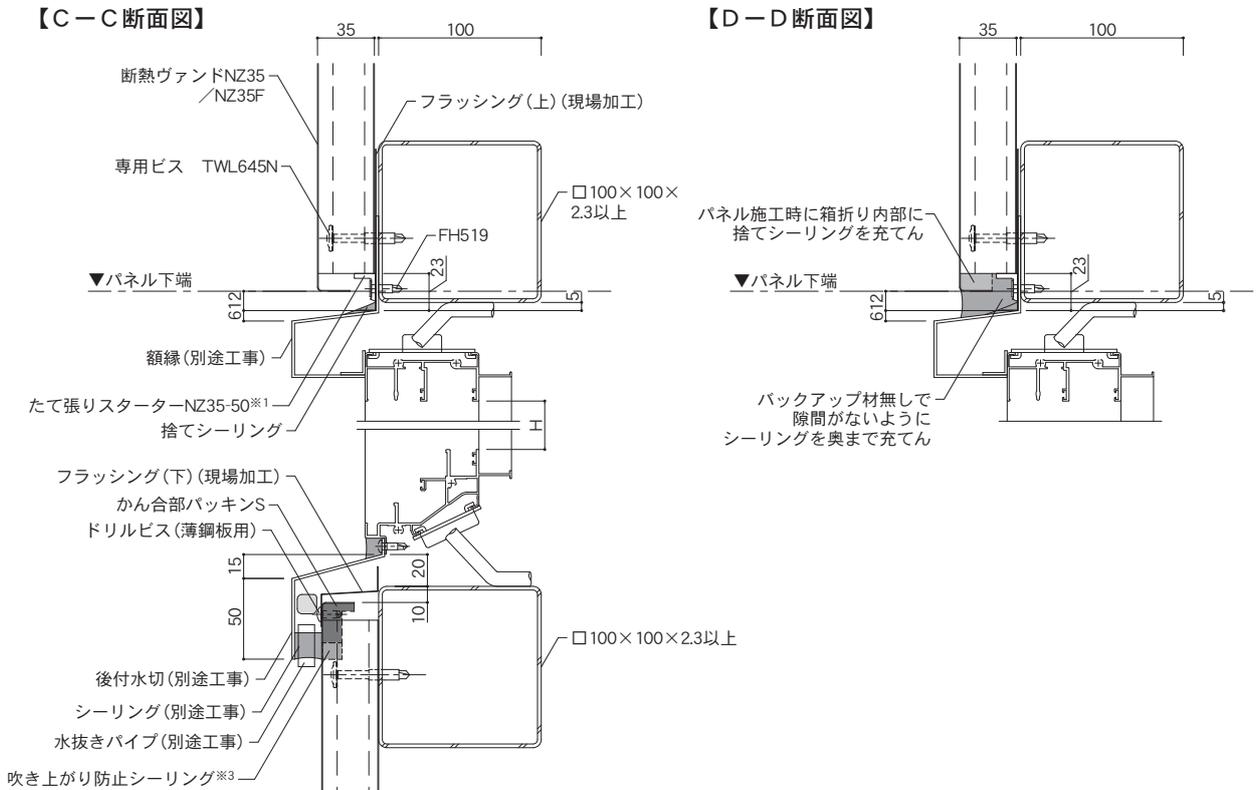
- ・納まり参考図は一例です。現場に合わせて検討してください。
- ・漏水しない納まりが必要です。
- ・部材と同等品（現場加工）も使用可能です。

弊社では施工に起因する不具合について一切の責任はおいかねますのであらかじめご了承ください。  
本商品の納まり参考図はホームページにてダウンロードできます。(https://www.igkogyo.co.jp/)



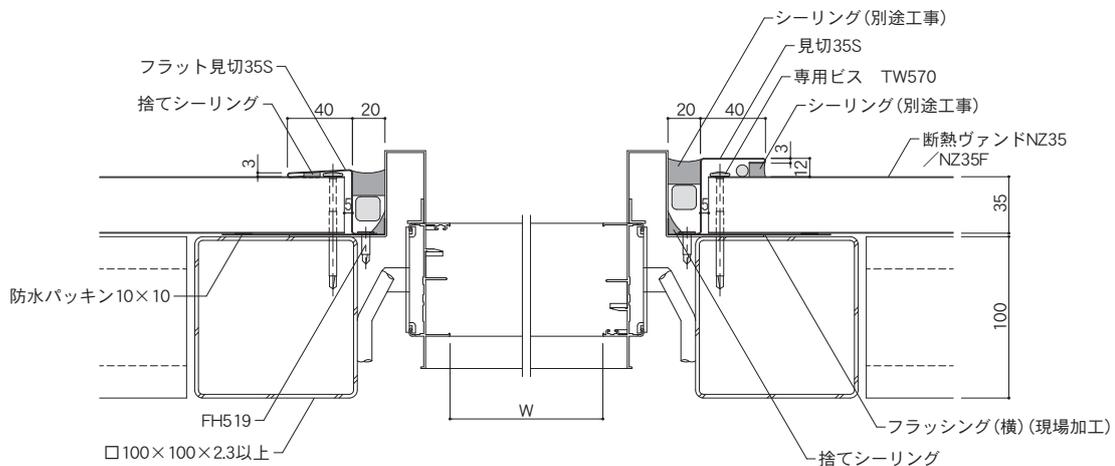
## 断熱ヴァンドNZ35/NZ35F（たて張り）

サッシ部：サッシ上をシール納まりにしない場合(断面)



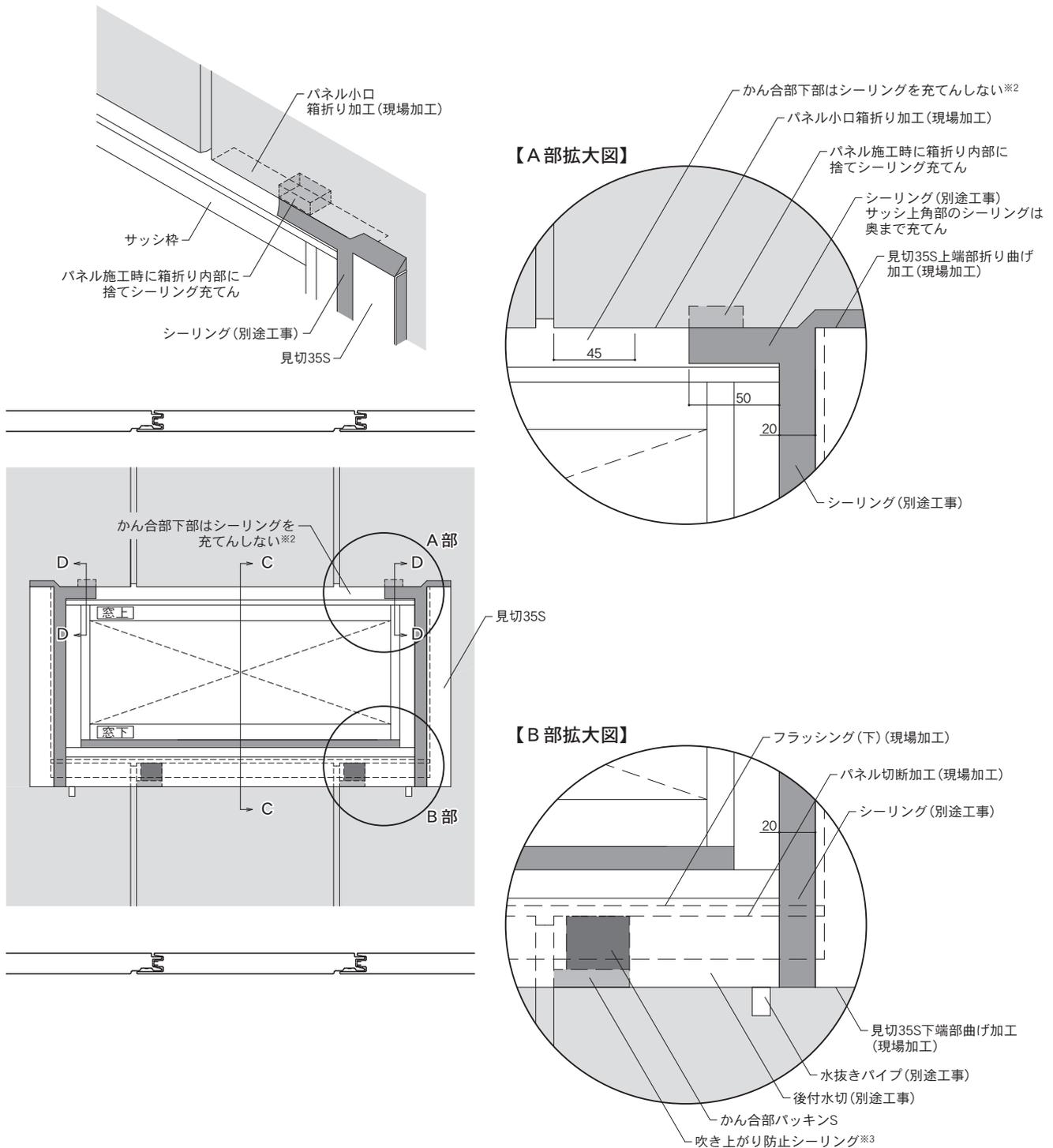
※ 1 たて張りスター-NZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

サッシ部(平面)



サッシ部シーリング詳細(正面)

【パネル施工時に捨てシーリング充てん】



※2 かん合目地下部はビス打ち部に浸入した水を排出するため、シーリングを充てんしないでください。  
 ※3 パネル上部には必ず吹き上がり防止シーリングを施してください。

3

断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ 50・NZ 50 F

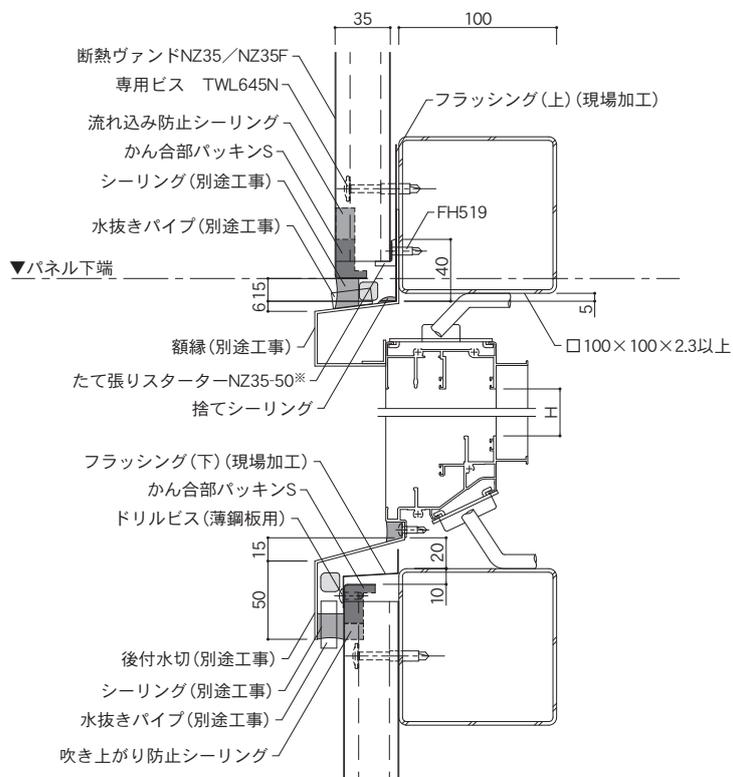
(たて張り)  
NZ 50・NZ 50 F

(よこ張り)  
NZ 35・NZ 35 F

(たて張り)  
NZ 35・NZ 35 F

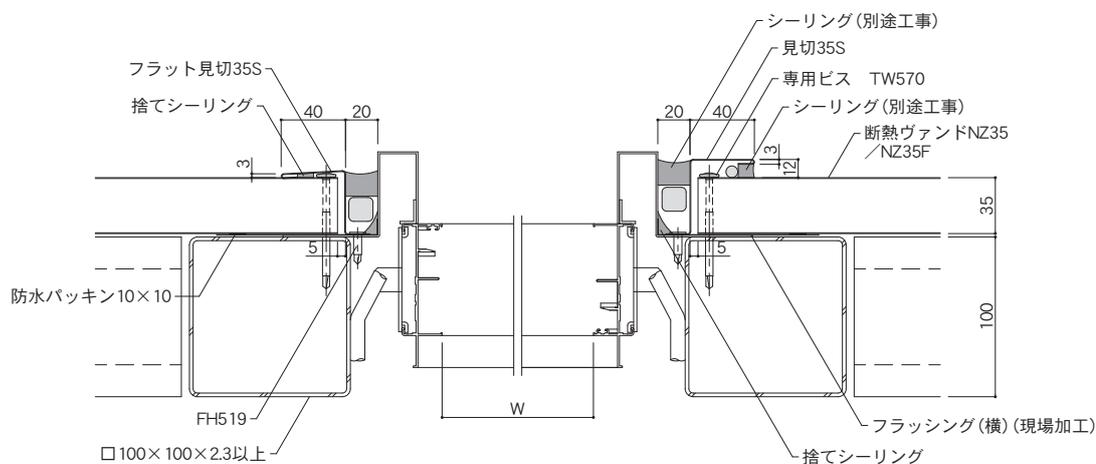
## 断熱ヴァンドNZ35/NZ35F（たて張り）

### サッシ部：サッシ上をシール納まりにする場合(断面)



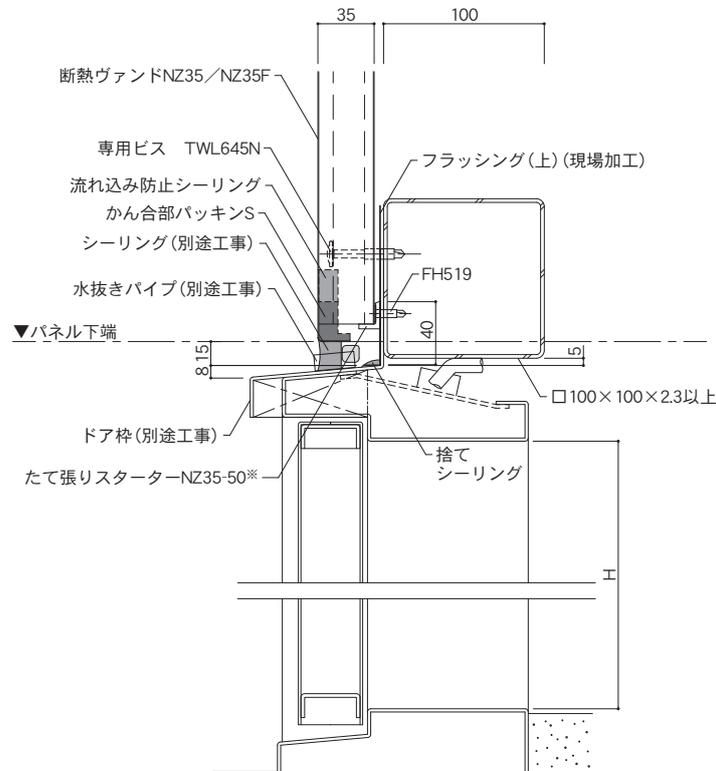
※たて張りスターターNZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

### サッシ部(平面)



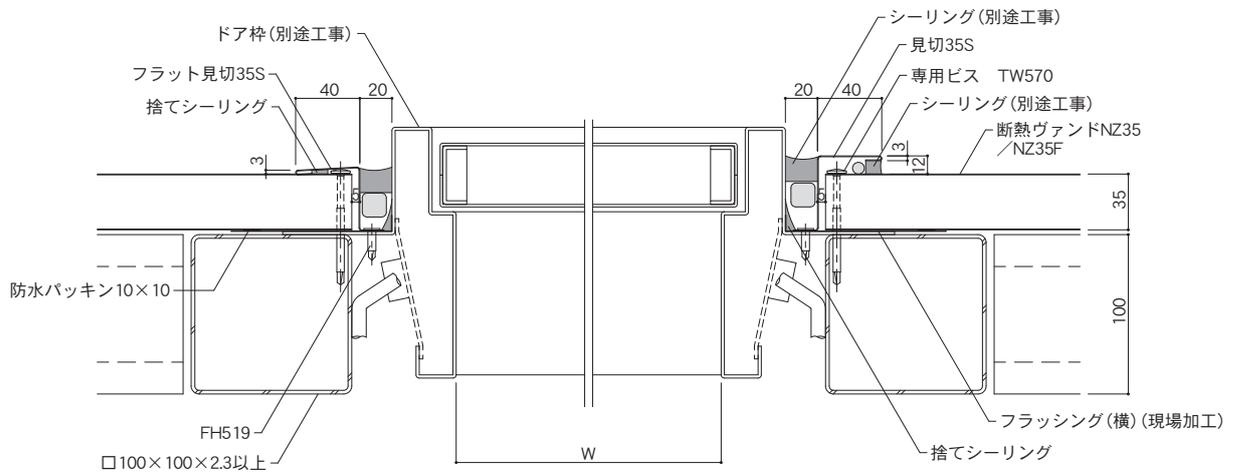


スチールドア部(断面)



※たて張りスターター-NZ35-50は上留めと下留めのどちらにも対応します。

スチールドア部(平面)



3

断熱ヴァンドNZ

(よこ張り)  
NZ50・NZ50F

(たて張り)  
NZ50・NZ50F

(よこ張り)  
NZ35・NZ35F

(たて張り)  
NZ35・NZ35F

## 4 設計のポイント

### 4-1 割り付け

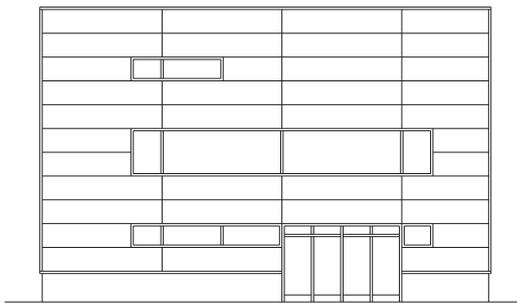
#### [1] パネルの割り付け

##### ■割り付け上の注意点

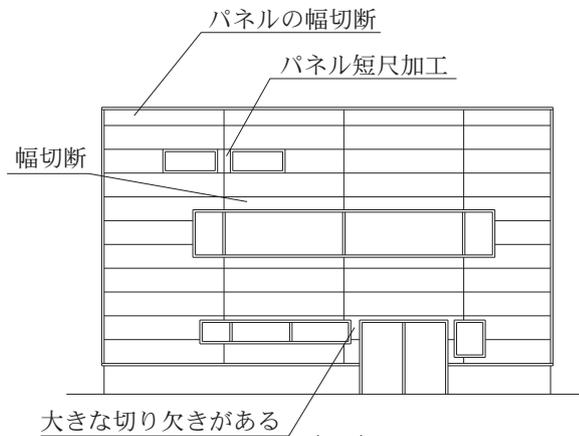
- ・よこ張り時のたて目地をシーリングタイプで納める場合は表面色により対応できる長さが異なります。詳しくはP132のシーリングたて目地幅の設定で確認してください。
- ・たて張り時の開口脇にたて目地が通らないよう割り付けてください。たて目地が通っていると漏水の危険性が高くなります。
- ・切り欠いた残りがパネル働き幅の2/3以上となるようにしてください（P139参照）。
- ・パネル本体のオス、メス両側からの切り欠きは避けてください。
- ・パネル本体長さの種類ができるだけ少なくなるように割り付けてください。
- ・パネル寸法には公差があります。詳しくは弊社担当営業にお問い合わせください。

##### ■割り付け例

###### 〔よこ張り〕

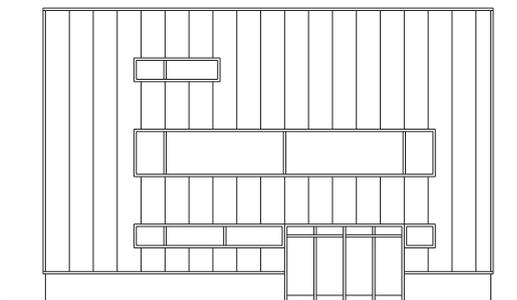


好ましい例

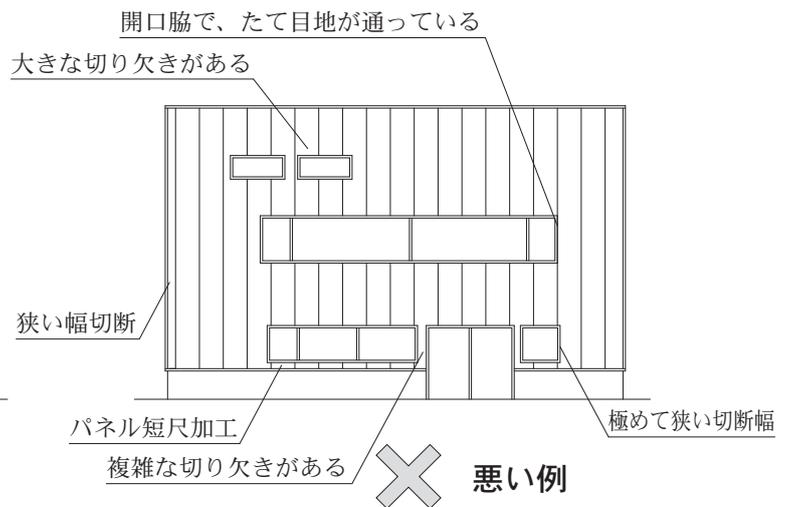


悪い例

###### 〔たて張り〕



好ましい例



悪い例

## [2] 胴縁の割り付け

### ■ 胴縁間隔の設定

胴縁の間隔は、次の3条件を基に、最も間隔の狭いものに設定してください。

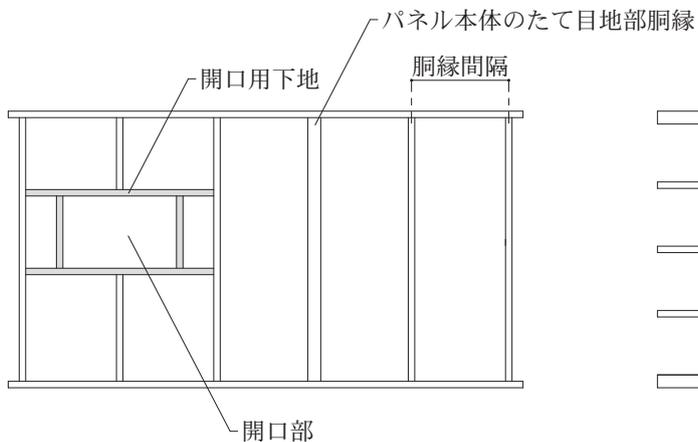
- ・ 防耐火構造認定の胴縁間隔
- ・ パネル本体の耐風圧強度（風圧力と胴縁間隔のグラフ）
- ・ 胴縁自体の耐風圧強度（構造計算により算出してください）

### ■ 胴縁の種類

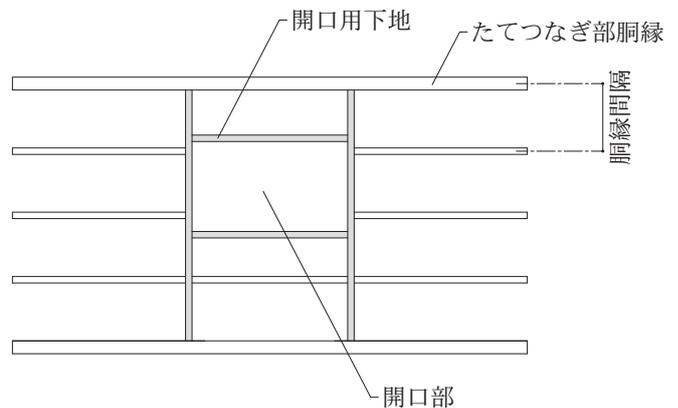
- ・ 胴縁は、C100×50×20×2.3、□100×100×2.3以上としてください。
- ・ 鋼材の厚みは $t=3.2\text{mm}$ までとしてください。これを超えると専用ビスが使えなくなります。

### ■ 胴縁の割り付け例

[よこ張りの場合]



[たて張りの場合]



- ・ 光の具合によって、表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。

## [3] 異種金属との取り合い

- ・ ステンレス製の付帯物などの異種金属が直接接触すると電食が起こる場合がありますので、ご注意ください。

## [4] 付帯物の取り付け

- ・ 庇、フード、看板などの付帯物は、パネル本体に負担をさせず、躯体鉄骨に負担させるようにしてください。

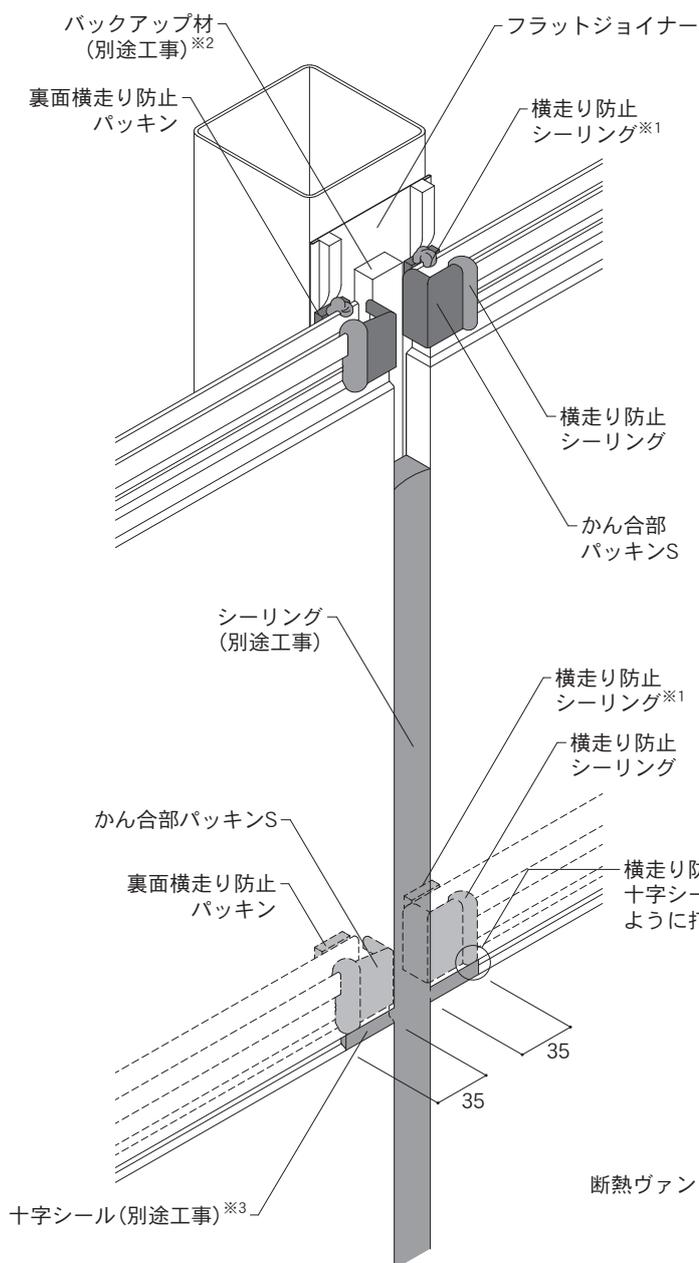
## 4-2 シーリングと十字シール

### 【注意 !!】

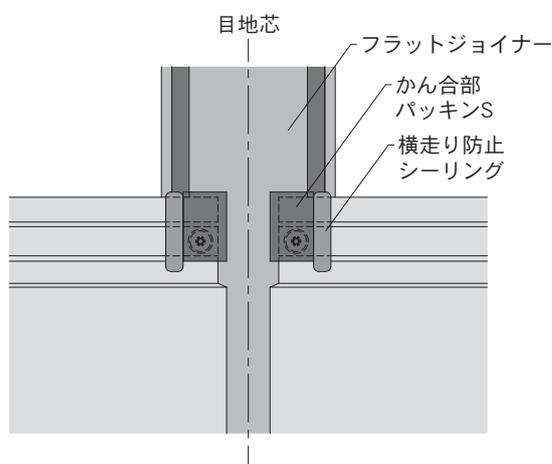
よこ張りのパネルたて目地部からの水の横走りによる漏水を防止するために横走り防止シーリングが必要です。シーリング位置が正しくないと効果が得られませんので十分に注意してください。シーリングの位置は、各納まり参考図を参照してください。

シーリング（別途工事）はよこ目地に掛かるように十字シール（別途工事）※3も打ってください。シーリングは変成シリコン系を使用してください。

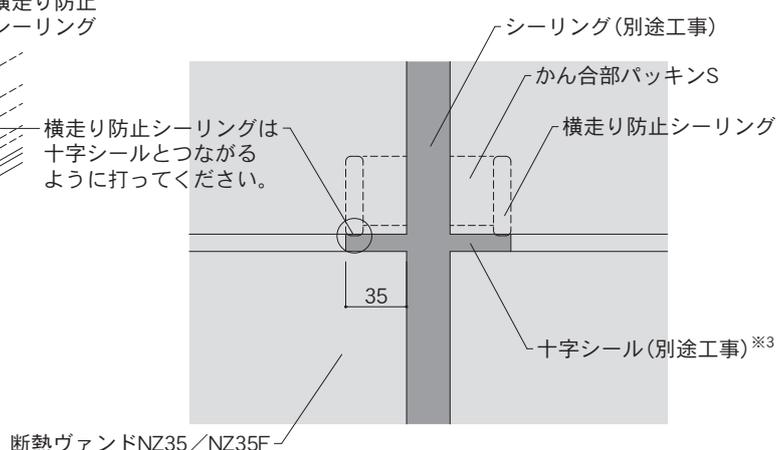
### 4-2-1 よこ張りの場合（シーリング納まり）



### ■たて目地正面



### ■たて目地部十字シール



注) 図は断熱ヴァンドNZ35/35Fです。断熱ヴァンドNZ50/NZ50F、耐火ヴァンドRZ75/RZ50も同様の納まりになります。

※1 裏側の横走り防止シーリングは捨板類の防水パッキンに接する位置に打ってください。

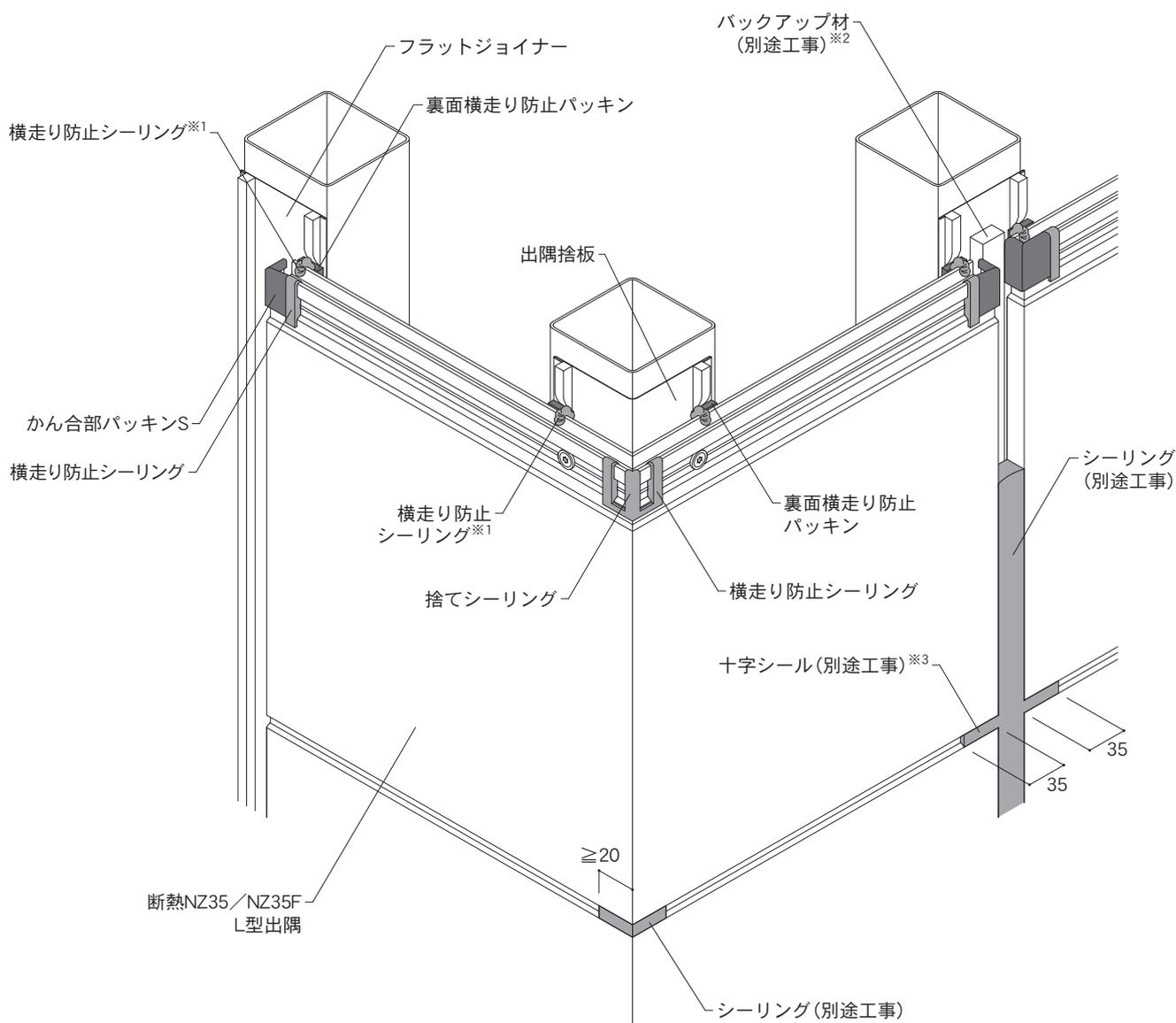
※2 防耐火構造認定に適合させる場合は各ヴァンド本体に対応するブランケットを充て込んでください。

※3 耐火ヴァンドRZ50（よこ張り）の防耐火構造認定（合成耐火構造を含む）を要する場合は十字シール（別途工事）の長さは左右それぞれ100mm以下にしてください。設計、施工の際はご注意ください。構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

**【注意 !!】**

L型出隅のよこ目地コーナー部にも水の横走りによる漏水を防止するために横走り防止シーリングとシーリング（別途工事）が必要です。シーリングは変成シリコン系を使用してください。

**■L型出隅**



4

設計のポイント

注) 図は断熱ヴァンドNZ35/35Fです。断熱ヴァンドNZ50/NZ50F、耐火ヴァンドRZ75/RZ50も同様の納まりになります。

- ※1 裏側の横走り防止シーリングは捨板類の防水パッキンに接する位置に打ってください。
- ※2 耐火構造認定に適合させる場合は各ヴァンド本体に対応するブラケットを充てんしてください。
- ※3 耐火ヴァンドRZ50（よこ張り）の耐火構造認定（合成耐火構造を含む）を要する場合は十字シール（別途工事）の長さは左右それぞれ100mm以下にしてください。設計、施工の際はご注意ください。構造仕様の詳細は構造認定書でご確認ください。

**【注意 !!】**

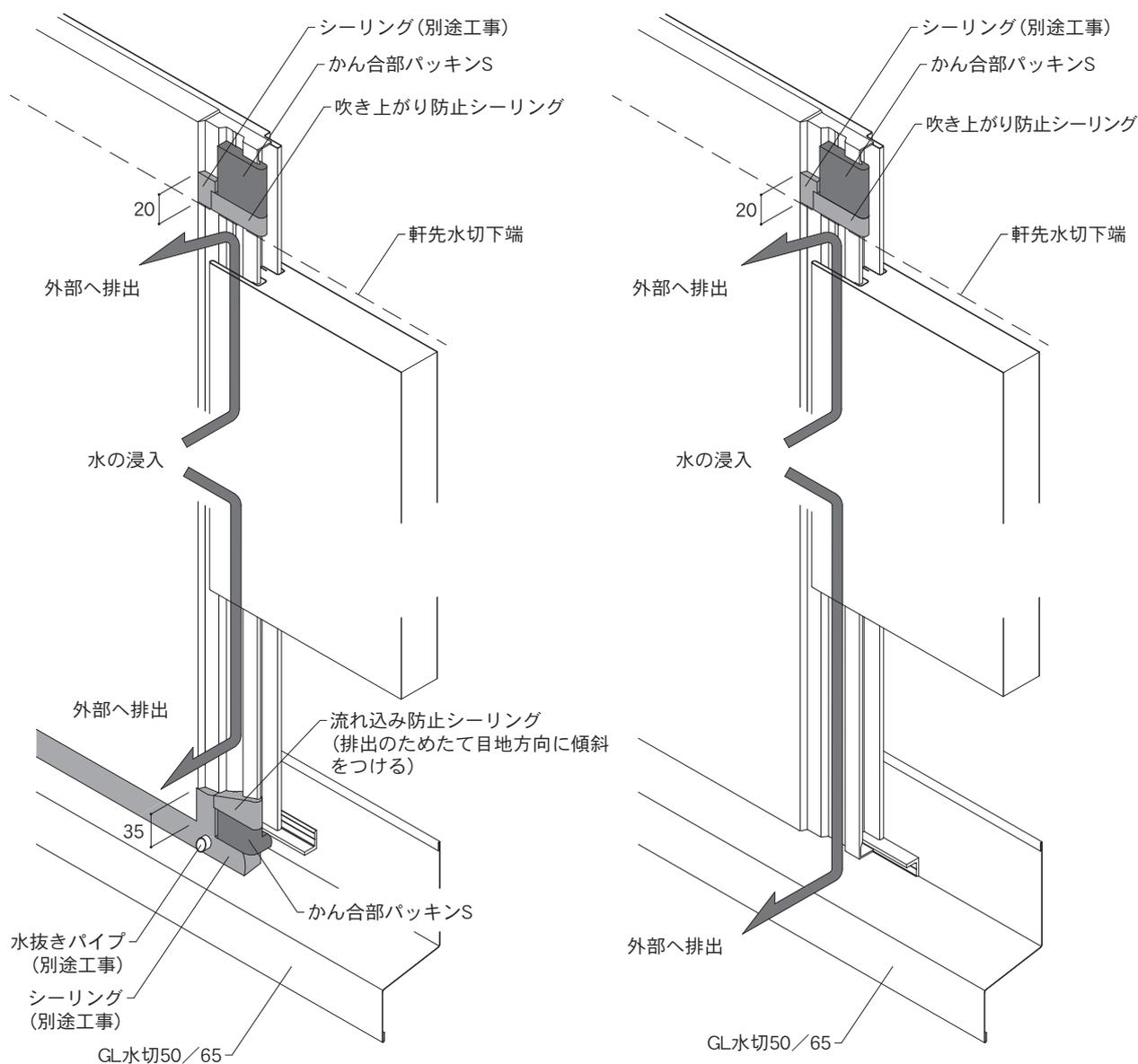
たて張りにはパネルたて目地部の水の吹き上がりによる漏水を防止するために吹き上がり防止シーリングが必要です。また、パネル下端をシールする場合には水の流れ込みを防ぐために流れ込み防止シーリングが必要です（図①参照）。シーリングは変成シリコーン系を使用してください。

4-2-2 たて張りの場合

①パネル下端部をシールする場合

②パネル下端部をシールしない場合

〔パネル上端部〕



〔パネル下端部〕

注) 図は断熱ヴァンドNZ35/35Fの軒先部、水切部の納まり例です。開口上部、たてつなぎ部（中間水切部）も同様です。断熱ヴァンドNZ50/NZ50F、耐火ヴァンドRZ75V/RZ50Vも同様の納まりになります。

### 4-3 シーリングタイプたて目地幅の設定（よこ張りの場合）

本体長さが下記表の長さを超える場合は、シーリングタイプの納まりは採用できません。  
ふかしタイプの納まりとしてください。

#### ■耐火ヴァンドRZの場合

表面色		日本塗料工業会 色票番号明度区分	パネル本体長さ	目地幅
明色	PシルバーS、Pホワイト、 Pシャンパンゴールド、Pアイボリー、 Pグレー CFシルバーS、CFホワイト、 CFシャンパンゴールド、CFアイボリー、 CFグレー	60以上90未満	8.3m以下	25mm
			8.3mを超え10m以下※1	30mm
暗色	Pメタリックグレー、CFメタリックグレー Pダークグレー、CFダークグレー	40以上60未満	7.1m以下	25mm
			7.1mを超え8.5m以下	30mm

#### ■断熱ヴァンドNZの場合

表面色		日本塗料工業会 色票番号明度区分	パネル本体長さ	目地幅
明色	PシルバーS、Pホワイト、 Pシャンパンゴールド、Pアイボリー、 Pグレー CFシルバーS、CFホワイト、 CFシャンパンゴールド、CFアイボリー、 CFグレー	60以上90未満	6.6m以下	20mm
			6.6mを超え8.3m以下	25mm
			8.3mを超え10m以下※1	30mm
暗色	Pメタリックグレー、CFメタリックグレー Pダークグレー、CFダークグレー	40以上60未満	5.7m以下	20mm
			5.7mを超え7.1m以下	25mm
			7.1mを超え8.5m以下	30mm

（注）特注色の場合は、日本塗料工業会色票番号明度区分に従い目地幅を設定してください。

※1 9.3mを超える長さについては弊社にお問い合わせください。

### 4-4 パネル取り付け用専用ビス

#### ■専用ビス対応表

商品	用途	パネル本体取り付け	パネル本体脳天打ち	せっこうボード下張り パネル本体取り付け	せっこうボード下張り パネル本体脳天打ち
耐火ヴァンド RZ75/RZ75V		TWL690N FHL790R+FHL用座金※2	TW5100	—	—
耐火ヴァンド RZ50/RZ50V		TWL665N FHL765R+FHL用座金※2	TW570	—	—
断熱ヴァンド NZ50/NZ50F		TWL665N	TW570	TWL690N※3	TW5100※3
断熱ヴァンド NZ35/NZ35F		TWL645N	TW570	TWL665N※3	TW570※3

○専用ビス（TWL690N/TWL665N/TWL645NとFHL790R/FHL765R）には「ビットTWL」を使用してください。

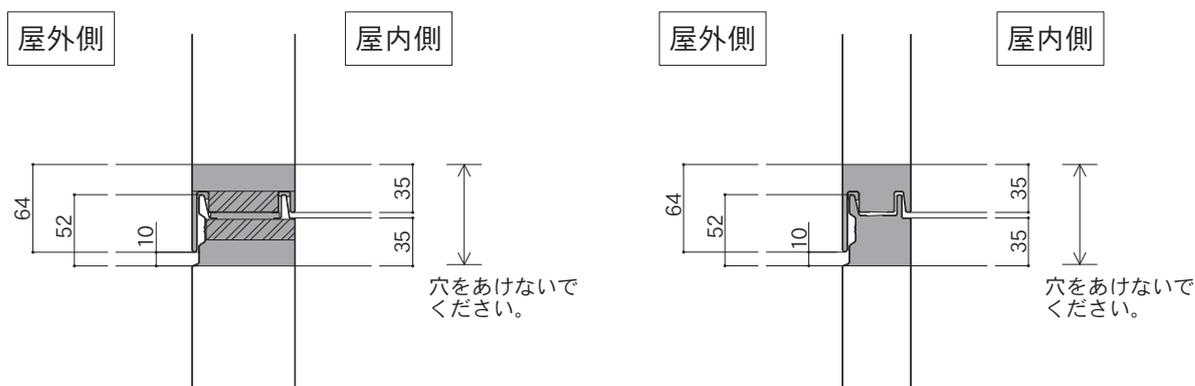
○TW5100、TW570は十字ビット2番を使用してください。

※2 耐風圧性能のビス許容荷重（負圧）を強化する場合。

※3 せっこうボード t=12.5mmを下張りした場合。

## 4-5 穴あけ制限と補強胴縁

### ■かん合部について



(図は耐火ヴァンドRZ75です。RZ50の場合も同様です)

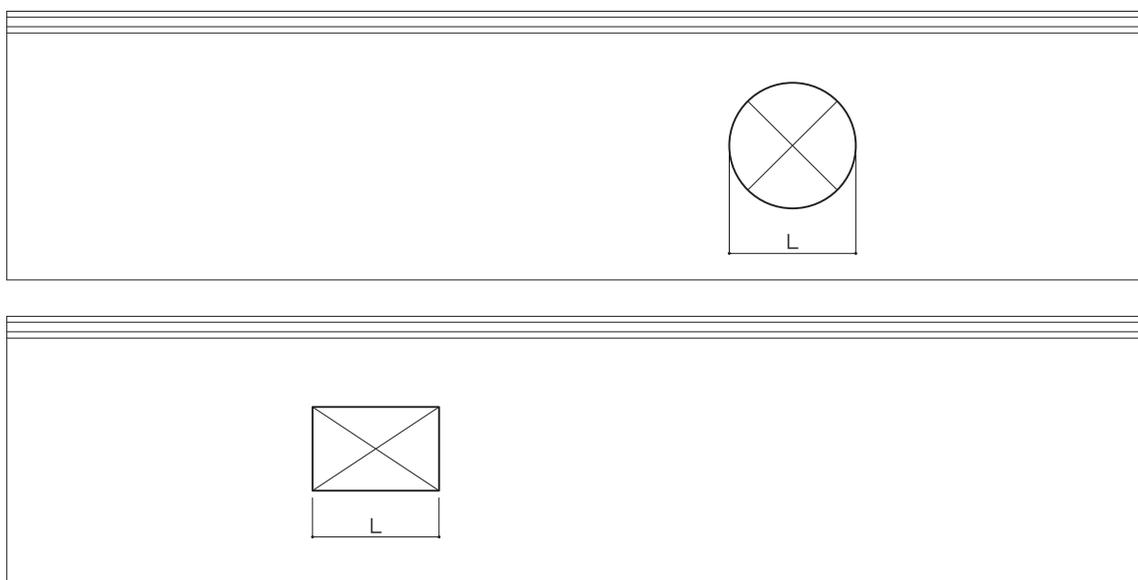
(図は断熱ヴァンドNZ50です。NZ35の場合も同様です)

#### 【注意 !!】

パネル施工後にかん合部に穴をあけると横走り防止シーリングなど十分な防水処理ができないため漏水する可能性があります。上記寸法の範囲内（の部分）には穴をあけないでください。たて張りも同様です。

### ■パネル平面部

#### (1) 穴が1ヶの場合



#### ・丸穴を開ける場合

働き幅600mmのパネルはL = 300mm以下、働き幅900mmのパネルはL = 450mm以下。

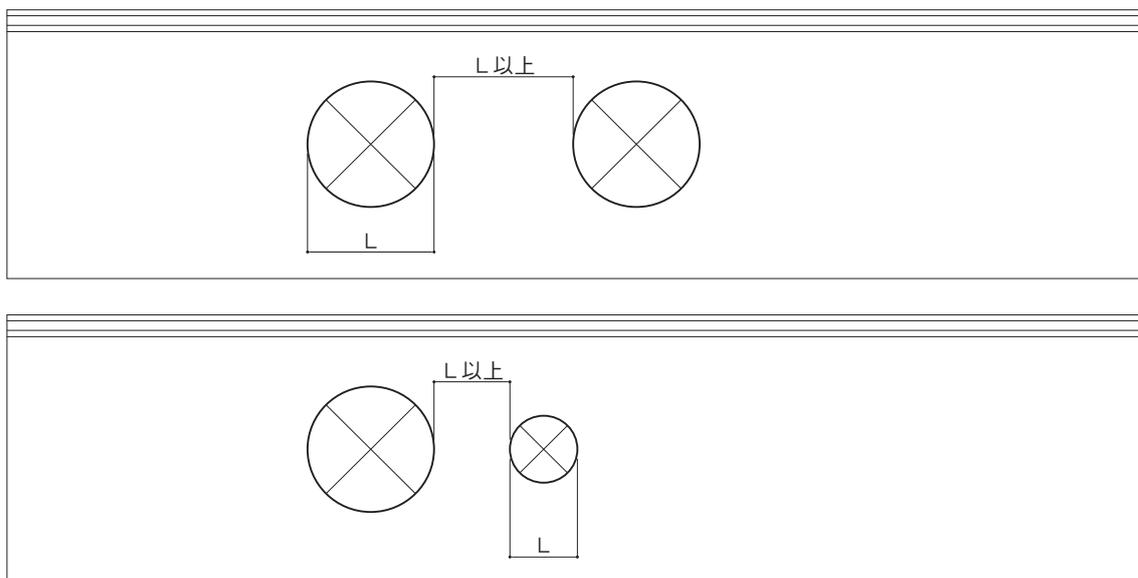
#### ・四角の穴を開ける場合

働き幅600mmのパネルは長辺はL = 300mm以下、働き幅900mmのパネルはL = 450mm以下。

・胴縁間隔が2mを超える場合や上記の値を超える場合は補強胴縁を追加し、パネルをビス留めして補強してください（P135【1】開口制限を超える大きな開口を参照）。

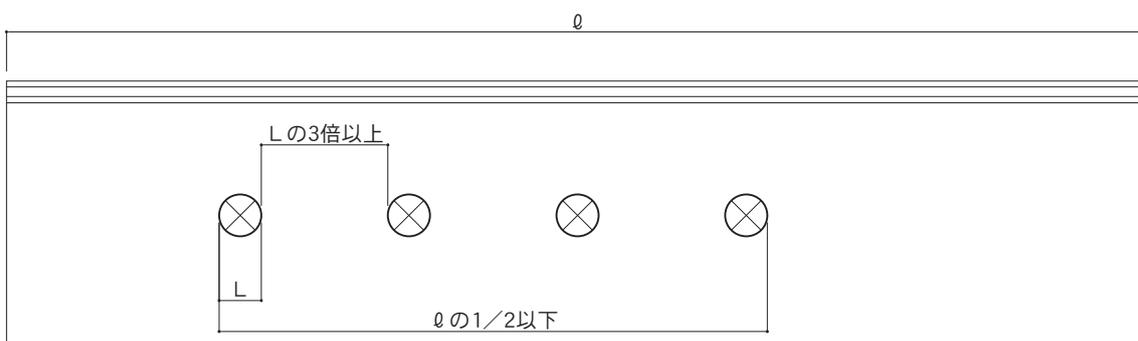


## (2) 丸穴が2ヶの場合



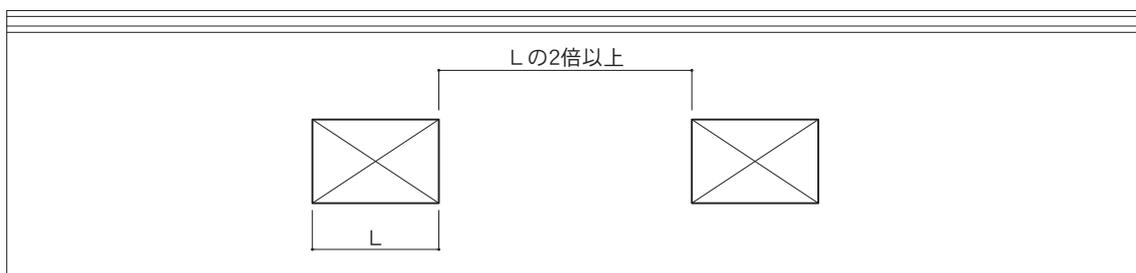
- 同じ直径の丸穴を2ヶ開ける場合は、穴の間隔を丸穴の直径以上離してください。
- 大きさの異なる丸穴を2ヶ開ける場合は、穴の間隔を小さい丸穴の直径以上離してください。
- 胴縁間隔が2mを超える場合や上記の制限条件より近接する場合は補強胴縁を追加し、パネルをビス留めして補強してください（P136【2】複数ある開口間隔が制限条件より近接する場合を参照）。

## (3) 丸穴が3ヶ以上の場合



- 穴が3ヶ以上直線上に開ける場合は、間隔を直径の3倍以上離してください。連続で開ける場合は、パネル長さの1/2までとしてください。
- 胴縁間隔が2mを超える場合や上記の制限条件より近接する場合は補強胴縁を追加し、パネルをビス留めして補強してください（P136【2】複数ある開口間隔が制限条件より近接する場合を参照）。

#### (4) 四角穴が2ヶの場合

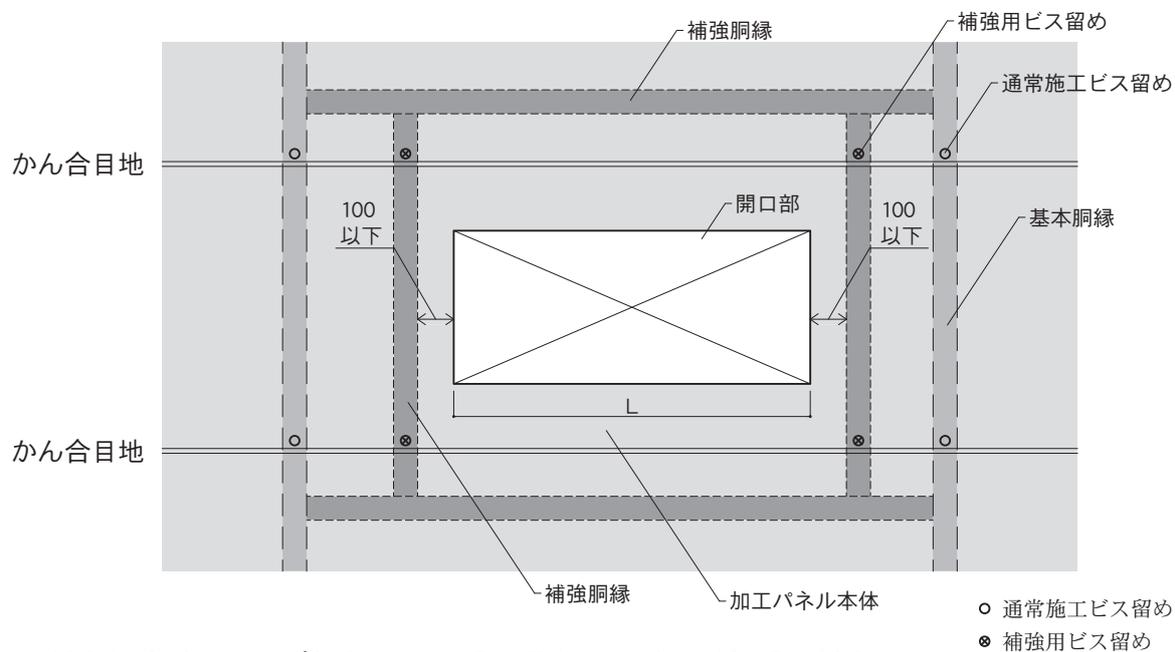


- ・四角の穴を2ヶ開ける場合は、穴の間隔は長辺の2倍以上にしてください。
- ・胴縁間隔が2mを超える場合や上記の制限条件より近接する場合は補強胴縁を追加し、パネルをビス留めして補強してください（P136【2】複数ある開口間隔が制限条件より近接する場合を参照）。

### ■補強胴縁の例（パネル施工前に穴あけ加工の場合）

#### 【1】開口制限を超える大きな開口

- ・前項「(1) 穴が1ヶの場合」の制限を超えた場合の補強例

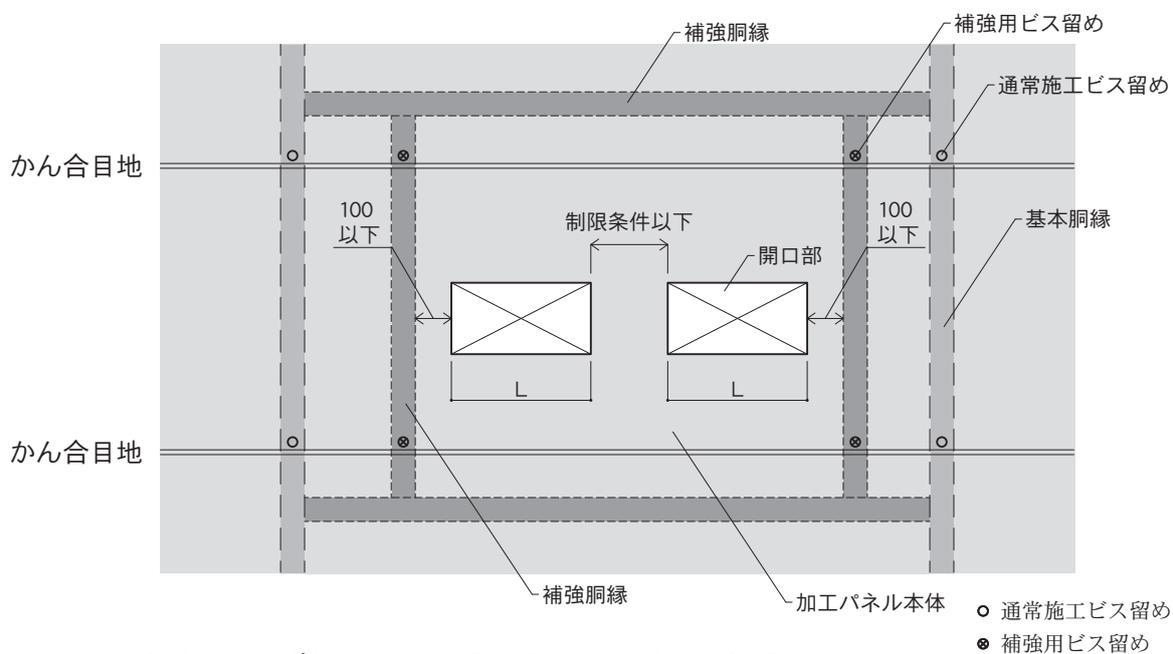


- ・パネル留め付けビスはいずれもかん合部の通常施工ビス打ち部に留める。

- 通常施工ビス留め
- 補強用ビス留め

## 【2】複数ある開口間隔が制限条件より近接する場合

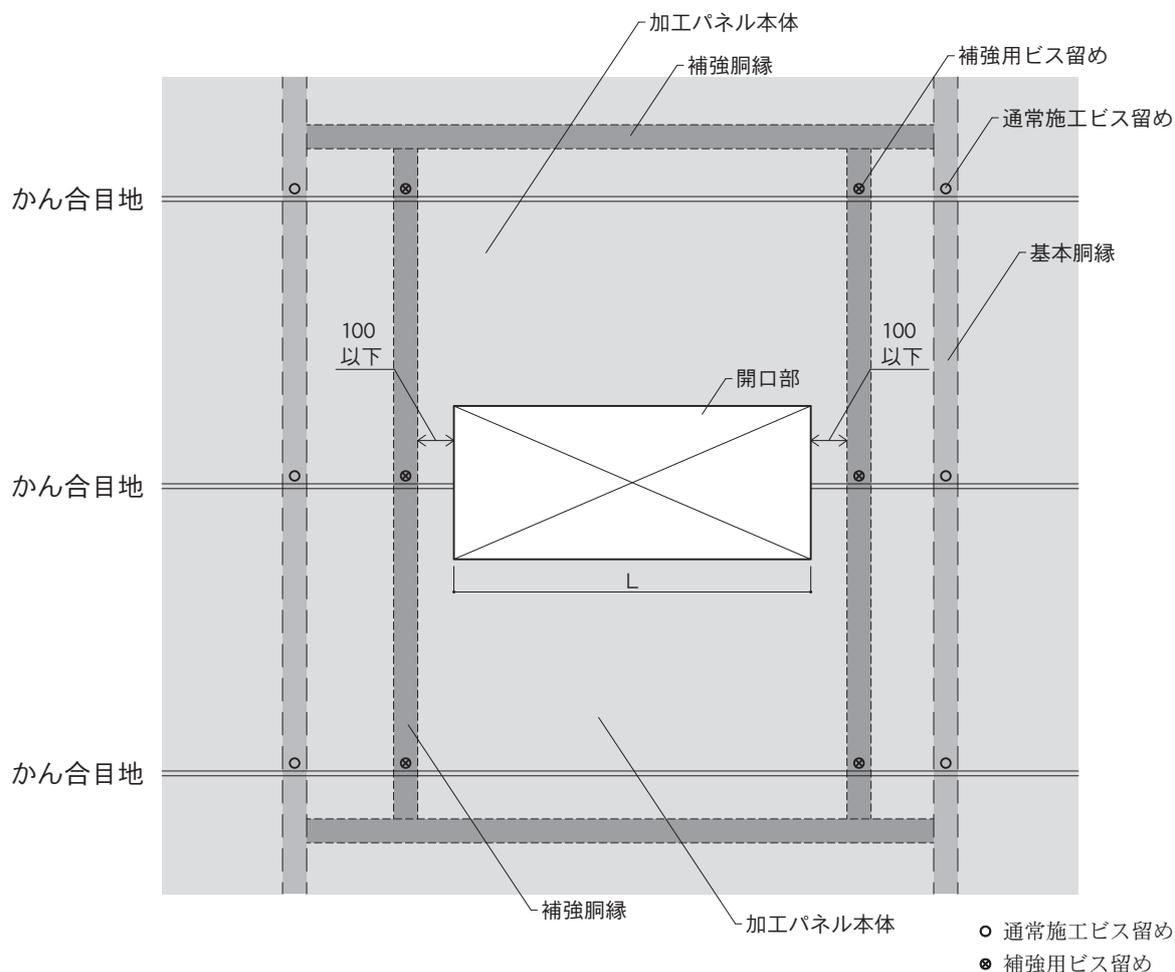
- 前項「(2) 丸穴が2ヶの場合」、「(3) 丸穴が3ヶ以上の場合」、「(4) 四角穴が2ヶの場合」の制限を超えた場合の補強例



- パネル留め付けビスはいずれもかん合部の通常施工ビス打ち部に留める。

- 通常施工ビス留め
- 補強用ビス留め

### 【3】 パネルかん合部をまたぐ開口の場合

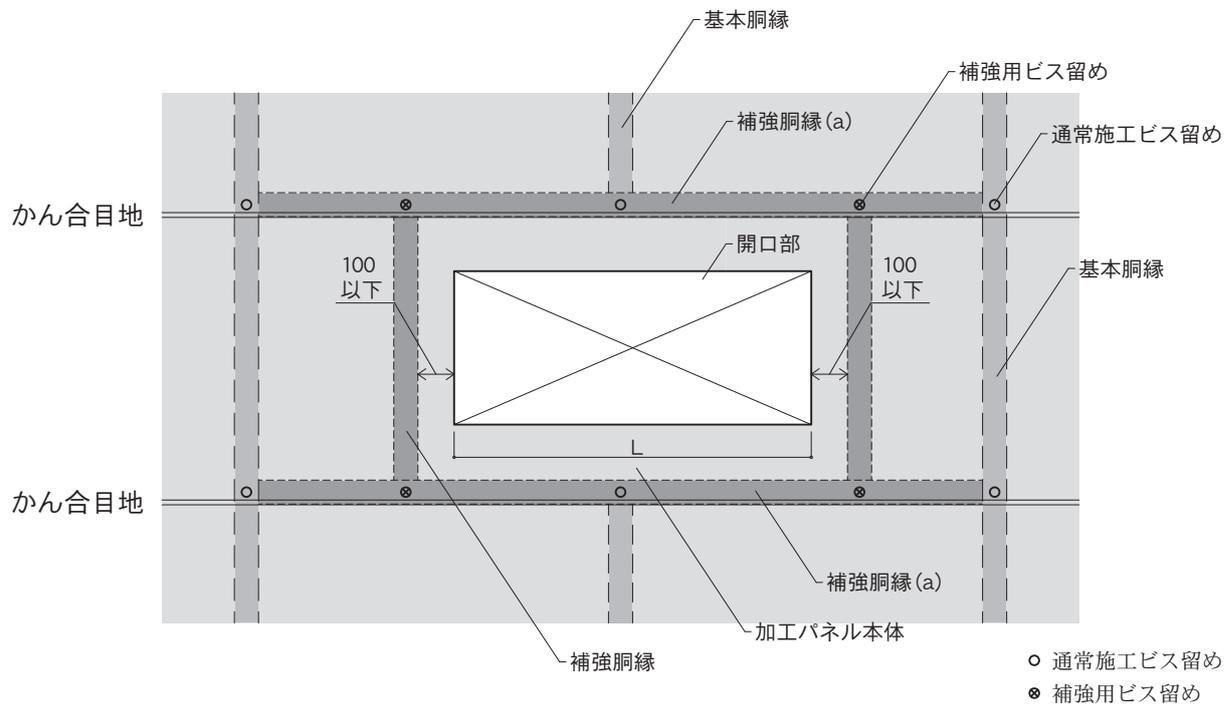


- ・ パネル留め付けビスはいずれもかん合部の通常施工ビス打ち部に留める。

#### 【注意 !!】

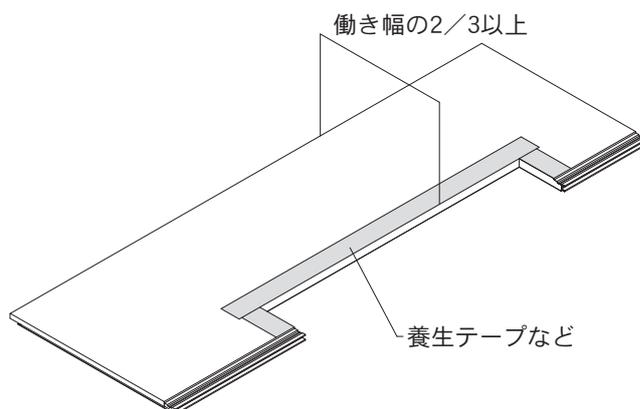
漏水する可能性がありますのでパネル施工後はかん合部に穴をあけないでください。開口部に接するかん合目地には、かん合部パッキンSと裏面横走り防止パッキン、横走り防止シーリングを打ってください。たて張りの場合も同様です。

### 【4】 胴縁をまたぐ開口の場合



- ・ パネル留め付けビスはいずれもかん合部の通常施工ビス打ち部に留める。
- ・ 基本胴縁をまたぐ開口の補強胴縁 (a) は、通常施工のビス打ちできる位置に設置する。

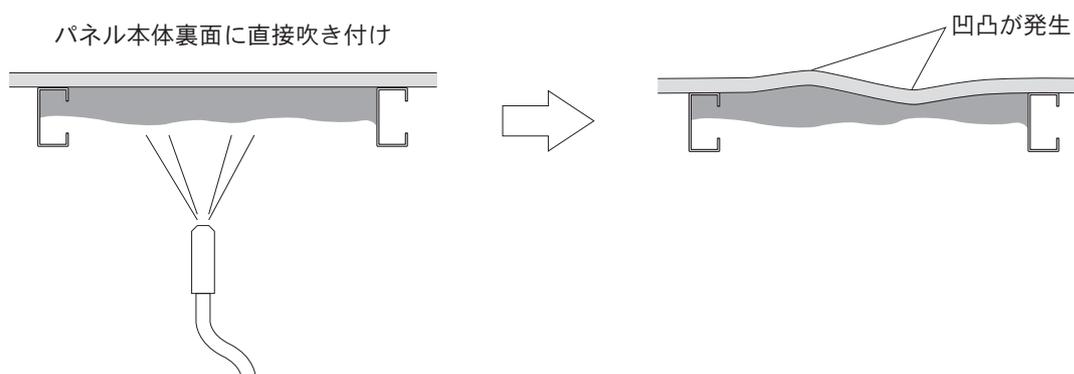
## ■切断・切り欠き



・ 欠き込んだ残りの幅が、働き幅の2/3以上となるようにしてください。

## 4-6 現場発泡ウレタンについて

- ・ パネル本体裏面に現場発泡ウレタンなどを直接吹き付けすると、吹き付けた現場発泡ウレタンなどの硬化収縮の影響でパネル本体表面に凹凸が発生する場合があります。  
1回あたり厚さ10mm程度を吹き付け後硬化させ、徐々に厚くしていくなどの対策を採ってください。



## 5 発注と納期

### 5-1 発注

- ・納期変更は原則としてお断り致します。
- ・十分な予備パネルを発注してください。
- ・追加発注に応じられない場合がございます。あらかじめご了承ください。また、面分け出荷をご希望される場合、発注時にお申し付けください。
- ・部材も合わせて発注してください。
- ・ご不明な点は弊社担当営業にお問い合わせください。

### 5-2 納期

納期につきましては、弊社担当営業に都度ご確認ください。

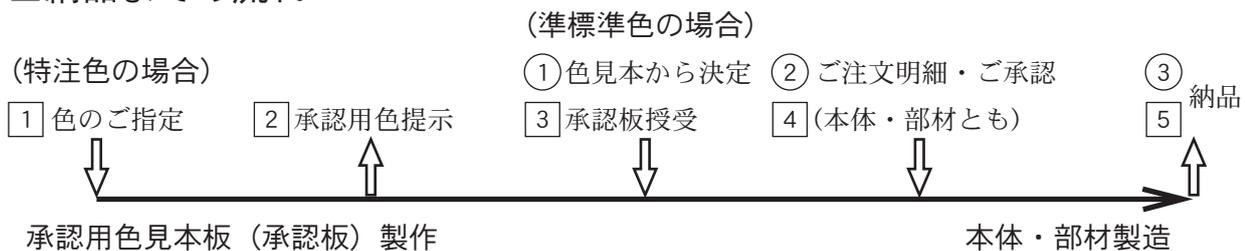
### 5-3 準標準色・特注色について（表面材のみ）

準標準色は標準色以外から選択いただけますよう設定したカラーラインナップです。

特注色は承認板の授受にてご承認いただいた後からのご発注となります。

準標準色、特注色は表面材のみの設定です。

#### ■納品までの流れ



- ・準標準色、特注色は1色1品種につき数量1,000m<sup>2</sup>以上からのご発注となります。
- ・特注色は、「日本塗料工業会」の色票番号でのご指定をお願い致します。
- ・特注色は、メタリック色など対応できない色がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・特注色のフッ素樹脂塗装色については色が出にくい場合があります。
- ・特注色の色見本製作は、色のご指定後3週間程度です。
- ・特注色については、色決定に際し承認板の授受をさせていただきます。
- ・追加注文に対応できないことがありますので予備パネルを多めに注文してください。
- ・部材もパネル本体と同時に注文してください。
- ・水切出隅、水切入隅、水切小口蓋（右・左）は準標準色、特注色の設定がありません。注意してください。
- ・価格は弊社担当営業にご相談ください。
- ・納期につきましては、弊社担当営業に都度ご確認ください。

#### ■準標準色・特注色の本体同色コイル

厚さ：0.5mm、6m／巻

板幅：パネル本体の働き幅が600mm品の場合 747mm

パネル本体の働き幅が900mm品の場合 1047mm

○詳しくは弊社担当営業までお問い合わせください。

## 6 シーリング

### 6-1 推奨シーリング

#### ●推奨シーリング

メーカー	商品名	対応プライマー
サンスター技研株式会社	ペンギンシールMS2500(NBタイプ)	表-1参照
シーカ・ジャパン株式会社	SC-MS2NB/SUPER II	No.18
コニシ株式会社	ボンドMSシール	ボンドシールプライマー#38
セメダイン株式会社	POSシールタイプII	MP-2000

表-1

使用部位	推奨プライマー
パネル間目地・サッシ取り合いなど	SS-2
セメント系材料との取り合いなど	UM-2

#### ■シーリング工事の注意点

詳細はシーリングメーカーにお問い合わせください。

シーリング施工中のパネルの熱伸縮で、シーリングにシワや剥離が発生する場合があります。  
パネル表面の温度変化が少ない天候や時間帯にシーリング施工してください。

(注) プライマーを塗布する前に、シーリングの接着力を高めるためにシーリング施工面の目荒らし（バフ掛け）を行ってください。



## 7 取り扱い時のお願い

### 7-1 取り扱い時の注意

アイジーヴァンドは壁材です。壁以外の部位に使用しないでください。

⚠ 警告：死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1. 強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。風にあおられる、雨にあおられる、雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。
2. 高所作業は関係法規に従ってください。事故の可能性があります。

⚠ 注意：取り扱いをあやまると障害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

#### ●商品の納入

- ・アイジーヴァンドは、現場車上渡しです。クレーンなどの荷下ろし用機械はお客様にて手配してください。

#### ●搬入

- ・荷下ろしの際は、ナイロンスリングを使用し、絞り防止材や保護材でパネル本体の破損を防止してください。
- ・長尺品は吊り具を用意し、3点吊りとしてください。

#### ●保管方法

- ・不整な地面に置かないでください。
- ・屋外保管の場合、リン木に載せ、養生シートなどで雨水が入らないようにしてください。また、シートを掛けたままの状態でも長期間（7日以上）放置しないでください。
- ・雨水が入ってしまった場合は、速やかに除去し、乾燥させてください。放置するとさびが発生しやすくなります。

#### ●商品の取り扱いについて

- ・荷崩れには十分に注意してください。
- ・商品を引きずらないでください。塗膜面にキズが付きます。
- ・梱包資材のフィルムなどは、開梱したら放置せず、速やかに処分してください。
- ・商品の上に人が乗ったり、重量物を載せたりしないでください。
- ・商品を置くときには衝撃を与えないでください。

#### ●運搬

- ・パネル本体の平抱えは禁止です。横抱えで運搬してください。
- ・パネル端部の薄肉部を持たないでください。破損するおそれがあります。

#### ●取り付け役物（部材）について

- ・当社純正品または、当社推奨品を使用してください。
- ・指定外の部材の使用、誤った施工方法での不具合については責任を負いかねます。

#### ●施工

- ・作業時は、ゴム付き手袋や保護眼鏡などの適切な保護具を着用してください。
- ・現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは、けがをする原因となりますので取り除いてください。
- ・パネル本体の取り付けは、止水性を確保するため、働き幅による割り付けを守ってください。
- ・加熱、排気などの箇所での取扱いは、防火のため、めがね石など有効な部材を使用してください。
- ・タッチアップペイント（補修用塗料）などは、使用方法をご確認の上、正しく使用してください。
- ・電動工具など、工具使用の際は、各工具の取り扱い説明書に従って正しく使用してください。

6

シーリング

7

取り扱い時のお願い

- ・包装材、残材などは、産業廃棄物として処分してください。
- ・アイジーヴァンドを安全に使用・取り扱いをするため、安全データシート（SDS）を事前に確認してください。SDSは弊社ホームページに掲載しております。

### ●保護フィルムについて

- ・保護フィルムが貼り付けてある商品は、長期間放置すると剥がれにくくなりますので、施工後速やかに除去してください。
- ・静電気が帯電しているおそれがありますので、取り扱い時には十分に注意してください。

### ●切粉の除去

- ・商品の切り欠き、取り付け時など、切粉が発生します。放置するとさびが発生しますので、ハケなどでその都度除去してください。

### ●シーリングについて

- ・仕上げシーリングは、専門業者に依頼してください。
- ・推奨材質は、2成分形変成シリコン系です。推奨銘柄は、P141をご覧ください。
- ・捨てシーリングとなるものは、パネル取り付け業者の施工となります。
- ・切断面はしん材が露出するため、シーリングが接着しません。
- ・パネル本体を現場切断するなどしてシーリング納めとする箇所は、必ず箱折加工（表面鋼板端部の折り曲げ加工）を10mm以上施してください。
- ・シーリング施行中のパネル熱伸縮で、シーリングにシワや剥離が発生する場合があります。パネル表面の温度変化が少ない天候や時間帯にシーリング施工してください。

### ●ウレタン吹き付け

- ・パネル本体に現場発泡ウレタンなどを直接吹き付けすると、吹き付けたウレタンなどの硬化収縮の影響でパネル表面に凹凸が発生する場合がありますので注意してください。

### ●補修について

- ・タッチアップペイントは、ごく狭い範囲の軽微なキズの補修に使用します。パネル本体や部材の変形を伴うキズや広範囲にわたる塗装には使用しないでください。
- ・塗装場所の気温が著しく低い場合（5℃以下）や、降雨及び降雪があり、被塗面が濡れる場合は補修を避けてください。
- ・タッチアップペイントは、使用前によく攪拌してから使用してください。カタカタという音がしてから30秒以上振り、よく攪拌してください。
- ・タッチアップペイントは常乾タイプの塗料です。商品とは塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装品の表面鋼板をタッチアップペイントで補修する場合は目荒らしが必要です。補修するすりキズ部分に、ナイロン不織布を使用して目荒らしをしてください。目荒らしを行わない場合、タッチアップペイントと表面鋼板の塗膜に密着性が得られませんので注意してください。
- ・補修した部分に水が関与すると白化や、艶の低下の原因になりますので作業の際は以下の注意事項を確認してください。
  1. 塗装後、降雨、降雪、結露が予想される場合や高湿度時の塗装は避けてください。
  2. 気温が低くなると乾燥が極端にしにくくなります。夕方まで表面が乾くように作業時間を調整してください。急ぎの作業の際は、ドライヤーなどで補修部分を完全に乾燥させてください。
- ・海岸地帯や工業地帯など腐食のおそれのある地域においては、切断端面の補修をお勧めします。
- ・補修塗装を行う際は、水または中性洗剤（1～2%水溶液）で、表面の汚れや油分などを除去し、十分な水洗いを行い、乾いた布で水分をよく拭き取ってから行ってください。
- ・商品表面のキズの補修には、必ず純正のタッチアップペイントを用い、製品安全データシート（SDS）に従って正しく使用してください。

- ・事前に商品の端材などで試し塗りをし、色調の確認を行ってください。
- ・広範囲にわたったすりキズや、鋼板が変形してしまった損傷の場合は、パネル本体の交換を実施してください。やむを得ず広範囲にわたる補修塗装を行う際は、専門の塗装業者に依頼してください。
- ・現場塗装用の塗料は、現場で手配願います。

### ●汚れの除去方法

- ・パネル本体表面に汚れが付着したときは、以下の手順でクリーニングしてください。
  1. 柔らかい布などから拭きしてください。
  2. 1.で汚れが落ちないとき、水または温水（ぬるま湯程度）で洗浄してください。
  3. 2.で汚れが落ちないとき、中性洗剤（1～2%水溶液）で洗浄してください。
  4. 3.で汚れが落ちないとき、パネル本体の交換を実施してください。

### ●美しさを長持ちさせるために（定期的なお手入れ）

- ・大気中には、パネル表面基材の腐食の原因となる様々な要因が含まれています。酸性度の高い水分との接触や、付着水分の蒸発による酸性成分の濃縮など、腐食の原因物質と表面基材の接触により表面塗膜の耐久性の低下を招き、さびの発生に至る場合があります。このような現象の発生を防ぐために定期的なお手入れを実施してください。
- ・壁の汚れの状況に応じて、パネル表面を洗浄してください。特に、海岸地帯や工業地帯では洗浄回数を増やしてください。
- ・軒下など、雨水で塵汚れなどが洗われない部分は、塵などが原因で腐食が発生する場合がありますので、入念な洗浄をお勧めします。
- ・表面塗色については、適宜点検してください。変色が著しく、白亜化現象が現れた時には、再塗装を実施してください。
- ・強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなど研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・中性洗剤を使用した後は、十分な水洗いを行い、薬剤を洗い流してください。
- ・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・高圧洗浄機は、パネルの変形・漏水などの原因となりますので使用しないでください。

### ●その他

- ・点検・補修・洗浄などの際は、パネル本体表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをパネル本体表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となります。必ず当て板などで保護してください。
- ・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合部などから音が発生する場合があります。
- ・光の具合によって、表面の歪みや下地の跡が強調される場合があります。

### お願い

- 本設計資料に掲載している商品仕様、各種データなどを予告なく変更する場合があります。最新の情報につきましては弊社担当営業までお問い合わせください。

## 7-2 外壁を美しく保つために

### ■維持管理の目的

大気中には外壁材の表面基材の腐食の原因となるさまざまな要因が含まれています。自動車の排気ガス、工場からの排煙、海岸地帯の海塩粒子、凍結防止剤など、多種多様な要因があります。近年、環境公害のひとつとして酸性雨問題があります。酸性度の強い水分との接触や付着水分の蒸発、濃縮により、表面塗膜の耐久性の低下やさびの発生に至る場合があります。建築物の長寿命化を実現するためのひとつとして、外壁材の適切なメンテナンスが重要であり、外壁の性能を維持するために定期的な維持管理をお勧めします。

### ●メンテナンススケジュール（モデルケース）

こまめにお手入れをし、傷みを早めに補修することで外壁を長持ちさせ、建物を守ります。

施工後年数		5年	10年	15年	20年	25年	30年～
1. クリーニング		年数回					
2. 日常点検		年1回程度					
3. 定期点検		■	■	■	■	■	■
メン テ ナ ン ス	防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装 耐火ヴァンドRZ 断熱ヴァンドNZ					■	■
	ポリエステル樹脂塗装 耐火ヴァンドRZ 断熱ヴァンドNZ		■	■	■	■	■
	シーリング		■	■	■	■	■

…塗り替え<sup>※1</sup>
 …張り替え<sup>※2</sup>
 …部分補修・打ち替え

塗り替えは、表面状態を確認の上で判断してください。変色が著しく、白亜化が現れた状態が塗り替え時期とみなせます。

### 【注意 !!】

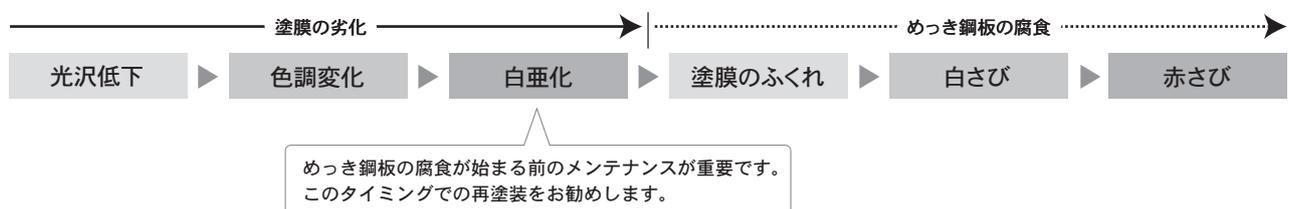
- ・メンテナンススケジュールは目安であり、メンテナンス時期を保証するものではありません。地域や環境により表面劣化の進行状況が異なります。
- ・メンテナンス時期は、本体平面部について適用するものであり、加工部、端部及び部材は除きます。

※1 2回目以降の塗り替え時期は塗料タイプにより異なります。使用される環境、耐用年数などを検討の上、専門業者様とご相談ください。

※2 張り替え時期については、専門業者様に建物全体の躯体状況を確認の上、総合的に判断してください。

### ■塗膜の耐久性について

塗膜は、太陽光線、雨（水）、大気中の酸素、腐食性因子（塩素イオン、酸性イオンなど）により劣化します。その過程において塗膜の白亜化が発生します。白亜化（チョーキング）とは、塗膜表面の樹脂が無くなり顔料が表面に粉状に現れ、触ると手に付く現象をいいます。白亜化の後に、めっき鋼板の腐食が始まります。劣化の経時変化は下記のように進みます。



## ■ クリーニング

外壁を美しく保つために、年に数回の水洗いをしてください。

アイジーヴァンドは、めっき鋼板の中でも耐久性に優れたガルバリウム鋼板を使用しております。しかしながら、汚染物質の長期付着により、数年で表面にシミや白さび・黒さびが発生した例が報告されております。これらの現象は外壁材の機能上支障をきたすものではありませんが、外観が損なわれるため表面塗装の塗り替え時期を早めてしまいます。外壁表面に付着している大半の汚染物質は水洗いで落とすことができますので、立地条件に合わせた数回のクリーニングを行う事で、美しい外観を長期間保つことが可能となります。

### ● クリーニング回数の目安



大気汚染の状況に応じて、さらに年間の洗浄回数を増やすことをお勧めします。

### ● クリーニング方法

- 1 水洗いにより、塵や汚れを洗い落とし、柔らかいスポンジや布で十分に水洗いしてください。
- 2 水洗いで取れない汚れなどは、中性洗剤(1~2%の水溶液)を使用し、最後に水洗いしてください。

#### 【注意 !!】

- ・強くこすったり、固いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどの有機溶剤やタイル洗浄剤などは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・中性洗剤を使用した後は十分な水洗いを行い薬剤を洗い流してください。
- ・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・高圧洗浄機などは、外壁材の変形、漏水の原因となりますので使用しないでください。



### ● クリーニングのポイント

塗膜の劣化や鋼板の腐食は、塵やほこり、酸性雨や酸性雪に含まれる自然からの汚染物質と、車や給湯器・暖房機などの排気・燃焼ガスによる汚染物質が、雨や水蒸気などにより外壁に滞留して進行します。よって、雨水が当たりにくく汚染物質が流れにくい部分や過度に汚れがひどい部分(下記参照)を重点的に洗浄すると効果的です。

重点洗浄箇所		
①軒	②庇の下	③アルコーブなどの内部に入り込んだ所
④窓脇、窓下など	⑤フード、換気口などの下	⑥外壁下端部

## ■ 日常点検

目視にて確認できる範囲で、年1回程度を目安にお施主様ご自身で行ってください。

- |          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| 本体の点検    | 商品本体にキズ、へこみ、浮きなどが目視で点検してください。         |
| 部材の点検    | 部材にキズ、へこみ、浮きなどが目視で点検してください。           |
| 塗膜の点検    | 塗装表面に白亜化、変色、さびなどが発生していないか目視で点検してください。 |
| シーリングの点検 | シーリングに剥離、亀裂などが発生していないか目視で点検してください。    |

- ・地震や台風の後には随時外装材の点検を行ってください。
- ・気になる不具合を発見した場合は、早めに施工店様にご相談の上、専門業者様に相談してください。(費用はお施主様負担となります。)

## ■ 定期点検

5年に1回を目安に専門業者様による点検を実施するようお願いします。

(費用はお施主様負担となります。)

点検項目は、日常点検の項目を基本としたものになります。

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 本体、部材にキズ、へこみ、浮きを確認した場合 | ▶ 補修または、交換を行ってください。  |
| 変色、褪色を確認した場合           | ▶ 外壁材としての機能上支障はありませんが、美観の向上を図るためには再塗装を行ってください。               |
| 白さび、黒さびの発生を確認した場合      | ▶ さびを放置しますと、さびが進行して穴あきの原因となりますので、さびの部分を取り除いてから再塗装してください。     |
| シーリングに剥離、亀裂を確認した場合     | ▶ シーリングの部分補修または、打ち替えを行ってください。そのまま放置しますと、隙間より雨水が侵入するおそれがあります。 |

### 安全に関する注意

- ・お施主様ご自身で高所作業を伴う点検やお手入れは絶対に行わないでください。落下事故やけがの原因となります。
- ・点検は、外壁を目視で確認できる範囲にとどめてください。高所作業の場合は、専門業者様に相談してください。
- ・再塗装などの補修工事はお施主様ご自身では絶対に行わないでください。専門業者様に相談してください。
- ・点検、補修、洗浄などの際はパネル本体表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをパネル本体表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となります。必ず当て板などで保護してください。
- ・雨などで濡れた屋根の上には絶対に乗らないでください。落下事故やけがの原因となります。

### 次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- ・施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
- ・天変地異・周囲環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
- ・通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
- ・建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
- ・シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
- ・本体、及び部材に付着した切屑・加工屑・落ち葉・動物の排泄物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
- ・水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- ・くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビによる汚染などが生じた場合。
- ・建築基準法及び、関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- ・本来の目的以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。



アイジー工業株式会社

本社	〒999-3716	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	TEL. 0237-43-1810	FAX. 0237-41-1810
東京営業所	〒101-0065	東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル6F	TEL. 03-3556-0341	FAX. 03-3262-3180
札幌営業所	〒003-0026	北海道札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F	TEL. 011-863-0303	FAX. 011-860-2084
盛岡営業所	〒020-0022	岩手県盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F	TEL. 019-605-8050	FAX. 019-605-8051
仙台営業所	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12 L.Biz仙台5F	TEL. 022-292-5405	FAX. 022-292-5406
北関東営業所	〒330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-150-1 カネゲンビル6F	TEL. 048-658-1600	FAX. 048-658-1602
新潟営業所	〒950-0912	新潟県新潟市中央区南笹口1-1-54 日生南笹口ビル6F	TEL. 025-240-6718	FAX. 025-240-6719
富山営業所	〒930-0004	富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F	TEL. 076-443-8621	FAX. 076-443-8622
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24 綿常第5ビル4F	TEL. 052-218-7885	FAX. 052-218-7886
大阪営業所	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町9-1 EDGE江坂11F	TEL. 06-6310-9076	FAX. 06-6310-9077
福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F	TEL. 092-474-5564	FAX. 092-474-5574

この設計資料に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。  
商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

[www.igkogyo.co.jp](http://www.igkogyo.co.jp)

